

人体の構造と機能 I
Anatomy and Physiology I

倉本 展行 (クラモト ノブユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

「人体の構造と機能」は看護師を含む医療専門職の教育において基礎となる重要な科目である。生命体の成り立ちを個体、器官、細胞レベルで理解するために、生命体の構造と機能及び機能調節などに関する基本的知識を修得する。本科目では、「消化器系器官」の構造と機能を学習して栄養の消化と吸収を理解する。また、「呼吸器系器官」「血液系」の構造と機能を学習して呼吸と血液のはたらきを理解する。また、「自律神経系」の構造と機能を学習して内臓の調節を理解する。

授業方法と留意点

授業方法は「講義」を中心として、人体臓器模型等を用いた演習形式学習も行う。授業はすべて指定席で実施する。できるだけ小テストを実施するので、普段からの学習習慣を身につけるようにしていただきたい。

科目学習の効果（資格）

看護師国家試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 なぜ看護職に人体の構造と機能の知識が必要か？

【内容・方法 等】 「人体の構造と機能」を概説するとともに、看護師にとっての「人体の構造と機能」の知識の重要性を実地経験に基づいて看護職経験教員が説明する。

【事前・事後学習課題】 レポート「なぜ人体の構造と機能の知識が重要か？」の作成提出

第2回 【授業テーマ】 細胞、組織、臓器・器官の成り立ちと生命維持の仕組み

【内容・方法 等】 細胞の機能及び細胞、組織、臓器・器官の成り立ちについて説明する。また、人体の正常機能を維持するための仕組みについて説明する。

【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。

第3回 【授業テーマ】 骨の構造、発生・成長、機能

【内容・方法 等】 人体の骨の構造・機能、発生と成長、全身の骨格について説明する。

【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。

第4回 【授業テーマ】 人体の骨格

【内容・方法 等】 人体の骨格（連結を含む）について説明する。

【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。

第5回 【授業テーマ】 筋の構造・機能

【内容・方法 等】 骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能について説明する。

【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。

第6回 【授業テーマ】 筋の収縮とその特徴

【内容・方法 等】 骨格筋、心筋、平滑筋の収縮の仕組み、収縮の特徴について説明する。

【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。

第7回 【授業テーマ】 体幹の骨格と筋

【内容・方法 等】 脊柱、胸郭、背部の筋、胸部の筋、腹部の筋について説明する。

【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。

第8回 【授業テーマ】 上肢の骨格と筋

【内容・方法 等】 上肢帯の骨格、自由上肢の骨格、上肢帯の筋群、上腕の筋群、前腕の筋群、手の筋群、上肢の運動について説明する。

【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。

第9回 【授業テーマ】 下肢の骨格と筋

【内容・方法 等】 下肢帯の骨格、自由下肢の骨格、下肢帯の筋群、大腿の筋群、下腿の筋群、足の筋群、下肢の運動について説明する。

【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。

第10回 【授業テーマ】 頭頸部の骨格と筋

【内容・方法 等】 脳頭蓋、顔面頭蓋、頭部の筋、頸部の筋について説明する。

【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。

第11回 【授業テーマ】 自律神経系の機能

【内容・方法 等】 自律神経系（交感神経と副交感神経）の特徴・機能について説明する。

【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。

第12回 【授業テーマ】 自律神経系の構造

【内容・方法 等】 交感神経系と副交感神経系の構造について説明する。

【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。

第13回 【授業テーマ】 自律神経系の調節

【内容・方法 等】 自律神経系の神経伝達物質、受容体、調節について説明する。

【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。

第14回 【授業テーマ】 筋の神経支配

【内容・方法 等】 に骨格筋、心筋、平滑筋の神経支配について説明する。

【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。

第15回 【授業テーマ】 総合演習

【内容・方法 等】 問題演習等を通して本科目範囲の理解を深めるとともに、問題解決能力を育成する。

【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して定期試験に備える。

評価方法（基準）

小テスト（30%）、定期試験（70%）により総括評価する。レポート提出は必須とする。

教材等

教科書…『系統看護学講座・解剖生理学』医学書院（3,800円＋税）

『メディカルイメージブック・解剖学』医歯薬出版（1,600円＋税）

参考書…特になし

学生へのメッセージ

授業のまとめノートの作成や小テストを通して、普段からの学習習慣を身につけてください。

関連科目

人体の構造と機能Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ

担当者の研究室等

1号館6階

人体の構造と機能 II
Anatomy and Physiology II

倉本 展行 (クラモト ノブユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

「人体の構造と機能」は看護師を含む医療専門職の教育において基礎となる重要な科目である。生命体の成り立ちを個体、器官、細胞レベルで理解するために、生命体の構造と機能及び機能調節などに関する基本的知識を修得する。本科目では、「消化器系器官」の構造と機能を学習して栄養の消化と吸収を理解する。また、「呼吸器系器官」「血液系」の構造と機能を学習して呼吸と血液のはたらきを理解する。また、「自律神経系」の構造と機能を学習して内臓の調節を理解する。

授業方法と留意点

授業方法は「講義」を中心として、人体臓器模型等を用いた演習形式学習も行う。授業はすべて指定席で実施する。できるだけ小テストを実施するので、普段からの学習習慣を身につけるようにしていただきたい。

科目学習の効果（資格）

看護師国家試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 口・咽頭・食道の構造と機能

【内容・方法 等】 口、咽頭、食道の構造と機能について説明する。

【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とし

- た復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第2回** 【授業テーマ】 胃の構造と機能
 【内容・方法 等】 胃の構造、運動、機能、調節について説明する。
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第3回** 【授業テーマ】 小腸の構造と機能
 【内容・方法 等】 小腸の構造、運動、機能、調節について説明する。
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第4回** 【授業テーマ】 大腸の構造と機能
 【内容・方法 等】 大腸の構造、運動、機能、調節について説明する。
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第5回** 【授業テーマ】 膵臓の構造と機能
 【内容・方法 等】 膵臓の構造と機能について説明する。
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第6回** 【授業テーマ】 肝臓・胆嚢の構造と機能
 【内容・方法 等】 肝臓と胆嚢の構造と機能について説明する。
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第7回** 【授業テーマ】 栄養素の消化と吸収
 【内容・方法 等】 栄養素（糖質、タンパク質、脂質）の消化・吸収とビタミンやミネラルの吸収について説明する。
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第8回** 【授業テーマ】 呼吸器の構造
 【内容・方法 等】 気道、肺、胸膜の構造について説明する。
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第9回** 【授業テーマ】 呼吸
 【内容・方法 等】 呼吸運動、呼吸気量、ガスの運搬と交換について説明する。
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第10回** 【授業テーマ】 呼吸の調節
 【内容・方法 等】 呼吸の神経調節について説明する。
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第11回** 【授業テーマ】 血液
 【内容・方法 等】 赤血球、白血球、血小板の種類と働きについて説明する。
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第12回** 【授業テーマ】 血漿
 【内容・方法 等】 血漿タンパク質の種類と働きについて説明する。
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第13回** 【授業テーマ】 止血と血液凝固
 【内容・方法 等】 止血の機構と血小板凝集、血液凝固について説明する。
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第14回** 【授業テーマ】 フィジカルアセスメント演習
 【内容・方法 等】 血糖値の測定方法の習得し、自己の血糖値の変動を観察することで生理学の理解を高める（看護職経験教員による演習）。
 【事前・事後学習課題】 演習の方法・結果・考察のレポートの作成
- 第15回** 【授業テーマ】 総合演習
 【内容・方法 等】 問題演習等を通して本科目範囲の理解を深めるとともに、問題解決能力を育成する。
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して定期試験に備える。
- 評価方法（基準）**
 小テスト（30%）、定期試験（70%）により総括評価する。レポート提出は必須とする。

教材等
 教科書…『系統看護学講座・解剖生理学』医学書院（3,800円＋税）
 『メディカルイメージブック・解剖学』医歯薬出版（1,600円＋税）
 参考書…特になし

学生へのメッセージ
 授業のまとめノートの作成や小テストを通して、普段からの学習習慣を身につけてください。

関連科目
 人体の構造と機能Ⅰ、Ⅲ、Ⅳ

担当者の研究室等
 1号館6階

人体の構造と機能ⅠⅠⅠ
 Anatomy and Physiology Ⅲ

荻田 喜代一（オギタ キヨカス）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

「人体の構造と機能」は看護師を含む医療専門職の教育において基礎となる重要な科目である。生命体の成り立ちを個体、器官、細胞レベルで理解するために、生命体の構造と機能及び機能調節などに関する基本的知識を修得する。本科目では、「循環器系器官」「泌尿器系器官」の構造と機能を学習して血液の循環と調節及び尿生成と体液の調節を理解する。また、「内分泌系器官」の構造と機能を学習して内臓機能の調節を理解する。

授業方法と留意点

授業方法は「講義」を中心として、人体臓器模型等を用いた演習形式学習も行う。復習の評価のために、毎回小テストを実施する。

科目学習の効果（資格）

看護師国家試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 心臓の構造
 【内容・方法 等】 心臓の位置と外形、心臓の部屋と弁、心臓壁、心臓の血管と神経について模型等を用いて説明する。
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第2回** 【授業テーマ】 心臓の機能
 【内容・方法 等】 心臓の興奮と伝播、心電図について説明する。
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第3回** 【授業テーマ】 心臓の機能
 【内容・方法 等】 心臓の収縮とその調節について説明する。
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第4回** 【授業テーマ】 末梢循環系の構造
 【内容・方法 等】 血管の構造、肺循環、全身の動脈系、全身の静脈系について説明する。
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第5回** 【授業テーマ】 血液の循環調節
 【内容・方法 等】 血圧、血液循環について説明する。
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第6回** 【授業テーマ】 血液の循環調節
 【内容・方法 等】 血圧調節、微小循環、循環器系の病態生理について説明する。
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第7回** 【授業テーマ】 リンパ系の構造と機能
 【内容・方法 等】 リンパ管の構造、リンパ循環について説明する。
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第8回** 【授業テーマ】 体液の調節と尿の生成
 【内容・方法 等】 腎臓の構造と機能、糸球体の構造と機能、尿管の構造と機能について説明する。
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第9回** 【授業テーマ】 体液の調節と尿の生成
 【内容・方法 等】 傍糸球体装置、腎臓から分泌される生理活性物質、排尿路の構造について説明する。
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。

- 第10回** 【授業テーマ】 体液の調節と尿の生成
【内容・方法 等】 尿の貯蔵と排尿、体液調節について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第11回** 【授業テーマ】 内分泌系による内臓機能の調節
【内容・方法 等】 ホルモンの化学構造と作用機序、内分泌系器官について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第12回** 【授業テーマ】 内分泌系による内臓機能の調節
【内容・方法 等】 視床下部-下垂体系、甲状腺、副甲状腺（上皮小体）について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第13回** 【授業テーマ】 内分泌系による内臓機能の調節
【内容・方法 等】 膵臓、副腎、性腺の構造と分泌ホルモンの機能について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第14回** 【授業テーマ】 内分泌系による内臓機能の調節
【内容・方法 等】 ホルモン分泌調節、ホルモンによる生体機能調節について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第15回** 【授業テーマ】 人体解剖見学
【内容・方法 等】 人体の胸部、腹部、頭部を中心とした解剖の見学を通して、内臓の位置、色、構造等について理解する。
【事前・事後学習課題】 事前に人体模型等で主な臓器について学習する（授業時間以外に補習として実施するので必ず出席すること）。事後にレポートを提出すること

評価方法（基準）

小テスト（30%）、定期試験（70%）により総括評価する。小テストに無断で欠席した場合には、その日の点数は「0点」とする。また、いかなる理由でも欠席が続いた場合には減点することがある。人体解剖見学の評価は、事前学習(10点)、当日受講態度(10点)、レポート(10点)で行い、小テストの評価に加える。100点満点のうち、60点で合格とする。

教材等

教科書…『系統看護学講座・解剖生理学』医学書院（3,800円＋税）

参考書…特になし

学生へのメッセージ

授業のまとめノートの作成や小テストを通して、普段からの学習習慣を身につけてください。疑問をもったときには遠慮なく質問してください。

関連科目

人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅳ

担当者の研究室等

1号館6階 薬理学研究室

人体の構造と機能ⅠⅤ
Anatomy and Physiology Ⅳ

荻田 喜代一（オギタ キョカス）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

「人体の構造と機能」は看護師を含む医療専門職の教育において基礎となる重要な科目である。生命体の成り立ちを個体、器官、細胞レベルで理解するために、生命体の構造と機能及び機能調節などに関する基本的知識を修得する。本科目では、「神経系器官・感覚器系器官」の構造と機能、「生体防御機構」を学習して生体情報の伝達・受容と調節や生体防御反応について理解する。また、「生殖器系器官」の構造と機能を学習して生殖・発生・老化のしくみを理解する。

授業方法と留意点

授業方法は「講義」を中心として、人体臓器模型等を用いた演習形式学習も行う。授業はすべて指定席で実施する。できるだけ小テストを実施するので、普段からの学習習慣を身につけるようにしてください。

科目学習の効果（資格）

看護師国家試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 神経系の構造と機能
【内容・方法 等】 神経細胞と支持細胞、神経細胞の興奮と伝播、シナプス伝達について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第2回** 【授業テーマ】 脊髄と脳

- 【内容・方法 等】 脊髄の構造の機能、脳の構造と機能について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第3回** 【授業テーマ】 脊髄神経と脳神経
【内容・方法 等】 脊髄神経の構造と機能、脳神経の構造と機能、運動性上行路、感覚性下行路について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第4回** 【授業テーマ】 脳の高次機能
【内容・方法 等】 脳波と睡眠、記憶、本能と情動行動、内臓調節機能について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第5回** 【授業テーマ】 眼の構造と機能
【内容・方法 等】 眼球の構造、眼球付属器、視覚について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第6回** 【授業テーマ】 耳の構造と機能
【内容・方法 等】 耳の構造、聴覚、平衡感覚について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第7回** 【授業テーマ】 味覚、嗅覚、疼痛
【内容・方法 等】 味覚器と味覚、嗅覚器と嗅覚、痛みの分類、疼痛発生機序について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第8回** 【授業テーマ】 生体防御
【内容・方法 等】 皮膚・粘膜における防御、食作用・細胞傷害物質による防御、免疫による防御について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第9回** 【授業テーマ】 体温
【内容・方法 等】 熱の出納、体温の分布と測定、体温調節について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第10回** 【授業テーマ】 男性生殖器
【内容・方法 等】 男性生殖器の構造と機能について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第11回** 【授業テーマ】 女性生殖器
【内容・方法 等】 女性生殖器の構造と機能について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第12回** 【授業テーマ】 受精と胎児発生
【内容・方法 等】 生殖細胞と受精、初期発生と着床、胎児と胎盤について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第13回** 【授業テーマ】 成長と老化
【内容・方法 等】 小児期の成長、老化について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第14回** 【授業テーマ】 体表から見た人体の構造
【内容・方法 等】 体表から触知できる骨格部分・骨格筋・血管を各自が確認して部位の名称を確認する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第15回** 【授業テーマ】 総合演習
【内容・方法 等】 人体の生理について問題演習を通して学習する。複数の看護学部教員とともに指導にあたる。
【事前・事後学習課題】 問題演習の復習

評価方法（基準）

小テスト（30%）、定期試験（70%）により総括評価する。小テストに無断で欠席した場合には、その日の点数は「0点」とする。また、いかなる理由でも欠席が続いた場合には減点することがある。レポート提出は期限を守ること。

教材等

教科書…『系統看護学講座・解剖生理学』医学書院（3,800円＋税）

参考書…特になし

学生へのメッセージ

授業のまとめノートの作成や小テストを通して、普段からの学習習慣を身につけてください。

関連科目

人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

担当者の研究室等

1号館6階 薬理学研究室

代謝栄養学
Biochemical Nutriology

竹内 健治 (タケウチ ケンジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

糖質、脂質、タンパク質（アミノ酸）、ビタミン、ミネラルの五大栄養素を中心に、その構造、性質、役割など生化学的な特徴を理解する。また、摂取した食物の消化、吸収の機序を知り、どのように体内で代謝され生体のエネルギーや構成成分になるのかについて、体内で起こる種々の化学反応とその反応を触媒している酵素の役割を中心に理解する。さらに、栄養不足や栄養過多、代謝異常に伴う疾患についてその発症機構を分子レベルで理解する。

授業方法と留意点

教科書の内容に沿って、板書を中心に、プロジェクター、プリントなどを用いて講義する。

科目学習の効果（資格）

生物系科目全般の基礎となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 イントロダクション「栄養と代謝総論」
【内容・方法 等】 私たちは毎日食事をして栄養をとらなければ生きていけない。なぜ栄養が必要なのだろうか？食事はそのままの形で、生きていくのに必要なエネルギーとなるのだろうか？
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第2回** 【授業テーマ】 栄養素各論「糖質」
【内容・方法 等】 栄養素としての糖質の基本構造と種類、さらにその役割を理解する。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第3回** 【授業テーマ】 糖質の代謝①
【内容・方法 等】 食べた糖質が、どのように消化吸収されるかを理解する。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第4回** 【授業テーマ】 糖質の代謝②
【内容・方法 等】 細胞内で糖質がどのように代謝され、利用されるのかを理解する。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第5回** 【授業テーマ】 栄養素各論「脂質」
【内容・方法 等】 栄養素としての脂質の基本構造と種類、さらにその役割を理解する。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第6回** 【授業テーマ】 脂質の代謝①
【内容・方法 等】 食べた脂質が、どのように消化吸収されるかを理解する。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第7回** 【授業テーマ】 脂質の代謝②
【内容・方法 等】 細胞内で脂質がどのようにエネルギーを生み出すかを理解する。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第8回** 【授業テーマ】 栄養素各論「アミノ酸、タンパク質」
【内容・方法 等】 栄養素としてのアミノ酸とタンパク質の基本構造と種類、さらにその役割を理解する。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第9回** 【授業テーマ】 アミノ酸とタンパク質の代謝
【内容・方法 等】 食べたタンパク質の消化、吸収と、アミノ酸の代謝を理解する。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第10回** 【授業テーマ】 体の中での酵素の役割
【内容・方法 等】 私たちの体温は37℃、pHは中性である。このような緩やかな状況で栄養を代謝できるのは体内に酵素があるおかげである。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第11回** 【授業テーマ】 栄養素各論「ヌクレオチド、核酸」
【内容・方法 等】 ヌクレオチドと核酸の基本構造と種類、さらにその役割を理解する。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第12回** 【授業テーマ】 遺伝情報
【内容・方法 等】 遺伝情報がどのように保存され、どのように次世代へ伝わるのかを理解する。

【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。

- 第13回** 【授業テーマ】 栄養素各論「ビタミン」「ミネラル」
【内容・方法 等】 栄養素としてのビタミンの基本構造と種類、さらにその役割を理解する。また、ミネラルについてもその役割を理解する。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第14回** 【授業テーマ】 代謝異常と疾患
【内容・方法 等】 遺伝情報に誤りがあると、それが原因で代謝異常がおこることを理解する。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第15回** 【授業テーマ】 エネルギー代謝の統合と制御
【内容・方法 等】 代謝のバランスが崩れたときに、どのようなことが起こるかを理解する。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。

評価方法（基準）

小テスト、課題レポート（25%）、定期試験（75%）で評価する。

教材等

教科書…三井和浩編 『ナーシング・グラフィカ②人体の構造と機能—臨床生化学』メディカ出版（2,600円＋税）

参考書…中山和久編 『レーニンジャーの 新生化学 [第5版] [上・下]』 廣川書店（各8,800円＋税）

学生へのメッセージ

代謝栄養学の観点から見ると、健康とは、食物の消化・吸収から代謝、および老廃物の排出という人体の活動が正常に営まれることであり、疾病はこの正常な営みが崩れた場合に起こる。代謝栄養学の知識は、他領域の分野を学習するための基礎であり、それらの習得に役立つことは間違いない。講義内容についての質問はいつでも受け付けますので、気軽にたずねてください。

関連科目

生物系科目全般の基礎となる。

担当者の研究室等

1号館5階 生化学研究室

食生活論
Dietary Life

浅野 真理子 (アサノ マリコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

私達は毎日食材を調理し、食事をするという習慣的な食生活を営んでいる。近年、健康食品ブームなど人々の食への関心が高まっている一方で、経済成長やライフスタイルの変化は私達の食生活にも大きな影響を及ぼし、栄養バランスのひずみなどが大きな社会問題となっている。本科目では、人間にとって「食べる」とはどのようなことかについて、生理的・精神的・社会的な機能などから考える。また、各ライフステージにおける食の特徴や役割について学習する。

授業方法と留意点

授業は講義形式で行う。教科書と各回に配布するプリントを活用する。

科目学習の効果（資格）

生活から切り離すことのない「食」について理解を深めるとともに、各ライフステージにおける食の特徴や役割を理解することで、今後の履修科目の理解につながることを期待する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 食生活の概念
【内容・方法 等】 はじめに食生活の概念と、食生活論を学ぶ意義について学習する。
【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第2回** 【授業テーマ】 食生活の変遷—日本・世界の食文化—
【内容・方法 等】 古代から現代に至るまで、ヒトは何をどのように食べてきたのか、「おいしさ」と食文化について学習する。
【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第3回** 【授業テーマ】 食品と栄養
【内容・方法 等】 私たちが普段何気なく口にしている食品について理解を深める。
【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第4回** 【授業テーマ】 食生活の機能—生理的機能1—

- 【内容・方法 等】** 食品の生理的機能について学習する。
【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第5回** **【授業テーマ】** 食生活の機能—生理的機能2—
【内容・方法 等】 食品の生理的機能について学習する。
【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第6回** **【授業テーマ】** 食生活の機能—生理的機能3および精神的・社会的・文化的機能—
【内容・方法 等】 食品の生理的機能および精神的・社会的・文化的機能について学習する。
【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第7回** **【授業テーマ】** ライフステージにおける食の特徴と役割—妊娠期—
【内容・方法 等】 妊娠期における栄養と食生活について学習する。
【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第8回** **【授業テーマ】** ライフステージにおける食の特徴と役割—乳幼児期—
【内容・方法 等】 乳幼児期における栄養と食生活について学習する。
【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第9回** **【授業テーマ】** ライフステージにおける食の特徴と役割—学童期—
【内容・方法 等】 学童期における栄養と食生活について学習する。
【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第10回** **【授業テーマ】** ライフステージにおける食の特徴と役割—思春期—
【内容・方法 等】 思春期における栄養と食生活について学習する。
【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第11回** **【授業テーマ】** ライフステージにおける食の特徴と役割—成人期—
【内容・方法 等】 成人期における栄養と食生活について学習する。
【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第12回** **【授業テーマ】** ライフステージにおける食の特徴と役割—高齢期—
【内容・方法 等】 高齢期における栄養と食生活について学習する。
【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第13回** **【授業テーマ】** 食生活の現状と課題1
【内容・方法 等】 遺伝子組み換えなど食材の安全性や、食中毒・食品汚染などの安全性の問題について学習する。
【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第14回** **【授業テーマ】** 食生活の現状と課題2
【内容・方法 等】 栄養素の摂取状況と健康状態の変遷と課題について学習する。
【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第15回** **【授業テーマ】** これからの食生活
【内容・方法 等】 現代社会の「食」を取り巻く背景から、食の役割、これからの食生活について学習する。最後にまとめの小テストを行う。
【事前・事後学習課題】 まとめの小テストを行うので、これまでの授業内容をしっかりと復習して講義に望むこと。

評価方法 (基準)

定期試験小テストおよび課題などから総合的に判断する。

教材等

教科書…渡邊早苗、寺本房子、丸山千寿子、藤尾ミツ子編 『保健・医療・福祉のための栄養学 (第3版)』 医歯薬出版株式会社 (2,400+税)

参考書…山本茂、奥田豊子、濱口郁枝編 『食育・食生活論—社会・環境と健康—』 講談社サイエンティフィク (2,400+税)

学生へのメッセージ

「食」は私たちが生きていく上で切り離すことのできないものです。しっかりと理解し、自分の食生活にも応用して下さい。

関連科目

生化学、栄養学

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

病理学総論

Pathology

小 崎 篤 志 (コサキ アツシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

看護において、身体の構造や機能のメカニズム、それらの障害である疾病を理解する事は重要である。本科目は、医学的対応が必要となる成人各期に起り得る疾病を身体の系統臓器別に取り上げ、疾病の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。本科目では、主に消化器および代謝内分泌疾患に関して講義を行い、これらの基礎知識を修得し、各疾患の患者への的確な観察や看護援助さらには充実した生活を送るための支援が行えるように理解を深める。

授業方法と留意点

下記の授業計画に沿って講義を行う。教科書を中心に液晶プロジェクターを用いて授業を進めるが、その中には初めて目にするような専門用語が多く含まれており、その意味を正確に理解させるには生物学・医化学などのバックグラウンドが必要となる。授業では、新しい単語の説明や分かりにくい点を板書で説明しながら内容を補足しながら進めて行く。学生の習熟度により、授業の進行スピードの変更並びに、プリント、模型やビデオなどを併用した授業方法も考慮する。

科目学習の効果 (資格)

本講義は疾病治療論Ⅰ、疾病治療論Ⅱへと引き継がれる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** **【授業テーマ】** 病理学総論(消化器1)
【内容・方法 等】 講義にて消化器疾患、主に食道疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する。(1)
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第2回** **【授業テーマ】** 病理学総論(消化器2)
【内容・方法 等】 講義にて消化器疾患、主に食道疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する。(2)
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第3回** **【授業テーマ】** 病理学総論(消化器3)
【内容・方法 等】 講義にて消化器疾患、主に胃十二指腸疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する。(1)
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第4回** **【授業テーマ】** 病理学総論(消化器4)
【内容・方法 等】 講義にて消化器疾患、主に胃十二指腸疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する。(2)
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第5回** **【授業テーマ】** 病理学総論(消化器5)
【内容・方法 等】 講義にて消化器疾患、主に腸および腹膜疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する。(1)
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第6回** **【授業テーマ】** 病理学総論(消化器6)
【内容・方法 等】 講義にて消化器疾患、主に腸および腹膜疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する。(2)
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第7回** **【授業テーマ】** 病理学総論(消化器7)
【内容・方法 等】 講義にて消化器疾患、主に肝胆膵疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する。(1)
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第8回** **【授業テーマ】** 病理学総論(消化器8)
【内容・方法 等】 講義にて消化器疾患、主に肝胆膵疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する。(2)
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第9回** **【授業テーマ】** 病理学総論(消化器9)
【内容・方法 等】 講義にて消化器疾患、主に肝胆膵疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する。(3)
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第10回** **【授業テーマ】** 病理学総論(代謝内分泌1)

- 【内容・方法 等】** 講義にて代謝内分泌疾患、主に糖尿病および代謝異常疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する。(1)
- 【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習
- 【授業テーマ】** 病理学総論(代謝内分泌2)
- 【内容・方法 等】** 講義にて代謝内分泌疾患、主に糖尿病および代謝異常疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する。(2)
- 【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習
- 【授業テーマ】** 病理学総論(代謝内分泌3)
- 【内容・方法 等】** 講義にて代謝内分泌疾患、主に糖尿病および代謝異常疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する。(3)
- 【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習
- 【授業テーマ】** 病理学総論(代謝内分泌4)
- 【内容・方法 等】** 講義にて代謝内分泌疾患、主に内分泌疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する。(1)
- 【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習
- 【授業テーマ】** 病理学総論(代謝内分泌5)
- 【内容・方法 等】** 講義にて代謝内分泌疾患、主に内分泌疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する。(2)
- 【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習
- 【授業テーマ】** 病理学総論(代謝内分泌6)
- 【内容・方法 等】** 講義にて代謝内分泌疾患、主に内分泌疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する。(3)
- 【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習

評価方法 (基準)

合否判定は定期試験を中心に総合判定する。試験には主に客観問題を出題する。講義中の口頭質問等への対応及び授業態度を評価の一部とする。定期試験(90%)、講義での回答内容(10%)で最終評価する。

教材等

教科書… 福本陽平等 監修 『病気がみえる vol.1 消化器メディックメディア (3,000円+税)』
 ・弘世貴久等 監修 『病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌』 メディックメディア (3,000円+税)

参考書…北村聖編 『臨床病態学 総論』 ヌーヴェルヒロカワ (2,500円+税)
 渡辺照男編 『カラーで学べる病理学』 ヌーヴェルヒロカワ (2,500円+税)

学生へのメッセージ

授業には指定教科書を持参して下さい。

関連科目

疾病治療論Ⅰ、疾病治療論Ⅱ

担当者の研究室等

7号館3階 研究室23 (小崎)

備考

病理学総論、疾病治療論Ⅰ、疾病治療論Ⅱで同じシリーズの教科書を使用します。

感染と防御 Microbiology and Immunology				
高松宏治(タカマツ ヒロム)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

それぞれの感染症に特定のウイルスや微生物が関与することを理解するため、代表的な病原体の種類や特徴とそれらが引き起こす症状について学ぶ。また、病原体に対する生体防御機構と予防法や治療法の基礎知識を学ぶことにより、科学的な根拠に基づいて感染症の予防と治療に従事する専門職としての能力を身につける。さらに、分子生物学的・遺伝学的観点から感染と防御について概説することにより、最先端の感染症医療に対応できる能力を身につける。

授業方法と留意点

教科書の内容を中心にPowerPointを用いて解説する。練習問題や課題を出すので、正誤にかかわらず自らの考えを記すこと。PowerPointの内容をまとめたプリントを配布するので、講義前に教科書の該当領域と合わせて熟読し、概要を理解すること。また、講義中に重要と思われる内容をマークしたり、必要に応じて書き込みすること。講義後、再度、教科書とプリントの内容を確認し、重要な内容をノートにまとめること。疑問や質問などがあれば研究室に来て確認して欲しい。

科目学習の効果 (資格)

目に見えない病原体の存在とそれらの特性を理解することで、一般市民の健康と生命を守るために必要な衛生学的知識を修得

できる。また、感染防御と感染症治療の基礎を理解することで、感染症患者の治療や院内感染防止に役立つ知識を身につけることができる。感染症が誰にでも起こりうる病気であることを理解することで、感染症の患者やその家族に対する偏見を無くし、献身的に医療に従事する態度を醸成する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】** イントロダクション (講義の概要について)
【内容・方法 等】 講義の方法、資料、注意事項、評価方法について説明する。
 様々な病原体によって引き起こされる感染症と、免疫の概念について解説する。
【事前・事後学習課題】 事前学習：教科書p.43~p.56を熟読する。事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。
- 第2回 【授業テーマ】** 病原体の概要と分類
【内容・方法 等】 病原体(プリオン・ウイルス・細菌・真菌・原虫・寄生虫)の特徴と分類、および疾患との関連について、教科書・プリント・PowerPointを用いて解説する。
【事前・事後学習課題】 事前学習：教科書p.4~p.9とプリントの該当部分を熟読する。事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。
- 第3回 【授業テーマ】** 免疫の概念
【内容・方法 等】 免疫反応に関与する細胞や分子の種類と、それらの働きについて解説する。
【事前・事後学習課題】 事前学習：教科書p.56~p.61とプリントの該当部分を熟読する。事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。
- 第4回 【授業テーマ】** 免疫系のネットワーク
【内容・方法 等】 自然免疫と獲得免疫の特徴、および細胞性免疫反応と液性免疫反応の特徴について解説する。
【事前・事後学習課題】 事前学習：教科書p.62~p.66、p.70~p.71とプリントの該当部分を熟読する。事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。
- 第5回 【授業テーマ】** 免疫による感染防御と、免疫に基づく疾患
【内容・方法 等】 正常な免疫系が関与する疾患と、免疫系の過剰反応や異常によって起こる疾患の特徴について解説する。
【事前・事後学習課題】 事前学習：教科書p.66~p.70とプリントの該当部分を熟読する。事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。
- 第6回 【授業テーマ】** 微生物検査法・滅菌と消毒
【内容・方法 等】 病原微生物の存在や特性を知る方法と、それらを除去する方法について解説する。
【事前・事後学習課題】 事前学習：教科書p.74~82、p.102~p.107とプリントの該当部分を熟読する。事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。
- 第7回 【授業テーマ】** 滅菌と消毒・化学療法・感染症の予防
【内容・方法 等】 病原体を除去したり殺滅する方法と、感染症の予防や治療について解説する。
【事前・事後学習課題】 事前学習：教科書p.74~p.100とプリントの該当部分を熟読する。事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。
- 第8回 【授業テーマ】** プリオンとウイルスのアウトライン
【内容・方法 等】 プリオンの特徴やプリオン感染症と、ウイルスの特徴・構造・分類・増殖などについて解説する。
【事前・事後学習課題】 事前学習：教科書p.28~p.36、p.189とプリントの該当部分を熟読する。事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。
- 第9回 【授業テーマ】** 代表的なウイルス感染症-1
【内容・方法 等】 ウイルス感染症の例として、ヘルペスやインフルエンザを中心に解説する。
【事前・事後学習課題】 事前学習：教科書p.159~p.183とプリントの該当部分を熟読する。事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。
- 第10回 【授業テーマ】** 代表的なウイルス感染症-2
【内容・方法 等】 ウイルス感染症の例として、後天性免疫不全症候群(AIDS)を中心に解説する。
【事前・事後学習課題】 事前学習：教科書p.184~p.190とプリントの該当部分を熟読する。事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。
- 第11回 【授業テーマ】** 細菌のアウトライン
【内容・方法 等】 細菌の形態・構造・遺伝子などについて解説する。

- 【事前・事後学習課題】** 事前学習：教科書p.12～p.25とプリントの該当部分を熟読する。
事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。
- 第12回** **【授業テーマ】** 代表的な細菌感染症-1
【内容・方法 等】 グラム陽性菌による感染症の例として、ブドウ球菌感染症、ボツリヌス症、結核などについて解説する。
【事前・事後学習課題】 事前学習：教科書p.111～p.126とプリントの該当部分を熟読する。
事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。
- 第13回** **【授業テーマ】** 代表的な細菌感染症-2
【内容・方法 等】 グラム陰性菌やその他の細菌による感染症の例として、ペスト、コレラ、大腸菌感染症などについて解説する。
【事前・事後学習課題】 事前学習：教科書p.128～p.158とプリントの該当部分を熟読する。
事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。
- 第14回** **【授業テーマ】** 真菌・原虫・寄生虫のアウトライン
【内容・方法 等】 真菌・原虫・寄生虫の特徴や分類について解説する。
【事前・事後学習課題】 事前学習：教科書p.37～p.41とプリントの該当部分を熟読する。
事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。
- 第15回** **【授業テーマ】** 代表的な真菌・原虫・寄生虫感染症
【内容・方法 等】 真菌・原虫・寄生虫感染症の例として、マラリアや住血吸虫症などについて解説する。
【事前・事後学習課題】 事前学習：教科書p.191～p.197とプリントの該当部分を熟読する。
事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。

評価方法 (基準)
定期試験 (100点満点中60点以上で合格) により総合評価する。
練習問題および課題は形成的評価とし、真剣に取り組む態度が認められなければ総合評価から最大で10点減点する。

教材等
教科書…小田 紘 『ビジュアル微生物学』 スーヴェル ヒロカワ (2,000円+税)
参考書…『わかりやすい微生物・感染症学』 スーヴェル ヒロカワ
『イメージできる臨床微生物・医動物』 MCメディカ出版

学生へのメッセージ
ヒトは多種多様な生物との関わり合いの中で生きている。目に見えないほど小さな生物の中には、ヒトにとって有益なものあれば、有害なものもある。正常な免疫系は我々の身体を種々の病原体から守る役割を果たしているが、免疫系の異常によって病気が引き起こされる場合もある。ヒトと微生物の関係と免疫の仕組みを理解し、科学的な見地に基づいて感染防御に必要なことは何かを考えられる医療従事者になることを望む。

関連科目
生命科学概論、生物・化学の基礎、公衆衛生学
担当者の研究室等
1号館5階 微生物学研究室
備考
なし

薬理学総論 Pharmacology				
米 山 雅 紀 (ヨネヤマ マサノリ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標
【参考】 設置認可申請「授業科目の概要」内容
薬物が生体に及ぼす種々の反応及びその作用機序について学ぶ。薬物の作用を分子、細胞、臓器、個体レベルで解説し、看護を実践していく上で必要な薬物の基礎知識を修得する。また、薬物の投与方法と投薬後の注意点、副作用とその対策、医薬品の取り扱い上の留意点等を総合的に解説し、臨床での実践へ向けた薬物療法の基盤を確かなものとする。

授業方法と留意点
基本的には指定した教科書に沿って講義を進め、必要に応じてプリントなどを配付します。また、臨床的観点から、薬物治療や新薬の話題も提供したい。出来るだけ小テストを実施するので、普段からの学習習慣を身につけるようにしてください。

科目学習の効果 (資格)
看護師国家試験

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** **【授業テーマ】** 医薬品概論 (1)
【内容・方法 等】 医薬品の名前と分類および医薬品に関連する法律について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びニューワークブックを活用して小テストに備える。
- 第2回** **【授業テーマ】** 医薬品概論 (2)
【内容・方法 等】 医薬品の体内における作用原理とその動態および医薬品の吸収・分布・代謝・排泄に影響する薬物相互作用と薬力学的相互作用について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びニューワークブックを活用して小テストに備える。
- 第3回** **【授業テーマ】** 看護師にとって必要な医薬品知識の重要性と看護の役割
【内容・方法 等】 看護師にとって必要な医薬品知識の重要性と看護の役割について看護職経験教員が臨床経験に基づいて説明する。
【事前・事後学習課題】 レポート課題『看護師にとって必要な医薬品知識の重要性と看護の役割』を作成し提出する。
- 第4回** **【授業テーマ】** 生活習慣病に使用する医薬品 (1)
【内容・方法 等】 生活習慣病の治療と高血圧に用いられる治療薬について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びニューワークブックを活用して小テストに備える。
- 第5回** **【授業テーマ】** 生活習慣病に使用する医薬品 (2)
【内容・方法 等】 狭心症および心筋梗塞に用いられる治療薬について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びニューワークブックを活用して小テストに備える。
- 第6回** **【授業テーマ】** 生活習慣病に使用する医薬品 (3)
【内容・方法 等】 不整脈および心不全に用いられる治療薬について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びニューワークブックを活用して小テストに備える。
- 第7回** **【授業テーマ】** 生活習慣病に使用する医薬品 (4)
【内容・方法 等】 脂質異常症および糖尿病に用いられる治療薬について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びニューワークブックを活用して小テストに備える。
- 第8回** **【授業テーマ】** 脳・中枢神経疾患で使用する医薬品 (1)
【内容・方法 等】 中枢神経系のはたらきと作用する医薬品について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びニューワークブックを活用して小テストに備える。
- 第9回** **【授業テーマ】** 脳・中枢神経疾患で使用する医薬品 (2)
【内容・方法 等】 てんかんおよびパーキンソン病に用いられる治療薬について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びニューワークブックを活用して小テストに備える。
- 第10回** **【授業テーマ】** 脳・中枢神経疾患で使用する医薬品 (3)
【内容・方法 等】 向精神薬の分類と統合失調症および不安症に用いられる治療薬について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びニューワークブックを活用して小テストに備える。
- 第11回** **【授業テーマ】** 脳・中枢神経疾患で使用する医薬品 (4)
【内容・方法 等】 睡眠薬、抗うつ薬、気分安定化薬および脳血管障害治療薬について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びニューワークブックを活用して小テストに備える。
- 第12回** **【授業テーマ】** 代謝系疾患に使用する医薬品
【内容・方法 等】 痛風および骨疾患に用いられる治療薬について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びニューワークブックを活用して小テストに備える。
- 第13回** **【授業テーマ】** 内分泌系疾患に使用する医薬品
【内容・方法 等】 甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、アジソン病、クッシング症候群および尿崩症に用いられる治療薬について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びニューワークブックを活用して小テストに備える。
- 第14回** **【授業テーマ】** 血液・造血管系疾患に使用する医薬品
【内容・方法 等】 貧血、血栓症、播種性血管内凝固症候群、

血友病および特発性血小板減少症に用いられる治療薬について説明する。

【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びニューワークブックを活用して小テストに備える。

- 第15回 【授業テーマ】 眼・皮膚疾患に使用する医薬品
 【内容・方法等】 褥瘡、アレルギー性皮膚疾患、白内障、緑内障および結膜炎に用いられる治療薬について説明する。
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びニューワークブックを活用して小テストに備える。

評価方法（基準）

定期試験もしくは再試験において、100点満点中60点以上で合格

教材等

教科書…『ナーシング・グラフィカ④ 疾病の成り立ち 臨床薬理学』 MCメディカ出版 (3,400円+税)

『ニューワークブック 薬理-薬理と看護』 医学芸術社 (1,200円+税)

参考書…特になし

学生へのメッセージ

私達が日常の生活で利用している薬剤から関心を持つと楽しく授業を受けられると思います。臨地で薬剤師と意見交換が出来るよう薬物に関する基礎的な知識を身につけましょう。

関連科目

人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ

担当者の研究室等

1号館6階 薬理学研究室

薬物治療学 Pharmacotherapeutics				
吉岡 靖啓 (ヨシオカ ヤスヒロ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

薬理学総論で修得した薬物の作用機序をもとに、各種疾患に対して科学的根拠に基づいた薬物治療を行うための実践的な医薬品の使用方法を学び、医療チームの一員として患者の治療に貢献できる看護師となるために、医薬品を投与した際の患者の管理や観察に必要な知識・技能・態度を身につける。

授業方法と留意点

講義ごとにプリントを配布する。必要に応じて、板書の内容をプリントに記入すること。また、随時、小テストを実施する。プリントは教科書の内容に沿って作成してあるので、教科書の対応範囲を熟読することにより理解を深めること。疑問や質問は授業終了後の教室あるいは空き時間に研究室で受け付けます。

科目学習の効果（資格）

看護師国家試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 病態時の薬物動態
 【内容・方法等】 病態時の薬物動態について概説するとともに、薬物治療を行う上で看護師が注意しなければならないことを看護職経験教員が講義する。
 【事前・事後学習課題】 レポート「病態時の薬物動態と看護上の注意点」の作成・提出
- 第2回 【授業テーマ】 がんの薬物療法1
 【内容・方法等】 消化器がんに対するがん化学療法とその効果について講義する。
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第3回 【授業テーマ】 がんの薬物療法2
 【内容・方法等】 血液がんに対するがん化学療法とその効果、抗がん薬の有害作用とその対策について講義する。
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第4回 【授業テーマ】 がんの薬物療法3
 【内容・方法等】 がん性疼痛に対する薬物療法について抗議する。
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第5回 【授業テーマ】 感染症の薬物療法1
 【内容・方法等】 細菌感染症に対する薬物療法について講義する。
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第6回 【授業テーマ】 感染症の薬物療法2
 【内容・方法等】 ウイルス感染症に対する薬物療法について講義する。
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第7回 【授業テーマ】 感染症の薬物療法3
 【内容・方法等】 真菌症に対する薬物療法、予防接種薬について講義する
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習

- 第8回 【授業テーマ】 救命救急時の薬物療法1
 【内容・方法等】 ショック、過量投与等、救急救命時の薬物療法について講義する。
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第9回 【授業テーマ】 救命救急時の薬物療法2
 【内容・方法等】 麻酔及び輸液について講義する。
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第10回 【授業テーマ】 アレルギー性疾患の薬物療法1
 【内容・方法等】 気管支喘息に対する薬物療法について講義する。
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第11回 【授業テーマ】 アレルギー性疾患の薬物療法2
 【内容・方法等】 関節リウマチに対する薬物療法について講義する。
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第12回 【授業テーマ】 アレルギー性疾患の薬物療法3
 【内容・方法等】 全身性エリテマトーデス、その他アレルギー性疾患に対する薬物療法について講義する。
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第13回 【授業テーマ】 消化器系疾患の薬物療法1
 【内容・方法等】 消化性潰瘍に対する薬物療法について講義する。
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第14回 【授業テーマ】 消化器系疾患の薬物療法2
 【内容・方法等】 腸疾患に対する薬物療法について講義する。
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第15回 【授業テーマ】 消化器系疾患の薬物療法3
 【内容・方法等】 肝臓・胆嚢・膵臓疾患に対する薬物療法について講義する。
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習

評価方法（基準）

小テスト（20%）、定期試験（80%）により総括評価する。レポート提出は必須とする。

教材等

教科書…ナーシング・グラフィカ④ 『疾病の成り立ち-臨床薬理学』 MCメディカ出版 (3,400円+税)

参考書…特になし

学生へのメッセージ

普段からの予習、復習の姿勢を身につけてください。質問は遠慮をせず、気軽に来てください。

関連科目

人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳ、疾病・治療論Ⅰ、Ⅱ、薬理学総論

担当者の研究室等

1号館3階 薬物治療学研究室

備考

薬理学総論と同じ教科書を使用します。

カウンセリング論 Counseling				
宮川 貴美子 (ミヤガワ キミコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

臨床現場で役に立つカウンセリングの基礎理論と技法を学び、援助的なコミュニケーションとは何かを考える力を育てることを目的とする。ここではカウンセリングの基本となる「きくこと」の援助的な意味を学び、カウンセリングの対話と日常的対話の違いを理解することを目指すものである。これら講義による知的理解に加えて、「聴く・聴いてもらう」「聴く・語る」という自らの体験実習と、さまざまな映像資料を通して、援助的対話のあり方とは何か、カウンセリングの基本的要素である「傾聴」を学び、カウンセリングについての理解を深めていく。

授業方法と留意点

授業はプリントを使用して講義形式により行うとともに、補助的に映像資料を用いたり、さまざまな実習（実習1～実習8）を行う予定である。講義による知的理解に加えて、これらの実習を通して受講生それぞれの体験的理解を目指している。実習では、ペアやグループでの作業が多くなるので、受講生の主体的な参加が求められる。また実習の体験をもとにレポートが課されるので、欠席・遅刻をするとレポートの作成ができないだけでなく他のメンバーへも迷惑をかけることになる。したがって、やむをえない場合を除き、原則として欠席・遅刻は認めない。授業中に数回、宿題レポートを提出してもらう予定である。レポートの提出期限については、指定の日時を厳守すること。期日を過ぎたものについては、いかなる理由であっても受け付けない（ただし学校感染症などによる欠席の場合は、公的な証明書類の提出をもって考慮する）。毎回、授業の最後に講義を受けて気づいたこと、感じたこと、考えたこと、疑問に思うこと、講師への質問などを自由にま

める「コメントカード」を提出してもらい、書かれた内容について次回の授業の中で、教員から全体へ向けてのフィードバックを行う。この「コメントカード」の提出は「授業への積極的関与度」をはかる指標とするとともに、学生と教員との双方向コミュニケーションをめざすものである。

科目学習の効果（資格）

看護の現場で役に立つカウンセリング的態度と技法を学ぶことができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** オリエンテーション：カウンセリングとは
【内容・方法 等】 ・授業のねらいと授業概要の概説。
 ・カウンセリングとは何かを考えるきっかけをつくる（実習1）
【事前・事後学習課題】 授業内容をふりかえって、次回の授業に備えましょう。
- 第2回 **【授業テーマ】** 心理療法の歴史
【内容・方法 等】 心理療法の歴史と理論を概観する。
【事前・事後学習課題】 授業内容を整理して、理解を深めましょう。
- 第3回 **【授業テーマ】** 心理療法とカウンセリング
【内容・方法 等】 ・心理臨床における心理療法とカウンセリング
 ・心理療法の構造
【事前・事後学習課題】 授業内容を整理して、理解を深めましょう。
- 第4回 **【授業テーマ】** 対人援助の方法としてのカウンセリング
【内容・方法 等】 ・対人援助としてのカウンセリングの意味
 ・援助的なコミュニケーションとは何か（実習2）
【事前・事後学習課題】 講義内容を整理するとともに、実習を通して感じたこと、気付いたこと、考えたことをまとめておきましょう。
- 第5回 **【授業テーマ】** カウンセリングにおける応答のあり方
【内容・方法 等】 ・カウンセリング場面の実際を知る
 ・援助的な応答とは何かを考えるきっかけを作る（実習3）
【事前・事後学習課題】 講義内容を整理するとともに、実習を通して感じたこと、気付いたこと、考えたことをまとめておきましょう。
- 第6回 **【授業テーマ】** カウンセリングにおける援助の技法
【内容・方法 等】 ・カウンセリングの方法論
 ・カウンセリングの目的
 ・基本的なカウンセリング技法
 ・共感とは
【事前・事後学習課題】 授業内容を整理して、理解を深めましょう。
- 第7回 **【授業テーマ】** クライアント中心療法
【内容・方法 等】 C.R.ロジャーズの理論を学ぶ
【事前・事後学習課題】 授業内容を整理して、理解を深めましょう。
- 第8回 **【授業テーマ】** カウンセリングの実際
【内容・方法 等】 映像資料を通して、カウンセリングの理論と技法の理解を深める。
【事前・事後学習課題】 授業内容を整理して、理解を深めましょう。
- 第9回 **【授業テーマ】** 援助的なコミュニケーションとは
【内容・方法 等】 コミュニケーション実習（実習4、実習5、実習6）を通して、カウンセリングについて体験的に理解する。
【事前・事後学習課題】 講義内容を整理するとともに、実習を通して感じたこと、気付いたこと、考えたことをまとめておきましょう。
- 第10回 **【授業テーマ】** 「聴く」ことを考える
【内容・方法 等】 ・自分の聴き方の特徴に気づく
 ・傾聴の意義について考える（実習7）
【事前・事後学習課題】 講義内容を整理するとともに、実習を通して感じたこと、気付いたこと、考えたことをまとめておきましょう。
- 第11回 **【授業テーマ】** カウンセリングにおけるラポールと転移・逆転移
【内容・方法 等】 ・ラポールとは
 ・転移・逆転移とは
【事前・事後学習課題】 授業内容を整理して、理解を深めましょう。
- 第12回 **【授業テーマ】** カウンセリングのロールプレイ
【内容・方法 等】 クライアント役とカウンセラー役を体験してみる（実習8）。
【事前・事後学習課題】 実習を通して感じたこと、気付いたこと、考えたことをまとめておきましょう。
- 第13回 **【授業テーマ】** カウンセリングの実践
【内容・方法 等】 資料映像を通して、終末期にある人に対する援助的コミュニケーションのあり方を考える。
【事前・事後学習課題】 終末期を生きるということの意味を考えてみましょう。
- 第14回 **【授業テーマ】** 看護師のメンタルヘルス
【内容・方法 等】 ・メンタルヘルスとは何か

- ・ストレスコーピング
- ・看護師のメンタルヘルスの必要性

【事前・事後学習課題】 自分のメンタルヘルスについて考えてみましょう。

第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法 等】 授業全体をふりかえる
【事前・事後学習課題】 授業全体をふりかえって整理し、期末試験に備えましょう。

評価方法（基準）

期末試験の成績（60％）とレポートの評価および授業への積極的関与度（40％）をもって、総合的に評価する。
 上記の「授業方法と留意点」にあるように、毎回の授業の最後には「コメントカード」の提出があり、コメントカードの内容で授業への積極的な関与の程度を判断する。

教材等

教科書…指定しない。
参考書…青木紀久代編著『カラー版徹底図解 臨床心理学 フロイトの理論から現代の臨床例まで』、新星出版社、2010年。
 ／河合隼雄著『カウンセリングの実際問題』、誠信書房、1970年。
 その他の参考文献等は授業中に紹介する。
 また、講義内容に応じて、資料を配布する。

学生へのメッセージ

カウンセリング論は実践の学である。したがって知的な理解だけでは臨床の現場では役に立たないとの観点から、この授業では講義による知的理解に加えて、さまざまな実習が用意されている。実習に対しては主体的に参加するとともに、この授業を通して看護師としての対人援助のあり方について考えてみることに。

関連科目

臨床心理学

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

臨床心理学 Clinical Psychology				
宮川 貴美子 (ミヤガワ キミコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

臨床心理学は、心の病（症状・問題行動・病的体験）を抱える人に対する援助、その改善・解決を考える実践の学である。本講義では、心の病とは何か、そして心の病を抱える人をどのように援助するかを学び、理解する。他者援助のあり方を考える上で役に立つ臨床心理学の基礎的理論を学習する。これら臨床心理学的知見から、人が人を深く理解するということの意味を考える。
 講義は主として以下の3つの柱で構成される。
 ①臨床心理学が対象とする心の諸問題と、これらをめぐる現代のトピックスを取り上げる。
 ②心理アセスメントの意義と方法およびその実際を学ぶ。
 ③心理臨床の実践として様々な心理療法を紹介する。
 この授業の到達目標は以下の4つである。
 ・臨床心理学の基礎を理解することができる。
 ・臨床心理学が対象とするさまざまな心の問題を学ぶことができる。
 ・心理アセスメントの基本を学び、理解することができる。
 ・心理療法の基本を学び、さまざまな心理療法の理論と実際を知ることができる

授業方法と留意点

授業はプリントを使用して主に講義形式により行う。補助的に映像資料を用いたり、簡単な実習的要素も取り入れて講義内容の理解を深める。
 授業中に数回、レポートを提出してもらう予定である。レポートの提出期限については、指定の日時を厳守すること。期日を過ぎたものについては、いかなる理由であっても受け付けない（ただし学校感染症などによる欠席の場合は、公的な証明書類の提出をもって考慮する）。
 毎回、授業の最後に講義を受けて気づいたこと、感じたこと、考えたこと、疑問に思うこと、講師への質問などを自由にまとめる「コメントカード」を提出してもらい、書かれた内容について次回の授業の中で、教員から全体へ向けてのフィードバックを行う。この「コメントカード」の提出は「授業への積極的関与度」をはかる指標とするとともに、学生と教員との双方向コミュニケーションをめざすものである。

科目学習の効果（資格）

臨床心理学的知見をもとに、看護の現場で役に立つ「人を深く理解する」構えを養い、心理的問題を抱える対象者とその家族に対するよりよい援助を考えることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 はじめに～オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業全体のねらいと授業概要などの概説。臨床心理学が対象とする「こころ」について考えるきっかけを作る（実習1）
【事前・事後学習課題】 「こころ」とはいったい何か。一度自分で問うてみましょう。
- 第2回** 【授業テーマ】 臨床心理学とは何か
【内容・方法 等】 ・「心が病む」ということ
・臨床心理学の歴史
【事前・事後学習課題】 「悩む」と「心が病む」ということについて考えてみましょう。
- 第3回** 【授業テーマ】 心をめぐる諸理論—フロイト、ユングの考え方
【内容・方法 等】 ・心の構造、無意識について
・精神分析
・分析心理学
【事前・事後学習課題】 フロイトとユングの考え方の違いを理解しましょう。
- 第4回** 【授業テーマ】 臨床心理学が対象とする心の問題と現代のトピックス<1>精神病レベル
【内容・方法 等】 ・うつ病
・統合失調症
・事例紹介
【事前・事後学習課題】 授業の内容を整理して、心の問題への理解を深めましょう。
- 第5回** 【授業テーマ】 臨床心理学が対象とする心の問題と現代のトピックス<2>神経症レベル
【内容・方法 等】 ・さまざまな不安障害、心気症、摂食障害など
・事例紹介
【事前・事後学習課題】 授業の内容を整理して、心の問題への理解を深めましょう。
- 第6回** 【授業テーマ】 臨床心理学が対象とする心の問題と現代のトピックス<3>発達障害
【内容・方法 等】 ・発達障害とは：特徴と分類
・発達障害を抱えて生きること
・発達障害を抱える人とその家族への援助のありかた
【事前・事後学習課題】 授業の内容を整理して、心の問題への理解を深めましょう。
- 第7回** 【授業テーマ】 臨床心理学が対象とする心の問題と現代のトピックス<4>社会的問題行動とライフサイクルをめぐる問題
【内容・方法 等】 ・不登校、スチューデントアパシーなど
・人格障害
・その他：ライフサイクルをめぐる問題
【事前・事後学習課題】 授業の内容を整理して、心の問題への理解を深めましょう。
- 第8回** 【授業テーマ】 心理アセスメントと心理テスト
【内容・方法 等】 ・心理アセスメントの分類（観察法、面接法、質問紙法、投映法）
・心理テストの実施にあたって
・倫理的問題
【事前・事後学習課題】 授業の内容を整理して、心理アセスメントについての理解を深めましょう。
- 第9回** 【授業テーマ】 心理アセスメントの実際
【内容・方法 等】 ・ハウムテスト
・HTP
・風景構成法
・事例紹介
【事前・事後学習課題】 4Bの黒鉛筆、黒のサインペン、色鉛筆を準備、持参してください。
- 第10回** 【授業テーマ】 カウンセリングと心理療法
【内容・方法 等】 臨床心理学的援助のプロセスを学ぶ
【事前・事後学習課題】 援助的な応答について、考えてみましょう。
- 第11回** 【授業テーマ】 心理療法の理論と実際<1>来談者中心療法、論理療法、ゲシュタルト療法
【内容・方法 等】 ・心理療法の理論を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 授業の内容を整理して、理解を深めましょう。
- 第12回** 【授業テーマ】 心理療法の理論と実際<2>行動療法と認知行動療法
【内容・方法 等】 ・心理療法の理論を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 授業の内容を整理して、理解を深めましょう。
- 第13回** 【授業テーマ】 心理療法の理論と実際<3>さまざまな表現療法
【内容・方法 等】 ・箱庭療法の基本を学ぶ
・さまざまな表現療法の紹介
【事前・事後学習課題】 授業の内容を整理して、理解を深めましょう。
- 第14回** 【授業テーマ】 心理療法の理論と実際<4>箱庭療法の実際
【内容・方法 等】 ・クライエントが制作した箱庭を通して、クライエント理解を深める

- ・映像資料を使って考える
【事前・事後学習課題】 授業の内容を整理して、理解を深めましょう。
- 第15回** 【授業テーマ】 おわりに～まとめ
【内容・方法 等】 授業全体をふりかえる
【事前・事後学習課題】 授業全体をふりかえて整理し、期末試験に備えましょう。

評価方法（基準）
期末試験の成績（70%）とレポートの評価および授業への積極的関与度（30%）をもって、総合的に評価する。上記の「授業方法と留意点」にあるように、毎回の授業の最後には「コメントカード」の提出があり、この内容で授業への積極的な関与の程度を判断する。

教材等
教科書…青木紀久代編著『カラー版徹底図解 臨床心理学 フロイトの理論から現代の臨床例まで』、新星出版社、2010年（ISBN978-4-405-10688-8）。
参考書…参考文献等は適宜、授業中に紹介する。また講義内容に応じて、資料を配付する。

学生へのメッセージ
臨床心理学が対象とする「心をめぐる諸現象（問題・症状）」に対して関心を持って授業に臨むとともに、関連図書にも積極的に触れておくこと。

関連科目
カウンセリング論、家族関係論

担当者の研究室等
1号館2階 非常勤講師室

疾病・治療論 I
Clinical Medicine I

小崎 篤志 (コサキ アツシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

看護において、身体の構造や機能のメカニズム、それらの障害である疾病を理解する事は重要である。本科目は、医学的対応が必要となる成人各期に起り得る疾病を身体の系統臓器別に取り上げ、疾病の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。本科目では、主に呼吸器および循環器疾患に関して講義を行い、これらの基礎知識を修得し、各疾患の患者への的確な観察や看護援助さらには充実した生活を送るための支援が行えるように理解を深める。

授業方法と留意点

下記の授業計画に沿って講義を行う。教科書を中心に液晶プロジェクターを用いて授業を進めるが、その中には初めて目にするような専門用語が多く含まれており、その意味を正確に理解させるには生物学・医化学などのバックグラウンドが必要となる。

授業では、新しい単語の説明や分かりにくい点を板書で説明しながら内容を補足しながら進めて行く。学生の習熟度により、授業の進行スピードの変更並びに、プリント、模型やビデオなどを併用した授業方法も考慮する。

科目学習の効果（資格）

本講義は2年前期の疾病治療論Ⅱとともに各疾患の知識を修得する事により、患者への的確な看護支援が行える基礎となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 疾病・治療論(呼吸器1)
【内容・方法 等】 講義にて呼吸器疾患、主に感染性肺炎の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(1)
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第2回** 【授業テーマ】 疾病・治療論(呼吸器2)
【内容・方法 等】 講義にて呼吸器疾患、主に感染性肺炎の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(2)
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第3回** 【授業テーマ】 疾病・治療論(呼吸器3)
【内容・方法 等】 講義にて呼吸器疾患、主に免疫・アレルギー性肺炎および間質性肺炎の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(1)
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第4回** 【授業テーマ】 疾病・治療論(呼吸器4)
【内容・方法 等】 講義にて呼吸器疾患、主に免疫・アレルギー性肺炎および間質性肺炎の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(2)
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第5回** 【授業テーマ】 疾病・治療論(呼吸器5)
【内容・方法 等】 講義にて呼吸器疾患、主に閉塞性肺炎および肺腫瘍の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法

疾病・治療論II
Clinical Medicine II

小崎 篤志 (コサキ アツシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

看護において、身体の構造や機能のメカニズム、それらの障害である疾病を理解する事は重要である。
本科目は、医学的対応が必要となる成人各期に起り得る疾病を身体の系統臓器別に取り上げ、疾病の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。本科目では、主に血液・膠原病・腎および泌尿器疾患に関して講義を行い、これらの基礎知識を修得し、各疾患の患者への的確な観察や看護援助さらには充実した生活を送るための支援が行えるように理解を深める。

授業方法と留意点

下記の授業計画に沿って講義を行う。教科書を中心に液晶プロジェクターを用いて授業を進めるが、その中には初めて目にするような専門用語が多く含まれており、その意味を正確に理解させるには生物学・医化学などのバックグラウンドが必要となる。

授業では、新しい単語の説明や分かりにくい点を板書で説明しながら内容を補足しながら進めて行く。学生の習熟度により、授業の進行スピードの変更並びに、プリント、模型やビデオなどを併用した授業方法も考慮する。

科目学習の効果(資格)

本講義は1年後期の病理学総論、疾病治療論IIとともに各疾患の知識を修得する事により、患者への的確な看護支援が行える基礎となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 疾病・治療論(呼吸器1)
【内容・方法等】 講義にて呼吸器疾患、主に閉塞性肺疾患および肺腫瘍の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(1)
- 第2回** 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(呼吸器2)
【内容・方法等】 講義にて呼吸器疾患、主に閉塞性肺疾患および肺腫瘍の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(2)
- 第3回** 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(血液1)
【内容・方法等】 講義にて血液疾患、主に赤血球系疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(1)
- 第4回** 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(血液2)
【内容・方法等】 講義にて血液疾患、主に白血球系疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(2)
- 第5回** 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(血液3)
【内容・方法等】 講義にて血液疾患、主に白血球・血液凝固系疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(1)
- 第6回** 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(血液4)
【内容・方法等】 講義にて血液疾患、主に白血球・血液凝固系疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(2)
- 第7回** 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(免疫・膠原病1)
【内容・方法等】 講義にて免疫・膠原病疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(1)
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(免疫・膠原病2)
【内容・方法等】 講義にて免疫・膠原病疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(2)
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(免疫・膠原病3)
【内容・方法等】 講義にて免疫・膠原病疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(3)
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(感染症1)
【内容・方法等】 講義にて感染症疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(1)
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(感染症2)
【内容・方法等】 講義にて感染症疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(2)
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(腎泌尿器1)

- 等について学習する。(1)
- 第6回** 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(呼吸器6)
【内容・方法等】 講義にて呼吸器疾患、主に閉塞性肺疾患および肺腫瘍の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(2)
- 第7回** 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(循環器1)
【内容・方法等】 講義にて循環器疾患、主に虚血性心疾患および不整脈疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(1)
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(循環器2)
【内容・方法等】 講義にて循環器疾患、主に虚血性心疾患および不整脈疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(2)
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(循環器3)
【内容・方法等】 講義にて循環器疾患、主に虚血性心疾患および不整脈疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(3)
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(循環器4)
【内容・方法等】 講義にて循環器疾患、主に先天性心疾患および心臓弁膜症疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(1)
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(循環器5)
【内容・方法等】 講義にて循環器疾患、主に先天性心疾患および心臓弁膜症疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(2)
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(循環器6)
【内容・方法等】 講義にて循環器疾患、主に心筋・心膜疾患および心臓腫瘍疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(1)
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(循環器7)
【内容・方法等】 講義にて循環器疾患、主に心筋・心膜疾患および心臓腫瘍疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(2)
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(循環器8)
【内容・方法等】 講義にて循環器疾患、主に血管疾患および高血圧疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(1)
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(循環器9)
【内容・方法等】 講義にて循環器疾患、主に血管疾患および高血圧疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(2)

評価方法(基準)

合否判定は定期試験を中心に総合判定する。試験には主に客観問題を出題する。講義中の口頭質問等への対応及び授業態度を評価の一部とする。
定期試験(90%)、講義での回答内容など(10%)で最終評価する。

教材等

教科書…萩原誠久 等 監修 『病気がみえる vol.2 循環器』
メディックメディア (3,300円+税)
・滝澤始 等 監修 『病気がみえる vol.4 呼吸器』
メディックメディア (3,200円+税)
参考書…北村聖 編 『臨床病態学1・2・3』 ヌーヴェルヒロ
カワ (各3,000円+税)
福山裕三 / 高杉佑一著 『よくわかる内科』 金原出版
(6,500円+税)
河合忠 他編 『内科学』 朝倉書店 (28,500円+税)

学生へのメッセージ

授業には指定教科書を持参して下さい。

関連科目

病理学総論、疾病治療論II

担当者の研究室等

7号館3階 研究室23 (小崎)

備考

病理学総論、疾病治療論I、疾病治療論IIで同じシリーズの教科書を使用します。

- 【内容・方法等】講義にて腎泌尿器疾患、主に腎疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法について学習する。(1)
- 第13回 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(腎泌尿器2)
- 【内容・方法等】講義にて腎泌尿器疾患、主に腎疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法について学習する。(2)
- 第14回 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(腎泌尿器3)
- 【内容・方法等】講義にて腎泌尿器疾患、主に泌尿器疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法について学習する。(1)
- 第15回 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
【授業テーマ】 疾病・治療論(腎泌尿器4)
- 【内容・方法等】講義にて腎泌尿器疾患、主に泌尿器疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法について学習する。(2)
- 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 評価方法(基準)
合否判定は定期試験を中心に総合判定する。試験には主に客観問題を出題する。講義中の口頭質問等への対応及び授業態度を評価の一部とする。
定期試験(90%)、講義での回答内容など(10%)で最終評価する。
- 教材等
教科書…・滝澤始 等 監修 『病気がみえる vol.4 呼吸器』メディックメディア (3, 200 円+税)
・土屋達行 等 監修 『病気がみえる vol.5 血液』メディックメディア (3, 000 円+税)
・森尾友宏 等 監修 『病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症』メディックメディア (3, 000 円+税)
・『病気がみえる vol.8 腎・泌尿器』メディックメディア (3, 000 円+税)
- 参考書…北村聖 編 『臨床病態学1・2・3』ヌーヴェルヒロカワ (各3,000円+税)
福山裕三 / 高杉佑一著 『よくわかる内科』金原出版 (6,500円+税)
河合忠 他編 『内科学』朝倉書店 (28,500円+税)

学生へのメッセージ

授業には指定教科書を持参して下さい。

関連科目

病理学総論、疾病治療論Ⅱ

担当者の研究室等

7号館3階 研究室23 (小崎)

備考

病理学総論、疾病治療論Ⅰ、疾病治療論Ⅱで同じシリーズの教科書を使用します。

- 【内容・方法等】疫学研究デザイン (1)
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、自分の頭で考えること
- 第4回 【授業テーマ】 介入研究
【内容・方法等】 疫学研究デザイン (2)
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、自分の頭で考えること
- 第5回 【授業テーマ】 バイアスと交絡
【内容・方法等】 偶然誤差、系統誤差、精度、妥当性、交絡、交絡の調整
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、自分の頭で考えること
- 第6回 【授業テーマ】 スクリーニング
【内容・方法等】 検査、感度、特異度、カットオフポイント、ROC曲線
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、自分の頭で考えること
- 第7回 【授業テーマ】 疫学研究と倫理
【内容・方法等】 医学研究と倫理の歴史、日本の薬害の歴史、研究倫理に関する日本法令・指針
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、自分の頭で考えること
- 第8回 【授業テーマ】 統計の基本
【内容・方法等】 データの種類、度数分布、ヒストグラム
【事前・事後学習課題】 情報リテラシーⅡの復習をしていくこと
- 第9回 【授業テーマ】 記述統計 (1)
【内容・方法等】 保健統計 (人口、出生、死亡、様々な統計調査)
【事前・事後学習課題】 公衆衛生学の復習をしていくこと
- 第10回 【授業テーマ】 記述統計 (2)
【内容・方法等】 代表値、散布度、相関
【事前・事後学習課題】 情報リテラシーⅡの復習をしていくこと
- 第11回 【授業テーマ】 確率分布 (1)
【内容・方法等】 正規分布、標準正規分布
【事前・事後学習課題】 情報リテラシーⅡの復習をしていくこと
- 第12回 【授業テーマ】 確率分布 (2)
【内容・方法等】 その他の確率分布
【事前・事後学習課題】 情報リテラシーⅡの復習をしていくこと
- 第13回 【授業テーマ】 母集団の推定
【内容・方法等】 母集団の推定、推定と検定、点推定、区間推定
【事前・事後学習課題】 情報リテラシーⅡの復習をしていくこと
- 第14回 【授業テーマ】 仮説の検定 (1)
【内容・方法等】 平均値の差の検定
【事前・事後学習課題】 情報リテラシーⅡの復習をしていくこと
- 第15回 【授業テーマ】 仮説の検定 (2)
【内容・方法等】 割合の差の検定
【事前・事後学習課題】 情報リテラシーⅡの復習をしていくこと

評価方法(基準)

定期試験60%以上で合格。授業全15回出席が前提。出席の扱いは学生便覧のとおり(「出席状況が好ましくない場合は、単位を認めないことがあります」学生便覧より)。

教材等

教科書…①はじめて学ぶやさしい疫学～疫学への招待～. 日本疫学会. 南江堂. 2012年11月1日. ②やさしい保健統計学 [改訂第5版]. 縣俊彦. 南江堂. 2013年1月1日. 1890円.
参考書…随時紹介する

学生へのメッセージ

授業では、疫学・保健統計を学んでいくうえで最低限必要な理解の枠組みと、その枠組みを理解するうえで最低限必要な知識について講義する。教科書を読むだけでは把握しにくいので、毎回の授業には真剣に臨むこと。
・授業中の私語、教室の出入りは厳禁
・授業中であてられたとき教室にいなかった場合は欠席扱い

関連科目

情報リテラシーⅡ

担当者の研究室等

7号館3階24

備考

なし

疫学・保健統計

Epidemiology and Health Statistics

小堀 栄子 (コボリ エイコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

集団の健康を扱い、人々の健康の維持・増進、そして疾病予防を目指す公衆衛生では、集団の健康や疾病発生に関連する情報の入手とその解析が不可欠である。そうした情報は将来を見通し適切な対策を立てる上でも欠かせない。本講義では、集団の健康や疾病の分布とその関連要因を明らかにする疫学について講義し、その基本的考え方及び方法について学ぶ。また、疫学で用いられる統計とその基礎について学び、日本人の健康を表す人口・出生・死亡に関わる保健統計の理解も深める。

授業方法と留意点

講義と演習を組み合わせ、理解を深める。

科目学習の効果(資格)

疫学および保健統計を含む統計学の基本を学び、疾病予防の背景にある科学的な根拠およびその意味が理解できるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 疫学の概要
【内容・方法等】 疫学の考え方、歴史
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、自分の頭で考えること
- 第2回 【授業テーマ】 疫学指標
【内容・方法等】 割合、比、率、罹患率、有病率、相対リスク、寄与リスク
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、自分の頭で考えること
- 第3回 【授業テーマ】 観察研究

保健医療福祉行政論 Health and Welfare Administration				
小堀 栄子 (コボリ エイコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
日本の公衆衛生を向上させ、国民の健康を守ってきたのが保健医療福祉行政とその制度である。本講義ではこうした保健医療福祉行政とその制度や仕組みについて学ぶ。また、保健、医療、福祉が連携して展開されている現状について講義する。

授業方法と留意点
講義と事例検討を行う。
科目学習の効果（資格）
保健医療福祉行政とその制度・仕組みについて学び、保健、医療、福祉が連携して行われる現状について総合的に理解する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 保健医療福祉行政の概要と変遷
【内容・方法等】 行政の仕組み、機能、歴史
【事前・事後学習課題】 ・1年次に学習した地域看護学、公衆衛生学との関連を考えながら随時復習すること
・新聞やテレビの関連ニュースに留意すること
- 第2回** 【授業テーマ】 社会保障制度 (1)
【内容・方法等】 社会保障制度の概要と医療制度
【事前・事後学習課題】 ・1年次に学習した地域看護学、公衆衛生学との関連を考えながら随時復習すること
・新聞やテレビの関連ニュースに留意すること
- 第3回** 【授業テーマ】 社会保障制度 (2)
【内容・方法等】 社会福祉制度 (1) 年金
【事前・事後学習課題】 ・1年次に学習した地域看護学、公衆衛生学との関連を考えながら随時復習すること
・新聞やテレビの関連ニュースに留意すること
- 第4回** 【授業テーマ】 社会保障制度 (3)
【内容・方法等】 社会福祉制度 (2) 公的扶助
【事前・事後学習課題】 ・1年次に学習した地域看護学、公衆衛生学との関連を考えながら随時復習すること
・新聞やテレビの関連ニュースに留意すること
- 第5回** 【授業テーマ】 地域保健 (1)
【内容・方法等】 地域ケアシステム
【事前・事後学習課題】 ・1年次に学習した地域看護学、公衆衛生学との関連を考えながら随時復習すること
・新聞やテレビの関連ニュースに留意すること
- 第6回** 【授業テーマ】 地域保健 (2)
【内容・方法等】 情報公開と個人情報保護
【事前・事後学習課題】 ・1年次に学習した地域看護学、公衆衛生学との関連を考えながら随時復習すること
・新聞やテレビの関連ニュースに留意すること
- 第7回** 【授業テーマ】 地方自治体の保健医療福祉行政 (1)
【内容・方法等】 地域保健医療福祉の計画
【事前・事後学習課題】 ・1年次に学習した地域看護学、公衆衛生学との関連を考えながら随時復習すること
・新聞やテレビの関連ニュースに留意すること
- 第8回** 【授業テーマ】 地方自治体の保健医療福祉行政 (2)
【内容・方法等】 地域保健医療福祉の評価
【事前・事後学習課題】 ・1年次に学習した地域看護学、公衆衛生学との関連を考えながら随時復習すること
・新聞やテレビの関連ニュースに留意すること
- 第9回** 【授業テーマ】 事例から学ぶ保健医療福祉行政 (1)
【内容・方法等】 事例に基づくグループ学習 (1)
【事前・事後学習課題】 ・1年次に学習した地域看護学、公衆衛生学との関連を考えながら随時復習すること
・新聞やテレビの関連ニュースに留意すること
- 第10回** 【授業テーマ】 事例から学ぶ保健医療福祉行政 (2)
【内容・方法等】 事例に基づくグループ学習 (2)
【事前・事後学習課題】 ・1年次に学習した地域看護学、公衆衛生学との関連を考えながら随時復習すること
・新聞やテレビの関連ニュースに留意すること
- 第11回** 【授業テーマ】 事例発表 (1)
【内容・方法等】 事例 (1) (2) の発表(グループ)
【事前・事後学習課題】 ・1年次に学習した地域看護学、公衆衛生学との関連を考えながら随時復習すること
・新聞やテレビの関連ニュースに留意すること
- 第12回** 【授業テーマ】 事例から学ぶ保健医療福祉行政 (3)
【内容・方法等】 事例に基づくグループ学習 (3)
【事前・事後学習課題】 ・1年次に学習した地域看護学、公衆衛生学との関連を考えながら随時復習すること
・新聞やテレビの関連ニュースに留意すること
- 第13回** 【授業テーマ】 事例から学ぶ保健医療福祉行政 (4)
【内容・方法等】 事例に基づくグループ学習 (4)
【事前・事後学習課題】 ・1年次に学習した地域看護学、公衆衛生学との関連を考えながら随時復習すること
・新聞やテレビの関連ニュースに留意すること

- 第14回** 【授業テーマ】 事例発表 (2)
【内容・方法等】 事例 (3) (4) の発表(グループ)
【事前・事後学習課題】 ・1年次に学習した地域看護学、公衆衛生学との関連を考えながら随時復習すること
・新聞やテレビの関連ニュースに留意すること
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 復習とまとめ
【事前・事後学習課題】 ・1年次に学習した地域看護学、公衆衛生学との関連を考えながら随時復習すること
・新聞やテレビの関連ニュースに留意すること

評価方法（基準）
定期試験60%以上で合格。授業全15回出席が前提。出席の扱いは学生便覧のとおり（「出席状況が好ましくない場合は、単位を認めないことがあります」学生便覧より）。

教材等
教科書…教科書：保健医療福祉行政論（最新保健学講座）メヂカルフレンド社；第3版（2013/2）野村 陽子（編集）
参考書…①衛生行政大要。改訂第23版。日本公衆衛生協会。平成24年3月20日。②国民の福祉の動向 2011/2012。厚生労働統計協会（編集）。2011。③保健医療福祉システム入門。田村誠。医学書院。2004/12。

学生へのメッセージ
・授業では、保健医療福祉行政論を学んでいくうえで最低限必要な理解の枠組みと、その枠組みを理解するうえで最低限必要な知識について講義する。教科書を読むだけではわかりにくいので、毎回の授業には真剣に臨むこと。
・授業中の私語、教室の出入りは厳禁
・授業中にあてられたとき教室にいなかった場合は欠席扱い

関連科目
地域看護学、公衆衛生学
担当者の研究室等
7号館3階24
備考
なし

公衆衛生学 Introduction to Public Health				
小堀 栄子 (コボリ エイコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
産業が発達して都市に人口が集中し始めた18世紀に、人々の健康を集団の健康問題として対処すべき必要性から生まれた。そこでは個人ではなく集団や社会を対象とした健康問題の把握・対処方法がとられ、領域も環境、地域、産業、学校など多岐にわたる。本講義では、公衆衛生の歴史、日本人の健康問題の変化と現状、及び各領域の公衆衛生について取り上げる。また、社会の変化に伴って、現在の公衆衛生制度が抱える課題について考察する。

授業方法と留意点
講義中心。視聴覚教材も用いる。
科目学習の効果（資格）
私たちの健康に影響を与える環境や社会を理解し、公衆衛生の取り組みを有機的に理解する。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 公衆衛生とは
【内容・方法等】 公衆衛生の歴史と概要
【事前・事後学習課題】 授業に出席して話しをよく聴くこと。
授業で出てきた内容と関連のある新聞記事などに目を通すこと。
- 第2回** 【授業テーマ】 保健統計
【内容・方法等】 健康指標と人口統計
【事前・事後学習課題】 授業に出席して話しをよく聴くこと。
授業で出てきた内容と関連のある新聞記事などに目を通すこと。
- 第3回** 【授業テーマ】 疫学
【内容・方法等】 集団の疾病をとらえる
【事前・事後学習課題】 授業に出席して話しをよく聴くこと。
授業で出てきた内容と関連のある新聞記事などに目を通すこと。
- 第4回** 【授業テーマ】 疾病予防と健康管理
【内容・方法等】 予防医学の考え方
【事前・事後学習課題】 授業に出席して話しをよく聴くこと。
授業で出てきた内容と関連のある新聞記事などに目を通すこと。
- 第5回** 【授業テーマ】 感染症と予防
【内容・方法等】 感染症の疫学と予防
【事前・事後学習課題】 授業に出席して話しをよく聴くこと。
授業で出てきた内容と関連のある新聞記事などに目を通すこと。

- こと。
- 第6回 【授業テーマ】 慢性疾患と予防
【内容・方法等】 慢性疾患の疫学と予防
【事前・事後学習課題】 授業に出席して話をよく聴くこと。授業で出てきた内容と関連のある新聞記事などに目を通すこと。
- 第7回 【授業テーマ】 環境保健
【内容・方法等】 環境が健康に及ぼす影響
【事前・事後学習課題】 授業に出席して話をよく聴くこと。授業で出てきた内容と関連のある新聞記事などに目を通すこと。
- 第8回 【授業テーマ】 地域保健
【内容・方法等】 地域保健のしくみ
【事前・事後学習課題】 授業に出席して話をよく聴くこと。授業で出てきた内容と関連のある新聞記事などに目を通すこと。
- 第9回 【授業テーマ】 母子保健
【内容・方法等】 母子保健の現状と課題
【事前・事後学習課題】 授業に出席して話をよく聴くこと。授業で出てきた内容と関連のある新聞記事などに目を通すこと。
- 第10回 【授業テーマ】 学校保健
【内容・方法等】 子どもの健康と学校保健
【事前・事後学習課題】 授業に出席して話をよく聴くこと。授業で出てきた内容と関連のある新聞記事などに目を通すこと。
- 第11回 【授業テーマ】 産業保健
【内容・方法等】 勤労者の労働災害と健康
【事前・事後学習課題】 授業に出席して話をよく聴くこと。授業で出てきた内容と関連のある新聞記事などに目を通すこと。
- 第12回 【授業テーマ】 高齢者の健康と福祉
【内容・方法等】 高齢期の健康と福祉
【事前・事後学習課題】 授業に出席して話をよく聴くこと。授業で出てきた内容と関連のある新聞記事などに目を通すこと。
- 第13回 【授業テーマ】 精神保健
【内容・方法等】 精神障害の現状と保健福祉
【事前・事後学習課題】 授業に出席して話をよく聴くこと。授業で出てきた内容と関連のある新聞記事などに目を通すこと。
- 第14回 【授業テーマ】 保健医療制度
【内容・方法等】 日本の保健医療制度と法規
【事前・事後学習課題】 授業に出席して話をよく聴くこと。授業で出てきた内容と関連のある新聞記事などに目を通すこと。
- 第15回 【授業テーマ】 国際保健
【内容・方法等】 世界の健康・日本の健康
【事前・事後学習課題】 授業に出席して話をよく聴くこと。授業で出てきた内容と関連のある新聞記事などに目を通すこと。

評価方法 (基準)

定期試験60%以上で合格。授業全15回出席が前提。出席の扱いは学生便覧のとおり(「出席状況が好ましくない場合は、単位を認めないことがあります」学生便覧より)。

教材等

教科書…シンプル衛生公衆衛生学 2013 (例年、3月上・中旬に発行)。南江堂。
参考書…国民衛生の動向 2012/2013 (例年、8月31日に発行予定)。厚生労働統計協会。
・図説 国民衛生の動向 2012/2013 (例年、10月31日に発行)。厚生労働統計協会。

学生へのメッセージ

- ・授業では、公衆衛生学を学んでいくうえで最低限必要な理解の枠組みと、その枠組みを理解するうえで最低限必要な知識について講義する。教科書を読むだけではわかりにくいので、毎回の授業には真剣に臨むこと。
- ・授業中の私語、教室の出入りは厳禁
- ・授業中にあてられたとき教室にいなかった場合は欠席扱い。

関連科目

保健医療福祉行政論

担当者の研究室等

7号館3階24

備考

なし

家族関係論

Family Relationship

南野美穂 (ナンノ ミホ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本科目ではまず、個人の対人関係の持ち方と、ライフサイクルの中でその発達を学ぶ。つぎに、社会の中で家族の機能がどのように変遷してきたかを概観し、現代の社会、家族、個人の関係について、講義とディスカッションを通して多角的に理解を深めていく。また、何らかの困難をもつ個人の家族を対象とした具体的な介入方法についても実践的に身につける。これらを通じて、対人援助の対象である個人と、個人の背景としての家族をアセスメントし、適切に介入する力の基礎を養成する。

授業方法と留意点

講義を中心とし、時々グループディスカッションを取り入れる予定である。教科書使用。その他、特別に必要なものがあれば授業中に伝える。質問時間は授業中に設ける。

科目学習の効果 (資格)

援助専門職として、患者、患者の家族に関わる際の心理的援助の基礎を学ぶことができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 家族を考える
【内容・方法等】 オリエンテーション。各自が持つ家族イメージを言語化し、ディスカッションを通して家族について考える。
【事前・事後学習課題】 事前学習：なし
事後学習：ディスカッション内容の整理
- 第2回 【授業テーマ】 対人関係の生涯発達 (1) 乳児期
【内容・方法等】 家族の中で育まれる対人関係の基礎的構えについて学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前学習：なし
事後学習：講義内容の整理
- 第3回 【授業テーマ】 対人関係の生涯発達(2) 幼児期以降
【内容・方法等】 いくつかの発達論を概観し、生涯にわたる対人関係の課題と発達を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前学習：なし
事後学習：講義内容の整理
- 第4回 【授業テーマ】 家族の概念
【内容・方法等】 教科書第1章を中心に、日本における家族の概念を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前学習：教科書第1章の通読
事後学習：講義内容の整理
- 第5回 【授業テーマ】 現代の家族
【内容・方法等】 教科書第4章を中心に、現代の家族の多様化と単一化について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前学習：教科書第4章の通読
事後学習：講義内容の整理
- 第6回 【授業テーマ】 夫婦関係
【内容・方法等】 教科書第2章を中心に、婚姻、夫役割、妻役割、また、子育ての様相について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前学習：教科書第2章の通読
事後学習：講義内容の整理
- 第7回 【授業テーマ】 親子関係
【内容・方法等】 教科書第3章を中心に、親子関係の諸相、親役割、祖父母役割について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前学習：教科書第3章の通読
事後学習：講義内容の整理・第1回～6回の学習をふまえた小レポート
- 第8回 【授業テーマ】 関係に困難を抱える子どもたち
【内容・方法等】 発達障害を持つ子どもの特性を学び、関係発達に困難を持つ子どもを育てる場合の家族形成を考える。
【事前・事後学習課題】 事前学習：なし
事後学習：なし
- 第9回 【授業テーマ】 ベアレント・トレーニング
【内容・方法等】 ADHDの子どもをもつ親への具体的援助法を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前学習：第8回の授業時に配布する
事後学習：授業時に伝える
- 第10回 【授業テーマ】 臨床心理学的家族理解(1) 家族機能
【内容・方法等】 家族のもつ機能について、心理面から理解する。
【事前・事後学習課題】 事前学習：なし
事後学習：講義内容の整理
- 第11回 【授業テーマ】 臨床心理学的家族理解(2) 親子
【内容・方法等】 家族の機能不全と児童虐待について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前学習：なし
事後学習：講義内容の整理
- 第12回 【授業テーマ】 臨床心理学的家族理解(3) 夫婦・兄弟・高齢者と家族
【内容・方法等】 家族の機能不全と、個人の問題との関係を

理解する。

【事前・事後学習課題】 事前学習：なし
事後学習：講義内容の整理

第13回 **【授業テーマ】** 患者の家族の心理(1)
【内容・方法等】 フィクションを題材とし、患者の家族の心理について考えていく。

【事前・事後学習課題】 事前学習：なし
事後学習：授業で扱ったテーマについて考察する

第14回 **【授業テーマ】** 患者の家族の心理 (2)
【内容・方法等】 フィクションを題材とし、患者の家族への支援について考えていく。

【事前・事後学習課題】 事前学習：第13回の内容を整理しておく
事後学習：授業中に指示する

第15回 **【授業テーマ】** 対人援助職の家族支援
【内容・方法等】 家族を支援する具体的方法のいくつかを概観する。

【事前・事後学習課題】 事前学習：教科書第6章の通読
事後学習：講義内容の整理

評価方法(基準)
中間レポート(20%)、授業中の課題提出(20%)、定期試験(60%)を目安として総合評価する。

教材等
教科書…『家族論・家族関係論 系統看護学講座』 医学書院 (2,000円+税)
参考書…服部祥子 『人を育む人間関係論』 医学書院 (1,800円+税)
岩坂英巳・中田洋二郎・井潤知美 編著 『AD/HDのペアレント・トレーニングガイドブック』 じほう (1,800円+税)

学生へのメッセージ
知識をもとに考えることを大切にしていきたいと思います。積極的に参加してください。

関連科目
臨床心理学 カウンセリング論

担当者の研究室等
1号館2階 非常勤講師室

医療経済論 Healthcare Economics				
田井 義人(タイ ヨシヒト)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
【参考】 設置認可申請「授業科目の概要」
医療における課題を経済学的に考察し、医療サービスの供給体制、制度及び医療機関の経営問題に関わる考察を行い、看護職に求められる経済学的視点を修得する。看護職となるに当たって保健・医療・福祉における経済面・経営面に関する社会常識としての知識を修得する。報酬制度として収入が規定されており、一般の企業における売上とは異なる収入体系とその制度の必要性について認識・理解した上で適正なコスト意識と業務改善意識を持って看護業務に従事できることを目標とする。

授業方法と留意点
看護職に求められる経済学視点について講義する。診療報酬制度に基づく報酬の支払いを中心に経済学による需要と供給の価格決定プロセスを比較しながら考察する。医療における財・サービスの交換システムの特殊性に焦点を置きながら、多くの看護職が勤務する病院での現状と課題について講義する。後半は、看護職の管理的立場において求められる考え方について講義する。

科目学習の効果(資格)
看護専門職の科目だけでなく、就職・勤務にむけた経済社会の財・サービス交換活動への経済学的思考の修得を目的とする。経済理論だけでなく実際の組織において必要とされる看護職の今後の課題に対する政策構築に関する考察についても考慮したいと考えている。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** 経済学からみた看護サービス
【内容・方法等】 経済活動と医療経済との違いについて講義する。
【事前・事後学習課題】 第I章

第2回 **【授業テーマ】** 社会経済環境の変化と看護師雇用の現状
【内容・方法等】 変化に伴う看護師の環境と雇用関係について講義する。
【事前・事後学習課題】 第II章

第3回 **【授業テーマ】** 診療報酬制度がもたらす影響1
【内容・方法等】 看護師が他職種の業務を担うメカニズムについて講義する。

【事前・事後学習課題】 第III章

第4回 **【授業テーマ】** 診療報酬制度がもたらす影響2
【内容・方法等】 看護師の技能評価を妨げるメカニズムについて講義する。

【事前・事後学習課題】 第IV章

第5回 **【授業テーマ】** 看護師の労働供給
【内容・方法等】 看護師の労働力提供の体系について説明する。その主な原因である結婚と出産・育児について講義する。
【事前・事後学習課題】 第V章

第6回 **【授業テーマ】** 看護師の労働需要と市場構造
【内容・方法等】 労働市場における搾取と労働力不足について講義する。
【事前・事後学習課題】 第VI章

第7回 **【授業テーマ】** 人的資本論から検証する労働条件格差
【内容・方法等】 看護師間で生じている賃金格差の状況を確認した上で、その格差を、教育やトレーニングにより養成される技能の差異をもって説明する「人的資産」の視点から講義する。
【事前・事後学習課題】 第VII章

第8回 **【授業テーマ】** 市場の階層性が生み出す賃金格差
【内容・方法等】 日本における看護師の労働市場構造において、人的投資の機会費用をはじめとして看護師の賃金を決める要因は何か、看護師の賃金決定メカニズムについて講義する。
【事前・事後学習課題】 第VIII章

第9回 **【授業テーマ】** 職務価値からみた賃金格差
【内容・方法等】 賃金格差を説明するもう1つの分析視角、「職務価値」と看護師の賃金との関係について講義する。
【事前・事後学習課題】 第IX章

第10回 **【授業テーマ】** 看護師の雇用政策とインパクト
【内容・方法等】 看護師の労働市場にどのような影響を及ぼしそして雇用にどう影響を与えたのかについて講義する。
【事前・事後学習課題】 第X章

第11回 **【授業テーマ】** よりよい看護を実現するために
【内容・方法等】 看護師の働きが、そして技能が正当に評価され、消費者である患者に対してよりよい看護サービスを生産し、それをどのように提供していくかについて講義する。
【事前・事後学習課題】 第XI章

第12回 **【授業テーマ】** 習熟度試験(予定)
【内容・方法等】 講義時間内に論述形式での中間試験を行う。
【事前・事後学習課題】 これまでの配布資料、教科書のみ持込可。

第13回 **【授業テーマ】** 看護管理職の備えるべき視点1
【内容・方法等】 「看護部長の基本事務、変化への対応力、看護部長の組織管理、マネジメント技法への関心度、専門看護職と組織改革、看護部門の組織文化」について講義する。
【事前・事後学習課題】 「病院のDON Director Of Nursing」 Chapter 2, 3, 4

第14回 **【授業テーマ】** 看護管理職の備えるべき視点2
【内容・方法等】 「変革期の人材マネジメント、看護政策対応力、院内看護政策力、情報マネジメント、コミュニケーション、看護業務の変化、苦情対応のマネジメント、組織フレームワークの再検討」について講義する。
【事前・事後学習課題】 「病院のDON Director Of Nursing」 Chapter 9, 11, 12

第15回 **【授業テーマ】** 看護管理職の備えるべき視点3
【内容・方法等】 「コスト意識と金銭感覚、看護情報提供と看護連携、看護業務の電子化、病院統治力」について講義する。
【事前・事後学習課題】 「病院のDON Director Of Nursing」 Chapter 3 2, 3 4, 3 5

評価方法(基準)
習熟度試験あるいはレポートや定期試験(70%)および受講態度(30%)で総合的に評価する。

教材等
教科書…角田由佳『看護師の働き方を経済学から読み解く』医学書院 (3,200円+税)
小林秀夫『病院のDON 看護管理で病院がよみがえる』医学書院 (2,600円+税)
参考書…適宜指示する。

学生へのメッセージ
専門職になるための科目の修得は、国家資格取得も含め必須である。しかし、卒業後、多くの看護職が勤務する病院や福祉施設の運営は、公的な補助があるものの経済学の考え方に基づいて運営されている。少子高齢化社会の到来に向けて、これからの看護職は、社会的な知識(経済学等の社会科学科目)も必要とされる。本講義は、そのための基礎的な考え方の習得を目指す。

関連科目
労働経済学、ミクロ経済学、経営学

担当者の研究室等
寝屋川キャンパス1号館7階 田井准教授室(経済学部)

備考
社会科学分野である経済学、経営学による分析内容について、

看護職の視点から説明する。

看護学概論 Introduction to Nursing

田中結華(タナカ ユカ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

初学者が看護学を学ぶ導入とし、基礎となる看護の基本的概念を学び、その後の看護学を発展させる基盤を形成する。看護の歴史を振り返り、看護の本質を探究し、保健医療システムとチーム医療における看護の役割を学ぶ。看護の倫理と法的責任を知ることで、看護職者に必要な態度や社会的責任について考える。看護の現場と看護の機能を知ることを通じて、看護の対象である人々への健康支援へのアプローチの概略を学ぶ。また、様々な看護理論を理解することで、自身の看護観を発展させる基礎的能力を培う。

授業方法と留意点

下記の授業計画に沿って講義を行う。新入生を看護学の世界へ導き、今後の学習を動機づけるため、多くの写真、新聞記事や、闘病記などの患者の手記、現場のエピソードを活用して具体的なイメージを提示する。授業では教科書を用いるが、最新の情報やトピックスを提供するため、配付資料も適宜追加する。授業ではパワーポイント等を用い、液晶プロジェクターで投影しながら講義を行うが、要点やポイントを自分で把握し、ノートやメモをとることも必ず行うこと。また、毎回学生の意見を求めたいと考えている。積極的な発言し、大学生として学ぶ態度で授業に参加していただきたい。座席は指定する。私語や遅刻、途中の出入り、授業に関係のない行為(スマホを操作するなど)は慎むこと。なお、毎回、授業の最後に小レポートを提出する。授業計画は学習の進捗状況によって調整することがあるが、その際は授業で説明を行う。

科目学習の効果(資格)

すべての看護学を学ぶ導入となり、皆さんのキャリアデザインを行うための基礎となる授業科目で、必須科目となっています。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 授業ガイダンス、看護とは何か

【内容・方法等】 授業ガイダンスで授業計画、評価方法等の詳細について説明する。看護及び看護学とは何かについて概観する。

【事前・事後学習課題】 事前課題：テキストの目次にどのような項目があるかを確認してきて下さい。
事後課題：テキストの第1章を読み返し、看護概念がどのように発展してきたかを復習して下さい。

第2回 【授業テーマ】 看護の基本的概念(1)：人間および環境

【内容・方法等】 看護における基本的概念のうち、人間及び環境を理解する。

【事前・事後学習課題】 事前課題：テキストの第3章を読んで来て下さい。
事後課題：授業で学んだ人間の発達課題や対処機制等重要キーワードについて整理しておいて下さい。

第3回 【授業テーマ】 看護の基本的概念(2)：健康

【内容・方法等】 看護における健康の概念を理解する。

【事前・事後学習課題】 事前課題：テキストの第4章を読んで来て下さい。
事後課題：授業で学んだ健康の概念や健康を表す諸指標、看護との関係について整理しておいて下さい。

第4回 【授業テーマ】 看護職の資格と教育システム

【内容・方法等】 看護職の様々な資格及びその教育システムについて理解する

【事前・事後学習課題】 事前課題：日本看護協会のホームページにある、「キラリ！看護のシゴト」を読んで来て下さい。
事後課題：授業での学びをもとに、魅力を感じる看護の道についてまとめた小レポートを出して下さい。

第5回 【授業テーマ】 看護の歴史にみる看護の本質(1)

【内容・方法等】 世界と日本における看護の歴史的発展を理解し、その看護の本質をとらえる

【事前・事後学習課題】 事前課題：第2章の「近代における看護」を読んで来て下さい。
事後課題：看護の本質が歴史とともにどのように変化してきたかを整理しておいて下さい。

第6回 【授業テーマ】 看護の歴史にみる看護の本質(2)

【内容・方法等】 現代における看護の発展を理解し、その看護の本質をとらえる

【事前・事後学習課題】 事前課題：第2章の「近代における看護」を読んで来て下さい。
事後課題：近代の社会の変化と看護の発展との関連について整理しておいて下さい。

第7回 【授業テーマ】 保健医療システムとチーム医療における看護の役割

【内容・方法等】 社会における保健医療を提供するシステムと、チーム医療による様々な活動と看護の果たすべき役割について解説する

【事前・事後学習課題】 事前課題：第5章に目を通し、保健・福祉・医療にどのような人々が関わっているかを新聞やインターネットなどで調べてみて下さい。

事後課題：関連する法律や制度の名前を整理しておきましょう。

第8回 【授業テーマ】 看護の倫理と法的責任

【内容・方法等】 看護実践における倫理と患者の権利について考え、社会に対する看護の法的責任について検討する

【事前・事後学習課題】 事前課題：テキストの第9章を読んで来て下さい。

事後課題：授業中に示すテーマで倫理に関するレポートをまとめ、提出して下さい。

第9回 【授業テーマ】 看護の現場と看護の機能(1)

【内容・方法等】 病院における看護の現場の実際と、看護の機能、看護実践過程について知る

【事前・事後学習課題】 事前課題：テキストの第6章、第7章に目を通して来て下さい。

事後課題：看護に関連する法律や、看護過程の内容について整理しておいて下さい。

第10回 【授業テーマ】 看護の現場と看護の機能(2)

【内容・方法等】 病院における看護のマネージメント、病院システムにおける看護の機能を知る

【事前・事後学習課題】 事前課題：テキストの第8章に目を通して来て下さい。

事後課題：病院における看護のシステムについて整理しておいて下さい。

第11回 【授業テーマ】 看護の現場と看護の機能(3)

【内容・方法等】 保健・福祉施設、地域における看護の現場の実際と看護の機能について知る

【事前・事後学習課題】 事前課題：病院以外の看護活動の場について、文献やインターネットで情報をみて下さい。

事後課題：授業中に示した課題についてレポートを提出して下さい。

第12回 【授業テーマ】 看護理論の発展(1)

【内容・方法等】 ナイチンゲール、ペブロー、ヘンダーソンの理論を紹介する

【事前・事後学習課題】 事前課題：前回の授業で提示した資料を読んでおくこと。

事後課題：各理論の特徴を整理しておいて下さい。

第13回 【授業テーマ】 看護理論の発展(2)

【内容・方法等】 オレム及びロイの理論を紹介する

【事前・事後学習課題】 事前課題：前回の授業で提示した資料を読んでおくこと。

事後課題：各理論の特徴を整理しておいて下さい。

第14回 【授業テーマ】 看護理論の発展(3)

【内容・方法等】 ワトソンの理論を紹介するとともに、様々な看護理論の実践への応用について考える

【事前・事後学習課題】 事前課題：前回の授業で提示した資料を読んでおくこと。

事後課題：各理論の特徴を整理しておいて下さい。

第15回 【授業テーマ】 まとめ

【内容・方法等】 今までの学びを通して、自己の看護及び看護学への考えをまとめる

【事前・事後学習課題】 事前課題：今までの学びを踏まえ、自分なりの看護に対する考えを発表できるように準備しておくこと。

事後課題：テスト範囲等を示すので、ノートを整理しておくこと。

評価方法(基準)

評価は定期試験及びレポートを総合して判定する。試験には客観問題と論述問題を合わせて出題する。レポートは小レポートと、課題レポートを課す。評価割合はレポート(30%)、定期試験(70%)

教材等

教科書…松木光子 編 『看護学概論 看護とは・看護学とは 第5版』 南ウエルヒロカワ (2,310円+税)

参考書…ミルトン・メイヤロフ 『ケアの本質 生きることの意味』 ゆみる出版 (1,575円+税)

城ヶ端初子 『メディカ・マイブックスシリーズ①改訂第2版やさしい看護理論現場で活かせるベースの考え方』 (1,400円+税)、 『メディカ・マイブックスシリーズ②ケアとケアリング 看護観をはぐくむははじめの一步』 (1,400円+税)

その他、適宜授業で紹介する。

学生へのメッセージ

看護学部によろこそ！人間を見つめ、その健康を支えることのできる看護学について皆さんと一緒に概観します。大学での講義スタイルに慣れ、適切にノートをとることも練習しましょう。また、大学では自分の意見や考えを持ち、それを言葉にして他者と話し合っていくことが求められます。そうした機会を多く持ちたいので、積極的に参加して下さい。

関連科目

今後学ぶ、全ての看護学の専門科目の基礎となる科目です。特に、この科目で学んだ内容を、看護対人関係論、基礎看護技術Ⅰ～Ⅳ、

基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱで発展させ、実践する力としていきます。
担当者の研究室等
 7号館3階 研究室3 (田中)

看護対人関係論

Human Relationship in Nursing

田中結華 (タナカ ユカ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

看護の場における対人関係についての基本的概念・技法の理解と修得を目指す。患者-看護師間のコミュニケーションの特徴を学び、基本的技法としての言語的・非言語的コミュニケーション、治療的コミュニケーションと非治療的コミュニケーションを学び、看護場面のロールプレイ等を用いた学生同士の体験的学習を通して修得します。また、自分自身を振り返るリフレクション、自分と相手を共に尊重するアサーティブな人間関係のあり方について学ぶ。

授業方法と留意点

講義で理論を説明し、その中で重要なコミュニケーション技法については小グループを編成し演習を行います。積極的に参加する態度が必要です。

科目学習の効果 (資格)

1年生後期の基礎看護学実習Ⅰでの実践にむけて、看護の対象者やチームのなかで適切に人間関係を構築できるよう、基盤となる力を付けます。また、全ての実習科目を行う上で、この科目での学びが重要です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 看護の場における対人関係とは
 【内容・方法 等】 授業ガイダンスを行うとともに、看護の場における対人関係についての概要を説明する。
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし
 事後課題：授業の資料について復習すること。
- 第2回** 【授業テーマ】 患者-看護師関係のコミュニケーションの特徴
 【内容・方法 等】 患者と看護師の間で築かれる人間関係とそのコミュニケーションの特徴について事例を用いながら学ぶ。お互いの役割や信頼関係、適切な態度やマナー、ケアすることとコミュニケーションとの関係について考える。
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし
 事後課題：授業の資料について復習すること。
- 第3回** 【授業テーマ】 自分について知る
 【内容・方法 等】 コミュニケーションの前提として、自分について知り、自己と他者との関係について学ぶ。自分は何者なのかを知り、表現する体験も行う。
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし
 事後課題：体験のレポートを提出すること。授業の資料について復習すること。
- 第4回** 【授業テーマ】 リフレクション
 【内容・方法 等】 コミュニケーションを学ぶにあたり、自分自身の内面を振り返るリフレクションについて学ぶ。いくつか課題にとりくみながら、自分と対話する経験を行う。
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし
 事後課題：リフレクションシートを作成し提出すること。
- 第5回** 【授業テーマ】 基本的なコミュニケーションの技術
 【内容・方法 等】 基本的なコミュニケーションの技術を、話を始め、終わること、質問の方法、話を促す技法などについて学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし
 事後課題：授業の資料について復習すること。ミニレポートを提出すること。
- 第6回** 【授業テーマ】 言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション (1)
 【内容・方法 等】 言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションについての概略を学び、言語的コミュニケーションの事例を用いてロールプレイを行います。
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし
 事後課題：体験レポートを提出すること。
- 第7回** 【授業テーマ】 言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション (2)
 【内容・方法 等】 非言語的コミュニケーションの事例を用いたロールプレイを行い、学びについてグループで振り返る。
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし
 事後課題：体験レポートを提出すること。
- 第8回** 【授業テーマ】 治療的コミュニケーション (1)
 【内容・方法 等】 治療的コミュニケーションと非治療的コミュニケーションについて概略を説明し、ロールプレイの課題を行う。
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし

- 事後課題：体験レポートを提出すること。
- 第9回** 【授業テーマ】 治療的コミュニケーション (2)
 【内容・方法 等】 グループに分かれて事例を用いたロールプレイを行い、振り返りながら治療的コミュニケーションについて学びを深める。
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし
 事後課題：体験レポートを提出すること。
- 第10回** 【授業テーマ】 情報を提供するためのコミュニケーション
 【内容・方法 等】 患者に情報を伝え、説明する場面のコミュニケーションについて、事例を用いて考える。
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし
 事後課題：体験レポートを提出すること。
- 第11回** 【授業テーマ】 アサーティブネス
 【内容・方法 等】 適切に自己主張をおこなうためのアサーティブネスについて説明し、ロールプレイを行いながら学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし
 事後課題：体験レポートを提出すること。
- 第12回** 【授業テーマ】 ケア場面でのコミュニケーション (1)
 【内容・方法 等】 今まで学んだ技法を活用して看護ケアを行う事例のロールプレイを行い、コミュニケーションのあり方について考える。
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし
 事後課題：体験レポートを提出すること。
- 第13回** 【授業テーマ】 ケア場面でのコミュニケーション (2)
 【内容・方法 等】 看護ケアを行う事例のロールプレイを行いながら、コミュニケーションのあり方について考える。前回の授業での学びをさらに発展させる。
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし
 事後課題：体験レポートを提出すること。
- 第14回** 【授業テーマ】 集団でのコミュニケーション
 【内容・方法 等】 集団でのコミュニケーションについて学ぶ。特にリーダーシップとメンバーシップ、カンファレンスの持ち方などについて取り上げる。
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし
 事後課題：授業資料を復習すること。
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ
 【内容・方法 等】 グループに分かれ、看護の場における対人関係についての今までの学びをまとめて振り返り、達成できたことや今後の課題について話し合い、発表する。
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし
 事後課題：最終レポートを提出すること。

評価方法 (基準)

授業の参加度と毎回課す演習レポート (60%)、筆記試験 (40%) により総合評価する。

教材等

教科書…大森武子, 大下静香, 矢口みどり著『仲間とみながく看護のコミュニケーションセンス』医歯薬出版株式会社 (2,800円 + 税)

参考書…アーネステイン・ウィーデンバック『コミュニケーション効果的な看護を展開する鍵』日本看護協会出版会 (1,680円)

吉田恵子, 川島みどり著『ベッドサイドからケアの質を問う-看護婦が患者になって』看護の科学社 (1,260円(税込))

学生へのメッセージ

対人関係能力は看護実践に必須の基本的能力です。患者-看護師間はもちろん、医療チームの中で適切にコミュニケーションをおこなっていくことが欠かせません。講義とロールプレイなどを通して体験に自分から進んで参加し、コミュニケーションスキルを高めましょう。

関連科目

カウンセリング論、臨床心理学と関連する。内容は、基礎看護学実習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱで現場で直接役立つ技術となる。また、基礎看護学技術Ⅰ～Ⅳとも関連する。

担当者の研究室等

7号館3階 研究室3 (田中)

基礎看護技術Ⅰ

Fundamental of Nursing Skills I

田中結華 (タナカ ユカ)

中山田美 (ナカヤマ ユミ)

森木ゆう子 (モリキ ユウコ)

宇田賀津 (ウダ カズ)

岡田純子 (オカダ ジュンコ)

田丸朋子 (タマル トモコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	1	後期 (30回)	必修	2

授業概要・目的・到達目標

看護を実践するための基本的な看護技術のうち、日常生活を整える援助技術を学ぶ。科学的根拠に基づき安全と安楽に留意しながら、対象者の生活を整える看護援助を実践するための基本的な能力を培う。具体的には、看護技術の基本的な考え方、療養環境の調整、体位の整えと移動の援助、活動休息の援助、バイタルサインの観察、衣生活の援助、食事の援助、排泄の援助、身体清潔の援助について根拠を踏まえた技術の理論と技法を修得する。

授業方法と留意点

基本的には講義形式で日常生活を整える援助の理論を学び、その後、基礎看護実習室にて技術演習を行う。授業では、教科書を用いるが、最新の情報やトピックスを提供するため、配付資料を適宜追加する。また援助場面をイメージできるように、ビデオや写真等の視聴覚教材、パワーポイント等も使用する。技術演習は、毎回、教員が援助のデモンストレーションを行い、具体的な方法や注意事項等を示すことにより行う。また、少人数グループを作成し、教員がグループごとに担当し個別指導する。そして、患者役割も体験し、援助を受ける立場から看護技術を振り返る。

科目学習の効果（資格）

基礎看護学実習Ⅰ、Ⅱの履修にかかわる科目。
基礎看護技術Ⅱの履修にかかわる科目。
看護師国家試験受験資格にかかわる科目。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 看護技術とは
【内容・方法 等】 看護技術の基本的な考え方について概観する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第2回** 【授業テーマ】 療養環境の調整(1)
【内容・方法 等】 療養環境の調整に関する理論を学ぶ
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第3回** 【授業テーマ】 療養環境の調整(2)
【内容・方法 等】 ベッドメイキングを実践する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第4回** 【授業テーマ】 療養環境の調整(3)
【内容・方法 等】 ベッドメイキングを実践する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第5回** 【授業テーマ】 療養環境の調整(4)
【内容・方法 等】 臥床患者のシーツ交換を実践する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第6回** 【授業テーマ】 療養環境の調整(5)
【内容・方法 等】 臥床患者のシーツ交換を実践する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第7回** 【授業テーマ】 体位の整え(1)
【内容・方法 等】 ボディメカニクス・体位の整えに関する理論を学ぶ
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第8回** 【授業テーマ】 体位の整え(2)
【内容・方法 等】 臥床患者の体位の整えを実践する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。

- 第9回** 【授業テーマ】 体位の整え(3)
【内容・方法 等】 臥床患者の体位の整えを実践する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第10回** 【授業テーマ】 移動・移送の援助(1)
【内容・方法 等】 移動・移送の援助に関する理論を学ぶ
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第11回** 【授業テーマ】 移動・移送の援助(2)
【内容・方法 等】 車いす・ストレッチャーでの移動・移送の援助を実践する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第12回** 【授業テーマ】 移動・移送の援助(3)
【内容・方法 等】 車いす・ストレッチャーでの移動・移送の援助を実践する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第13回** 【授業テーマ】 活動・休息の援助
【内容・方法 等】 活動・休息の援助に関する理論を学ぶ
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第14回** 【授業テーマ】 バイタルサインの観察(1)
【内容・方法 等】 バイタルサインに関する理論を学ぶ
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第15回** 【授業テーマ】 バイタルサインの観察(2)
【内容・方法 等】 バイタルサインの観察を実践する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第16回** 【授業テーマ】 バイタルサインの観察(3)
【内容・方法 等】 バイタルサインの観察を実践する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第17回** 【授業テーマ】 衣生活の援助(1)
【内容・方法 等】 衣生活の援助に関する理論を学ぶ
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第18回** 【授業テーマ】 衣生活の援助(2)
【内容・方法 等】 臥床患者の寝衣交換を実践する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第19回** 【授業テーマ】 食事の援助(1)
【内容・方法 等】 食事の援助に関する理論を学ぶ
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第20回** 【授業テーマ】 食事の援助(2)
【内容・方法 等】 食事の援助を実践する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】

- 配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第21回** 【授業テーマ】 排泄の援助(1)
【内容・方法 等】 排泄の援助に関する理論を学ぶ
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第22回** 【授業テーマ】 排泄の援助(2)
【内容・方法 等】 便尿器・おむつによる排泄の援助を実践する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第23回** 【授業テーマ】 排泄の援助(3)
【内容・方法 等】 便尿器・おむつによる排泄の援助を実践する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第24回** 【授業テーマ】 身体の清潔(1)
【内容・方法 等】 身体の清潔に関する理論を学ぶ
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第25回** 【授業テーマ】 身体の清潔(2)
【内容・方法 等】 身体の清潔を実践する：口腔ケアを実践する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第26回** 【授業テーマ】 身体の清潔(3)
【内容・方法 等】 身体の清潔を実践する：臥床患者の洗髪を実践する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第27回** 【授業テーマ】 身体の清潔(4)
【内容・方法 等】 身体の清潔を実践する：臥床患者の洗髪を実践する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第28回** 【授業テーマ】 身体の清潔(5)
【内容・方法 等】 身体の清潔を実践する：臥床患者の清拭・足浴を実践する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第29回** 【授業テーマ】 身体の清潔(6)
【内容・方法 等】 身体の清潔を実践する：臥床患者の清拭・足浴を実践する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第30回** 【授業テーマ】 まとめ
【評価方法 (基準)】
筆記試験、実技試験、授業への参加状況 (レポートの提出状況・演習に取り組む姿勢など) により評価する。
筆記試験40%、実技試験40%、授業への参加状況20%

教材等

教科書…阿曾洋子 『基礎看護技術 第7版』 医学書院 (4,800円+税)
参考書…坪井良子、松田たみ子 『考える基礎看護技術Ⅰ-看護技術の基本- [第3版]』 ヌーヴェルヒロカワ (1,600円+税)
坪井良子、松田たみ子 『考える基礎看護技術Ⅱ-看護技術の実際- [第3版]』 ヌーヴェルヒロカワ

(1,900円+税)

山口瑞穂子 『看護技術 講義・演習ノート (上巻) 日常生活援助技術篇』 医学芸術社 (3,200円+税)

学生へのメッセージ

基礎看護技術Iで学ぶ内容は、今後全ての看護学実習の基礎となります。積極的に授業に参加するだけでなく、練習を繰り返し行い、知識と技術を確実に身につけて下さい。

関連科目

基礎看護技術Ⅱ

担当者の研究室等

7号館3階 研究室1 (森木)、研究室3 (田中)、研究室2 (中山)、研究室4 (宇田、岡田、田丸)

備考

技術演習時の服装、身だしなみ、持参物品等については、事前に別途指示します。

基礎看護技術Ⅰ

Fundamental of Nursing Skills I

田 中 結 華 (タナカ ユカ)
中 山 田 美 (ナカヤマ ユミ)
森 木 ゆう子 (モリキ ユウコ)
宇 田 賀 津 (ウダ カズ)
岡 田 純 子 (オカダ ジュンコ)
田 丸 朋 子 (タマル トモコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	2	後期(30回)	必修	2

授業概要・目的・到達目標

看護を実践するための基本的な看護技術のうち、日常生活を整える援助技術を学ぶ。科学的根拠に基づき安全と安楽に留意しながら、対象者の生活を整える看護援助を実践するための基本的な能力を培う。具体的には、看護技術の基本的な考え方、療養環境の調整、体位の整えと移動の援助、活動休息の援助、バイタルサインの観察、衣生活の援助、食事の援助、排泄の援助、身体清潔の援助について根拠を踏まえた技術の理論と技法を修得する。

授業方法と留意点

基本的には講義形式で日常生活を整える援助の理論を学び、その後、基礎看護実習室にて技術演習を行う。授業では、教科書を用いるが、最新の情報やトピックスを提供するため、配付資料を適宜追加する。また援助場面をイメージできるように、ビデオや写真等の視聴覚教材、パワーポイント等も使用する。技術演習は、毎回、教員が援助のデモンストレーションを行い、具体的な方法や注意事項等を示すことにより行う。また、少人数グループを作成し、教員がグループごとに担当し個別指導する。そして、患者役割も体験し、援助を受ける立場から看護技術を振り返る。

科目学習の効果 (資格)

基礎看護学実習Ⅰ、Ⅱの履修にかかわる科目。

基礎看護技術Ⅱの履修にかかわる科目。

看護師国家試験受験資格にかかわる科目。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 看護技術とは
【内容・方法 等】 看護技術の基本的な考え方について概観する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第2回** 【授業テーマ】 療養環境の調整 (1)
【内容・方法 等】 療養環境の調整に関する理論を学ぶ
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第3回** 【授業テーマ】 療養環境の調整 (2)
【内容・方法 等】 ベッドメイキングを実践する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第4回** 【授業テーマ】 療養環境の調整 (3)
【内容・方法 等】 ベッドメイキングを実践する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】

- 【事前・事後学習課題】 【事前課題】**
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第28回 【授業テーマ】** 身体の清潔(5)
【内容・方法 等】 身体の清潔を実践する：臥床患者の清拭・足浴を実践する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第29回 【授業テーマ】** 身体の清潔(6)
【内容・方法 等】 身体の清潔を実践する：臥床患者の清拭・足浴を実践する
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第30回 【授業テーマ】** まとめ
評価方法 (基準)
筆記試験、実技試験、授業への参加状況（レポートの提出状況・演習に取り組む姿勢など）により評価する。
筆記試験40%、実技試験40%、授業への参加状況20%

教材等

教科書…阿曾洋子 『基礎看護技術 第7版』 医学書院 (4,800円+税)
参考書…坪井良子、松田たみ子 『考える基礎看護技術Ⅰ-看護技術の基本- [第3版]』 ヌーヴェルヒロカワ (1,600円+税)
坪井良子、松田たみ子 『考える基礎看護技術Ⅱ-看護技術の実践- [第3版]』 ヌーヴェルヒロカワ (1,900円+税)
山口瑞穂子 『看護技術 講義・演習ノート〈上巻〉日常生活援助技術篇』 医学芸術社 (3,200円+税)

学生へのメッセージ

基礎看護技術Ⅰで学ぶ内容は、今後全ての看護学実習の基礎となります。積極的に授業に参加するだけでなく、練習を繰り返し行い、知識と技術を確実に身につけて下さい。

関連科目

基礎看護技術Ⅱ

担当者の研究室等

7号館3階 研究室1 (森木)、研究室3 (田中)、研究室2 (中山)、研究室4 (宇田、岡田、田丸)

備考

技術演習時の服装、身だしなみ、持参物品等については、事前に別途指示します。

基礎看護技術Ⅱ Fundamental of Nursing Skills II				
			田中 結華 (タナカ ユカ)	
			中山 由美 (ナカヤマ ユミ)	
			森木 ゆう子 (モリキ ユウコ)	
			宇田 賀津 (ウダ カズ)	
			岡田 純子 (オカダ ジュンコ)	
			田丸 朋子 (タマル トモコ)	
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	ロ	前期(30回)	必修	2

授業概要・目的・到達目標

看護を実践するための看護基本技術のうち、診療に伴う看護技術を学ぶ。具体的には、感染予防の看護、薬物療法の看護、検査時の看護、体温維持の看護、呼吸障害の看護、栄養障害の看護、排泄障害の看護、創傷の看護、リラクゼーション等について根柢を踏まえた技術を修得する。

授業方法と留意点

授業計画に沿って教科書を基本とし、各援助方法について学習する。最新の情報を提供するため、適宜、資料を配布し説明する。援助場面をイメージできるように、ビデオや写真等の視聴覚教材、パワーポイント等を使用する。毎回、教員によるデモンストレーションを実施する。教員が少人数制のグループを担当し、注射等の技術実践時には、安全をはかりながら個別指導を行う。また患者役を体験し、援助を受ける立場から看護技術を振り返る。

科目学習の効果 (資格)

基礎看護学実習Ⅱを履修するために重要な科目となります。

- 看護師国家試験受験資格にかかわる科目です。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】** 診療に伴う看護技術
【内容・方法 等】 診療に伴う看護とはどのようなものか、関連法規からも理解をする。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第2回 【授業テーマ】** 感染予防
【内容・方法 等】 手洗い、手指消毒法、マスク、ガウン等の装着方法を理解し実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第3回 【授業テーマ】** リラクゼーション
【内容・方法 等】 看護技術としてのリラクゼーションについて、意義と基礎的な方法を理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第4回 【授業テーマ】** 薬物療法・注射時の看護
【内容・方法 等】 薬物療法と看護の役割を学び、安全、安楽な援助が実施できるように関連法規をふまえて理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第5回 【授業テーマ】** 無菌操作 (1)
【内容・方法 等】 注射器等の取り扱いや注射器と注射針の接続等について実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第6回 【授業テーマ】** 無菌操作 (1)
【内容・方法 等】 注射器等の取り扱いや注射器と注射針の接続等について実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第7回 【授業テーマ】** 筋肉内注射・皮下注射
【内容・方法 等】 上腕・臀部モデルを用いて、安全、安楽に筋肉・皮下注射を実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第8回 【授業テーマ】** 筋肉内注射・皮下注射
【内容・方法 等】 上腕・臀部モデルを用いて、安全、安楽に筋肉・皮下注射を実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第9回 【授業テーマ】** 検査時の看護 (採血含む)
【内容・方法 等】 検査時の援助方法及び、検体の採取と取扱いについて理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第10回 【授業テーマ】** 薬物療法・輸液の看護
【内容・方法 等】 薬物療法の輸液実施時の看護の役割を学び、安全、安楽な援助方法を理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第11回 【授業テーマ】** 静脈血採血 (1)
【内容・方法 等】 血管モデルを用いて、安全、安楽に静脈血採血を実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第12回 【授業テーマ】** 静脈血採血 (1)
【内容・方法 等】 血管モデルを用いて、安全、安楽に静脈血採血を実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。

- 【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第13回 **【授業テーマ】** 輸液療法・静脈内注射
【内容・方法等】 血管モデルを用いて、安全、安楽に輸液療法及び静脈内注射を実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第14回 **【授業テーマ】** 輸液療法・静脈内注射
【内容・方法等】 血管モデルを用いて、安全、安楽に輸液療法及び静脈内注射を実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第15回 **【授業テーマ】** 技術トレーニング
【内容・方法等】 学びの整理と技術トレーニングを行う。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第16回 **【授業テーマ】** 技術トレーニング
【内容・方法等】 学びの整理と技術トレーニングを行う。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第17回 **【授業テーマ】** 創傷の看護
【内容・方法等】 創傷ケアの基礎的な理論と技術を理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第18回 **【授業テーマ】** 排泄障害の看護
【内容・方法等】 排泄障害に対する援助と、その援助方法としてのグリセリン浣腸、導尿法について理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第19回 **【授業テーマ】** 無菌操作 (2)
【内容・方法等】 滅菌物の取り扱い、および滅菌手袋の装着等を実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第20回 **【授業テーマ】** 創傷ケア、包帯法
【内容・方法等】 創傷の洗浄およびドレッシング材を使用した創傷ケアを実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第21回 **【授業テーマ】** 静脈血採血 (2)
【内容・方法等】 人を対象にし、静脈血採血を安全、安楽に実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第22回 **【授業テーマ】** 静脈血採血 (2)
【内容・方法等】 人を対象にし、静脈血採血を安全、安楽に実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第23回 **【授業テーマ】** 導尿
【内容・方法等】 一次的導尿・膀胱留置バルンカテーテルの挿入についてモデルを用いて実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第24回 **【授業テーマ】** 導尿
【内容・方法等】 一次的導尿・膀胱留置バルンカテーテルの挿入についてモデルを用いて実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第25回 **【授業テーマ】** 栄養障害の看護

- 【内容・方法等】** 栄養状態のアセスメント方法、栄養摂取への援助方法を理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第26回 **【授業テーマ】** 経管栄養／浣腸
【内容・方法等】 経管栄養チューブ挿入を安全、安楽に実施する方法を理解する。
またグリセリン浣腸等について安全、安楽に実施する方法を理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第27回 **【授業テーマ】** 呼吸障害の看護
【内容・方法等】 呼吸障害がある患者のアセスメント方法や呼吸状態を整える援助方法を理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第28回 **【授業テーマ】** 酸素療法
【内容・方法等】 酸素ボンベの取り扱い、酸素療法に伴う援助を実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第29回 **【授業テーマ】** 体温維持の看護
【内容・方法等】 体温の異常についてのアセスメント方法や体温の恒常性への援助方法について理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第30回 **【授業テーマ】** 温・冷電法

評価方法 (基準)

筆記試験、実技試験、およびレポートと授業参加度や授業態度により評価する。
筆記試験 (40%)、実技試験 (40%)、レポートおよび授業態度 (20%)

教材等

教科書…阿曾洋子 『基礎看護技術 第7版』 医学書院 (4,800円+税)
参考書…坪井良子、松田たみ子 『考える基礎看護技術I-看護技術の基本- [第3版]』 ヌーヴェルヒロカワ (1,600円+税)
坪井良子、松田たみ子 『考える基礎看護技術II-看護技術の実際- [第3版]』 ヌーヴェルヒロカワ (1,900円+税)
その他、必要時、参考資料を提示する。

学生へのメッセージ

診療に伴う援助について本格的に学んでいきます。薬物療法など注射に関連する技術なども多く、患者への安全・安楽な技術を目指し、また安全な演習を実施していくためにも気を引き締めて演習を行っていきましょう。

関連科目

基礎看護技術I等。

担当者の研究室等

7号館3階 研究室2 (中山)、研究室3 (田中)、研究室1 (森木)、研究室4 (宇田、岡田、田丸)

備考

技術演習時の服装、身だしなみ、持参物品等については、事前に別途指示する。

基礎看護技術II

Fundamental of Nursing Skills II

田中結華 (タナカ ユカ)
中山由美 (ナカヤマ ユミ)
森木ゆう子 (モリキ ユウコ)
宇田賀津 (ウダ カズ)
岡田純子 (オカダ ジュンコ)
田丸朋子 (タマル トモコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	I	前期 (30回)	必修	2

授業概要・目的・到達目標

看護を実践するための看護基本技術のうち、診療に伴う看護技

術を学ぶ。具体的には、感染予防の看護、薬物療法の看護、検査時の看護、体温維持の看護、呼吸障害の看護、栄養障害の看護、排泄障害の看護、創傷の看護、リラクゼーション等について根拠を踏まえた技術を修得する。

授業方法及留意点

授業計画に沿って教科書を基本とし、各援助方法について学習する。

最新の情報を提供するため、適宜、資料を配布し説明する。援助場面をイメージできるように、ビデオや写真等の視覚教材、パワーポイント等を使用する。

毎回、教員によるデモンストレーションを実施する。教員が少人数制のグループを担当し、注射等の技術実践時には、安全をはかりながら個別指導を行う。また患者役を体験し、援助を受ける立場から看護技術を振り返る。

科目学習の効果(資格)

基礎看護学実習Ⅱを履修するために重要な科目となります。看護師国家試験受験資格にかかわる科目です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** 診療に伴う看護技術
【内容・方法 等】 診療に伴う看護とはどのようなものか、関連法規からも理解をする。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第2回 **【授業テーマ】** 感染予防
【内容・方法 等】 手洗い、手指消毒法、マスク、ガウン等の装着方法を理解し実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第3回 **【授業テーマ】** リラクゼーション
【内容・方法 等】 看護技術としてのリラクゼーションについて、意義と基礎的な方法を理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第4回 **【授業テーマ】** 薬物療法・注射時の看護
【内容・方法 等】 薬物療法と看護の役割を学び、安全、安楽な援助が実施できるように関連法規をふまえて理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第5回 **【授業テーマ】** 無菌操作(1)
【内容・方法 等】 注射器等の取り扱いや注射器と注射針の接続等について実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第6回 **【授業テーマ】** 無菌操作(1)
【内容・方法 等】 注射器等の取り扱いや注射器と注射針の接続等について実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第7回 **【授業テーマ】** 筋肉内注射・皮下注射
【内容・方法 等】 上腕・臀部モデルを用いて、安全、安楽に筋肉・皮下注射を実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第8回 **【授業テーマ】** 筋肉内注射・皮下注射
【内容・方法 等】 上腕・臀部モデルを用いて、安全、安楽に筋肉・皮下注射を実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第9回 **【授業テーマ】** 検査時の看護(採血含む)
【内容・方法 等】 検査時の援助方法及び、検体の採取と取扱いについて理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第10回 **【授業テーマ】** 薬物療法・輸液の看護
【内容・方法 等】 薬物療法の輸液実施時の看護の役割を学び、安全、安楽な援助方法を理解する。

【事前・事後学習課題】 【事前課題】

教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。

【事後課題】

配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。

第11回

【授業テーマ】 静脈血採血(1)

【内容・方法 等】 血管モデルを用いて、安全、安楽に静脈血採血を実施する。

【事前・事後学習課題】 【事前課題】

教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。

【事後課題】

配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。

第12回

【授業テーマ】 静脈血採血(1)

【内容・方法 等】 血管モデルを用いて、安全、安楽に静脈血採血を実施する。

【事前・事後学習課題】 【事前課題】

教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。

【事後課題】

配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。

第13回

【授業テーマ】 輸液療法・静脈内注射

【内容・方法 等】 血管モデルを用いて、安全、安楽に輸液療法及び静脈内注射を実施する。

【事前・事後学習課題】 【事前課題】

教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。

【事後課題】

配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。

第14回

【授業テーマ】 輸液療法・静脈内注射

【内容・方法 等】 血管モデルを用いて、安全、安楽に輸液療法及び静脈内注射を実施する。

【事前・事後学習課題】 【事前課題】

教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。

【事後課題】

配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。

第15回

【授業テーマ】 技術トレーニング

【内容・方法 等】 学びの整理と技術トレーニングを行う。

【事前・事後学習課題】 【事前課題】

教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。

【事後課題】

配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。

第16回

【授業テーマ】 技術トレーニング

【内容・方法 等】 学びの整理と技術トレーニングを行う。

【事前・事後学習課題】 【事前課題】

教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。

【事後課題】

配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。

第17回

【授業テーマ】 創傷の看護

【内容・方法 等】 創傷ケアの基礎的な理論と技術を理解する。

【事前・事後学習課題】 【事前課題】

教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。

【事後課題】

配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。

第18回

【授業テーマ】 排泄障害の看護

【内容・方法 等】 排泄障害に対する援助と、その援助方法としてのグリセリン浣腸、導尿法について理解する。

【事前・事後学習課題】 【事前課題】

教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。

【事後課題】

配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。

第19回

【授業テーマ】 無菌操作(2)

【内容・方法 等】 滅菌物の取り扱い、および滅菌手袋の装着等を実施する。

【事前・事後学習課題】 【事前課題】

教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。

【事後課題】

配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。

第20回

【授業テーマ】 創傷ケア、包帯法

【内容・方法 等】 創傷の洗浄およびドレッシング材を使用した創傷ケアを実施する。

【事前・事後学習課題】 【事前課題】

教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。

【事後課題】

配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。

第21回

【授業テーマ】 静脈血採血(2)

【内容・方法 等】 人を対象にし、静脈血採血を安全、安楽に実施する。

【事前・事後学習課題】 【事前課題】

教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。

【事後課題】

配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。

第22回

【授業テーマ】 静脈血採血(2)

【内容・方法 等】 人を対象にし、静脈血採血を安全、安楽に実施する。

【事前・事後学習課題】 【事前課題】

教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。

【事後課題】

- 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第23回** 【授業テーマ】 導尿
【内容・方法 等】 一次的導尿・膀胱留置バルンカテーテルの挿入についてモデルを用いて実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第24回** 【授業テーマ】 導尿
【内容・方法 等】 一次的導尿・膀胱留置バルンカテーテルの挿入についてモデルを用いて実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第25回** 【授業テーマ】 栄養障害の看護
【内容・方法 等】 栄養状態のアセスメント方法、栄養摂取への援助方法を理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第26回** 【授業テーマ】 経管栄養・浣腸
【内容・方法 等】 経管栄養チューブ挿入を安全、安楽に実施する方法を理解する。
またグリセリン浣腸等について安全、安楽に実施する方法を理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第27回** 【授業テーマ】 呼吸障害の看護
【内容・方法 等】 呼吸障害がある患者のアセスメント方法や呼吸状態を整える援助方法を理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第28回** 【授業テーマ】 酸素療法
【内容・方法 等】 酸素ボンベの取り扱い、酸素療法に伴う援助を実施する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第29回** 【授業テーマ】 体温維持の看護
【内容・方法 等】 体温の異常についてのアセスメント方法や体温の恒常性への援助方法について理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第30回** 【授業テーマ】 温・冷療法
- 評価方法 (基準)**
筆記試験、実技試験、およびレポートと授業参加度や授業態度により評価する。
筆記試験 (40%)、実技試験 (40%)、レポートおよび授業態度 (20%)
- 教材等**
教科書…阿曾洋子 『基礎看護技術 第7版』 医学書院 (4,800円+税)
参考書…坪井良子、松田たみ子 『考える基礎看護技術 I-看護技術の基本- [第3版]』 ヌーヴェルヒロカワ (1,600円+税)
坪井良子、松田たみ子 『考える基礎看護技術 II-看護技術の実際- [第3版]』 ヌーヴェルヒロカワ (1,900円+税)
その他、必要時、参考資料を提示する。
- 学生へのメッセージ**
診療に伴う援助について本格的に学んでいきます。薬物療法など注射に関連する技術なども多く、患者への安全・安楽な技術を目指し、また安全な演習を実施していくためにも気を引き締めて演習を行っていきましょう。
- 関連科目**
基礎看護技術 I 等。
- 担当者の研究室等**
7号館3階 研究室2 (中山)、研究室3 (田中)、研究室1 (森木)、研究室4 (宇田、岡田、田丸)
- 備考**
技術演習時の服装、身だしなみ、持参物品等については、事前に別途指示する。

基礎看護技術III Fundamental of Nursing Skills III				
			田中結華 (タナカ ユカ)	
			中山由美 (ナカヤマ ユミ)	
			森木ゆう子 (モリキ ユウコ)	
			宇田賀津 (ウダ カズ)	
			岡田純子 (オカダ ジュンコ)	
			田丸朋子 (タマル トモコ)	
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	I	前期	必修	1

- 授業概要・目的・到達目標**
対象者の問題や状態をアセスメントするための情報を収集し、その情報の解釈・分析・統合するための技術の一つであるフィジカルアセスメントの知識・技術を学ぶ。具体的には、ヘルスヒストリーの聴取方法や客観的な情報を得る手段であるフィジカルイグザミネーション (視診、触診、打診、聴診) 技術を学ぶ。そして、呼吸器系、循環器系、消化器系、筋・骨格系、脳・神経系のフィジカルアセスメント技術を修得する。
- 授業方法と留意点**
基本的には講義形式でフィジカルアセスメントの理論を学び、その後、基礎看護実習室にて技術演習を行う。授業では、教科書と視聴覚教材を用いるが、最新の情報やトピックスを提供するため、配布資料を適宜追加する。技術演習は少人数グループを作成し、教員がグループごとに担当し個別指導する。そして、患者役割も体験し、援助を受ける立場から看護技術を振り返る。
- 科目学習の効果 (資格)**
基礎看護学実習 II の履修にかかわる科目。
看護師国家試験受験資格にかかわる科目。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 看護における看護過程とヘルスアセスメント、フィジカルアセスメントの考え方
【内容・方法 等】 看護における看護過程とヘルスアセスメント、フィジカルアセスメントの考え方に関する理論を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第2回** 【授業テーマ】 ヘルスヒストリーとフィジカルアセスメントの基本的技術
【内容・方法 等】 ヘルスヒストリーとフィジカルアセスメントの基本的技術に関する理論を学び、実践する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第3回** 【授業テーマ】 呼吸器系のフィジカルアセスメント (1)
【内容・方法 等】 呼吸器系のフィジカルアセスメントに関する理論を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第4回** 【授業テーマ】 呼吸器系のフィジカルアセスメント (2)
【内容・方法 等】 呼吸器系のフィジカルアセスメントを実践する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第5回** 【授業テーマ】 呼吸器系のフィジカルアセスメント (3)
【内容・方法 等】 呼吸器系のフィジカルアセスメントを実践する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第6回** 【授業テーマ】 循環器系のフィジカルアセスメント (1)
【内容・方法 等】 循環器系のフィジカルアセスメントに関する理論を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第7回** 【授業テーマ】 循環器系のフィジカルアセスメント (2)
【内容・方法 等】 循環器系のフィジカルアセスメントを実践する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】

- 視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第8回** 【授業テーマ】 循環器系のフィジカルアセスメント (3)
【内容・方法 等】 循環器系のフィジカルアセスメントを実践する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第9回** 【授業テーマ】 消化器系のフィジカルアセスメント (1)
【内容・方法 等】 消化器系のフィジカルアセスメントに関する理論を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第10回** 【授業テーマ】 消化器系のフィジカルアセスメント (2)
【内容・方法 等】 消化器系のフィジカルアセスメントを実践する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第11回** 【授業テーマ】 筋・骨格系のフィジカルアセスメント (1)
【内容・方法 等】 筋・骨格系のフィジカルアセスメントに関する理論を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第12回** 【授業テーマ】 筋・骨格系のフィジカルアセスメント (2)
【内容・方法 等】 筋・骨格系のフィジカルアセスメントを実践する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第13回** 【授業テーマ】 脳・神経系のフィジカルアセスメント (1)
【内容・方法 等】 脳・神経系のフィジカルアセスメントに関する理論を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第14回** 【授業テーマ】 脳・神経系のフィジカルアセスメント (2)
【内容・方法 等】 脳・神経系のフィジカルアセスメントを実践する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第15回** 【授業テーマ】 フィジカルアセスメントトレーニング
【内容・方法 等】 学びの整理と総合技術トレーニングを実践する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。

評価方法 (基準)

筆記試験、実技試験、授業への参加状況 (レポートの提出状況・演習に取り組む姿勢など) により評価する。
筆記試験60%、実技試験20%、授業への参加状況20%

教材等

教科書…横山美樹、石川ふみよ 『成人看護学 ヘルシアセスメント』 スーヴェルヒロカワ (2,500円+税)
参考書…横山美樹 『はじめてのフィジカルアセスメント』 メヂカルフレンド社 (2,600円+税)
松尾ミヨ子 『ナーシング・グラフィカ基礎看護学②ヘルシアセスメント』 メディカ出版 (3,400円+税)
Lynn S. Bickley 『ベイツ診察法』 メディカル・サイエンス・インターナショナル (9,000円+税)

学生へのメッセージ

「人体の構造と機能」の知識が基盤となりますので十分に復習してから授業に臨んでください。また授業後は、視聴覚教材等を活用し、積極的に自己学習をしてください。

関連科目

基礎看護技術Ⅱ、基礎看護技術Ⅳ、人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳ

担当者の研究室等

7号館3階 研究室1 (森木)、研究室3 (田中)、研究室2 (中山)、研究室4 (宇田、岡田、田丸)

基礎看護技術Ⅲ
Fundamental of Nursing Skills Ⅲ

田 中 結 華 (タナカ ユカ)
中 山 由 美 (ナカヤマ ユミ)
森 木 ゆう子 (モリキ ユウコ)
宇 田 賀 津 (ウダ カズ)
岡 田 純 子 (オカダ ジュンコ)
田 丸 朋 子 (タマル トモコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	ロ	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

対象者の問題や状態をアセスメントするための情報を収集し、その情報の解釈・分析・統合するための技術の一つであるフィジカルアセスメントの知識・技術を学ぶ。具体的には、ヘルスヒストリーの聴取方法や客観的な情報を得る手段であるフィジカルイグザミネーション (視診、触診、打診、聴診) 技術を学ぶ。そして、呼吸器系、循環器系、消化器系、筋・骨格系、脳・神経系のフィジカルアセスメント技術を修得する。

授業方法と留意点

基本的には講義形式でフィジカルアセスメントの理論を学び、その後、基礎看護実習室にて技術演習を行う。授業では、教科書と視聴覚教材を用いるが、最新の情報やトピックスを提供するため、配布資料を適宜追加する。技術演習は少人数グループを作成し、教員がグループごとに担当し個別指導する。そして、患者役割も体験し、援助を受ける立場から看護技術を振り返る。

科目学習の効果 (資格)

基礎看護学実習Ⅱの履修にかかわる科目。
看護師国家試験受験資格にかかわる科目。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 看護における看護過程とヘルシアセスメント、フィジカルアセスメントの考え方
【内容・方法 等】 看護における看護過程とヘルシアセスメント、フィジカルアセスメントの考え方に関する理論を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第2回** 【授業テーマ】 ヘルスヒストリーとフィジカルアセスメントの基本的技術
【内容・方法 等】 ヘルスヒストリーとフィジカルアセスメントの基本的技術に関する理論を学び、実践する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第3回** 【授業テーマ】 呼吸器系のフィジカルアセスメント (1)
【内容・方法 等】 呼吸器系のフィジカルアセスメントに関する理論を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第4回** 【授業テーマ】 呼吸器系のフィジカルアセスメント (2)
【内容・方法 等】 呼吸器系のフィジカルアセスメントを実践する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第5回** 【授業テーマ】 呼吸器系のフィジカルアセスメント (3)
【内容・方法 等】 呼吸器系のフィジカルアセスメントを実践する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第6回** 【授業テーマ】 循環器系のフィジカルアセスメント (1)
【内容・方法 等】 循環器系のフィジカルアセスメントに関する理論を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第7回** 【授業テーマ】 循環器系のフィジカルアセスメント (2)
【内容・方法 等】 循環器系のフィジカルアセスメントを実践する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】

- 視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第8回** 【授業テーマ】 循環器系のフィジカルアセスメント (3)
【内容・方法 等】 循環器系のフィジカルアセスメントを実践する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第9回** 【授業テーマ】 消化器系のフィジカルアセスメント (1)
【内容・方法 等】 消化器系のフィジカルアセスメントに関する理論を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第10回** 【授業テーマ】 消化器系のフィジカルアセスメント (2)
【内容・方法 等】 消化器系のフィジカルアセスメントを実践する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第11回** 【授業テーマ】 筋・骨格系のフィジカルアセスメント (1)
【内容・方法 等】 筋・骨格系のフィジカルアセスメントに関する理論を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第12回** 【授業テーマ】 筋・骨格系のフィジカルアセスメント (2)
【内容・方法 等】 筋・骨格系のフィジカルアセスメントを実践する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第13回** 【授業テーマ】 脳・神経系のフィジカルアセスメント (1)
【内容・方法 等】 脳・神経系のフィジカルアセスメントに関する理論を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第14回** 【授業テーマ】 脳・神経系のフィジカルアセスメント (2)
【内容・方法 等】 脳・神経系のフィジカルアセスメントを実践する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第15回** 【授業テーマ】 フィジカルアセスメントトレーニング
【内容・方法 等】 学びの整理と総合技術トレーニングを実践する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。

評価方法 (基準)

筆記試験、実技試験、授業への参加状況 (レポートの提出状況・演習に取り組む姿勢など) により評価する。

筆記試験60%、実技試験20%、授業への参加状況20%

教材等

教科書…横山美樹、石川ふみよ 『成人看護学 ヘルシアセスメント』 スーヴェルヒロカワ (2,500円+税)
参考書…横山美樹 『はじめてのフィジカルアセスメント』メヂカルフレンド社 (2,600円+税)
松尾ミヨ子 『ナーシング・グラフィカ基礎看護学②ヘルシアセスメント』 メディカ出版 (3,400円+税)
Lynn S. Bickley 『ベイツ診察法』 メディカル・サイエンス・インターナショナル (9,000円+税)

学生へのメッセージ

「人体の構造と機能」の知識が基盤となりますので十分に復習してから授業に臨んでください。また授業後は、視聴覚教材等を活用し、積極的に自己学習をしてください。

関連科目

基礎看護技術Ⅱ、基礎看護技術Ⅳ、人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳ

担当者の研究室等

7号館3階 研究室1 (森木)、研究室3 (田中)、研究室2 (中山)、研究室4 (宇田、岡田、田丸)

基礎看護技術Ⅳ
Fundamental of Nursing Skills IV

田中結華 (タナカ ユカ)
中山由美 (ナカヤマ ユミ)
森木ゆう子 (モリキ ユウコ)
宇田賀津 (ウダ カズ)
田丸朋子 (タマル トモコ)
未決定 (看護学部) (ミケツテイ カンゴカクブ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

看護ケアを対象者に提供するための基盤となる看護過程について学ぶ。根拠に基づき、対象者の看護上の問題を明確にし、問題を解決するためのプロセスを学ぶ。ヘンダーソンの理論に基づいた看護過程の展開方法を、演習を通して修得する。

授業方法と留意点

教科書を基本とし、適宜、配布資料を用い説明する。また看護過程の展開方法をイメージできるように視聴覚教材やパワーポイントを使用する。
看護過程の展開方法を習得するために、少人数制のグループワークや演習を行い、事例展開をする。

科目学習の効果 (資格)

看護師国家試験受験資格にかかわる科目です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 看護理論に基づく看護過程
【内容・方法 等】 代表的な看護理論と看護過程の展開について理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第2回** 【授業テーマ】 看護過程の展開 (1)
【内容・方法 等】 ヘンダーソンの理論と14の基本的ニーズなどについて理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第3回** 【授業テーマ】 看護過程の展開 (2)
【内容・方法 等】 事例を通して、情報の分類やアセスメント方法について理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第4回** 【授業テーマ】 看護過程の展開 (3)
【内容・方法 等】 事例を通して、情報の分類やアセスメント方法について理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第5回** 【授業テーマ】 看護過程の展開 (4)
【内容・方法 等】 事例の全体像の把握、看護問題、看護目標の立案について理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第6回** 【授業テーマ】 看護過程の展開 (5)
【内容・方法 等】 事例を通して、看護計画の立案について理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第7回** 【授業テーマ】 看護過程の演習 (1)
【内容・方法 等】 グループワークにて、事例の情報分類を行う。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
提示された課題を期日までに行ってくること。
- 第8回** 【授業テーマ】 看護過程の演習 (2)
【内容・方法 等】 グループワークにて、事例の情報についてアセスメントを行う。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】

- 提示された課題を期日までに行ってくること。
- 第9回** 【授業テーマ】 看護過程の演習 (3)
【内容・方法 等】 グループワークにて、事例の情報についてアセスメントを行う。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
- 提示された課題を期日までに行ってくること。
- 第10回** 【授業テーマ】 看護過程の演習 (4)
【内容・方法 等】 グループワークにて、事例の看護問題の抽出、看護目標の立案を行う。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
- 提示された課題を期日までに行ってくること。
- 第11回** 【授業テーマ】 看護過程の演習 (5)
【内容・方法 等】 グループワークにて、事例の看護問題の抽出、看護目標の立案を行う。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
- 提示された課題を期日までに行ってくること。
- 第12回** 【授業テーマ】 看護過程の演習 (6)
【内容・方法 等】 グループワークにて、事例の看護計画を検討する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
- 提示された課題を期日までに行ってくること。
- 第13回** 【授業テーマ】 看護過程の演習 (7)
【内容・方法 等】 グループワークにて、事例の看護計画を立案する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
- 提示された課題を期日までに行ってくること。
- 第14回** 【授業テーマ】 看護過程の演習 (8)
【内容・方法 等】 グループワークにて行った看護過程の展開内容を発表する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
- 提示された課題を期日までに行ってくること。
- 第15回** 【授業テーマ】 看護過程の展開 (6)
【内容・方法 等】 看護問題、看護目標、看護計画、看護実践内容などの評価方法について理解する。
【事前・事後学習課題】 【事前課題】
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。
【事後課題】
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 評価方法 (基準)**
レポートおよびグループワークでの課題達成状況や授業参加度、授業態度などで評価する。
グループワークでの課題達成状況や参加度等60%、レポート等40%
- 教材等**
教科書…三上れつ『看護過程と看護診断』第2版 ヌーヴェルヒロカワ (2500円+税)
参考書…渡邊トシ子『実践看護アセスメント』ヌーヴェルヒロカワ (2500円+税)
- 学生へのメッセージ**
基礎看護学実習Ⅱに深く関連する科目です。課題を達成していただけるように自己学習をしっかりと行っていきましょう。
- 関連科目**
基礎看護学実習Ⅲおよび基礎看護学実習Ⅱに深く関連します。
- 担当者の研究室等**
7号館3階 研究室2 (中山)、研究室3 (田中)、研究室1 (森木)、研究室4 (宇田、田丸)
- 備考**
グループワーク時の課題については、適宜、指示をするので次回までに行ってくること。

基礎看護学実習 I

Clinical Practice in Fundamental Nursing I

田中 結華 (タナカ ユカ)
池田 友美 (イケダ トモミ)
石橋 文枝 (イシバシ フミエ)
徳重 あつ子 (トクシゲ アツコ)
松本 葉子 (マツモト ヨウコ)
竹下 裕子 (タケシタ ヒロコ)
中山 由美 (ナカヤマ ユミ)
森木 ゆう子 (モリキ ユウコ)
森谷 利香 (モリヤ リカ)
山本 智津子 (ヤマモト チツコ)
宇田 賀津 (ウダ カズ)
宇多 雅 (ウダ ミヤビ)
岡田 純子 (オカダ ジュンコ)
但馬 まり子 (タジマ マリコ)
七山 知佳 (ナナヤマ チカ)
田丸 朋子 (タマル トモコ)
松田 常美 (マツダ ツネミ)
吉田 由記子 (ヨシダ ユキコ)
吉村 公一 (ヨシムラ コウイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

看護学概論等の既習内容を踏まえ、保健医療の現場における看護の対象である人とその生活・健康状態、それらを取り巻く環境のあり方、看護職者やチーム専門職者の役割を体験的に学び、看護の役割や機能について理解を深め、今後の看護を学ぶ動機とする。

[実習目的]

看護の対象となる人とその人を取り巻く環境を理解する。また、実習による体験を通して、看護の目的と役割、看護の機能する場および看護活動に関する知識を深める。

[実習目標]

- 1.看護の対象となる人の療養生活を支える環境のあり方を理解する。
- 2.看護の対象となる人とその健康状態、生活や思いを理解し、看護職者およびその他の専門職者による援助の実際を知る。
- 3.看護の目的、看護が果たす役割や機能する場、看護のあり方について自己の考えをまとめ、今後の看護を学習する上での課題を見出すことができる。
- 4.看護学生として適切な態度で実習に臨むことができる。

授業方法と留意点

[実習方法]

- 1.原則として実習病棟への学生配置は1グループ5人編成とし、各グループは教員の指導を受ける。
- 2.実習前に、実習目的・目標、実習計画・事前学習・実習施設概要・留意事項等のオリエンテーションを受ける。
- 3.実習目的・目標をもとに、各自の実習における課題と目標を明確にする。
- 4.実習施設の概要、看護の目標と特徴について説明を受ける。
- 5.病院環境の見学を行い、各部署の機能について説明を受け、対象者の療養生活を支える環境について知る。
- 6.病棟の環境、看護の目標や特徴の説明を受ける。
- 7.看護師に学生1~2人がついて行動を共にし、様々な看護場面を見学し、援助の実際を知る。
- 8.可能な場面では、看護師とともに日常生活の援助を実施する。
- 9.対象者と直接に接してコミュニケーションする機会をもち、健康状態や生活状態、思いなどについて話を伺う。
- 10.毎日カンファレンスを行い、各自の体験や考えを発表して意見交換して互いの学びを共有し、指導や助言を受ける。
- 11.看護の目的、看護が果たす役割や機能、看護活動のあり方に関するグループワークを行い、互いに発表する。
- 12.実習記録は、毎日記載し、指導教員及び臨地実習指導者からの助言・指導を受ける。
- 13.各実習場面全体を通して、身だしなみ、言葉遣いや礼儀など他者への接し方、実習態度、個人情報保護について助言・指導を受ける。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

[実習計画]

1. オリエンテーション
 - 1) 事前オリエンテーション
 - 2) 直前オリエンテーション
2. 実習：2月下旬に1週間の実習を行う。

第1日目(病院)
午前:実習施設の概要
午後:病院環境の見学実習
第2~4日目(病院)
全日:病棟実習
ケア場面の見学、または基本的な日常生活援助の実施
患者とのコミュニケーション
カンファレンス
第5日目(学内)
午前:グループワーク、発表
午後:まとめ

評価方法・評価基準

実習目的・目標の達成状況、実習記録を総合して評価する。

教材等

教科書…なし。
参考書…必要に応じて適宜紹介する。

備考

[実習場所]
星ヶ丘厚生年金病院、市立枚方市民病院、関西医科大学附属枚方病院、枚方公済病院
(計4カ所)

基礎看護学実習II
Clinical Practice in Fundamental Nursing II

	田中結華 (タナカ ユカ)
	池田友美 (イケダ トモミ)
	徳重あつ子 (トクシゲ アツコ)
	松本葉子 (マツモト ヨウコ)
	竹下裕子 (タケシタ ヒロコ)
	中山由美 (ナカヤマ ユミ)
	森木ゆう子 (モリキ ユウコ)
	森谷利香 (モリヤ リカ)
	宇田賀津 (ウダ カズ)
	宇多雅 (ウダ ミヤビ)
	岡田純子 (オカダ ジュンコ)
	田丸朋子 (タマル トモコ)
	松田常美 (マツタ ツネミ)
	未決定(看護学部) (ミケッテイ カンゴガクブ)
	未決定(看護学部) (ミケッテイ カンゴガクブ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

[概要]

医療の場で療養生活を送る入院患者を受け持ち、看護過程を日常生活上のニーズに焦点をあてて実践する。既習の知識・技術を統合して、臨床における看護実践の基礎的能力を培う。看護過程は段階的に行い、対象者と人間関係を形成し、情報収集を行い全人的に把握して分析し、看護援助の必要性を導き出す。対象者に応じた看護計画を立案し、実施・評価する。これらの実践過程を通して、自己の看護観について考えを深める。

[実習目的]

入院加療している対象の日常生活を理解し、基本的な日常生活上の援助について、看護過程の基礎を学び、看護職者に必要な態度を養う。

[実習目標]

1. 入院加療する患者を対象者として1名受け持ち、人間関係形成を行いながら発達段階、健康状態、日常生活に焦点を当てて情報を収集する。
2. 収集した情報を整理・分析し、看護の対象として患者の全体像を把握する。
3. 全体像から日常生活上援助の必要性を導き、看護上の問題を明確化する。
4. 看護上の問題に対する目標を設定し、目標達成に必要な計画を立案する。
5. 計画を実施・評価、修正する。
6. 実習を通じて得た学びを振り返り、看護に対する自らの考えを明らかにする。
7. 主体的に実習に取り組み、看護学生として適切な態度で実習に臨む。

授業方法と留意点

[実習方法]

1. 原則として1グループ5名編成とし、各グループは担当教員の指導を受ける。
2. 実習前に、実習目的・目標、実習計画・事前学習・実習施設

概要・留意事項等のオリエンテーションを受ける。

3. 実習目的・目標をもとに、事前学習を行い、各自の実習における課題と目標を明確にする。
4. 実習にあたり、実習病院・病棟のオリエンテーションを受け、病棟の機能や看護職の役割を理解する。
5. 実習中は、入院加療中の患者を対象者として1名を受け持ち、対象者に適した看護過程の展開を段階的に行う。
6. 毎日、学生主体のカンファレンスを行い、一日の振り返りと翌日の計画について意見交換し、お互いの学びを共有する。
7. 実習記録は、必ず記録し、指導教員および臨地実習指導者からの助言・指導を受ける。
8. 各自の実習における学びを振り返り、グループメンバーと検討し、発表する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

[実習内容]

1. オリエンテーション
実習前にオリエンテーションを受け、実習に必要な知識・技術の復習を行う。
2. 病院実習：1月下旬~2月上旬に、以下の内容で2週間の実習を行う。
 - 1) 対象者の紹介をうけ、人間関係を形成する。
 - 2) 対象者の発達段階、健康状態、日常生活を把握するために必要な情報を、インタビューや記録、フィジカルアセスメント、および看護の場面への参加を通して収集する。
 - 3) 収集した情報を整理して分析し、対象者の全体像を把握する。
 - 4) 全体像から日常生活援助の必要性を導きだし、看護上の問題を明確化する。
 - 5) 得られた問題に対する目標を適切に設定する。
 - 6) 目標を達成するための計画を立案する。
 - 7) 計画を実施するために必要な看護技術について、対象者に応じた方法を検討し練習する。
 - 8) 立案した計画を、指導の下で実施する。
 - 9) 実施した結果を目標に照らして評価する
 - 10) 評価にもとづき、計画を修正する。
 - 11) 最終的に実習全体を通じた学びをグループメンバーとともに検討して振り返り、看護に対する自らの考えを述べる。
 - 12) 実習に必要な事前学習を行い、知識・技術を復習して実習の準備をする。
 - 13) 実習を行う上で必要な情報を積極的に求め、グループメンバーと共有し連携する。
 - 14) 看護師・教員からの助言を適切にうけとめ、積極的に実習に生かす。
 - 15) 実施内容については看護師・教員の指導を得てから行う。
 - 16) 観察・実施内容については、看護師・教員に適切に報告を行う。
 - 17) 対象者の権利を尊重し、プライバシーの保護を行う。

評価方法・評価基準

[評価方法 評価基準]

実習内容(実習目的・目標の達成状況、記録、実習態度)を総合して評価する。

教材等

教科書…なし
参考書…必要に応じて適宜紹介する。

備考

[実習場所]
星ヶ丘厚生年金病院、市立枚方市民病院、関西医科大学附属枚方病院、枚方公済病院
(計4カ所)

成人看護学概論 I
Introduction to Adult Nursing I

川畑 安正 (カワハタ ヤスマサ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

ライフサイクルにおける成人期の特性を踏まえ、家族や職場・地域社会で様々な役割をもつ成人期の対象者の健康及び健康の危機的状況や急性症状を呈する人の健康問題の特徴を理解し、急性的な健康問題のある成人を支援する看護について学習する。また、危機的状態や急性期における看護援助に有用と考える理論や概念について理解を深める。

到達目標:

- 1) ライフサイクルにおける成長発達と特徴について説明できる。
- 2) 生活者としての対象者の特徴と健康段階について説明できる。
- 3) 成人保健の動向について統計的な視点から説明できる。
- 4) 保健・医療・福祉の連携の重要性について説明できる。
- 5) 危機的状態やストレスの高い状態の対象者への看護援助の基礎となる理論について説明できる。
- 6) 急激な健康破綻を生じた対象者が抱える健康問題の特徴と看護援助について説明できる。

7)周手術期の概念、周手術期における対象者の特徴と看護の役割について説明できる。

8)周手術期のチーム医療と社会資源の活用について説明できる。

授業方法と留意点

まず成人期にある自分を理解する。そして授業計画に沿った講義を通して、ライフサイクルにおける青年期から向老期の成人の特徴とその看護、特に急性期看護をいろいろな視点から幅広く学習する。授業資料も準備するが、黒板(板書)で説明することもあり、ノート書きの力が求められる。教科書による予習・復習を課し、教科書の内容を学習するのではなく、教科書の内容を活用して学習する。また、臨床事例の紹介や視聴覚教材を活用して、看護の理論などの知識と実践を関連付ける。

科目学習の効果(資格)

看護師国家試験の試験科目「成人看護学」の内容を修得するための授業科目の一つである。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 ライフサイクルからみた成人期の特徴

【内容・方法等】 ・授業ガイダンス

- ・成人期の区分
- ・成人期の特徴
- ・成人発達段階の理論

【事前・事後学習課題】 ・授業前に第1章「成人看護学の概念と構成」、第2章「成人看護学の特性」2～4. を読んでおくこと。

- ・単元の小テスト(形成的評価)

第2回 【授業テーマ】 成人期の生活と健康

【内容・方法等】 ・成人期の生活状況の特徴

【事前・事後学習課題】 ・授業前に第3章「保健・医療・福祉における動向と課題」、第5章「健康レベルにおける枠組み」1～2. を読んでおくこと。

- ・単元の小テスト(形成的評価)

第3回 【授業テーマ】 成人保健の動向

【内容・方法等】 ・成人期の健康指標から健康問題をみる

【事前・事後学習課題】 ・授業前に第2章「成人看護学の特性」1. を読んでおくこと。

- ・単元の小テスト(形成的評価)

第4回 【授業テーマ】 保健・医療・福祉の連携

【内容・方法等】 ・変化する保健・医療・福祉へのニーズと制度

【事前・事後学習課題】 ・単元の小テスト(形成的評価)

第5回 【授業テーマ】 急性期看護の基礎となる理論

【内容・方法等】 ・危機的状態に対する看護の基盤となる理論・モデル

- ・ストレスの高い状態に対する看護の基盤となる理論

【事前・事後学習課題】 ・授業前に第6章「成人看護に使用される理論・モデル」3. を読んでおくこと。

- ・単元の小テスト(形成的評価)

第6回 【授業テーマ】 急性期にある対象の特徴と看護

【内容・方法等】 ・急性期の健康の急激な破綻

- ・急激な健康破綻をきたした対象の看護

【事前・事後学習課題】 ・授業前に第5章「健康レベルにおける枠組み」3. を読んでおくこと。

- ・単元の小テスト(形成的評価)

第7回 【授業テーマ】 周手術期における対象の特徴と看護(1)

【内容・方法等】 ・周手術期の概念

- ・周手術期(術前・術中・術後)看護の特徴

【事前・事後学習課題】 ・単元の小テスト(形成的評価)

第8回 【授業テーマ】 周手術期における対象の特徴と看護(2)

【内容・方法等】 ・周手術期のチーム医療

- ・社会資源の活用

【事前・事後学習課題】 -

第9回 【授業テーマ】 -

【内容・方法等】 -

【事前・事後学習課題】 -

第10回 【授業テーマ】 -

【内容・方法等】 -

【事前・事後学習課題】 -

第11回 【授業テーマ】 -

【内容・方法等】 -

【事前・事後学習課題】 -

第12回 【授業テーマ】 -

【内容・方法等】 -

【事前・事後学習課題】 -

第13回 【授業テーマ】 -

【内容・方法等】 -

【事前・事後学習課題】 -

第14回 【授業テーマ】 -

【内容・方法等】 -

【事前・事後学習課題】 -

第15回 【授業テーマ】 -

【内容・方法等】 -

【事前・事後学習課題】 -

評価方法(基準)

定期試験及びレポートの内容を総合して総括的評価する。なお、

レポート課題は授業中に説明する。
定期試験(80%)、レポート(20%)。

教材等

教科書…大西和子、岡部聡子 編 『成人看護学概論』 ヌーヴェルヒロカワ (2,200円+税)

参考書…『国民衛生の動向2012/2013年版(厚生省の指標・増刊)』
厚生労働統計協会 (2,286円+税)

『周手術期看護論』 ヌーヴェルヒロカワ (2,400円+税)

学生へのメッセージ

- ・これまでの講義で修得した知識と成人看護学が関連し、理解が深められるよう、同期進行の授業科目も含めて関連科目をしっかり学習すること。
- ・常に問題意識をもち、なぜそうなのかを考え、自分の意見を述べるようにしましょう。
- ・成人看護学の基礎となる内容で広範囲にわたる授業を行うので、遅刻・欠席をせず、時間を有効に使用すること。

関連科目

1 年次前期履修科目のうち、人体の構造と機能Ⅰ、人体の構造と機能Ⅱ、看護学概論。
1 年次後期履修の同期進行する科目のうち、人体の構造と機能Ⅲ、人体の構造と機能Ⅳ、病理学総論、疾病・治療論Ⅰ、成人看護学概論Ⅱ、地域看護学。

担当者の研究室等

7号館3階 研究室26 (川畑)

成人看護学概論Ⅰ

Introduction to Adult Nursing Ⅱ

山本裕子(ヤマモト ユウコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

ライフサイクルにおける成人期の特徴を踏まえ、家族や職場・地域社会で様々な役割を持つ成人期の対象者の健康及び慢性的な健康問題の特徴を理解し、慢性的な健康問題のある成人を支援する看護について学習する。また、慢性的な健康問題のある成人が、主体的にQOLの高い療養生活を送ることができるよう援助するために有用な理論・概念について理解を深める。

授業方法と留意点

下記の授業計画に沿って講義を行う。成人期にある自分や家族の健康と生活の振り返りを通して、生活習慣と疾病の関係や、疾病がもたらす生活や人生への影響について理解を進め、慢性看護について学習する。講義資料を作成し授業を進めるが、新しい単語の説明や分かりにくい点はパワーポイントを用いて、丁寧に説明しながら内容を補足する。また、教科書による予習・復習を課し、理解を深める。さらに、臨床の事例を紹介しながら、理論・概念と関連づけ、慢性看護の具体的なイメージを持たせるように工夫する。学生の習熟度により、授業の進行スピードを変更する。

科目学習の効果(資格)

看護師国家試験受験資格のための必須科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 成人看護学の援助論

【内容・方法等】 成人の健康レベルに応じた看護援助および成人期の特徴を捉えた看護過程の理解

【事前・事後学習課題】 講義前に教科書第1章「成人看護学の概念と構成」、第Ⅷ章「看護過程の展開」を読んでおくこと。

講義後は学んだ内容について復習すること。以下の講義でも同様に復習を課す。

第2回 【授業テーマ】 慢性的な健康問題を有する成人の特徴と看護

【内容・方法等】 慢性的な健康問題、生活習慣と健康問題、慢性的な健康問題により身体的・心理社会的影響を受ける成人の特徴、慢性看護の特徴の理解

【事前・事後学習課題】 講義前に教科書第Ⅲ章「保健・医療・福祉における動向と課題」、第Ⅴ章「健康レベルにおける枠組み」を読んでおくこと

第3回 【授業テーマ】 慢性看護に有用な理論・概念(1)

【内容・方法等】 QOL、ストレスコーピング、適応、セルフケアの理解

【事前・事後学習課題】 講義前に第Ⅵ章3「ストレス理論・ストレスコーピング・危機理論」、5「セルフケア理論」、7「適応理論」を読んでおくこと

第4回 【授業テーマ】 慢性看護に有用な理論・概念(2)

【内容・方法等】 アンドラゴジー、自己効力感、エンパワーメント、アドヒアランス、不確かさ、病みの軌跡の理解

【事前・事後学習課題】 講義前に第Ⅵ章6「自己効力理論」、8「エンパワーメント」、10「アンドラゴジー」、12「不確かさ」、13「アドヒアランス」、14「病みの軌跡」を読んでおくこと

講義後、慢性看護に有用な理論・概念を用いた事例分析に

- について
レポートを課す。
- 第5回** 【授業テーマ】 がんによる影響を受ける成人の特徴と看護
【内容・方法 等】 がんの特徴、がんにより身体的・心理社会的影響を受ける成人の特徴、がん看護における倫理的課題、がん看護の特徴の理解
【事前・事後学習課題】 講義前に第4章「成人看護における倫理と看護者の役割」第5章5「ターミナル期の援助を必要としている対象」を読んでおくこと
- 第6回** 【授業テーマ】 がん治療による影響を受ける成人の特徴と看護
【内容・方法 等】 化学療法、放射線療法とその副作用による身体的・心理社会的影響及びがん治療を受ける成人に対する看護の理解
【事前・事後学習課題】 講義前にがん患者・家族の闘病記を読んでおくこと
講義後、闘病記の感想文をレポートとして課す
- 第7回** 【授業テーマ】 リハビリテーションを必要とする成人の特徴と看護
【内容・方法 等】 リハビリテーションの概念、リハビリテーションを必要とする成人の特徴、障害受容、リハビリテーション看護の特徴の理解
【事前・事後学習課題】 講義前に第5章3-③「リハビリテーションを必要とする患者」、第8章「継続看護と健康教育」を読んでおくこと
- 第8回** 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 慢性看護について学んだことを整理し、学習を深める
【事前・事後学習課題】 講義前に7回までの講義の復習をしておくこと

評価方法 (基準)

定期試験及びレポートの内容を総合して評価する。なお、レポート課題は授業中に説明する。
レポート (30%)、定期試験 (70%)

教材等

教科書…大西和子、岡部聡子 編 『成人看護学概論』 ヌーヴェルヒロカワ (2,200円+税)
参考書…鈴木志津枝 編 『慢性期看護論』 ヌーヴェルヒロカワ (2,600円+税)
安酸史子、鈴木純恵、吉田澄恵 編 『セルフマネジメント』 メディカ出版 (3,200円+税)
大西和子、飯野京子 編 『がん看護学』 ヌーヴェルヒロカワ (3,000円+税)
酒井郁子、金城利雄 編 『看護学テキストNiCEリハビリテーション看護』 南江堂 (2,400円+税)

学生へのメッセージ

講義では広範な内容を網羅し、かつ聞き慣れない専門用語も多いため、予習・復習は欠かさず行いましょう。また、生活者としての自分や家族に関心を持ち、生活と健康のかかわりについての洞察を深めてください。

関連科目

看護学概論、人体の構造と機能Ⅰ、人体の構造と機能Ⅱ、生命倫理、成人看護学概論Ⅰ

担当者の研究室等

7号館3階 研究室27 (山本)

成人看護学援助論
Adult Nursing Ⅰ

川 畑 安 正 (カワハタ ヤスマサ)
松 本 葉 子 (マツモト ヨウコ)
竹 下 裕 子 (タケシタ ヒロコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

【学習目的】

健康状態に急激な変化を生じ、生命の危機的状態にある対象とその家族の特徴を理解し、生命の維持と心身の早期回復、早期社会復帰に向けた看護を実践する能力を身につけることができる。

【一般目標】

1. 健康状態に急激な変化を生じ、生命の危機的状態にある対象や、手術を受ける対象とその家族の身体的、心理・社会的特徴および倫理的課題について理解できる。
2. 麻酔・手術における侵襲と生体反応を踏まえ、術後合併症のアセスメントと予防のための看護援助について理解できる。
3. 手術によって、形態変化や機能障害をもたらされた対象とその家族の適応および新たなセルフケア能力獲得を促すための看護援助について理解できる。

4. 手術を受ける対象とその家族が、周手術期および退院後も、QOLのより高い生活を獲得できるよう、チーム医療のもとで行う看護援助について理解できる。

5. 手術を受ける対象とその家族の看護問題を解決するために、主体的な学習態度で取り組むことができる。

授業方法と留意点

下記の授業計画に沿って講義を行う。健康に急激な変化を生じ、生命の危機的状態にある対象や、手術を受ける対象とその家族がもつ健康上の問題を理解する。健康上の問題を解決するための看護援助の理論を学習し、一部援助のデモンストレーションを行う。もしくは技術演習を取り入れる。

科目学習の効果 (資格)

- ・ 臨地実習 (成人看護学実習Ⅰ) において、看護援助を実践するための基盤となる。
- ・ 看護師国家試験の出題範囲である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 救急医療を必要とする対象の看護援助
【内容・方法 等】 救急医療体制、トリアージ、心肺蘇生
【事前・事後学習課題】 事後課題：国家試験対策に取り組み、成果物をまとめておくこと
- 第2回** 【授業テーマ】 救急医療を必要とする対象の看護援助
【内容・方法 等】 救急外来における看護援助、代表的な病態を呈する救急患者に対する看護 (急性中毒)
【事前・事後学習課題】 事後課題：国家試験対策に取り組み、成果物をまとめておくこと
- 第3回** 【授業テーマ】 周手術期にある対象の特徴と理解
【内容・方法 等】 周手術期にある対象とその家族の特徴と理解、麻酔・手術侵襲に伴う生体反応
【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」パート1理論編を読んでおくこと
事後課題：国家試験対策に取り組み、成果物をまとめておくこと
- 第4回** 【授業テーマ】 周手術期過程に応じた看護援助—術前
【内容・方法 等】 インフォームド・コンセントの支援、術前オリエンテーション、手術に向けた準備、手術室入室時の看護援助
【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」パート2Ⅳ1. 術前の看護を読んでおく。教科書「成人看護技術」呼吸機能検査・循環機能検査(p.2~p.14)を読み、臍処置・除毛(p.110,111)について、目的・方法・実施上の注意点などをノートにまとめておくこと。
事後課題：国家試験対策に取り組み、成果物をまとめておくこと
- 第5回** 【授業テーマ】 周手術期過程に応じた看護援助—術中
【内容・方法 等】 手術室環境、麻酔導入時～覚醒時の看護援助
【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」パート2Ⅳ2. 術中の看護と、「成人看護技術」の術中の看護技術(p.120~p.154)を読んでおくこと
事後課題：国家試験対策に取り組み、成果物をまとめておくこと
- 第6回** 【授業テーマ】 周手術期過程に応じた看護援助—術後
【内容・方法 等】 術直後の全身状態の観察と看護援助
【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」p.115~p.121を読み、術直後のモニタリングのポイント・観察項目とそれぞれの正常 (または基準値) についてまとめておくこと。
事後課題：国家試験対策に取り組み、成果物をまとめておくこと
- 第7回** 【授業テーマ】 周手術期過程に応じた看護援助—術後
【内容・方法 等】 早期離床、日常生活援助
【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」パートp.122~p.130を読んでおくこと
教科書「成人看護技術」の離床の介助(p.207,208)について、目的・方法・実施上の注意点などをノートにまとめておくこと。
事後課題：国家試験対策に取り組み、成果物をまとめておくこと
- 第8回** 【授業テーマ】 周手術期過程に応じた看護援助—術後
【内容・方法 等】 術後疼痛マネジメント (患者管理鎮痛法：PCAの管理含む)
【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」p.38~p.41, p.121~p.124を読んでおくこと
教科書「成人看護技術」の疼痛管理(p.170~p.174)について、目的・方法・実施上の注意点などをノートにまとめておくこと。
事後課題：国家試験対策に取り組み、成果物をまとめておくこと
- 第9回** 【授業テーマ】 術後合併症予防のための看護援助
【内容・方法 等】 呼吸器合併症 (呼吸法、排痰訓練含む)
【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」パート2Ⅴ1. 肺合併症を読んでおくこと
教科書「成人看護技術」の呼吸法、排痰訓練(p.104~p.108)について、目的・方法・実施上の注意点などをノートにま

とめてくること。

事後課題：国家試験対策に取り組み、成果物をまとめておくこと

第10回 【授業テーマ】 術後合併症予防のための看護援助

【内容・方法等】 循環器合併症

【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」パート2 V 2. 循環不全を読み、術後の体液バランスと輸液管理についてまとめてくること

事後課題：国家試験対策に取り組み、成果物をまとめておくこと

第11回 【授業テーマ】 術後合併症予防のための看護援助

【内容・方法等】 消化器合併症（温巻法含む）

【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」パート2 V 3. イレウスを読み、腰背部温巻法の技術(p.161)について目的・方法・実施上の注意点をノートにまとめてくること。

事後課題：国家試験対策に取り組み、成果物をまとめておくこと

第12回 【授業テーマ】 術後合併症予防のための看護援助

【内容・方法等】 術後感染、縫合不全（創傷管理・ドレーン管理含む）

【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」パート2 V 4. 術後感染、5. 縫合不全を読んでくること
教科書「成人看護技術」のドレーン管理(p.190～p.192)について、目的・方法・実施上の注意点をノートにまとめてくること。

事後課題：国家試験対策に取り組み、成果物をまとめておくこと

第13回 【授業テーマ】 術後合併症予防のための看護援助

【内容・方法等】 肺塞栓症、深部静脈血栓症、術後せん妄

【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」パート2 V 6. 肺塞栓症と深部静脈血栓症、8. 術後せん妄を読んでくること

教科書「成人看護技術」の静脈血栓塞栓症の予防(p.108～p.109)について、目的・方法・実施上の注意点をノートにまとめてくること。

事後課題：国家試験対策に取り組み、成果物をまとめておくこと

第14回 【授業テーマ】 形態変化や機能障害への適応とセルフケア能力獲得促進のための看護援助

【内容・方法等】 胃切除術を受ける対象に対する看護援助

【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」パート2 VII 4. 開腹術を受ける人の看護を読み、胃がんの原因と誘因、症状と発生機序、分類と進行度、術式と各術式の特徴（切除部位、再建方法）などをまとめてくること

事後課題：国家試験対策に取り組み、成果物をまとめておくこと

第15回 【授業テーマ】 形態変化や機能障害への適応とセルフケア能力獲得促進のための看護援助

【内容・方法等】 人工股関節置換術を受ける対象に対する看護援助

【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」パート2 VII 7. 運動器の手術を受ける人の看護を読み、関節リウマチの原因と誘因、症状と発生機序、分類、術式と各術式の特徴などをまとめてくること

事後課題：国家試験対策に取り組み、成果物をまとめておくこと

評価方法（基準）

定期試験、事前・事後学習の内容を総合して評価する。

評価割合：定期試験90%、事前・事後学習10%

教材等

教科書…1. 雄西智恵美・秋元典子編：成人看護学 周手術期看護論(第2版)。ヌーヴェルヒロカワ
2. 野島真奈美 他編：看護学テキストNiCE 成人看護学 成人看護技術。南江堂
(2. については「成人看護学援助方法論（2年後期）」でも使用する)

参考書…1. 林直子・佐藤まゆみ編：看護学テキストNiCE 成人看護学 急性期看護Ⅰ-概論・周手術期看護。南江堂
2. 佐藤まゆみ・林直子編：看護学テキストNiCE 成人看護学 急性期看護Ⅱ-救急看護。南江堂
3. 池松裕子・山勢善江編：成人看護学 急性期看護論。ヌーヴェルヒロカワ
4. 山勢博彰編：成人看護学 救急看護論。ヌーヴェルヒロカワ
5. 矢永勝彦著：系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論。医学書院
6. 中島恵美子・山崎智子他編：ナーシング・グラフィカEX③ 周手術期看護。メディカ出版

学生へのメッセージ

急性期にある対象に対しては、迅速な対処を必要とされることが多く、看護の展開が速いのが特徴です。習得した知識を個別の対象に適用できるためには、十分な事前・事後学習が不可欠です。事前学習、事後学習用としてノートを2冊用意し、毎回授

業時に持参してください。ノートの提出日は別途提示します。

関連科目

成人看護学概論Ⅰ・Ⅱ
成人病態看護論
人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳ
病理学総論
疾病治療論Ⅰ・Ⅱ
感染と防御

担当者の研究室等

7号館3階 研究室30（竹下）

成人看護学援助論II
Adult Nursing II

山本裕子（ヤマモト ユウコ）
松本葉子（マツモト ヨウコ）
森谷利香（モリヤ リカ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

《概要》

慢性的な健康問題のある成人期の人々を理解し、対象者が主体的に療養生活に取り組むために必要な看護援助を学習する。また、代表的な慢性病をモデルにして、疾病や症状をコントロールするために必要とされる対象のセルフケア、ストレスコーピング、生活の再構築や適応を促進するための看護の援助方法について学習する。

《学習目的》

慢性的な健康問題を有する成人期の対象と家族の特徴を踏まえ、そのQOLの維持・向上、および主体的な療養生活に向けた看護を実践する能力を身につけることができる。

《一般目標》

1. 慢性的な健康問題を有する成人期の対象(以下「対象」)とその家族が、慢性的な健康問題によって受ける心身や生活、QOL、倫理的な影響について説明できる。
2. 代表的な慢性病をモデルにして、対象とその家族の、QOLの維持・向上のために必要なセルフケア、ストレスコーピング、あるいは生活の再構築や適応の促進に向けた看護の援助方法について理解し、また、これに関連する援助技術を習得できる。

3. 代表的な慢性病をモデルにして、対象とその家族が主体的な療養生活を送り、QOLの維持・向上のために必要なチーム医療について理解し、看護の役割について説明できる。
4. 対象とその家族の看護問題の解決に向けて、主体的な学習態度で取り組むことができる。また、看護職者としての価値観、態度、信念を養う。

授業方法と留意点

授業方法は講義を中心とし、演習やグループワークを含める。事前学習と講義をつなげて理解を深め、事後には復習やレポート課題によって知識の確実な習得を目指すとともに自分の考えをまとめる。また、講義の途中で小テストを行い、知識の確認を行う。

科目学習の効果（資格）

特記事項なし

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 セルフケアを促進するための看護援助（1）
【内容・方法等】 慢性閉塞性肺疾患により呼吸調整の必要な患者の理解と看護(講義)

【事前・事後学習課題】 【事前学習】

課題2を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章1-2を読んでおくこと。

【事後学習】

教科書と資料の内容を復習すること。

第2回 【授業テーマ】 セルフケアを促進するための看護援助（2）

【内容・方法等】 高血圧により循環機能に影響を受ける患者の理解と看護(講義)

【事前・事後学習課題】 【事前学習】

課題1を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章2-1を読んでおくこと。

【事後学習】

教科書と資料の内容を復習すること。

第3回 【授業テーマ】 セルフケアを促進するための看護援助（3）

【内容・方法等】 慢性心不全により活動耐性の低下した患者の理解と看護(講義)

【事前・事後学習課題】 【事前学習】

課題1を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章2-4を読んでおくこと。

【事後学習】

教科書と資料の内容を復習すること。

- 第4回** 【授業テーマ】セルフケアを促進するための看護援助（4）
 【内容・方法等】慢性腎不全により恒常性の維持が困難になった患者の理解と看護(講義)
 【事前・事後学習課題】 【事前学習】
 課題5を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-5-1を読んでおくこと。
 【事後学習】
 教科書と資料の内容を復習すること。
- 第5回** 【授業テーマ】セルフケアを促進するための看護援助（5）
 【内容・方法等】糖尿病によりライフスタイルの修正が必要な患者の理解と看護1)糖尿病の発症に伴う身体的・心理社会的反応とセルフケアの特徴(講義)
 【事前・事後学習課題】 【事前学習】
 課題4を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-4-1を読んでおくこと。
 【事後学習】
 教科書と資料の内容を復習すること。
- 第6回** 【授業テーマ】セルフケアを促進するための看護援助（6）
 【内容・方法等】糖尿病によりライフスタイルの修正が必要な患者の理解と看護2)糖尿病セルフケア支援のための援助技法(講義)
 【事前・事後学習課題】 【事前学習】
 課題4を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-4-1を読んでおくこと。
 【事後学習】
 教科書と資料の内容を復習すること。またレポートを課す。
- 第7回** 【授業テーマ】生活の再構築や適応を促進するための看護援助（1）
 【内容・方法等】筋萎縮性側索硬化症により身体活動が制限された患者の理解と看護1)難病患者の身体的・心理社会的反応への看護(講義)
 【事前・事後学習課題】 【事前学習】
 課題8を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-7-3を読んでおくこと。
 【事後学習】
 教科書と資料の内容を復習すること。
- 第8回** 【授業テーマ】生活の再構築や適応を促進するための看護援助（2）
 【内容・方法等】筋萎縮性側索硬化症により身体活動が制限された患者の理解と看護2)生活の再構築の過程を支える看護(講義)
 【事前・事後学習課題】 【事前学習】
 課題8を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-7-3を読んでおくこと。別途、課題を課す。
 【事後学習】
 教科書と資料の内容を復習すること。またレポートを課す。
- 第9回** 【授業テーマ】生活の再構築や適応を促進するための看護援助（3）
 【内容・方法等】膠原病（全身性エリテマトーデス、関節リウマチ）によりライフイベントに影響を受ける患者の理解と看護(講義)
 【事前・事後学習課題】 【事前学習】
 課題6を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-6-4, 5を読んでおくこと。
 【事後学習】
 教科書と資料の内容を復習すること。
- 第10回** 【授業テーマ】生活の再構築や適応を促進するための看護援助（4）
 【内容・方法等】炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）により再発と寛解への不確かさを抱く患者の理解と看護(講義)
 【事前・事後学習課題】 【事前学習】
 課題3を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-3-5, 6を読んでおくこと。
 【事後学習】
 教科書と資料の内容を復習すること。
- 第11回** 【授業テーマ】ストレスコーピングを促進するための看護援助（1）
 【内容・方法等】慢性肝炎により肝硬変・肝がんへの進行の不安を抱く患者の理解と看護(講義)
 【事前・事後学習課題】 【事前学習】
 課題3を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-3-2, 3, 4を読んでおくこと。
 【事後学習】
 教科書と資料の内容を復習すること。
- 第12回** 【授業テーマ】ストレスコーピングを促進するための看護援助（2）
 【内容・方法等】膵胆道系のがんにより生命の危機を抱く患者の理解と看護(講義)
 【事前・事後学習課題】 【事前学習】
 課題3を中心に、病態の復習を行うこと。
 【事後学習】
 教科書と資料の内容を復習すること。
- 第13回** 【授業テーマ】ストレスコーピングを促進するための看護援助

- （3）
 【内容・方法等】肺がんによる症状マネジメントを必要とする患者の理解と看護(講義)
 【事前・事後学習課題】 【事前学習】
 課題2を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-1-3を読んでおくこと。
 【事後学習】
 教科書と資料の内容を復習すること。
- 第14回** 【授業テーマ】ストレスコーピングを促進するための看護援助（4）
 【内容・方法等】白血病の寛解をめざす患者の理解と看護(講義)
 【事前・事後学習課題】 【事前学習】
 課題7を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-6-2を読んでおくこと。
 【事後学習】
 教科書と資料の内容を復習すること。
- 第15回** 【授業テーマ】学習のまとめ(演習)
 【内容・方法等】学んだことを整理し、それぞれの病の看護の理解を確認する(演習)
 【事前・事後学習課題】 【事前学習】
 第1回～14回の講義の内容を復習しておくこと。
 【事後学習】
 レポートを課す。

評価方法（基準）

筆記試験(75%)、事前学習・小テスト(12%)、レポート(13%)の内容を総合して評価する。

教材等

教科書…鈴木久美他 「慢性期看護」 南江堂
 他、講義において資料を配布する
参考書…鈴木志津枝他 「慢性期看護論」 スーヴェルヒロカワ
 大西和子他「成人看護学概論」 スーヴェルヒロカワ
 浅野 浩一郎他「系統看護学講座 成人看護学2 呼吸器」医学書院
 上塚芳郎他「系統看護学講座 成人看護学3 循環器」医学書院
 飯野京子他「系統看護学講座 成人看護学4 血液・造血器」医学書院
 金田智他「系統看護学講座 成人看護学5 消化器」医学書院
 黒江ゆり子他「系統看護学講座 成人看護学6 内分泌・代謝」医学書院
 井手隆文他「系統看護学講座 成人看護学7 脳・神経」医学書院
 大東貴志他「系統看護学講座 成人看護学8 腎・泌尿器」医学書院
 岩田健太郎他「系統看護学講座 成人看護学11 アレルギー 膠原病 感染症」医学書院
 他、疾病・治療論、病態学総論で使用した教科書を参考にする。

学生へのメッセージ

本科目ではさまざまな慢性の病の看護を学びます。慢性の病をもつ対象への関心を深め、また今後の看護実践につなげるために、積極的に学習してください。

関連科目

成人看護学概論1、成人病態看護論、疾病・治療論1～2、人体の構造と機能1～4、病態学総論

担当者の研究室等

研究室29(森谷)

成人病態看護論

Adult Nursing in Clinical State

川 畑 安 正 (カワハタ ヤスマサ)
 山 本 裕 子 (ヤマモト ユウコ)
 松 本 葉 子 (マツモト ヨウコ)
 竹 下 裕 子 (タケシタ ヒロコ)
 森 谷 利 香 (モリヤ リカ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

【概要】

様々な症状を呈する成人期の人々に対して、看護を提供するためには、その症状の原因や発生機序、経過、増悪あるいは軽減させる要因について理解する必要がある。

本科目では、成人期にある対象の主要な症状を取り上げて、病態とその病態が対象者に及ぼす身体的・心理的・社会的な影響

及び的確なアセスメントと看護援助の方法について学習する。

【目的】

疾病やそれに伴う治療・処置、または、事故や災害などにより発現あるいは増悪する身体症状について、その体験が成人期の対象やその家族に与える身体的・心理社会的影響をふまえ、アセスメントから看護実践につなげる方法を理解する。なお、疾病については発症から終末までのすべての病期を含む。

【目標】

〈一般目標〉

1. 症状が発現する病態を理解する
2. 症状の予防、緩和、および、症状に伴う苦痛の軽減、症状に伴う二次障害の予防のための看護実践方法を理解する
3. 症状マネジメントにおける看護師の役割・機能および多職種との連携を理解する

授業方法と留意点

授業方法は講義を中心として、一部は模擬患者（ペーパーペーシェント）を用いて演習を行う。随時、アセスメントや看護実践方法の選定に関するミニテストを行う。

科目学習の効果（資格）

病態や症状に関する看護方法は、看護を実践するうえで不可欠な基礎的能力です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 症状を体験する成人の理解と看護

【内容・方法 等】 症状や病態の捉え方と看護

生命の危機的状態にある対象、治療・検査に伴う症状を体験する対象、慢性的に症状を体験している対象の特徴、終末期の対象の特徴

【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書『症状別看護技術』のパートⅠ理論編のⅠ. 症状別看護の考え方を読んでくる。事後課題：授業内容を振り返り、自己学習用ノートに整理する。

第2回 【授業テーマ】 消化・吸収・代謝機能障害にともなう症状と看護1

【内容・方法 等】 代表的症状：腹部膨満、嘔気（悪心）・嘔吐

症状の定義とメカニズム（疾患や治療の病態）、二次障害生活への影響（特に、たべる、排泄すること）
モニタリングとアセスメント方法
援助方法

【事前・事後学習課題】 事前課題：代表的症状に関連する教科書『症状別看護技術』の該当箇所を読んでくる。さらに、『病気がみえる vol.1 消化器』の総論の症候の該当箇所と症状の原因となる疾患について読んでくる。事後課題：授業内容を振り返り、自己学習用ノートに整理する。

第3回 【授業テーマ】 消化・吸収・代謝機能障害にともなう症状と看護2

【内容・方法 等】 代表的症状：黄疸、腹水

症状の定義とメカニズム（疾患や治療の病態）、二次障害生活への影響（特に、たべる、排泄すること）
モニタリングとアセスメント方法
援助方法

【事前・事後学習課題】 代表的症状に関連する教科書『症状別看護技術』の該当箇所を読んでくる。さらに、『病気がみえる vol.1 消化器』の総論の症候の該当箇所および肝臓総論の「黄疸」、症状の原因となる疾患について読んでくる。事後課題：授業内容を振り返り、自己学習用ノートに整理する。

第4回 【授業テーマ】 呼吸・循環機能障害にともなう症状と看護1

【内容・方法 等】 代表的症状：咳嗽・喀痰、呼吸困難

症状の定義とメカニズム（疾患や治療の病態）、二次障害生活への影響（特に、連続した活動の持久性、症状の出現に伴う不安）
モニタリングとアセスメント方法
援助方法

【事前・事後学習課題】 事前課題：代表的症状に関連する教科書『症状別看護技術』の該当箇所を読んでくる。さらに、『病気がみえる vol.4 呼吸器』の総論の「ガス交換」p20-21、「換気と血流の比」p26-29、「呼吸不全と換気異常」p40-51と症状の原因となる疾患、『病気がみえる vol.2 循環器』の総論の「呼吸困難」p53について読んでくる。事後課題：授業内容を振り返り、自己学習用ノートに整理する。

第5回 【授業テーマ】 呼吸・循環機能障害にともなう症状と看護2

【内容・方法 等】 代表的症状：胸痛・動悸、血圧の異常

症状の定義とメカニズム（疾患や治療の病態）、二次障害生活への影響（特に、連続した活動の持久性、症状の出現に伴う不安）
モニタリングとアセスメント方法
援助方法

【事前・事後学習課題】 事前課題：代表的症状に関連する教科書『症状別看護技術』の該当箇所を読んでくる。さらに、『病気がみえる vol.2 循環器』の総論の「主要症候」p53-55、「心不全」p56-71、「血圧異常総論」p282-292と症状の原因とな

る疾患について読んでくる。

事後課題：授業内容を振り返り、自己学習用ノートに整理する。

第6回 【授業テーマ】 呼吸・循環機能障害にともなう症状と看護3

【内容・方法 等】 演習：呼吸・循環機能障害にともなう症状を呈した模擬患者のアセスメントと援助計画の立案
方法：グループワーク、発表と討議

【事前・事後学習課題】 事前課題：配布資料参照。呼吸・循環機能障害に伴う症状と看護1、2の授業内容及び資料を振り返る。

事後課題：グループワーク、および、発表と討議を振り返り、レポートを作成し、提出する。

第7回 【授業テーマ】 全身管理を必要とする症状と看護1

【内容・方法 等】 代表的症状：ショック

症状の定義とメカニズム（疾患や治療の病態）、二次障害生活への影響（突然の症状に伴う患者及び家族の混乱）
モニタリングとアセスメント方法
援助方法

【事前・事後学習課題】 事前課題：代表的症状に関連する教科書『症状別看護技術』の該当箇所を読んでくる。さらに、『病気がみえる vol.2 循環器』の主要症候「ショック」p55、『病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症』の「アナフィラキシーショック」p39、「敗血症と敗血症性ショック」p115、「SIRSとsepsis」p116と症状の原因となる疾患について読んでくる。

事後課題：授業内容を振り返り、自己学習用ノートに整理する。

第8回 【授業テーマ】 全身管理を必要とする症状と看護2

【内容・方法 等】 代表的症状：意識障害、浮腫、発熱・低体温

症状の定義とメカニズム（疾患や治療の病態）、二次障害生活への影響（外観の変化に対する苦痛、活動耐性や運動機能への影響）
モニタリングとアセスメント方法
援助方法

【事前・事後学習課題】 事前課題：代表的症状に関連する教科書『症状別看護技術』の該当箇所を読んでくる。さらに、『病気がみえる vol.2 循環器』の主要症候「浮腫」と「失神」p54、『病気がみえる vol.7 脳・神経』の「体温調節メカニズム」p206、「意識障害」p456-459、「植物状態と脳死」p460-461と症状の原因となる疾患について読んでくる。事後課題：授業内容を振り返り、自己学習用ノートに整理する。

第9回 【授業テーマ】 脳神経機能障害に伴う症状と看護1

【内容・方法 等】 代表的症状：運動・皮膚感覚麻痺、感覚麻痺（視覚、聴覚、味覚、嗅覚）

症状の定義とメカニズム（疾患や治療の病態）、二次障害生活への影響（特に、動くこと、情報入手と危険回避）
モニタリングとアセスメント方法
援助方法

【事前・事後学習課題】 事前課題：代表的症状に関連する教科書『症状別看護技術』の該当箇所を読んでくる。さらに、『病気がみえる vol.7 脳・神経』の「運動の異常」～「感覚」p168-199、「眼位、眼瞼、瞳孔、眼球運動などの異常」～「けいれん」p462-467と症状の原因となる疾患について読んでくる。事後課題：授業内容を振り返り、自己学習用ノートに整理する。

第10回 【授業テーマ】 脳神経機能障害に伴う症状と看護2

【内容・方法 等】 演習：ポジショニング

【事前・事後学習課題】 事前課題：配布資料参照。脳神経機能障害に伴う症状と看護1の授業内容を振り返る。事後課題：実践後の振り返りレポートの作成と提出。

第11回 【授業テーマ】 全身管理を必要とする症状と看護3

【内容・方法 等】 演習：体液バランスのアセスメントと輸液管理

【事前・事後学習課題】 事前課題：配布資料参照。全身管理を必要とする症状と看護1、2の授業内容と成人看護学援助論Ⅰで作成したノートの該当箇所を振り返る。事後課題：実践後の振り返りレポートの作成と提出。

第12回 【授業テーマ】 終末期に特徴的な症状と看護1

【内容・方法 等】 代表的症状：疼痛

症状の定義とメカニズム（終末期の病態）、二次障害生活への影響（特に、死への恐怖、日常性の維持困難、家族への影響）
モニタリングとアセスメント方法
援助方法（特にチームアプローチ）

【事前・事後学習課題】 事前課題：代表的症状に関連する教科書『症状別看護技術』の該当箇所を読んでくる。事後課題：授業内容を振り返り、自己学習用ノートに整理する。

第13回 【授業テーマ】 終末期に特徴的な症状と看護2

【内容・方法 等】 代表的症状：倦怠感、その他の苦痛症状
症状の定義とメカニズム（終末期の病態）、二次障害

生活への影響（特に、死への恐怖、日常性の維持困難、家族への影響）
 モニタリングとアセスメント方法
 援助方法（特にチームアプローチ）

【事前・事後学習課題】 事前課題：代表的症状に関連する教科書『症状別看護技術』の該当箇所を読んでくる。
 事後課題：授業内容を振り返り、自己学習用ノートに整理する。

第14回 【授業テーマ】 症状マネジメントのための統合的アプローチ1
 【内容・方法等】 症状マネジメントの考え方

統合的アプローチの看護活動

【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書『症状別看護技術』の該当箇所を読んでくる。
 事後課題：授業内容を振り返り、自己学習用ノートに整理する。

第15回 【授業テーマ】 症状マネジメントのための統合的アプローチ2
 【内容・方法等】 終末期の緩和ケアを必要とする対象への統合的アプローチの事例展開
 グループワーク

【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書『症状別看護技術』の該当箇所を読んでくる。
 事後課題：教員のフィードバックを参考に、グループワークの内容を振り返る。

評価方法（基準）

定期試験（70%）、レポート（30%）により総括評価する。レポート提出を持って定期試験の受験対象とする。

教材等

教科書…随時資料を配布

1. 荒尾春恵 大西和子 編 『症状別看護技術』 ヌーヴェルヒロカワ
2. 福本陽平等 監修 『病気がみえる vol.1 消化器』 メディックメディア
3. 萩原誠久等 監修 『病気がみえる vol.2 循環器』 メディックメディア
4. 弘世貴久等 監修 『病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌』 メディックメディア
5. 滝澤始等 監修 『病気がみえる vol.4 呼吸器』 メディックメディア
6. 土屋達行等 監修 『病気がみえる vol.5 血液』 メディックメディア
7. 森尾友宏等 監修 『病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症』 メディックメディア
8. 尾上尚志等 監修 『病気がみえる vol.7 脳・神経』 メディックメディア
9. 池森(上條)敦子等 監修 『病気がみえる vol.8 腎・泌尿器』 メディックメディア

- 参考書…1. 井上智子 佐藤千史 編 『緊急度・重症度からみた症状別看護過程+病態関連図』 医学書院（5,000円+税）
 2. 池松裕子 山内豊明 編 『Basic Nursing シリーズ 症状・徴候別アセスメントと看護ケア』（4,800円+税）

学生へのメッセージ

関連科目の理解が本科目の学習につながるため、予習復習を確実に行ってください。原則として演習を欠席した場合の補講は実施しない。

関連科目

人体の構造と機能1～4、疾病・治療論1～2、病理学総論、成人看護学概論1～2、成人看護援助論1～2

担当者の研究室等

研究室28（松本）

な健康問題のある事例を取り上げて、看護過程の展開について学習する。また、成人看護学において必要とされる看護技術について、演習を通して修得する。

【目的】

成人期にある対象、およびその家族のニーズを、健康レベルや生活背景を踏まえてアセスメントしたうえで、根拠に基づいた看護を計画展開できる基礎的能力を養う。また、アセスメントをもとにした模擬患者への看護援助技術の提供や患者役の体験を通して、より適切な看護援助技術の実践に向けた自己の課題に気づくことができる。学内実習の振り返りをとおして、看護職者としての倫理観やより質の高い看護実践を展開する応用力を養う。

【目標】

〈一般目標〉

1. 成人期にある対象に適切な看護援助技術を提供するための情報を得る方法を模擬患者への実践を通して考察する。
2. 身体情報の判断に応じた看護援助技術の模擬患者への実践を通して、自己の判断や技術を評価する
3. 模擬患者の情報をもとに、根拠に基づいた看護を計画する方法を理解する
4. 模擬患者への看護援助およびロールプレイをとおして、対象への倫理的配慮を踏まえた態度を考察する

授業方法と留意点

授業方法は模擬患者（ペーパーペーシェントやシミュレータ）を用いたグループでの演習を中心に行う。原則として欠席は認めない。

科目学習の効果（資格）

成人看護学実習で実際に活用する援助方法です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 救急時の看護技術：一次および二次救命処置

【内容・方法等】 一次および二次救命が必要な対象の状態の判断
 一次救命の手順
 シミュレーターを用いた一次救命の実施
 実施した一時救命処置の振り返り
 一次救命と二次救命の相違

【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書『成人看護技術』の第III章救急時の看護技術を読んでくる。事前に配布する資料を読み、理解してくる。成人看護学援助論Iの第1回の資料を読み、振り返っておく。
 事後課題：演習実施後の振り返りを通し、レポートをまとめる。技術は実習室の開放時間を活用して反復練習できるようにする。

第2回 【授業テーマ】 人工呼吸管理下の患者の看護

【内容・方法等】 人工呼吸管理下で発声ができない対象の状態を模擬体験
 対象の状態のアセスメントから、有効なコミュニケーション方法および安全・安楽を提供する方法を模索
 演習体験を振り返り、人工呼吸管理下の対象とのコミュニケーション、および、安全・安楽を確保するための援助の要点を整理
 演習の体験を通して、生命の危機状態にあり、緊急で人工呼吸管理が開始された対象の心理を推測

【事前・事後学習課題】 事前課題：配布資料を読み、理解してくる。
 事後課題：演習実施後の振り返りを通し、レポートをまとめる。

第3回 【授業テーマ】 看護過程1

【内容・方法等】 グループワーク
 模擬患者（ペーパーペーシェント）を活用
 アセスメント：データ収集とデータの解釈（分析と統合）
 【事前・事後学習課題】 事前課題：配布資料参照。グループワークでディスカッションするための個人ワーク。

第4回 【授業テーマ】 看護過程2

【内容・方法等】 グループワーク
 模擬患者（ペーパーペーシェント）を活用
 アセスメント：データ収集とデータの解釈（分析と統合）
 【事前・事後学習課題】 事後課題：グループワークの記録提出

第5回 【授業テーマ】 看護過程3

【内容・方法等】 グループワーク
 模擬患者（ペーパーペーシェント）を活用
 診断と優先順位の設定
 【事前・事後学習課題】 事前課題：グループワークでディスカッションするための個人ワーク
 事後課題：教員のフィードバックをもとに記録の修正。再度、グループワークの記録提出

第6回 【授業テーマ】 看護過程4

【内容・方法等】 グループワーク
 模擬患者（ペーパーペーシェント）を活用
 看護計画の立案
 【事前・事後学習課題】 事前課題：グループワークでディスカッションするための個人ワーク（教員のフィードバック参照）

第7回 【授業テーマ】 看護過程5

成人看護学援助方法 Adult Nursing Skills				
	川 畑 安 正 (カワハタ ヤスマサ)			
	山 本 裕 子 (ヤマモト ユウコ)			
	松 本 葉 子 (マツモト ヨウコ)			
	竹 下 裕 子 (タケシタ ヒロコ)			
	森 谷 利 香 (モリヤ リカ)			
	宇 多 雅 (ウダ ミヤビ)			
	松 田 常 美 (マツダ ツネミ)			
	未決定 (看護学部) (ミケッティ カンゴカクブ)			
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

【概要】

成人期にある看護の対象となる人々の健康段階における代表的

- 【内容・方法 等】** グループワーク
模擬患者（ペーパーペーシェント）を活用
看護計画の立案
- 【事前・事後学習課題】** 事後課題：事後課題：教員のフィードバックをもとに記録の修正。記録の最終提出に向けた整理。
- 第8回** **【授業テーマ】** 術後患者の看護1-1
【内容・方法 等】 術直後から1時間までの観察、および、術後合併症の判断と援助
看護過程の模擬患者の情報をもとに援助計画を立案し、シミュレータで実践
- 【事前・事後学習課題】** 事前課題：配布資料参照。成人看護学援助論Iで作成したノートの該当箇所を振り返る。
- 第9回** **【授業テーマ】** 術後患者の看護1-2
【内容・方法 等】 術直後から1時間までの観察、および、術後合併症の判断と援助
看護過程の模擬患者の情報をもとに援助計画を立案し、シミュレータで実践
- 【事前・事後学習課題】** 事前課題：配布資料参照
事後課題：実践後の振り返りレポート
- 第10回** **【授業テーマ】** 慢性的な健康問題を持つ対象の看護1
【内容・方法 等】 慢性的な健康問題を持つ対象との援助的人間関係の形成
成人看護援助論IIの3つのテーマにおける対象理解をふまえ、対象との援助的人間関係を構築するための、コミュニケーション技術の実践
模擬患者情報をもとにグループでロールプレイング
実践後の批判的な振り返り
- 【事前・事後学習課題】** 事前課題：配布資料参照
- 第11回** **【授業テーマ】** 慢性的な健康問題を持つ対象の看護2
【内容・方法 等】 慢性的な健康問題を持つ対象との援助的人間関係の形成
成人看護援助論IIの3つのテーマにおける対象理解をふまえ、対象との援助的人間関係を構築するための、コミュニケーション技術の実践
模擬患者情報をもとにグループでロールプレイング
実践後の批判的な振り返り
- 【事前・事後学習課題】** 事後課題：実践後の振り返りレポート
- 第12回** **【授業テーマ】** 術後患者の看護2-1
【内容・方法 等】 早期離床の援助：術後1日目の援助（立位から歩行まで、清潔：更衣）
術後1日目の対象の状態をシミュレータで把握
看護過程の模擬患者を対象とし、ロールプレイング
体験の振り返りを通し、対象の特性と術後の早期離床を促進するための看護の要点を整理
- 【事前・事後学習課題】** 事前課題：配布資料参照。成人看護学援助論Iで作成したノートの該当箇所を振り返る。
- 第13回** **【授業テーマ】** 術後患者の看護2-2
【内容・方法 等】 早期離床の援助：術後1日目の援助（立位から歩行まで、清潔：更衣）
術後1日目の対象の状態をシミュレータで把握
看護過程の模擬患者を対象とし、ロールプレイング
体験の振り返りを通し、対象の特性と術後の早期離床を促進するための看護の要点を整理
- 【事前・事後学習課題】** 事後課題：実践後の振り返りレポート
- 第14回** **【授業テーマ】** 気道浄化ケア1
【内容・方法 等】 シミュレーターの呼吸状態の観察とアセスメント
気道内分泌物の排出の援助：自己喀痰と吸引
実践を振り返り、援助の要点を整理
- 【事前・事後学習課題】** 事前課題：配布資料参照。成人看護学援助論Iで作成したノートの該当箇所を振り返る。
- 第15回** **【授業テーマ】** 気道浄化ケア2
【内容・方法 等】 シミュレーターの呼吸状態の観察とアセスメント
気道内分泌物の排出の援助：自己喀痰と吸引
実践を振り返り、援助の要点を整理
- 【事前・事後学習課題】** 事後課題：実践後の振り返りレポート
- 評価方法（基準）**
定期試験（30%）、レポート（60%）演習課題の達成状況（10%）により総括評価する。レポート提出を持って定期試験の受験対象とする。
- 教材等**
教科書…1. 野島真奈美 他編 『看護学テキストNiCE 成人看護学 成人看護技術』 南江堂
2. 雄西智恵美 秋元典子 編 『成人看護学 周手術期看護論(第2版)』 ヌーヴェルヒロカワ
3. 鈴木久美 他 『慢性期看護』 南江堂
参考書…関連科目の教科書
その他
1. 大池美也子 川本利恵子 編 『根拠がわかる成人看護技術』 メヂカルフレンド社
2. 大阪ライフサポート協会 他 『改訂版BLS：写真と動画でわかる一次救命処置』 学研メディカル秀潤社

3. 本郷久美子 監訳 『基本から学ぶ看護過程と看護診断』 医学書院
4. 道又元裕 編 『クリティカルケア看護技術の実践と根拠』 中山書店

学生へのメッセージ

関連科目の理解が本科目の学習につながるため、予習復習を確実に行ってください。原則として演習を欠席した場合の補講は実施しません。
グループ学習を基本とします。メンバー間でよい学びができるよう協力してください。また、看護はチーム医療の一員です。グループワークを通し、リーダーシップやメンバーシップを習得してください。

関連科目

人体の構造と機能1~4、疾病・治療論1~2、病理学総論、成人看護学概論1~2、成人看護援助論1~2、成人病態看護論

担当者の研究室等

研究室28（松本）

老年看護学概論

Introduction to Gerontological Nursing

板倉 勲子 (イタクラ イサコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

老年看護の理念とライフサイクルにおける老年期の主要概念を理解した上で、高齢者とその家族に、健康とQOLを高めるための理論と知識及び看護の役割を学ぶ。具体的には、高齢者の現状と特徴を衛生統計を通して学び、高齢化に伴う生活に及ぼす要因について理解し、質の高い健康生活のあり方を学ぶ。さらに高齢者とその家族の健康維持のための社会保障サービスにおける看護活動について学習する。

授業方法と留意点

基本的には授業計画に沿って授業します。指定した教科書を中心に講義を進めます。必要に応じてプリントを配布しますが、プリントの内容も重要事項となります。
学生たちで発見学習、学習内容の発表も入れています。普段から広い視野で学習する習慣を身につけましょう。

科目学習の効果（資格）

看護師国家試験の科目です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** **【授業テーマ】** 老年看護の概念
【内容・方法 等】 老年看護とは
老年看護の役割と機能、原則
【事前・事後学習課題】 老年看護を学ぶにあたり、基本的なことを講義します。
テキストを予習して、概要をとらえておいてください。
今後の講義や実習の根幹になりますので、しっかり復習すること。
- 第2回** **【授業テーマ】** 老化の概念
【内容・方法 等】 老化現象：人が老いることについて、諸説を学びます。
老化理論：人はなぜ老化するのかについて諸説を学びます。
【事前・事後学習課題】 高齢者を理解するにあたり、基本的なことを講義します。
テキストを予習して、概要をとらえておいてください。
今後の講義や実習の根幹になりますので、しっかり復習すること。
- 第3回** **【授業テーマ】** 老化現象の理解(1)
【内容・方法 等】 老年期にある人の身体的変化について学びます。
身体的な側面から老化現象を皆さんで調べてください。
【事前・事後学習課題】 老化現象について、参考図書等を活用して、予習・復習してください。
- 第4回** **【授業テーマ】** 老化現象の理解(2)
【内容・方法 等】 老年期にある人の精神的変化・社会的変化について学びます。
精神・心理的・社会的な側面から老化現象を皆さんで調べてください。
【事前・事後学習課題】 老化現象について、参考図書等を活用して、予習・復習してください。
- 第5回** **【授業テーマ】** 老化現象の理解(3)
【内容・方法 等】 老年期にある人の老化現象について全体的にまとめてください。
皆さんが調べた内容を発表してください。
【事前・事後学習課題】 老化現象について、参考図書等を活用して、予習・復習してください。
発表資料等、みんなに理解してもらえるような資料の作成を心がけてください。
- 第6回** **【授業テーマ】** 老化現象の理解(4)

【内容・方法等】 老年期にある人の身体的・精神心理的・社会的変化について全体像として学びます。
皆さんが調べた内容の補足をします。

【事前・事後学習課題】 学んだことをすべて復習しましょう。自分なりにまとめることを試してみましょう。

第7回

【授業テーマ】 高齢化社会への対応

【内容・方法等】 我が国の高齢化現象を、衛生統計上から理解し、高齢者の生活を考えてみます。

【事前・事後学習課題】 国民衛生の動向「第2編 衛生の主要指標」を予習しておきましょう。

第8回

【授業テーマ】 高齢者を取り巻く関連法(1)

【内容・方法等】 高齢者の保健・医療・福祉対策として、老人福祉法と老人保健法について、まず、老人福祉法から講義を進めます。

【事前・事後学習課題】 テキスト第3章と国民衛生の動向「第3編 保健と医療の動向 第2章2-1 老人保健対策の動向」を予習しておきましょう。

第9回

【授業テーマ】 高齢者を取り巻く関連法(2)

【内容・方法等】 高齢者の保健・医療・福祉対策として、老人福祉法と老人保健法について、老人保健法を中心に講義をします。

【事前・事後学習課題】 テキスト第3章と国民衛生の動向「第3編 保健と医療の動向 第2章2-1 老人保健対策の動向」を予習しておきましょう。

第10回

【授業テーマ】 高齢者を取り巻く関連法(3)

【内容・方法等】 高齢者の保健・医療・福祉対策として、介護保険法について講義をします。
おもに、介護保険法が成立した経緯と趣旨、さらに医療法との関連について講義をします。

【事前・事後学習課題】 テキスト第3章と国民衛生の動向「第4編 医療保険・介護保険」を予習しておきましょう。

第11回

【授業テーマ】 高齢者を取り巻く関連法(4)

【内容・方法等】 高齢者の保健・医療・福祉対策として、介護保険法について講義をします。
高齢者への介護保険制度として法の適応、具体的な実施について講義をします。

【事前・事後学習課題】 テキスト第3章と国民衛生の動向「第4編 医療保険・介護保険」を予習しておきましょう。

第12回

【授業テーマ】 老年期にある人の看護活動

【内容・方法等】 高齢者看護を実践する場、病院や施設、地域等出の看護の特徴について講義をします。

【事前・事後学習課題】 学んだことをすべて復習しましょう。自分なりにまとめることを試してみましょう。

第13回

【授業テーマ】 高齢者を取り巻く社会保障

【内容・方法等】 高齢者とその家族へのサポートシステムについて学び、その中での看護の役割を講義をします

【事前・事後学習課題】 学んだことをすべて復習しましょう。自分なりにまとめることを試してみましょう。

第14回

【授業テーマ】 高齢者看護のありかた

【内容・方法等】 高齢者との看護や関わり方の実際を映像から総合的に学びます。
学びを課題レポートとして提出してください。

【事前・事後学習課題】 今までに学んだことを総復習して、授業を受けてください。
レポートには、その学びをもとに表せるよう心がけましょう。

第15回

【授業テーマ】 老年期の保健指導

【内容・方法等】 授業に前半は、老年期にある人とその家族への保健指導の方法と実際について講義をします。
授業の後半は1回目からの総まとめをおこないます。

【事前・事後学習課題】 学んだことをすべて復習しましょう。自分なりにまとめることを試してみましょう。

評価方法(基準)

定期試験(80%)、レポート(20%)
試験は客観的問題と論述問題を合わせて出題します。
レポートは、提出されたレポートを評価します。

教材等

教科書…奥野茂代編「老年看護学 概論と看護の実践」ヌーヴェルヒロカワ(3900円)
参考書…厚生労働統計協会「国民衛生の動向」(2400円)
他の参考書は適宜、授業中に示します。

学生へのメッセージ

予習、復習はもちろんのことですが、できるだけお年寄りと接する機会を増やして、お年寄りを理解してください。

関連科目

看護学概論、公衆衛生学、老年看護学援助論1、老年看護学援助論2、看護関係法規

担当者の研究室等

7号館3階 研究室6

老年看護学援助論 Gerontological Nursing I

板倉 勲子 (イタクラ イサコ)
徳重 あつ子 (トクシゲ アツコ)
七山 知佳 (ナナヤマ チカ)
未決定(看護学部) (ミケツテイ カンゴガクブ)
小崎 篤志 (コサキ アツシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期(30回)	必修	2

授業概要・目的・到達目標

(概要)

ヘルスプロモーションの視点から、高齢者がエイジングに適応し健康管理や健康保持増進に向けた看護について学ぶ。具体的には、加齢現象により日常生活能力が変化した高齢者に、QOLの高い生活を送るための理論と知識並びに援助について学習する。さらに高齢者体験等の演習を通して高齢者理解を深める。
(オムニバス方式/全23回)
(2 板倉勲子/6回)

加齢現象

(14 徳重あつ子/6回)

加齢現象に伴う日常生活能力の低下と援助方法

(2 板倉勲子、14 徳重あつ子、31 田中知佳、

35 前原なおみ/3回)

高齢者体験演習

(6 小崎篤志/8回)

高齢期にあたる人の身体の構造や機能変化のメカニズム、医学的対応が必要となる高齢期に起こりうる特徴的な疾病を取り上げ、疾病の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。

授業方法と留意点

基本的には授業計画に沿って授業を実施する。テキストを中心に授業を進めるが、プリントなどの補助教材を使用する。前半は講義中心の授業であるが、後半に、高齢者体験と、高齢者への具体的援助方法について、実習室等を使用し、演習を行う。学習の習熟度については、小テストを行うこともある。また、演習には課題レポートの提出があり、評価の対象とする。

科目学習の効果(資格)

看護師国家試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 老化による日常生活機能の低下と援助(1)

【内容・方法等】 老化に伴いコミュニケーションにさまざまな変化が生じてくる。

老化に伴う感覚機能の変化をもとに、その援助方法について学ぶ。

【事前・事後学習課題】 基礎看護学で学んだコミュニケーションについて復習し授業に臨むこと。
授業後はきちんと復習すること。

第2回 【授業テーマ】 老化による日常生活機能の低下と援助(2)

【内容・方法等】 老化による運動機能の低下と姿勢・活動の変化について、日常生活を視点におきながら学ぶ。さらに高齢者に適切な運動と活動について学ぶ。

【事前・事後学習課題】 基礎看護で学んだ活動に対する基礎知識を復習して授業に臨むこと。
授業後はきちんと復習すること。

第3回 【授業テーマ】 老化による日常生活機能の低下と援助(3)

【内容・方法等】 老化による睡眠の特徴と変化、適切な休息の取り方について学ぶ。

高齢者の睡眠への援助方法を授業する。

【事前・事後学習課題】 基礎看護学の休息の単元の復習をして、授業に臨むこと。
授業後はきちんと復習すること。

第4回 【授業テーマ】 老化による日常生活機能の低下と援助(4)

【内容・方法等】 老化による皮膚の機能の変化を知り、適切な保清などの援助方法について学ぶ。皮膚・頭髮・爪・耳なども老化現象を踏まえて援助方法を授業する。

さらに、高齢者の年齢や活動に応じた衣服の選択について学ぶ。

【事前・事後学習課題】 基礎看護学の「清潔・衣生活」の単元を復習して授業に臨むこと。
授業後はきちんと復習すること。

第5回 【授業テーマ】 老化による日常生活機能の低下と援助(5)

【内容・方法等】 老化現象により、感覚機能や運動機能に変化が起こる。環境によりどのように高齢者が反応し、危険等があるか講義し、適切な環境調整を学ぶ。

【事前・事後学習課題】 基礎看護学の「環境」の単元を復習しておくこと。
授業後はきちんと復習すること。

第6回 【授業テーマ】 老化による日常生活機能の低下と援助(6)

【内容・方法等】 高齢者が、健康に暮らすために、年齢・活

- 動量等に合わせた栄養と食事について学ぶ。
- 【事前・事後学習課題】** 基礎看護学の「栄養と食事」の単元を復習しておくこと。
- 授業後はきちんと復習すること。
- 第7回** **【授業テーマ】** 老化に伴う症状のアセスメントおよび援助(1)
【内容・方法 等】 老化に伴い、水分の出納や腎機能に変化が生じる。そのため、脱水や尿の量や性状に変化がおこる。それらの関連性や機序を理解し、適切な援助方法を学ぶ。
- 【事前・事後学習課題】** 人体の構造と機能を復習し、授業に臨むこと。
- 授業後はきちんと復習して整理しておくこと。
- 第8回** **【授業テーマ】** 老化に伴う症状のアセスメントおよび援助(2)
【内容・方法 等】 老化によって、摂食、嚥下障害がおこり、低栄養状態になります。解剖学的、生理学的に復習し、嚥下障害の機序を学び、正しい食事への援助方法を学ぶ。
- 【事前・事後学習課題】** 人体の構造と機能を復習し、授業に臨むこと。
- 授業後はきちんと復習して整理しておくこと。
- 第9回** **【授業テーマ】** 老化による日常生活の低下に対する援助：演習
【内容・方法 等】 グループに分かれ、高齢者体験、嚥下障害のある高齢者者への食事の援助、嚥下食の体験などを行う。
- 【事前・事後学習課題】** 演習方法についてオリエンテーションします。
- 項目に沿って、予習することレポートテーマがあります。
- 第10回** **【授業テーマ】** 老化による日常生活の低下に対する援助：演習
【内容・方法 等】 グループに分かれ、高齢者体験、嚥下障害のある高齢者者への食事の援助、嚥下食の体験などを行う。
- 【事前・事後学習課題】** 演習方法についてオリエンテーションします。
- 項目に沿って、予習することレポートテーマがあります。
- 第11回** **【授業テーマ】** 老化による日常生活の低下に対する援助：演習
【内容・方法 等】 グループに分かれ、高齢者体験、嚥下障害のある高齢者者への食事の援助、嚥下食の体験などを行う。
- 【事前・事後学習課題】** 演習方法についてオリエンテーションします。
- 項目に沿って、予習することレポートテーマがあります。
- 第12回** **【授業テーマ】** 老化に伴う症状のアセスメントおよび援助(3)
【内容・方法 等】 老化に伴い、転倒しやすくなる。転倒の原因などを知り、転倒予防と、転倒による傷害および寝たきりについて学ぶ。
- 【事前・事後学習課題】** 授業後は、きちんと復習し、まとめること。実習などで体験したことがあれば、結びつけて復習すること。
- 第13回** **【授業テーマ】** 老化に伴う症状のアセスメントおよび援助(4)
【内容・方法 等】 老化に伴う、消化器の変化とその援助方法について学ぶ。便秘についての援助方法と、ベッド上での排泄について、援助方法を学ぶ。
- 【事前・事後学習課題】** 基礎看護学の「排泄の援助」の単元を復習しておくこと。
- 授業内容は復習しまとめておくこと。
- 第14回** **【授業テーマ】** 高齢者の薬物療法と看護
【内容・方法 等】 老化に伴い、薬物動態に変化が起こる。高齢者に適切な薬物の服用と、正しい服用方法について学ぶ
- 【事前・事後学習課題】** 薬理学で学んだ薬物動態の復習と、基礎看護学の「予薬」の単元を復習しておくこと。
- 授業で学んだことは、復習してまとめておくこと。
- 第15回** **【授業テーマ】** 老化に伴う症状のアセスメントおよび援助(5)
【内容・方法 等】 高齢者が寝たきり等になると褥瘡が発生しやすくなる。褥瘡について、最新の知識と予防方法、援助方法について学ぶ。
- 【事前・事後学習課題】** 授業で受けた内容は復習し、まとめておくこと
- 第16回** **【授業テーマ】** 老年における疾病・治療論(脳神経1)
【内容・方法 等】 講義にて脳神経疾患、主に神経変性疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(1)
- 【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習
- 第17回** **【授業テーマ】** 老年における疾病・治療論(脳神経2)
【内容・方法 等】 講義にて脳神経疾患、主に神経変性疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(2)
- 【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習
- 第18回** **【授業テーマ】** 老年における疾病・治療論(脳神経3)
【内容・方法 等】 講義にて脳神経疾患、主に脳血管疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(1)
- 【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習
- 第19回** **【授業テーマ】** 老年における疾病・治療論(脳神経4)
【内容・方法 等】 講義にて脳神経疾患、主に脳血管疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習

- する。(2)
- 【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習
- 第20回** **【授業テーマ】** 老年における疾病・治療論(脳神経5)
【内容・方法 等】 講義にて脳神経疾患、主に脳血管疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(3)
- 【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習
- 第21回** **【授業テーマ】** 老年における疾病・治療論(脳神経6)
【内容・方法 等】 講義にて脳神経疾患、主に認知症の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(1)
- 【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習
- 第22回** **【授業テーマ】** 老年における疾病・治療論(脳神経7)
【内容・方法 等】 講義にて脳神経疾患、主に認知症の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(2)
- 【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習
- 第23回** **【授業テーマ】** 老年における疾病・治療論(骨疾患など)
【内容・方法 等】 講義にて骨疾患、主に骨折や骨粗鬆症の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。
- 【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習
- 第24回** **【授業テーマ】** —
【内容・方法 等】 —
【事前・事後学習課題】 —
- 第25回** **【授業テーマ】** —
【内容・方法 等】 —
【事前・事後学習課題】 —
- 第26回** **【授業テーマ】** —
【内容・方法 等】 —
【事前・事後学習課題】 —
- 第27回** **【授業テーマ】** —
【内容・方法 等】 —
【事前・事後学習課題】 —
- 第28回** **【授業テーマ】** —
【内容・方法 等】 —
【事前・事後学習課題】 —
- 第29回** **【授業テーマ】** —
【内容・方法 等】 —
【事前・事後学習課題】 —
- 第30回** **【授業テーマ】** —

評価方法 (基準)
定期試験70%、レポート30%

教材等

教科書…・奥野茂代編『老年看護学 概論と看護の実践』ヌーヴェルヒロカワ (3900円) 前期使用した教科書を引き続いて使用します。
・尾上尚志 等 監修 『病気がみえる vol.7 脳・神経』メディックメディア (3,800円+税)

参考書…授業中に適宜、紹介します。

学生へのメッセージ

既習の基礎看護学を高齢者に適応する知識や技術と、老年看護概論で学んだ「老化現象」をもとにしての学習になります。しっかりと復習して、理解したうえで、老年看護援助論Iに取り組みましょう。

関連科目

人体の構造と機能I～IV、薬理学総論、老年看護学概論、老年看護学援助論II、看護基礎技術I、II、III

担当者の研究室等

7号館3階研究室6

備考

病理学総論・疾病治療論と同シリーズの教科書を使用します。(小崎)

小児看護学概論

Introduction to Pediatric Nursing

鎌田 佳奈美 (カマタ カナミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

小児看護学の対象である子どもと家族の理解を踏まえ、発達の促進および健康保持増進に向けた看護者の役割と機能、支援方法を学習する。また、子どもと家族の理解を深めるために、必要な発達理論、親子関係理論、家族システム理論および概念について理解し、子ども観・家族観を深める。

授業方法と留意点

子ども成長・発達一般原則を理解し、子どものイメージ化を促すため、視聴覚教材や事例を多く用いて講義を進める。また、毎回、事前課題を提示し、それをもとに講義を展開したり、グ

ループワークなどを取り入れながら授業を進める。学習した内容については、身近な子どもの姿を通じて、振り返りができるような課題もを取り入れ、学生が主体的に本科目に取り組めるよう工夫をする。

科目学習の効果（資格）

看護師国家試験受験のための必須科目である。本科目は、小児援助論Ⅰ、小児援助論Ⅱ、小児看護学実習の理解を深めるための基盤となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 授業ガイダンス、小児看護学の概観、子どもとは
 【内容・方法等】 授業計画をもとに、小児看護学の構成を概観し、授業の進め方、評価について詳細に説明を行う。子どもに対するイメージを言語化し、大人と比較しながら子どもの特徴について、学生間で話し合う。
 【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「序章 小児看護学を学ぶにあたって」を読んでおくこと。事後課題：身近にいる子どもを観察し、その内容や気づきをノートにまとめる。
- 第2回** 【授業テーマ】 子どもの特徴
 【内容・方法等】 子どもの範囲、発達区分、発達観 保健統計からみた子どもと家族、および子どもを取り巻く環境
 【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント 事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第3回** 【授業テーマ】 小児看護とは、子どもを取り巻く医療の変遷と課題
 【内容・方法等】 小児医療・小児看護の変遷、小児看護の対象と目標、小児看護の場と看護の特徴
 【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント 事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第4回** 【授業テーマ】 子どもの最善の利益
 【内容・方法等】 子どもの権利条約、医療における子どもの権利、小児医療で起こりやすい倫理的問題について
 【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント 事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第5回** 【授業テーマ】 小児看護で用いる概念と理論
 【内容・方法等】 発達に関する概念、発達理論（ピアジェ、エリクソン）、母子関係理論（ボウルビー）、家族システム理論等
 【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント 事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第6回** 【授業テーマ】 子どもの成長・発達の特徴Ⅰ
 【内容・方法等】 成長・発達の一般原則、成長・発達への影響因子、各発達段階の特徴と主な健康問題、成長・発達の評価と家族環境アセスメント
 【事前・事後学習課題】 事前・事後課題：各発達段階の特徴について、グループでまとめる。
- 第7回** 【授業テーマ】 子どもの成長・発達の特徴Ⅱ
 【内容・方法等】 子どもの形態的成長と機能的発達の特徴
 【事前・事後学習課題】 事前・事後課題：各発達段階の特徴について、グループでまとめる。
- 第8回** 【授業テーマ】 乳児前期の成長・発達と発達段階に応じた日常生活援助Ⅰ
 【内容・方法等】 乳児前期の成長・発達の特徴についてグループ発表
 乳児前期の成長・発達の特徴・発達段階に応じた日常生活援助
 【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント 事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第9回** 【授業テーマ】 乳児後期の成長・発達と発達段階に応じた日常生活援助Ⅱ
 【内容・方法等】 乳児後期の成長・発達の特徴についてグループ発表
 乳児後期成長・発達の特徴・発達段階に応じた日常生活援助
 【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント 事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第10回** 【授業テーマ】 幼児前期の成長・発達と発達段階に応じた援助Ⅰ
 【内容・方法等】 幼児前期の成長・発達の特徴についてグループ発表
 幼児前期の成長・発達の特徴と発達段階に応じた日常生活援助
 【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント 事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第11回** 【授業テーマ】 幼児後期の成長・発達と発達段階に応じた援助Ⅱ

助Ⅱ

【内容・方法等】 幼児後期の成長・発達の特徴についてグループ発表

幼児後期の成長・発達の特徴と発達段階に応じた日常生活援助

【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント 事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。

第12回 【授業テーマ】 学童期の成長・発達と発達段階に応じた援助
 【内容・方法等】 学童期の成長・発達の特徴についてグループ発表
 学童期の成長・発達の特徴と発達段階に応じた日常生活援助

【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント 事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。

第13回 【授業テーマ】 思春期の成長・発達と発達段階に応じた援助
 【内容・方法等】 思春期の成長・発達の特徴についてグループ発表
 思春期の発達段階に応じた援助

【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント 事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。

第14回 【授業テーマ】 子どもを守るわが国の法律と制度と予防接種
 【内容・方法等】 母子保健法、学校保健安全法、児童虐待防止法、予防接種法
 予防接種に関して

【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント 事後課題：学生自身の母子手帳の内容に記載されている項目と内容を確認してくる

第15回 【授業テーマ】 子どもの事故予防
 【内容・方法等】 子どもの事故の特徴
 子どもが事故を起こしやすい理由
 事故予防について

【事前・事後学習課題】 事前・事後課題：小児看護学概論の内容を踏まえ、身近にいる子どもを観察し、①内容や②気づき、③授業前と授業終了後の子どもの見方への学生自身の変化について、学習ノートにまとめる。

評価方法（基準）

前期の定期試験および課題やグループワーク内容を総合して評価する。
 定期試験60%、課題・グループワーク40%

教材等

- 教科書…松尾宣武、濱中喜代 編 『小児看護学Ⅰ 小児看護学概論 小児保健』 メジカルフレンド社 (2300円＋税)
 参考書…中野綾美 編 『ナーシンググラフィカ 小児の発達と看護』 メディカ出版 (3,600円＋税)
 奈良間美保 他『小児看護学概論 小児臨床看護総論』 医学書院 (2800円＋税)
 高浜介二、秋葉英則、横田昌子 監修 『0歳児の保育』『1歳児の保育』『2歳児の保育』『3歳児の保育』『4歳児の保育』『5歳児の保育』 ルック (各1800円・2000＋税)

学生へのメッセージ

小児看護学概論では広範な内容を網羅し、子どもの看護を理解する上での基盤となります。知識の記憶ではなく、自らが主体的に考え、理解することを目指しましょう。習得した知識を活用できるように、周囲の子どもに目を向け、洞察を深めてください。

関連科目

看護学概論、生命倫理

担当者の研究室等

7号館・3階、研究室17（鎌田）

小児看護学援助論 Pediatric Nursing I				
			鎌田 佳奈美 (カマタ カナミ)	
			池田 友美 (イケダ トモミ)	
			亀田 直子 (カメダ ナオコ)	
			大橋 敦 (オオハシ アツシ)	
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期(30回)	必修	2

授業概要・目的・到達目標

健康問題や入院が子どもと家族の発達や生活に与える影響を理解し、子どもと家族の最善の利益を目指した看護のあり方を考える。様々な発達段階や健康段階にある子どもと家族のニーズに沿ったケアが提供できるよう、基本的知識に基づいた援助技術を学習する。

授業方法と留意点

小児看護学概論で習得内容の振り返りを行いながら授業をすすめる。簡単な事例を用いて演習を行い、習得した知識を活用を促す。小児看護学における援助技術については、事前にグループ学習し、学生が主体となってデモンストレーション、実施、ピア評価を行うことで、学生の自主性、主体性、相乗効果を促せるよう工夫する。

科目学習の効果（資格）

看護師国家試験受験のための必須科目である。
本科目は、小児援助論Ⅱ、小児看護学実習の理解を深めるための基盤となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 健康問題や入院が子どもと家族に及ぼす影響
【内容・方法 等】 子どもの病気の特徴
病気や入院に対する子どもの理解
【事前・事後学習課題】 事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第2回** 【授業テーマ】 健康問題や入院が子どもと家族に及ぼす影響と看護
【内容・方法 等】 健康問題や入院が子どもに及ぼす影響
健康問題が入院が家族に及ぼす影響
子どもにとって適切な外来および入院環境
【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第3回** 【授業テーマ】 健康問題をもつ子どもの発達段階に応じた看護Ⅰ
【内容・方法 等】 健康問題をもつ乳児(新生児を含む)の看護
事例演習
【事前・事後学習課題】 事前・事後課題：担当グループで各発達段階に応じた日常生活援助(食・清潔・排泄)技術およびヘルスアセスメント(バイタルサイン測定、身体計測)技術についてまとめ、デモンストレーションに向け、自己演習する。
- 第4回** 【授業テーマ】 健康問題をもつ子どもの発達段階に応じた看護Ⅱ
【内容・方法 等】 健康問題をもつ幼児の看護
事例演習
【事前・事後学習課題】 事前・事後課題：担当グループで各発達段階に応じた日常生活援助(食・清潔・排泄)技術およびヘルスアセスメント(バイタルサイン測定、身体計測)技術についてまとめ、デモンストレーションに向け、自己演習する。
- 第5回** 【授業テーマ】 健康障問題をもつ子どもの発達段階に応じた看護Ⅲ
【内容・方法 等】 健康問題をもつ学童の看護
事例演習
【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント
事後課題：担当グループで各発達段階に応じた日常生活援助(食・清潔・排泄)技術およびヘルスアセスメント(バイタルサイン測定、身体計測)技術についてまとめ、デモンストレーションに向け、自己演習する。
- 第6回** 【授業テーマ】 健康障問題をもつ子どもの発達段階に応じた看護Ⅳ
【内容・方法 等】 健康問題をもつ思春期の子どもの看護
事例演習
【事前・事後学習課題】 事前・事後課題：担当グループで各発達段階に応じた日常生活援助(食・清潔・排泄)技術およびヘルスアセスメント(バイタルサイン測定、身体計測)技術についてまとめ、デモンストレーションに向け、自己演習する。
- 第7回** 【授業テーマ】 小児看護技術(日常生活援助)
【内容・方法 等】 食・清潔・排泄援助
Aグループ：DVD視聴、課題
Bグループ：技術演習
【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント
事後課題：自己の課題を明らかにする
- 第8回** 【授業テーマ】 小児看護技術(日常生活援助)
【内容・方法 等】 食・清潔・排泄援助
Aグループ：技術演習
Bグループ：DVD視聴、課題
【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント
事後課題：自己の課題を明らかにする
- 第9回** 【授業テーマ】 子どものヘルスアセスメント
【内容・方法 等】 コミュニケーション、アセスメントの目的・方法、系統的アセスメント
【事前・事後学習課題】 事前・事後課題：担当グループで各発達段階に応じた日常生活援助(食・清潔・排泄)技術およびヘルスアセスメント(バイタルサイン測定、身体計測)技術についてまとめ、デモンストレーションに向け、自己演習する。
- 第10回** 【授業テーマ】 小児看護技術(ヘルスアセスメント)
【内容・方法 等】 バイタルサイン測定・身体測定
Aグループ：技術演習

- Bグループ：DVD視聴、課題
【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント
事後課題：自己の課題を明らかにする
- 第11回** 【授業テーマ】 小児看護技術(ヘルスアセスメント)
【内容・方法 等】 バイタルサイン測定・身体測定
Aグループ：DVD視聴、課題
Bグループ：技術演習
【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント
事後課題：自己の課題を明らかにする
- 第12回** 【授業テーマ】 治療や処置を受ける子どもと家族への看護
【内容・方法 等】 プレパレーション、救急処置
【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第13回** 【授業テーマ】 小児看護技術(治療・処置技術)
【内容・方法 等】 与薬、輸液、呼吸を楽にする技術(吸引・吸入・体位ドレナージ)経管栄養法、洗腸
【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第14回** 【授業テーマ】 子どもにみられる主な症状と看護Ⅰ
【内容・方法 等】 啼泣、不機嫌、発熱、発疹、けいれん、悪心・嘔吐、下痢・便秘
【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第15回** 【授業テーマ】 子どもにみられる主な症状と看護Ⅱ
【内容・方法 等】 脱水、呼吸困難、痛み、意識障害、浮腫、搔痒感
【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第16回** 【授業テーマ】 新生児の疾患について
【内容・方法 等】 小児の成長発達や健康上の課題に視点をあてて整理し、看護の対象である小児の理解を深める。
対象の個性(年齢、疾患の重症度、家庭環境)に応じた看護援助を行うための理論と援助技術などを学習する。
新生児、未熟児の生理機能と代表的な疾患を理解する。
【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第17回** 【授業テーマ】 小児の呼吸器疾患について
【内容・方法 等】 小児の成長発達や健康上の課題に視点をあてて整理し、看護の対象である小児の理解を深める。
対象の個性(年齢、疾患の重症度、家庭環境)に応じた看護援助を行うための理論と援助技術などを学習する。
小児の呼吸器生理の特徴と、小児に多い呼吸器疾患を理解する。
【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第18回** 【授業テーマ】 小児の循環器疾患について
【内容・方法 等】 小児の成長発達や健康上の課題に視点をあてて整理し、看護の対象である小児の理解を深める。
対象の個性(年齢、疾患の重症度、家庭環境)に応じた看護援助を行うための理論と援助技術などを学習する。
小児の循環器生理の特殊性と先天性心疾患を理解する。
【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第19回** 【授業テーマ】 小児の血液疾患・悪性腫瘍について
【内容・方法 等】 小児の成長発達や健康上の課題に視点をあてて整理し、看護の対象である小児の理解を深める。
対象の個性(年齢、疾患の重症度、家庭環境)に応じた看護援助を行うための理論と援助技術などを学習する。
小児に多い血液疾患、悪性疾患を理解する。
【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第20回** 【授業テーマ】 小児の消化器疾患、腎・泌尿器疾患について
【内容・方法 等】 小児の成長発達や健康上の課題に視点をあてて整理し、看護の対象である小児の理解を深める。
対象の個性(年齢、疾患の重症度、家庭環境)に応じた看護援助を行うための理論と援助技術などを学習する。
小児に多い消化器疾患、腎・泌尿器疾患を理解する。
【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第21回** 【授業テーマ】 小児の神経疾患について
【内容・方法 等】 小児の成長発達や健康上の課題に視点をあてて整理し、看護の対象である小児の理解を深める。
対象の個性(年齢、疾患の重症度、家庭環境)に応じた看護援助を行うための理論と援助技術などを学習する。

小児に多い神経疾患を理解する。

【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。

第22回 【授業テーマ】 小児の内分泌・代謝疾患について
【内容・方法 等】 小児の成長発達や健康上の課題に視点をあてて整理し、看護の対象である小児の理解を深める。
対象の個性（年齢、疾患の重症度、家庭環境）に応じた看護援助を行うための理論と援助技術などを学習する。
小児に多い内分泌疾患、成長障害、代謝性疾患を理解する。

【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。

第23回 【授業テーマ】 小児の感染症、免疫・アレルギーについて
【内容・方法 等】 小児の成長発達や健康上の課題に視点をあてて整理し、看護の対象である小児の理解を深める。
対象の個性（年齢、疾患の重症度、家庭環境）に応じた看護援助を行うための理論と援助技術などを学習する。
小児に多い感染症、免疫・アレルギー疾患を理解する。

【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。

第24回 【授業テーマ】 —
【内容・方法 等】 —

第25回 【授業テーマ】 —

第26回 【授業テーマ】 —

第27回 【授業テーマ】 —

第28回 【授業テーマ】 —

第29回 【授業テーマ】 —

第30回 【授業テーマ】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

【事前・事後学習課題】 —

フサイクルに伴う身体の形態的・機能的変化、母性看護の対象を取り巻く心理的・社会的側面などから、現在の女性の健康問題を捉え、対象を支援する母性看護のあり方を理解する。
(オムニバス方式/全15回)
(9 村松十和/12回)

母性看護学を学ぶのに必要な諸概念、その歴史や意義、諸問題について理解し、母性看護学が果たす役割を学ぶ。また、母性看護学の対象を取り巻く様々な環境とその影響、関連する法律や母子保健統計の動向を理解し、今日の課題について学ぶ。
(4 赤井由紀子/3回)

思春期、成熟期、更老年期の各ライフサイクルにおける女性の特徴・健康問題と看護について学ぶ。その上で、母性看護に必要な看護過程の展開方法を学ぶ。

授業方法と留意点

開講の約半分は、事前課題に取り組んで授業に主体的に参加してもらう形式で展開します。すなわち、事前学習課題をもってGWして発表したりして進めます。事後学習も授業やグループ討議で学んだ内容をレポート提出します。評価は、これらをもって行います。このため、自分が主体的に授業に参加し、授業終了後はさらに自分で学習を深めていかなければならないようになっています。

科目学習の効果（資格）

授業内容は、国家試験の母性看護学の科目の出題されることがあります。この科目を受けて資格が取れるということはないですが、国家試験に直結する科目です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 母性の健康と看護
【内容・方法 等】 母性看護の概念と専門性について学ぶ(講義)

【事前・事後学習課題】 事前課題：なし
事後学習課題：講義内容の復習

第2回 【授業テーマ】 母性の健康と看護
【内容・方法 等】 母子保健の変遷と課題について学び、母性看護に必要な法制度を学ぶ(講義)

【事前・事後学習課題】 事前課題：なし
事後学習課題：講義内容の復習

第3回 【授業テーマ】 母性の健康と看護
【内容・方法 等】 性の生殖と健康について理解し、対象への健康教育について学ぶ(講義)

【事前・事後学習課題】 事前課題：なし
事後学習課題：講義内容の復習

第4回 【授業テーマ】 母性看護の対象理解
【内容・方法 等】 身体形態機能やその発達、性の分化と疾患を理解すると共に女性のライフスタイルを学ぶ。(講義・グループ学習)

【事前・事後学習課題】 事前課題：女性の様々な生き方を調べてレポート提出
事後学習課題：事前課題や討議を踏まえ、多様なライフスタイルをとる女性について理解した内容をレポート

第5回 【授業テーマ】 母性看護の対象理解
【内容・方法 等】 女性のライフサイクルを中心にして家族の発達段階と機能について学ぶ。(講義)

【事前・事後学習課題】 事前課題：身近で結婚・出産し、子育てした中高年から「今までの人生を通じて家族とは」どういうものかを把握したことをレポート提出。
事後学習課題：事前課題を踏まえ、家族のあり方の理想についてレポートを提出

第6回 【授業テーマ】 母性看護の対象理解
【内容・方法 等】 母性と親性について理解し、子どもを産んで子どもへの愛や親となる過程を支援するのに必要なことを学ぶ。(講義・グループ学習)

【事前・事後学習課題】 事前課題：出産経験者で子育て経験を通じて親の気持ちを尋ね、自分の感想を記述し、レポート提出
事後学習課題：討議後を踏まえ、親になる人々への支援について考えたことをレポート提出

第7回 【授業テーマ】 セクシャリティ
【内容・方法 等】 人間の性と性反応の性差について理解し、セクシャリティについて学ぶ。(講義・グループ学習)

【事前・事後学習課題】 事前課題：セクシャリティについて調べレポート提出
事後学習課題：授業後、自己の性からセクシャリティについて考えたことをレポート提出

第8回 【授業テーマ】 リプロダクティブヘルスケア
【内容・方法 等】 計画的に子どもを産むことの意味や方法を理解し、生まれる子どもや女性の健康について学ぶ(講義・グループ学習)

【事前・事後学習課題】 事前課題：子どもを産むことの意味を考え、レポートを提出
事後学習課題：子どもを産むことを通じて生まれる子どもや女性の健康を考えたことのレポート提出。

第9回 【授業テーマ】 母性看護における看護技術
【内容・方法 等】 子どもの死や障害をもつ子どもについて理解し、親や家族の悲しみとそのケアについて学ぶ(周産期の

後期定期試験および課題・グループワーク・技術演習を総合的に評価する。定期試験60%、課題・グループワーク・技術演習40%

教材等

教科書…松尾宣武、濱中喜代 編、『小児看護学2 健康障害をもつ小児の看護』メジカルフレンド社(4,600円+税)

中野綾美 編 『ナーシンググラフィカ 小児看護技術』メディカ出版(3,200円+税)

参考書…奈良間美保 他『小児看護学概論 小児臨床看護総論』医学書院(2,800円+税)

山元恵子 監修 『写真でわかる小児看護技術』インターメディア(2,500円+税)

金子一成 改訂編集 『小児科学』金芳堂(6,200円+税)

学生へのメッセージ

小児看護学概論や基礎看護技術で習得した学習内容を基盤としながら、事例演習や技術演習を行いますので、復習をしておきましょう。
演習やグループワークでは、学生同士で知識や技術を高められるよう、お互いを尊重し、よく話し合い、皆で協力して進めていきましょう。

関連科目

小児看護学概論、基礎看護技術

担当者の研究室等

7号館 3階 研究室17(鎌田)、18(池田)

母性看護学概論 Introduction to Maternal Nursing				
村松十和(ムラマツ トウ)				
赤井由紀子(アカイ ユキコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

【参考】設置認可申請「授業科目の概要」(概要)

母性看護に関連する諸概念を理解し、母性看護の役割を学び、母性看護の変遷、母性保健の動向や母子保健施策、女性のライ

死と看護、障害をもつ子どもと家族ケア（グループ学習・発表）

【事前・事後学習課題】 事前課題：生まれるはずの子どもの死か、障害がある子どもを育てている、どちらかの親の気持ちを書きやインターネットで調べレポート提出
事後課題：子どもの死に遭遇した場合や、障害をもつ子どもを持った親に看護者としてどういう支えが必要かレポートし、提出。

第10回 **【授業テーマ】** 母性看護における看護技術
【内容・方法 等】 母性看護における看護過程の特殊性や、母性看護に必要な看護技術を学ぶ（講義）

【事前・事後学習課題】 事前課題：なし
事後学習課題：講義内容の復習

第11回 **【授業テーマ】** 母性看護における看護技術
【内容・方法 等】 看護過程を展開する技術について学ぶ（講義）

【事前・事後学習課題】 事前課題：なし
事後学習課題：講義内容の復習

第12回 **【授業テーマ】** 思春期の健康
【内容・方法 等】 思春期の身体的、心理的、社会的特徴を理解すると共に、思春期におけるセクシュアリティの課題について学ぶ。

【事前・事後学習課題】 事前課題：なし
事後学習課題：講義内容の復習

第13回 **【授業テーマ】** 成熟期の健康
【内容・方法 等】 成熟期の身体的、心理的、社会的特徴を理解すると共に、成熟期のセクシュアリティの課題および不妊症について学ぶ。

【事前・事後学習課題】 事前課題：なし
事後学習課題：講義内容の復習

第14回 **【授業テーマ】** 更・老年期の健康
【内容・方法 等】 更年期・老年期の身体的、心理的、社会的特徴を理解すると共に、セクシュアリティの課題について学ぶ。

【事前・事後学習課題】 事前課題：なし
事後学習課題：講義内容の復習

第15回 **【授業テーマ】** 母子保健の課題と母性看護の役割
【内容・方法 等】 ①子育ての悩みと児童虐待、②DV、③母性領域（不妊と生殖医療）の倫理問題を取り上げ、母性看護の役割を学ぶ（講義・グループ学習・発表）

【事前・事後学習課題】 事前学習課題：授業内容の①～③のいずれか1つ（授業で割り当てする）をよく調べてきて、母性看護との関係を考え、レポート提出。
事後学習課題：事前学習やグループ討議の①～③の発表を踏まえ、母性看護の役割を論じレポート提出

評価方法（基準）
定期試験及び課題への取り組み（回答内容＜発表内容・レポート＞）を総合して判定する。
割合：定期試験60％、課題への取り組み40％

教材等
教科書…系統別看護学講座「母性看護学概論」 医学書院（第12版）
参考書…講義で配布される資料
事前学習課題で各自が調べるために用いた文献など

学生へのメッセージ
授業は学生と教員で作っていくので、みんなで力を合わせて実りある授業にしましょう。

関連科目
人体の構造と機能、食生活論、家族関係論、疾病治療論、看護関係法規、看護学概論、看護対人関係論、生命倫理、地域看護学、家族看護学、看護倫理、女性学

担当者の研究室等
赤井：研究室14、村松：研究室15

備考
事前学習課題は授業で使い、終了後に集めます。事後学習課題は次の授業前に提出してください。期日内にレポート提出を厳守してください。

授業概要・目的・到達目標

【参考】 設置認可申請「授業科目の概要」（概要）

次代を産み育てる時期（母性の準備期・成熟期・更年期・老年期）にある女性の身体的変化の特徴を理解し、その時期の健康障がいや健康逸脱に関する基礎知識を習得し、その支援のあり方を学習する。妊娠期、分娩期、産褥期における女性及び新生児の身体的・心理的・社会的な特徴や生理的な経過を理解し、周産期における家族の課題や役割について理解し、家族への支援方法をグループワークで学習する。

（オムニバス方式／全23回）
（9 村松十和、30 但馬まり子／7回）

褥婦・新生児の特性を理解し、身体的・心理的・社会的な特徴や生理的な経過を理解する。また、周産期における家族の課題や役割について理解し、子育て期の家族への支援方法をグループワークで学習する。

（19 福山智子、30 但馬まり子／5回）

妊婦の特性を理解し、身体的・心理的・社会的な特徴や生理的な経過をグループワークで学習する。

（20 宮本雅子、30 但馬まり子／3回）

産婦の特性を理解し、身体的・心理的・社会的な特徴や生理的な経過をグループワークで学習する。

（75 医師（小林浩）／8回）

女性の思春期から成熟期・更年期・老年期の身体的変化と月経異常、性感染症、不妊症、ホルモン療法、婦人科疾患（子宮筋腫、子宮痛など）と正常と異常妊娠・分娩・産褥・新生児の経過について学習する。

授業方法と留意点

事前学習課題は授業の主体的参加を促し、事後学習課題は知識の習得や実習でも役立ちます。グループで取り組む内容はグループ毎の評価となるため、迷惑をかけないよう各自が責任を果たしてください。なお、課題や提出物は各自が保存して授業に持参のこと。

科目学習の効果（資格）

資格が取れるということはないですが、国家試験に直結する科目です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** 妊娠の生理、胎児の発育と生理
【内容・方法 等】 ・VTRを視聴して生命誕生の神秘と妊娠成立のプロセスを学ぶ。

・胎盤形成を発生学的視点から学び、胎児発育イメージの基礎を作る。
・胎児の生理と成長発達について学ぶ。

【事前・事後学習課題】 事前学習課題：なし

授業中に配布する課題プリントにしたがって、事前及び事後学習課題有り

第2回 **【授業テーマ】** 妊娠による母体の生理的変化
【内容・方法 等】 ・妊娠週数と予定日の意味を知る。
・生殖器の変化と全身の変化について、健康な非妊時女性からどのように変化するかを学ぶ。

【事前・事後学習課題】 授業中に配布する課題プリントにしたがって、事前及び事後学習課題有り

第3回 **【授業テーマ】** 妊娠期の心理・社会的特性
【内容・方法 等】 ・妊娠経過やマタニティーイベントと重ねながら妊婦の心理的特徴と変化について学ぶ。

・親になる準備と母親の役割・関係および移行について様々な理論を学ぶ。

【事前・事後学習課題】 授業中に配布する課題プリントにしたがって、事前及び事後学習課題有り

第4回 **【授業テーマ】** 妊婦と胎児の経過とアセスメント、妊婦の生活体験と保健指導

【内容・方法 等】 ・妊婦体験ジャケットを装着して妊娠後期のADL体験と日常生活体験を行う。
・事例のアセスメントを行う（グループワーク）。

【事前・事後学習課題】 ユニフォームに準ずる服装で、素足に靴下を着用して出席する。爪切りと歯ブラシ持参。
授業中に配布する課題プリントにしたがって、事前及び事後学習課題有り

第5回 **【授業テーマ】** ハイリスク妊婦の看護
【内容・方法 等】 ・ハイリスク妊婦（生活習慣、高年初産と若年初産、多胎）と看護

・異常妊娠（悪阻、PIH、切迫早産、前置胎盤）と看護
・合併症のある妊婦（糖代謝異常、自己免疫疾患、心疾患、血液媒介感染症）と看護

【事前・事後学習課題】 授業中に配布する課題プリントにしたがって、事前及び事後学習課題有り

第6回 **【授業テーマ】** 正常経過の分娩第1期の身体的、心理的、社会的特徴

【内容・方法 等】 正常産婦事例の分娩第1期の経過のアセスメントについて学ぶ。
（グループワークを実施し、事例レポートに記入する）

【事前・事後学習課題】 事前学習課題：分娩各期の経過について予習
事後学習課題：事例レポートを完成する

母性看護学援助論 Maternal Nursing I				
			村松十和（ムラマツ トウ）	
			福山智子（フクヤマ トモコ）	
			但馬まり子（タジマ マリコ）	
			宮本雅子（ミヤモト マサコ）	
			小林浩（コバヤシ ヒロシ）	
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期(30回)	必修	2

- 第7回** 【授業テーマ】 正常経過の分娩第2～4期の身体的、心理的、社会的特徴
 【内容・方法 等】 同じ産婦事例の第4期までの経過のアセスメントについて学ぶ。
 (グループワークを実施し、事例レポートに記入する)
 【事前・事後学習課題】 事前事後課題
 分娩各期の事例の経過について、レポートを完成する
- 第8回** 【授業テーマ】 分娩各期の経過と援助：発表とまとめ
 【内容・方法 等】 分娩各期の援助について学ぶ。
 (グループワークを実施し、発表語まとめを行う)
 【事前・事後学習課題】 事前・事後課題：課題のレポートを完成し提出する
- 第9回** 【授業テーマ】 産褥期の身体的変化とその助長
 【内容・方法 等】 生殖器や全身におきる生理的変化の過程と、その過程を助長する要因や阻害する要因について学ぶ(講義)
 【事前・事後学習課題】 事前学習課題：産褥期の身体的変化に影響を及ぼすと思われる妊娠前・分娩期の要因をまとめておく。
 事後学習課題：身体的変化の過程を助長する要因や阻害する要因をまとめておく。
- 第10回** 【授業テーマ】 産褥期のヘルスアセスメント
 【内容・方法 等】 退行性変化に関するヘルスアセスメント、進行性変化を踏まえた母乳育児に関するヘルスアセスメント、の視点を学ぶ(講義、グループ学習)
 【事前・事後学習課題】 事前学習課題：退行性変化や、進行性変化を踏まえた母乳育児が順調に経過しているとはどのような状態なのか調べておく。
 事後学習課題：退行性変化や進行性変化を踏まえた母乳育児に関するヘルスアセスメントの内容とその関連要因をグループ毎に完成させ提出。
- 第11回** 【授業テーマ】 褥婦の家庭・社会の生活適応に関するアセスメントと看護
 【内容・方法 等】 褥婦とその家族が新しい家族を迎えて生活に適応していく過程の心理社会的変化と支援について理解し、心理的ハイリスクについて学ぶ(講義、グループ学習)
 【事前・事後学習課題】 事前学習課題：出産後子どもを連れて家庭や社会の生活に適応していくのに大変だった内容を身近な人から聞き、適応に関係する要因を抽出しておく。
 事後学習課題：母親役割獲得、家庭や社会への生活適応を困難にする要因と援助について討議した内容をグループ毎に完成させ提出。
- 第12回** 【授業テーマ】 新生児の生理と子宮外生活適応に関するヘルスアセスメントと援助
 【内容・方法 等】 新生児の身体的特徴や子宮外生活適応の生理を理解し、子宮外生活適応のヘルスアセスメントの視点や看護について学ぶ。(講義、グループ学習)
 【事前・事後学習課題】 事前学習課題：新生児の生理機能、児の生存に必要な栄養や呼吸、生活環境温度は子宮内と子宮外でどう違うかをまとめておく。
 事後学習課題：グループ討議した子宮外生活不適応状態を示す新生児の症状と適応を促すのに必要な看護の内容をまとめ、グループ毎に提出。
- 第13回** 【授業テーマ】 新生児の異常と看護
 【内容・方法 等】 新生児の異常と看護について学ぶ
 【事前・事後学習課題】 事前学習課題：新生児の異常について調べてきておく。
 事後学習課題：講義内容の復習
- 第14回** 【授業テーマ】 帝王切開術後の褥婦の看護
 【内容・方法 等】 帝王切開術後の身体的変化の助長に関する主な観察点と看護について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 事前学習課題：全身か局所の麻酔で腹壁と子宮を切開した場合の合併症を考えてくる。
 事後学習課題：講義内容の復習
- 第15回** 【授業テーマ】 褥婦と新生児のヘルスアセスメントと看護
 【内容・方法 等】 産褥期・新生児期のヘルスアセスメントのための情報と正常経過逸脱時の看護のポイントをグループ学習し、発表する。
 【事前・事後学習課題】 事前学習課題：今までの学習課題を見やすいようにファイルしてくる。
 事後学習課題：グループ学習でまとめた資料と、発表した内容をグループ毎に完成させ、提出。
- 第16回** 【授業テーマ】 婦人科疾患の診断と治療
 【内容・方法 等】 遺伝と出生前診断、不妊治療について学ぶ
 【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストを読んでくる。
 事後学習課題：講義内容の復習
- 第17回** 【授業テーマ】 婦人科疾患の診断と治療
 【内容・方法 等】 月経困難症と子宮内膜症、子宮がんについて学ぶ
 【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストを読んでくる。
 事後学習課題：講義内容の復習
- 第18回** 【授業テーマ】 婦人科疾患の診断と治療
 【内容・方法 等】 STD (HIVの母子感染も含む)、エストロ

- ゲン欠乏が関連する疾患(更年期障害・尿失禁・骨粗鬆症)
 【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストを読んでくる。
 事後学習課題：講義内容の復習
- 第19回** 【授業テーマ】 正常妊娠
 【内容・方法 等】 妊娠の成立、妊娠の診断、胎児の発育と検査法(超音波検査・胎児心拍図)について学ぶ
 【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストを読んでくる。
 事後学習課題：講義内容の復習
- 第20回** 【授業テーマ】 妊娠の異常
 【内容・方法 等】 ハイリスク妊娠、妊娠期の感染症について学ぶ
 【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストを読んでくる。
 事後学習課題：講義内容の復習
- 第21回** 【授業テーマ】 妊娠期の異常
 【内容・方法 等】 妊娠疾患・多胎、多胎・持続期間の異常、子宮外妊娠について学ぶ
 【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストを読んでくる。
 事後学習課題：講義内容の復習
- 第22回** 【授業テーマ】 分娩・産褥の異常
 【内容・方法 等】 分娩期における異常と対応、産褥熱、子宮復古不全、産褥血栓症について学ぶ
 【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストを読んでくる。
 事後学習課題：講義内容の復習
- 第23回** 【授業テーマ】 新生児の異常
 【内容・方法 等】 新生児におこりうる異常の診断と治療について学ぶ、
 (新生児仮死、分娩外傷、高ビリルビン血症)
 【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストを読んでくる。
 事後学習課題：講義内容の復習
- 第24回** 【授業テーマ】 —
 【内容・方法 等】 —
 【事前・事後学習課題】 —
- 第25回** 【授業テーマ】 —
 【内容・方法 等】 —
 【事前・事後学習課題】 —
- 第26回** 【授業テーマ】 —
 【内容・方法 等】 —
 【事前・事後学習課題】 —
- 第27回** 【授業テーマ】 —
 【内容・方法 等】 —
 【事前・事後学習課題】 —
- 第28回** 【授業テーマ】 —
 【内容・方法 等】 —
 【事前・事後学習課題】 —
- 第29回** 【授業テーマ】 —
 【内容・方法 等】 —
 【事前・事後学習課題】 —
- 第30回** 【授業テーマ】 —
 評価方法(基準)
 定期試験や課題等(小林：35%、村松：30%、福山22%、宮本：13%)
- 教材等**
 教科書…系統看護学講座 母性看護学各論 第12版 医学書院
 参考書…講義で使用する副読本：ナースが診る人体(講談社)、ナースが診る病気(講談社)、母性の心理社会的側面と看護ケア(医学書院)
 参考図書：からだの地図帳(講談社)、周産期の生理学(メデイカ出版)、ルヴァ・ルービン母性論(医学書院)、クラウスとケネル親と子のきずな(医学書院)
- 学生へのメッセージ**
 授業は学生と教員で作っていくので、みんなで力を合わせて実りある授業にしましょう。わからない部分はそのままにしないで、しっかり教員に尋ね、自分でも学習してください。
- 関連科目**
 人体の構造と機能、食生活論、臨床心理学、疾病治療論、家族関係論、看護関係法規、看護対人関係論、基礎看護技術、成人看護援助論、小児看護学援助論、母性看護概論、精神看護学援助論、地域看護学、家族看護学、看護倫理、生命倫理、心理学
- 担当者の研究室等**
 小林浩、宮本雅子：非常勤、福山：研究室13、但馬：研究室10、村松：研究室15
- 備考**
 医師担当の講義が先行する方が多くなります。妊娠・分娩・産褥・新生児の正常編は最低限、テキスト部分をしっかりと読んで講義に臨んでください。

精神看護学概論 Introduction to Psychiatric and Mental Health Nursing				
眞野 祥子 (マノ ショウコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

精神看護学の対象は、精神疾患を持つ対象者に限らず、あらゆる発達段階にある人々を含んでいる。本科目では、心の健康を保持・増進するために必要となる基本的な知識を学び、精神医療に関連する基本的な概念を理解する。具体的には、精神看護学と精神保健の基本、現代社会におけるストレスと健康、精神医療の歴史と法律・福祉施策、精神疾患を持つ対象者の実態、リエゾン精神看護について学習する。また、将来、看護職に就く者として自身の心の健康を保持・増進するための知識についても学習する。

授業方法と留意点

基本的には下記の授業計画に沿って講義を行う。精神看護学を身近に感じられるようにするため、学生の個人的な経験や知識、健康に関するトピックスを活用し、心の健康・不健康について自分の言葉で考察できるようにすることを旨とする。また、精神医療・精神障害者をイメージすることが難しいと考えられるため、視聴覚教材や精神医療に関する映画などを補助的に活用してイメージ促進を促す。授業は講義を中心に行うが、学生が授業中も頭を働かせて参加できるように質問に対する答えや意見・感想を求め、授業への積極参加を促す。毎回の授業で「ワークシート」を配布し、その日の授業テーマに基づく課題の解答と講義に対する意見などを求め、次の授業で学生にフィードバックしていく。

科目学習の効果(資格)

看護師国家試験受験資格のための必修科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 精神看護学の基本
【内容・方法 等】 精神看護学の位置づけ、精神看護の対象となる人・生活の場について理解する。
【事前・事後学習課題】 事前：教科書①「第1章-I～IV」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第2回** 【授業テーマ】 心の健康とは何か
【内容・方法 等】 精神と心の健康・不健康について理解する。
【事前・事後学習課題】 事前：教科書①「第2章 I～II」「第3章 I～III」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第3回** 【授業テーマ】 精神機能とその障害
【内容・方法 等】 精神力動的な考え方に基づいて心の構造とその働きについて防衛機制の概念から理解する。
【事前・事後学習課題】 事前：教科書①「第2章 I-B」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第4回** 【授業テーマ】 ストレスと健康
【内容・方法 等】 ストレスの概念、対処行動、危機介入について理解する。
【事前・事後学習課題】 事前：教科書①「第6章 I～IV」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第5回** 【授業テーマ】 現代社会におけるメンタルヘルス
【内容・方法 等】 現代社会に生きる人々のメンタルヘルスの問題について、家庭、地域、学校などの生活の場ごとに学習する。
【事前・事後学習課題】 事前：教科書①「第5章 I～IV」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第6回** 【授業テーマ】 ライフサイクルと危機
【内容・方法 等】 エリクソンの生涯発達理論における発達課題と心の健康について理解する。
【事前・事後学習課題】 事前：教科書①「第4章 I」「第6章 II」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第7回** 【授業テーマ】 看護師のメンタルヘルス
【内容・方法 等】 パーンアウトとその対処法、看護職者の感情体験について理解する。
【事前・事後学習課題】 事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第8回** 【授業テーマ】 自己理解と自己活用
【内容・方法 等】 対人関係における自己理解、エゴグラムについて理解する。
【事前・事後学習課題】 事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第9回** 【授業テーマ】 精神医療の歴史の変遷①
【内容・方法 等】 視聴覚教材を用い、精神医療の歴史について理解する。
【事前・事後学習課題】 事後：レポートを作成し提出してく

- さい。
- 第10回** 【授業テーマ】 精神医療の歴史の変遷②
【内容・方法 等】 欧米、日本の精神医療の歴史と変遷について理解する。
【事前・事後学習課題】 事前：教科書①「第7章 I～II」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第11回** 【授業テーマ】 精神看護における法と人権擁護
【内容・方法 等】 精神保健福祉法について理解する。
【事前・事後学習課題】 事前：教科書①「第7章 III～IV」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第12回** 【授業テーマ】 精神保健福祉施策の動向と精神障害者の現状
【内容・方法 等】 自立と社会復帰、地域生活支援、精神障害者の保健・医療・福祉の現状について理解する。
【事前・事後学習課題】 事前：教科書①「第7章 V」、教科書②「第1章 I」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第13回** 【授業テーマ】 精神障害をもって生きる人の生活
【内容・方法 等】 精神障害者が置かれている社会的立場、偏見、社会生活を維持する上での困難について理解する。
【事前・事後学習課題】 事前：教科書②「第2章 I」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第14回** 【授業テーマ】 リエゾン精神看護
【内容・方法 等】 身体疾患を持つ患者の精神の健康、患者・家族の精神の健康について理解する。
【事前・事後学習課題】 事前：教科書②「第11章」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第15回** 【授業テーマ】 精神看護学の動向と課題
【内容・方法 等】 認定・専門看護師制度、触法精神医療等について理解する。
【事前・事後学習課題】 事後：授業内容を整理しておいてください。

評価方法(基準)

定期試験(60%)及びレポート、ワークシート(40%)を総合して判定する。なおレポート課題については授業の時に説明する。

教材等

教科書…佐藤壹三監修 メヂカルフレンド社 新体系 看護学全書
精神看護学① 精神看護学概論 精神保健 (2,205円税込)
精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 (3,885円税込)
参考書…メディカ出版 出口禎子著 精神看護学 情緒発達と看護の基本 (2,730円税込)
メディカ出版 出口禎子著 生活障害と看護の実践 (3,150円税込)

学生へのメッセージ

積極的に授業に参加してください。

関連科目

精神看護学援助論Ⅰ、精神看護学援助論Ⅱ、精神看護学実習Ⅰ
担当者の研究室等
7号館3階 研究室19(眞野)

備考

学生の理解度に応じてシラバスを変更することがある。

精神看護学援助論 Psychiatric and Mental Health Nursing I				
眞野 祥子 (マノ ショウコ) 山本 智津子 (ヤマモト チヅコ) 吉村 公一 (ヨシムラ コウイチ) 中川 晶 (ナカガワ アキラ) 長谷川 浩 (ハセガワ ヒロシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期(30回)	必修	2

授業概要・目的・到達目標

本科目では、精神疾患を持つ患者理解と精神看護を実践するために必要となる基本的な知識・技術を学ぶ。精神看護では、患者—看護師の対人関係が病気回復において重要となる。そこで患者—看護師関係論に関する理論を理解したうえで、患者—看護師関係を展開していくためのスキルトレーニング法である看護場面の再構成、プロセスレコード、ロールプレイを用いた演習で自己洞察を深めるとともに、患者—看護師関係における自己活用の能力向上を目指す。また、精神疾患を持つ患者理解の基礎となる精神科における治療とケアの学習、セルフケア理論、

当事者の体験談を通して精神障害者に対する理解を深めるとともに、幻覚・妄想、躁、うつ状態などの精神症状の捉え方について学び、患者の精神症状とセルフケア能力をアセスメントし、看護介入が行えるようになることを目指す。

精神科医療における診断と治療の概念、精神疾患に関する病態、診断、回復過程、治療について精神医学の立場から概説する。

授業方法と留意点

基本的には下記の授業計画に沿って講義を行う。精神医療・精神障害者をイメージすることが難しいと考えられるため、当事者による体験談や視聴覚教材を補助的に活用して興味・関心を引き出し、イメージの促進を促していく。

授業は講義を中心に行うが、学生が授業中も頭を働かせて参加できるように質問に対する答えや意見・感想を求め、授業への積極的参加を促す。毎回の授業の最後に「ワークシート」を配布し、その日の授業テーマに基づく課題の解答と講義に対する要望・意見等を求め、次の授業で学生にフィードバックしていく。

科目学習の効果（資格）

看護師国家試験受験資格のための必修科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 治療的援助関係（理論編）
【内容・方法等】 治療的援助関係について理解する
【事前・事後学習課題】 事前：「第2章-I-C」、「第2章-II・III」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第2回 【授業テーマ】 治療的援助関係（実践編）
【内容・方法等】 ロールプレイの演習を通して、治療的援助としての患者-看護師関係について理解を深める
【事前・事後学習課題】 事前：同上
- 第3回 【授業テーマ】 治療的援助関係（実践編）
【内容・方法等】 プロセスレコードを用いた演習を行い、自己洞察を深める
【事前・事後学習課題】 事前：「第2章-III-B」、「第2章-V-B-2」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第4回 【授業テーマ】 精神症状を持つ人の体験世界の理解
【内容・方法等】 精神機能とそれが障害された時の症状について理解する
【事前・事後学習課題】 事前：「第2章-I-A・B」、「第4章-I」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第5回 【授業テーマ】 精神症状のアセスメント
【内容・方法等】 幻覚妄想状態と看護について理解する
【事前・事後学習課題】 事前：「第4章-I-B-1・2」、「第4章-I-C-3」、「第7章-I-C」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第6回 【授業テーマ】 精神症状のアセスメント
【内容・方法等】 意欲低下、引きこもり状態と看護について理解する
【事前・事後学習課題】 事前：「第4章-I-B-5」、「第4章-I-C-7・8」、「第7章-I-L」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第7回 【授業テーマ】 精神症状のアセスメント
【内容・方法等】 拒絶と看護について理解する
【事前・事後学習課題】 事前：「第4章-I-B-5」、「第7章-I-J」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第8回 【授業テーマ】 精神症状のアセスメント
【内容・方法等】 不安状態、強迫状態と看護について理解する
【事前・事後学習課題】 事前：「第4章-I-B-4」、「第4章-I-C-1」、「第6章-I-C-1」、「第7章-I-A・E」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第9回 【授業テーマ】 精神症状のアセスメント
【内容・方法等】 躁、うつ状態、希死念慮と看護について理解する
【事前・事後学習課題】 事前：「第2章-VII-D-1」、「第4章-I-C-4」、「第7章-I-B」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第10回 【授業テーマ】 精神症状のアセスメント
【内容・方法等】 操作的状態と看護について理解する
【事前・事後学習課題】 事前：「第4章-I-B-5」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第11回 【授業テーマ】 精神科治療と看護
【内容・方法等】 精神科治療と看護について理解する
【事前・事後学習課題】 事前：「第5章-III」、「第8章III・IV・V・VI」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第12回 【授業テーマ】 症状マネジメント力を高める支援
【内容・方法等】 心理教育、症状マネジメント、SSTについて理解する
【事前・事後学習課題】 事前：「第5章-III-D-2」を読んで来てく

- ださい。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第13回 【授業テーマ】 家族支援
【内容・方法等】 精神障害者の家族心理や家族支援のあり方について理解する
【事前・事後学習課題】 事前：「第3章」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第14回 【授業テーマ】 体験談
【内容・方法等】 当事者の体験談を通して、精神疾患を持つ対象者への理解を深める
【事前・事後学習課題】 -
- 第15回 【授業テーマ】 精神症状がセルフケアへ及ぼす影響のアセスメント
【内容・方法等】 セルフケア理論/オレム・アンダーウッド理論について理解する
【事前・事後学習課題】 事前：「第2章-IV」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第16回 【授業テーマ】 精神疾患の診断基準、精神疾患の臨床症状、検査法
【内容・方法等】 精神疾患の診断基準、精神疾患の臨床症状、検査法（学理的所見、脳波、画像）等について理解する。
【事前・事後学習課題】 事前：「第1章-II」、「第4章」、「第5章」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第17回 【授業テーマ】 統合失調症
【内容・方法等】 統合失調症の歴史、症状、診断、治療等について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前：「第6章-I-A」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第18回 【授業テーマ】 気分障害
【内容・方法等】 気分障害の症状、治療等について理解する。
【事前・事後学習課題】 事前：「第6章-I-B」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第19回 【授業テーマ】 神経症、心身症、ストレス関連障害
【内容・方法等】 神経症、心身症、ストレス関連障害の症状、治療等について理解する。
【事前・事後学習課題】 事前：「第6章-I-C」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第20回 【授業テーマ】 人格障害、摂食障害
【内容・方法等】 人格障害、摂食障害の症状、治療等について理解する。
【事前・事後学習課題】 事前：「第6章-I-D」、「第6章-II-C-3-4」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第21回 【授業テーマ】 依存症
【内容・方法等】 依存症の分類、症状、治療等について理解する。
【事前・事後学習課題】 事前：「第6章-I-G」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第22回 【授業テーマ】 器質性精神障害、症状精神病、てんかん
【内容・方法等】 器質性精神障害、症状精神病の症状、経過、治療等、てんかんの類型、発作の種類、治療等について理解する。
【事前・事後学習課題】 事前：「第6章-I-E」、「第6章-I-F」、「第6章-I-H」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第23回 【授業テーマ】 児童・青年期の精神障害
【内容・方法等】 児童・青年期の精神障害の特徴、症状、治療等について理解する。
【事前・事後学習課題】 事前：「第6章-II」を読んで来てください。
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第24回 【授業テーマ】 -
【内容・方法等】 -
【事前・事後学習課題】 -
- 第25回 【授業テーマ】 -
【内容・方法等】 -
【事前・事後学習課題】 -
- 第26回 【授業テーマ】 -
【内容・方法等】 -
【事前・事後学習課題】 -
- 第27回 【授業テーマ】 -
【内容・方法等】 -
【事前・事後学習課題】 -
- 第28回 【授業テーマ】 -
【内容・方法等】 -
【事前・事後学習課題】 -
- 第29回 【授業テーマ】 -
【内容・方法等】 -

【事前・事後学習課題】 -

第30回 【授業テーマ】 -

評価方法 (基準)
 合否は、定期試験 (60%) 及びレポート・ワークシート (40%) を総合して判定する。
 なおレポート課題については、授業の時に説明する。

教材等
教科書…佐藤壹三 「精神障害をもつ人の看護」 メヂカルフレンド社 (3,700円+税)
 渡辺雅幸 「はじめての精神医学」 中山書店 (2,800円+税)
参考書…佐藤壹三 「精神看護学概論 精神保健」 メヂカルフレンド社 (2,100円+税)

学生へのメッセージ
 積極的に授業に参加してください。

関連科目
 精神看護学概論、精神看護学援助論Ⅱ、精神看護学実習

担当者の研究室等
 7号館3階 研究室19 (眞野)、研究室18 (山本智)、研究室10 (吉村)

備考
 学生の理解度に応じて、シラバスを変更することがある。
 16~23回は外部講師による講義になる。日程 (日程変更を含む) は追って連絡するので、注意深く掲示板の確認をすること。

在宅看護学概論 Introduction to Home Care Nursing				
後 閑 容 子 (ゴカン ヨウコ) 石 橋 文 枝 (イシバシ フミエ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
【授業概要・目的・到達目標】
 在宅看護の変遷を踏まえて、社会の変化と諸制度、人々の多様な価値観の変化、QOLの重視、セルフケア、自己決定の尊重という観点から在宅看護の目的を理解する。同時に、地域で生活しながら療養する人々とその家族・生活環境を理解し、療養生活を安定して継続できるように支援するために必要な看護の基本的知識・技術・倫理観を学ぶ。在宅看護における社会資源及びチームケア・職種間の連携の在り方について理解する。

授業方法及び留意点
 授業計画に沿って講義を中心に進めていく予定である。在宅看護の方法としての訪問看護や他職種・他機関との連携、在宅ケアマネジメント方法などイメージが困難な学習には、DVDの活用、事例を用いた在宅ケアマネジメント演習(個人・グループ)を取り入れる。演習は、グループ学習の成果としてプレゼンテーションを行ってもらう。
 講義資料やノート整理を習慣づけてください。

科目学習の効果 (資格)
 患者の入院から退院・退院後の生活に向けて、継続看護に必要な基礎的知識を獲得をする領域でもある。在宅看護は、療養者の生活の場で展開される。したがって、医療・保健・福祉分野との連携に必要な知識・技術・倫理観について幅広く学ぶ機会であり、病院看護師としてだけでなく社会的な役割・意識をもつ職種であることの認識を得ることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 在宅看護の概念
【内容・方法 等】 地域療養を支える看護
 在宅ケアと在宅看護
 在宅看護の倫理と基本理念について…課題の発表/講義
 訪問看護の実際について視聴覚教材(DVD)の使用
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・用語の定義を調べておく；発表
 1.在宅ケアとは
 2.地域看護とは
 3.在宅看護とは
 理解をしておくこと。

第2回 【授業テーマ】 前回講義の学習のまとめと確認
 在宅看護の歴史と変遷
【内容・方法 等】 ・日本の在宅看護の変遷と社会背景……課題学習の確認
 ・在宅看護の社会背景について説明する
【事前・事後学習課題】 日本の在宅看護の変遷と社会背景について、ナーシンググラフィカP16-P22、新版在宅看護論P187-P197までを読んで講義に参加すること。
 第3回目受講のための事前学習課題を提示します。

第3回 【授業テーマ】 前回講義の学習のまとめと確認
 在宅ケアを支える制度と社会資源

【内容・方法 等】 社会資源の活用
 在宅ケアを支える医療保険制度
 高齢者を支える医療保険制度
 障害者の在宅療養を支える制度と社会資源
 在宅難病療養者を支える制度と社会資源
 在宅療養者の権利擁護と社会資源

【事前・事後学習課題】 第4回目受講のための事前学習課題を提示します

第4回 【授業テーマ】 前回講義の学習のまとめと確認
 在宅療養者と家族支援1
【内容・方法 等】 在宅療養を必要とする人たち
 在宅療養の成立条件
 在宅療養者への看護活動
 家族とは
 家族と看護
【事前・事後学習課題】 第5回目受講のための事前学習課題を提示します

第5回 【授業テーマ】 在宅療養者と家族支援2
【内容・方法 等】 介護家族の状況(家族の介護負担とその軽減)
 家族に関する理論(・家族対処理論・構造・機能理論・発達理論・家族システム理論
【事前・事後学習課題】 第6回目受講のための事前学習課題を提示します

第6回 【授業テーマ】 家族アセスメント
 在宅療養を療養を支える看護
【内容・方法 等】 訪問看護の特徴
 在宅ケアを支える訪問看護ステーション
 訪問看護の実践
【事前・事後学習課題】 第7回目受講のための事前学習課題を提示します

第7回 【授業テーマ】 訪問看護の実践
【内容・方法 等】 訪問看護における看護過程の特徴
 訪問看護家庭の実際
 訪問看護記録
【事前・事後学習課題】 第8回目受講のための事前学習課題を提示します

第8回 【授業テーマ】 さまざまな療養者に対する在宅看護
【内容・方法 等】 要介護高齢者への在宅看護
 認知症高齢者への在宅看護
 がん療養者への在宅看護……………視聴覚教材DVD
 神経系難病療養者への在宅看護
 感染症を持つ療養者への在宅看護
【事前・事後学習課題】 第9回目受講のための事前学習課題を提示します

第9回 【授業テーマ】 さまざまな療養者に対する在宅看護
 継続看護について
【内容・方法 等】 小児への在宅看護
 精神疾患を持つ療養者への在宅看護・・・視聴覚教材DVD
 退院計画と退院支援
 退院計画とは
 看護職との連携の方法(病院と在宅の継続看護、福祉施設での看護と訪問看護、保健所・市町村と訪問看護
【事前・事後学習課題】 第10回目受講のための事前学習課題を提示します

第10回 【授業テーマ】 ;第3回目の講義の復習
 在宅ケアの連携とマネジメント
【内容・方法 等】 地域包括ケアシステムと在宅ケア
 ケアマネジメントと看護
 関連職種との連携
【事前・事後学習課題】 第3回目資料・ノートを使って復習しておく

第11回 【授業テーマ】 在宅ケアマネジメントの実際
【内容・方法 等】 在宅ケア計画
 事例の紹介
 質疑・応答
【事前・事後学習課題】 事例を用いてケア計画の立案
 第12回のグループ学習のためのメンバーの把握をしておく
 欠席しないこと

第12回 【授業テーマ】 ケアマネジメント 演習； グループワーク
【内容・方法 等】 グループ作業
 個々のケアマネジメント内容を発表
 事例に応じたケアマネジメントへの調整
【事前・事後学習課題】 グループ討議に主体的に参加し学びを深めること

第13回 【授業テーマ】 ケアマネジメント プレゼンテーション/
 前半グループ
【内容・方法 等】 グループ単位で発表
【事前・事後学習課題】 グループ発表後に修正・追加を行うこと

第14回 【授業テーマ】 ケアマネジメント プレゼンテーション/後半グループ
【内容・方法 等】 グループ単位で発表

【事前・事後学習課題】 グループ発表後に修正・追加を行うこと

第15回 【授業テーマ】 在宅看護管理とは
在宅看護まとめ

【内容・方法 等】 訪問看護ステーションの事業運営
安全管理
看護の質の管理

【事前・事後学習課題】 第14回目終了時に事前学習課題を提示します

評価方法 (基準)
小テスト (10%) レポート (10%) グループワーク取り組み状況 (20%)
定期試験(60%)を総合的に判断する。

教材等

教科書…新版 在宅看護論 木下由美子編著 価格(2400円+税)
ナーシング・グラフィカ
在宅看護論 地域療養を支えるケア 価格(3400円+税)

参考書…根拠がわかる在宅看護技術 編集/岡崎美智子 正野逸子
価格4935円
新しい家族社会学 森岡清美・望月嵩共著 価格(1750円+税)

学生へのメッセージ
現在、我が国は少子化社会そして超高齢社会にあり、看護職の働く場は病院看護から在宅看護へ拡大されています。病院看護との違いは、療養者の「生活の場」で行う看護支援は、幅広い知識と創造力を更に求められます。短い時間で幅広い学習をすることになります。日々の学習(予習・復習)を大事にしましょう。講義中の質問は大歓迎です。

関連科目
家族関係論 地域看護学 専門科目の概論のすべて

担当者の研究室等
7号館 3階 第8研究室 後閑容子
第9研究室 石橋文枝

備考
不定期に、小テスト、レポートを行う。10回目以降に行う演習の取り組み状況も評価の対象とする。欠席をしないようにすること。
教科書は、2冊とも購入のこと。参考書の「根拠がわかる在宅看護技術」は、3年次前期の在宅看護学援助論では、必須となる教科書です。

在宅看護学援助論 Home Care Nursing I				
後 閑 容 子 (ゴカン ヨウコ) 石 橋 文 枝 (イシバシ フミエ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標
概要
在宅看護実践は、療養者の自宅に赴き「生活の場」で展開される。そのため、療養者・家族との信頼関係の構築が重要である。本科目では、まず在宅における初回訪問時の対人援助技術について理解する。次に、病院看護とは異なり医療設備の不足する環境で、さまざまな健康障害(難病疾患、COPD、脳血管障害後遺症、精神疾患、終末期ケア、在宅酸素療法、高度医療処置)を持つ人への援助方法について学習する。そして、療養者・家族の自立に向けた支援方法についても学ぶ。

授業方法と留意点
講義と演習を中心にすすめていく。在宅で使用される医療器材や物品について、現物を紹介し使用方法や管理について学習する。また、高度医療機器に(人工呼吸器)についても取り扱い方法や留意事項など直接、触れて学べる時間(演習)を持つ。また、療養者の生活の場で看護を提供するためには、療養者・家族の個々の生活支援には看護者の創意工夫が求められる。また、GWを予定しています。GWでは、事例にもとづいて、援助の工夫を考えますので、欠席をしないようしてください。

科目学習の効果 (資格)
在宅看護学実習及び他領域実習に必要な「知識・技術・態度」を学ぶことができる。看護師国家試験学習のために知識の獲得。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 在宅看護援助技術
在宅でのコミュニケーション・面接技術
【内容・方法 等】 家庭訪問の意義と訪問マネー
信頼関係の形成
訪問マネーについて実演(学生による)

【事前・事後学習課題】 新版在宅看護論P39-P48を読んで講義に臨む
講義後のノート整理を行うこと

第2回 【授業テーマ】 在宅における日常生活援助
環境/食事/排泄
【内容・方法 等】 講義；在宅における環境整備とは 食事とは 排泄とは
日常生活行動、特に自立の程度は、療養者や家族の生活に大きく影響します。日常生活がどれだけ負担なくおくることができるかは、在宅療養を継続するうえで重要です。基礎看護学技術で学んだ内容をベースに在宅環境に合わせた援助の方法について講義します。

【事前・事後学習課題】 講義後のノート整理を行うこと
1年次の基礎看護技術の環境/食事/排泄を復習すること

第3回 【授業テーマ】 在宅における日常生活援助
清潔/移動/衣(更衣)/服薬
【内容・方法 等】 講義；在宅における清潔とは移動とは 衣とは 服薬について
日常生活行動、特に自立の程度は、療養者や家族の生活に大きく影響します。日常生活がどれだけ負担なくおくることができるかは、在宅療養を継続するうえで重要です。基礎看護学技術で学んだ内容をベースに在宅環境に合わせた援助の方法について講義します。

【事前・事後学習課題】 講義後のノート整理を行うこと
1年次の基礎看護技術の清潔/移動/衣(更衣)/服薬を復習すること

第4回 【授業テーマ】 在宅における医療処置の支援看護について①
【内容・方法 等】 在宅の医療処置の現状
医療処置の目標、支援、教育のポイントについて
・在宅中心静脈栄養法
・人工肛門
【事前・事後学習課題】 講義後のノート整理を行うこと

第5回 【授業テーマ】 在宅における医療処置の支援看護について②
【内容・方法 等】 腹膜透析(PACD) の実際と在宅での援助
・慢性腎不全について課題の発表をしてもらいます
【事前・事後学習課題】 1年次2年次の病態学；慢性腎不全の病態の復讐をしておくこと
講義後のノート整理を行うこと

第6回 【授業テーマ】 事例にみる在宅看護
脳卒中後遺症を持つ高齢者
【内容・方法 等】 脳卒中の事例(医療処置に経管栄養、膀胱カテーテル、褥瘡の発生)に対する看護の展開
経管栄養は、シュミレーターを用いて理解を深める
【事前・事後学習課題】 講義後のノート整理を行うこと

第7回 【授業テーマ】 事例にみる在宅看護
COPDを持つ人への在宅看護
【内容・方法 等】 COPDの事例(医療処置に在宅酸素療法、SPO2測定)に対する看護の展開
【事前・事後学習課題】 事前課題；COPDの定義について調べる
講義後のノート整理を行うこと
第8回に向けて課題あり

第8回 【授業テーマ】 事例にみる在宅看護
筋萎縮性側索硬化症を持つ人の在宅看護①
【内容・方法 等】 ①人工呼吸器の管理 50人 AG 演習室
②筋萎縮性側索硬化症(医療処置に気管切開、人工呼吸器、吸引)に対する看護展開 50人BG 教室
【事前・事後学習課題】 事前課題；筋萎縮性側索硬化症・難病について調べておく
講義後のノート整理を行うこと

第9回 【授業テーマ】 事例にみる在宅看護
筋萎縮性側索硬化症を持つ人の在宅看護②
【内容・方法 等】 ①人工呼吸器の管理 50人 BG 演習室
②筋萎縮性側索硬化症(医療処置に気管切開、人工呼吸器、吸引)に対する看護展開 50人AG 教室
【事前・事後学習課題】 講義後のノート整理を行うこと

第10回 【授業テーマ】 事例にみる在宅看護
認知症を持つ人への在宅看護
【内容・方法 等】 認知療養者の理解
認知症療養者・家族への支援方法
【事前・事後学習課題】 事前課題；認知症について調べておく
講義後のノート整理を行うこと

第11回 【授業テーマ】 事例にみる在宅看護
①在宅で生活する精神障害を持つ人への支援
②在宅で生活する小児への支援
【内容・方法 等】 ①病院における看護との違いと在宅での援助方法
②小児の在宅支援の理解と在宅ケア特有の支援技術
【事前・事後学習課題】 講義後のノート整理を行うこと

第12回 【授業テーマ】 事例にみる在宅看護
事故により中途障害を持った若者に対する在宅看護
【内容・方法 等】 頸椎損傷に伴う四肢麻痺で寝たきりに対す

る援助
褥瘡の予防
四肢硬縮の予防
摘便

第13回 【事前・事後学習課題】 講義後のノート整理を行うこと
【授業テーマ】 在宅ターミナルケア①
【内容・方法等】 在宅ターミナルを可能にする要件
WHO疼痛ラダーについて
終末期プロセス
看取り(エンゼルケアを含む)

第14回 【事前・事後学習課題】 講義後のノート整理を行うこと
【授業テーマ】 在宅ターミナルケア①
【内容・方法等】 在宅ターミナルを可能にする要件
WHO疼痛ラダーについて
終末期プロセス
看取り(エンゼルケアを含む)

第15回 【事前・事後学習課題】 講義後のノート整理を行うこと
【授業テーマ】 在宅援助論まとめ
【内容・方法等】 小テスト
【事前・事後学習課題】 特になし

評価方法 (基準)
講義への参加態度20%、演習への参加態度10%、終講試験70%

教材等

教科書…ナーシンググラフィカ
在宅看護論地域療養を支えるケア MCメディカ出版
価格3400+税
新版在宅看護論 木下由美子 試業出版株式会社 価格2400+税
参考書…根拠がわかる
在宅看護技術 岡崎美智子編 メジカルフレンド社
価格4700円

学生へのメッセージ

在宅看護では、患者のことを「患者」とは言いません。療養者あるいは訪問看護を利用する「利用者さん」と呼称します。在宅援助方法の原理原則は基礎看護技術と変わりませんが、療養者それぞれの生活があるように援助も百人百様の方法で援助を提供しなければなりません。看護師のフィールドも拡大しつつあります。頭を柔軟に学習に取り組んでください。

関連科目

基礎科目、専門基礎科目、地域看護学、家族関係論、領域実習

担当者の研究室等

後閑容子 7号館 3階 第8研究室
石橋文枝 7号館 3階 第9研究室

地域看護学

Community Health Nursing

後閑容子(ゴカン ヨウコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

地域看護学の理念、対象(個人・家族・集団・コミュニティ)、活動の場の特性、法規、活動の展開方法、計画策定と実践などの概要の学習を通して、地域看護学の概念を理解し、看護の役割と機能を学習する。さらに、地域看護学の歴史的発展と現状、今後の課題を社会的現象とのかかわりを通して、地域において看護職が果たす機能や役割を考える。
また、地域保健における母子保健管理体系の学習と保健・医療・福祉との連携、看護職の役割を理解する。

授業方法と留意点

原則として、授業計画に基づき授業を展開する。授業に使用するテキストは「公衆衛生看護学JP」、「国民衛生の動向」を使用し、授業に参加する学生には、予習を促すようにする。毎回、授業の振り返りを行い、さらに学生の質問と授業への感想、要望をとり、授業の内容と進め方に反映させる。
地域看護学における活動方法などは、実践例を用いた教材を作成し、学生が理解できるように工夫する。さらに、保健指導の方法では、集団や個別の指導方法を実践的に学ぶ機会を設けるなどして、学生の学習を助ける。

科目学習の効果(資格)

地域の理解、地域看護(保健師)の理解により、統合看護に繋がる

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 地域看護の概要
【内容・方法等】 地域看護学、公衆衛生看護学の理念、活動の概要、活動の対象と場
【事前・事後学習課題】 1.健康とはどのような状態か、健康の定義とは何か、調べてまとめてください。2.公衆衛生看護学JP3-13ページを読んでください。

第2回 【授業テーマ】 地域保健活動の歴史
【内容・方法等】 リリアンワールドと公衆衛生看護活動、日

本の保健師活動の特徴と歴史

【事前・事後学習課題】 1.公衆衛生看護学JP22-37を読んでください。2.保健師の活動について書かれた本を紹介します。

第3回 【授業テーマ】 ヘルスプロモーションと施策

【内容・方法等】 プライマリーヘルスケア、WHOの活動、オタワ憲章、バンコク憲章、世界の健康と看護職の活動
【事前・事後学習課題】 1.ヘルスプロモーションに関する文献を読んでください。第1回授業時に渡します。

第4回 【授業テーマ】 地域診断と保健活動

【内容・方法等】 地域診断の目的・意義を理解する1.地域診断過程、2.コミュニティアズパートナーモデル、プリシード・プリシードモデル、3.地域保健活動でどのように地域診断を活用しているか、事例をとって理解する。
【事前・事後学習課題】 1.地域診断に関するテキストの章を読んでください。

第5回 【授業テーマ】 地域保健活動の方法

【内容・方法等】 健康教育、健康相談、家庭訪問など地域保健活動方法の概要と方法を理解する。
【事前・事後学習課題】 1.家庭訪問について学習します。学んだこと、考えたことをまとめて、次回の授業までに提出してください。2.公衆衛生看護学JP137-238ページを読んでください。

第6回 【授業テーマ】 行動変容と保健指導

【内容・方法等】 地域看護活動と行動変容モデル・看護活動モデル
【事前・事後学習課題】 1.自分の保健行動に関して評価します。事後学習としてまとめてください。

第7回 【授業テーマ】 母子保健活動

【内容・方法等】 母子保健の諸指標と保健師活動の概要
母子保健における地域の健康問題と保健活動1.母子手帳と保健活動、2.こんにちは赤ちゃん事業、3.乳幼児健康診査・健康相談
【事前・事後学習課題】 1.自分の母子手帳を持ってきてください。

第8回 【授業テーマ】 思春期保健・リプロダクティブヘルス

【内容・方法等】 リプロダクティブヘルスにおける健康増進活動について学習します。
【事前・事後学習課題】 思春期保健活動の紹介をします。学生によるボランティア活動もありますので、あらかじめ調べてきてください。

第9回 【授業テーマ】 成人保健活動

【内容・方法等】 成人の健康の現状、特定健診・特定保健指導について
【事前・事後学習課題】 1.自分の体重、身長、腹囲を計測して来てください。

第10回 【授業テーマ】 高齢者保健活動

【内容・方法等】 高齢者の健康の現状と課題、介護予防と地域保健活動、地域包括支援センター
【事前・事後学習課題】 1.介護者の手記、介護に関する本を読んでください。

第11回 【授業テーマ】 難病・精神保健活動

【内容・方法等】 地域医療と難病、地域精神保健活動、メンタルヘルス活動
【事前・事後学習課題】 ALS療養者の文献を紹介します。あらかじめ読んで、授業に参加してください。

第12回 【授業テーマ】 感染症保健活動

【内容・方法等】 感染症予防法と保健師の活動、1.結核と保健活動、2.HIV・AIDS、3.その他
【事前・事後学習課題】 1.結核、又はAIDSに関する学習課題(授業時に提示する内容)について、調べてまとめてください。

第13回 【授業テーマ】 地区組織活動

【内容・方法等】 コミュニティにおける保健師活動、地域住民と健康意識、健康づくり、自助グループ育成への支援などについて理解する。
【事前・事後学習課題】 自助グループについて調べてみましょう。地域にはどのようなグループがあるでしょうか?

第14回 【授業テーマ】 地域看護管理

【内容・方法等】 地域における保健医療福祉計画、事業計画などと保健師の役割
【事前・事後学習課題】 あなたの住んでいる市町村のHPから地域保健計画を探してみましょう。どのような計画がありましたか。あらかじめ調べて授業に参加しましょう。

第15回 【授業テーマ】 地域看護における倫理

【内容・方法等】 個人情報保護と保健活動、保健活動における倫理的判断などを理解する。
【事前・事後学習課題】 あなたのご家族は健康診査の結果をどのように知りますか?保健師と関わりがあるかどうか、聞いてみましょう。

評価方法(基準)

授業で紹介する保健師の活動記録に関する本や論文に関するレポート、講義中の質問に対する回答及び定期試験の結果を基に、総合的に評価する。
定期試験(50%)、講義での回答内容(30%)、レポート(20%)

教材等

教科書…荒賀直子、後閑容子 編 『公衆衛生看護学JP第3版』
インターメディカル (4,400円+税)
厚生統計協会 『国民衛生の動向』最新号(8月頃発売
予定です) 厚生統計協会 (2,286円+税)
参考書…畑栄一 『行動科学』 南江堂
日本看護協会 監修 『保健師業務要覧』 日本看護協
会出版会

学生へのメッセージ

地域看護学には公衆衛生看護学、在宅看護学、学校保健、産業看護などたいへん広い看護の活動の場が含まれています。本授業では、地域看護学とは何か、健康と看護とのかかわりを理解し、さらに、健康増進や健康づくり、疾病予防に関連する看護活動を広く学習します。看護学への導入とともに地域における看護活動の実際も理解できるように、事前・事後学習として出された課題をしっかりと学習してください。また、授業に出席することは、本科目にとって必須条件です。自身の健康管理に気をつけて、授業を休まないようにしてください。

関連科目

看護学概論
在宅看護学概論

担当者の研究室等

7号館3階 研究室8(後閑)

国際看護学 International Nursing				
野田 洋子(ノダ ヨウコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

グローバルな視点で世界の人々の健康と生活について理解する。特に開発途上国の人々の健康問題について理解を深め、看護を行う上での基礎的知識、態度、行動を育成する。異文化(多文化共生) 地域における保健・医療・看護の現状および国内の在日外国人や海外在留邦人の健康・健康問題について理解を深める。

授業方法と留意点

原則として授業計画に基づき授業を展開する。授業は講義および演習(グループワークと発表、体験学習)を取り入れる。視聴覚教材やインターネットの利用、またテーマによってゲストスピーカーの特別講義を予定する。

科目学習の効果(資格)

「海外医療セミナー」を履修するための必須科目。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
国際看護と異文化(多文化共生)看護の概念
【内容・方法等】 自己紹介と授業の進め方の確認
看護の対象
【事前・事後学習課題】 「国際看護学」に期待することを各自
まとめておくこと
- 第2回** 【授業テーマ】 国際保健・看護活動の現状 1
【内容・方法等】 国際援助・国際協力の組織
日本の国際協力の組織:ODA、NGO
【事前・事後学習課題】 日本のODA、NGOについて事前学習
しておくこと
- 第3回** 【授業テーマ】 途上国の健康問題 1
【内容・方法等】 健康に影響する要因
プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション
国連ミレニアム目標
【事前・事後学習課題】 既習の知識の復習
- 第4回** 【授業テーマ】 途上国の健康と健康問題 2
【内容・方法等】 感染症 HIV/AIDS
栄養障害児
妊産婦死亡 など
【事前・事後学習課題】 既習の知識の復習
小テスト
- 第5回** 【授業テーマ】 国際保健・看護活動の現状 2
【内容・方法等】 途上国への看護職の協力の実際
【事前・事後学習課題】 海外で活躍する看護職について新聞記
事、ネットなどで検索
- 第6回** 【授業テーマ】 在日外国人、海外在留邦人の健康・健康問題
と看護
【内容・方法等】 在日外国人の母子保健
海外在留邦人の健康課題
医療ツーリズム など
【事前・事後学習課題】 第5回に学習課題を提示
- 第7回** 【授業テーマ】 世界の保健医療制度・看護制度
【内容・方法等】 先進国と途上国の保健医療制度
先進国と途上国の看護制度と看護教育制度

看護職の国際移動

- 第8回** 【事前・事後学習課題】 第6回に課題の提示
【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 これからの国際看護の課題
【事前・事後学習課題】 ディスカッション
小テスト
- 第9回** 【授業テーマ】 —
【内容・方法等】 —
【事前・事後学習課題】 —
- 第10回** 【授業テーマ】 —
【内容・方法等】 —
【事前・事後学習課題】 —
- 第11回** 【授業テーマ】 —
【内容・方法等】 —
【事前・事後学習課題】 —
- 第12回** 【授業テーマ】 —
【内容・方法等】 —
【事前・事後学習課題】 —
- 第13回** 【授業テーマ】 —
【内容・方法等】 —
【事前・事後学習課題】 —
- 第14回** 【授業テーマ】 —
【内容・方法等】 —
【事前・事後学習課題】 —
- 第15回** 【授業テーマ】 —
【内容・方法等】 —
【事前・事後学習課題】 —

評価方法(基準)

小テスト(30%)、レポート(40%)、授業参加度(30%)

教材等

教科書…テキストの指定なし
参考書…丸井・森口・李編「国際看護・国際保健」弘文堂、
2012(2400+税)
ジバリー・ヘンリー、上田監訳「国際保健看護」看護の
科学社、2005(1300+税)
日本国際保健医療学会編「国際保健医療学 第2版」杏
林書院、2005、(3800+税)
田村やよひ編「看護の統合と実践③ 国際看護学」メ
ヂカルフレンド社、2012(2100+税)
(そのほかの参考書、文献は授業時間内に適宜提示する)

学生へのメッセージ

本科目は選択科目であり、学生の主体的な授業参加を強く希望
します。
また選択された学生数やニーズにより授業内容・方法を変更す
ることがあります。

関連科目

公衆衛生学、地域看護学、文化人類学

担当者の研究室等

7号館3階研究室20

海外医療セミナー International Health Care Semina				
小堀 栄子(コポリ エイコ) 吉田 由記子(ヨシダ ユキコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

国際看護学を学んだ学生を対象に、実際に海外の臨床現場を訪れ、
そこで行われている看護の実際について学ぶ。現地では病院見
学・講義等を行い、看護・保健・医療をめぐる事情について学
習する。日本とは異なる社会環境の中で実践されている臨床現
場での学習を通して、日本の看護とそのあり方についてももう一
度振り返り、看護と社会の関わり、看護のあるべき姿とその将
来について考える機会とする。

授業方法と留意点

事前研修、海外研修、報告会をおこなう
国際看護学を履修すること

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

渡航前に現地の保健医療事情について学習する。現地で保健医
療事情についての講義を受け、さらに理解を深める。病院や高
齢者施設を見学し、また現地の大学の看護学生と交流する。グ
ループ学習と発表を通して学んだことの理解を深め、共有する。

評価方法・評価基準

事前学習、海外研修、報告会

教材等

教科書…なし
参考書…なし

備考

なし

研究入門
Introduction to Research

小堀 栄子 (コホリ エイコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

【参考】設置認可申請「授業科目の概要」
 研究とはまだ明らかになっていないことを明らかにするため、科学的手法を用いてデータを収集し、科学的推論によって仮説を検証する一連のプロセスである。本科目では、卒業研究を行う前に理解しておくべき研究についての基本的な事柄について学習し、受講者が研究とは何か、データをどのように収集するのか、集めたデータをどのように要約するのか、要約したデータをどのように解釈するのかなどのプロセスを踏まえて研究を行える能力を養う。

授業方法と留意点

講義と実習を組み合わせ、理解を深める。

科目学習の効果（資格）

研究の意義、目的、方法、プロセスなどを理解し、研究の基礎を習得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 研究とは何か
 【内容・方法等】 研究の役割、種類、プロセス
 【事前・事後学習課題】 授業をよく聞くこと
- 第2回 【授業テーマ】 研究テーマ (1)
 【内容・方法等】 研究テーマを見つける
 【事前・事後学習課題】 授業をよく聞くこと
- 第3回 【授業テーマ】 研究テーマ (2)
 【内容・方法等】 リサーチ・クエスションと概念モデル
 【事前・事後学習課題】 授業をよく聞くこと
- 第4回 【授業テーマ】 研究の倫理
 【内容・方法等】 研究実施に必要な倫理的配慮
 【事前・事後学習課題】 授業をよく聞くこと
- 第5回 【授業テーマ】 文献の検索方法
 【内容・方法等】 文献検索の必要性と方法
 【事前・事後学習課題】 授業をよく聞くこと
- 第6回 【授業テーマ】 量的研究の概要
 【内容・方法等】 研究の種類、研究デザイン、対象者の抽出
 【事前・事後学習課題】 授業をよく聞くこと
- 第7回 【授業テーマ】 量的研究のデータ収集 (1)
 【内容・方法等】 質問票の目的、構成、作成方法
 【事前・事後学習課題】 授業をよく聞くこと
- 第8回 【授業テーマ】 量的研究のデータ収集 (2)
 【内容・方法等】 質問票の作成
 【事前・事後学習課題】 授業をよく聞くこと
- 第9回 【授業テーマ】 量的研究のデータ分析
 【内容・方法等】 データの入力と分析
 【事前・事後学習課題】 授業をよく聞くこと
- 第10回 【授業テーマ】 質的研究の概要
 【内容・方法等】 研究の種類、データの収集・分析法
 【事前・事後学習課題】 授業をよく聞くこと
- 第11回 【授業テーマ】 質的研究のデータ収集・分析
 【内容・方法等】 インタビューガイドとデータ分析
 【事前・事後学習課題】 授業をよく聞くこと
- 第12回 【授業テーマ】 文献の読み方
 【内容・方法等】 文献の構造と内容
 【事前・事後学習課題】 授業をよく聞くこと
- 第13回 【授業テーマ】 研究計画書の書き方
 【内容・方法等】 研究計画書の構成と内容
 【事前・事後学習課題】 授業をよく聞くこと
- 第14回 【授業テーマ】 論文の書き方
 【内容・方法等】 論文の構成とまとめ方、引用文献、図表作成
 【事前・事後学習課題】 授業をよく聞くこと
- 第15回 【授業テーマ】 研究発表
 【内容・方法等】 研究発表の準備と実践
 【事前・事後学習課題】 授業をよく聞くこと

評価方法（基準）

定期試験60%以上で合格。授業全15回出席が前提。出席の扱いは学生便覧のとおり（「出席状況が好ましくない場合は、単位を認めないことがあります」学生便覧より）。

教材等

教科書…黒田裕子の看護研究Step by Step. 黒田裕子. 医学書院. 2012年5月15日. 2730円.

参考書…随時紹介する

学生へのメッセージ

・授業では、研究入門を学んでいくうえで最低限必要な理解の

枠組みと、その枠組みを理解するうえで最低限必要な知識について講義する。教科書を読むだけでは把握しにくいので、毎回の授業には真剣に臨むこと。

- ・授業中の私語、教室の出入りは厳禁
- ・授業中であてられたとき教室にいなかった場合は欠席扱い

関連科目

情報リテラシーⅡ、疫学・保健統計

担当者の研究室等

7号館3階24

備考

なし

文章表現法
Academic Japanese

細川 知佐子 (ホソカワ チサコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	1	前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

話し言葉とは異なる文章語を習得し、大学でのレポート作成に必要な論理的文章を書く力、及び社会人として必要な文章作成能力を身につけることを目的とする。

授業方法と留意点

配布プリントによる講義と合わせ、その実践として課題を作成する。

毎回、日本語表現や語彙力を養成する小テストを行う。

科目学習の効果(資格)

大学や社会で必要な文章作成能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業の目的、方法の説明
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第2回 【授業テーマ】 文章の基礎1
【内容・方法 等】 講義と練習問題
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第3回 【授業テーマ】 文章の基礎2
【内容・方法 等】 講義と練習問題
【事前・事後学習課題】 前回の復習
配布プリントを読む
- 第4回 【授業テーマ】 レポート・論文の書き方1
【内容・方法 等】 事実の記述と意見の記述について
【事前・事後学習課題】 前回の復習
配布プリントを読む
- 第5回 【授業テーマ】 課題1「説明文」
【内容・方法 等】 与えられたテーマを説明する文章を作成する
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第6回 【授業テーマ】 レポート・論文の書き方2
【内容・方法 等】 講義と練習問題
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第7回 【授業テーマ】 要約
【内容・方法 等】 講義と練習問題
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第8回 【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法 等】 課題1のフィードバック
要約の練習問題
【事前・事後学習課題】 返却された課題の反省
- 第9回 【授業テーマ】 レポートの構成について
【内容・方法 等】 講義と練習問題
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第10回 【授業テーマ】 引用1
【内容・方法 等】 講義と練習問題
レポート作成にあたり、資料や文献を引用する方法
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第11回 【授業テーマ】 引用2
【内容・方法 等】 資料を引用しながら文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
配布プリントを読む
- 第12回 【授業テーマ】 課題2「資料を引用しながら意見を述べる」
【内容・方法 等】 資料を引用して意見を述べる課題を作成する
【事前・事後学習課題】 ここまでの復習
- 第13回 【授業テーマ】 メールと手紙の書き方
【内容・方法 等】 講義と練習問題
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第14回 【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法 等】 課題2のフィードバック
手紙の作成
【事前・事後学習課題】 返却された課題の反省
- 第15回 【授業テーマ】 授業の総括
【内容・方法 等】 レポート作成にあたり、重要なポイントを再確認する
【事前・事後学習課題】 これまでの復習

評価方法(基準)

課題60%、小テスト10%、定期試験30%により総合評価する。
課題提出は必須。場合によっては再提出を求める。

教材等

教科書…配布プリント
参考書…適宜提示していく。

学生へのメッセージ

作文・感想文とレポート・論文の違いを認識し、論理的な文章を書く力を身につけましょう。
論理的な文章を書く力は、練習さえすれば習得できます。苦手意識を持たず書いてみることを。

関連科目

コミュニケーションに関する分野

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

文章表現法

Academic Japanese

細川 知佐子 (ホソカワ チサコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	2	前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

話し言葉とは異なる文章語を習得し、大学でのレポート作成に必要な論理的文章を書く力、及び社会人として必要な文章作成能力を身につけることを目的とする。

授業方法と留意点

配布プリントによる講義と合わせ、その実践として課題を作成する。

毎回、日本語表現や語彙力を養成する小テストを行う。

科目学習の効果(資格)

大学や社会で必要な文章作成能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業の目的、方法の説明
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第2回 【授業テーマ】 文章の基礎1
【内容・方法 等】 講義と練習問題
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第3回 【授業テーマ】 文章の基礎2
【内容・方法 等】 講義と練習問題
【事前・事後学習課題】 前回の復習
配布プリントを読む
- 第4回 【授業テーマ】 レポート・論文の書き方1
【内容・方法 等】 事実の記述と意見の記述について
【事前・事後学習課題】 前回の復習
配布プリントを読む
- 第5回 【授業テーマ】 課題1「説明文」
【内容・方法 等】 与えられたテーマを説明する文章を作成する
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第6回 【授業テーマ】 レポート・論文の書き方2
【内容・方法 等】 講義と練習問題
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第7回 【授業テーマ】 要約
【内容・方法 等】 講義と練習問題
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第8回 【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法 等】 課題1のフィードバック
要約の練習問題
【事前・事後学習課題】 返却された課題の反省
- 第9回 【授業テーマ】 レポートの構成について
【内容・方法 等】 講義と練習問題
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第10回 【授業テーマ】 引用1
【内容・方法 等】 講義と練習問題
レポート作成にあたり、資料や文献を引用する方法
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第11回 【授業テーマ】 引用2
【内容・方法 等】 資料を引用しながら文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
配布プリントを読む
- 第12回 【授業テーマ】 課題2「資料を引用しながら意見を述べる」
【内容・方法 等】 資料を引用して意見を述べる課題を作成する
【事前・事後学習課題】 ここまでの復習
- 第13回 【授業テーマ】 メールと手紙の書き方
【内容・方法 等】 講義と練習問題
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第14回 【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法 等】 課題2のフィードバック
手紙の作成
【事前・事後学習課題】 返却された課題の反省
- 第15回 【授業テーマ】 授業の総括
【内容・方法 等】 レポート作成にあたり、重要なポイントを再確認する
【事前・事後学習課題】 これまでの復習

評価方法(基準)

課題60%、小テスト10%、定期試験30%により総合評価する。
課題提出は必須。場合によっては再提出を求める。

教材等

教科書…配布プリント
参考書…適宜提示していく。

学生へのメッセージ

作文・感想文とレポート・論文の違いを認識し、論理的な文章を書く力を身につけましょう。
論理的な文章を書く力は、練習さえすれば習得できます。苦手意識を持たず書いてみることに。

関連科目

コミュニケーションに関する分野

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

コミュニケーション論 Study of Communication				
櫻井清華 (サクライ キョウカ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

生命に関わる職業人となることを自覚し、それにふさわしい行動・態度をとることができるようになるために、人との共感的態度を身につけ、信頼関係を醸成し、さらに生涯にわたってそれらを向上させる習慣を身につける。
本科目では、日常的に行っているコミュニケーションの特性や仕組みを知り、表現のスキルを向上させていくことを目指す。コミュニケーションの諸場面に生じる問題を通して、円滑な意志疎通のあり方を探る。

授業方法と留意点

講義による授業方法。適宜小テストをおこなう。

科目学習の効果（資格）

特になし

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
コミュニケーションとはどのような現象をさすのか考えてみましょう。
【内容・方法等】 講義
【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第2回 【授業テーマ】 言語的および非言語的コミュニケーションの方法を概説。コミュニケーションモデルを通じてメッセージの流通、応答経路の仕組みを学ぶ。
【内容・方法等】 講義
【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第3回 【授業テーマ】 言葉が認知される過程を図を用いて理解する。
【内容・方法等】 講義
【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第4回 【授業テーマ】 非言語コミュニケーションの可能性
【内容・方法等】 講義
【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第5回 【授業テーマ】 言語の生得性について
【内容・方法等】 講義
【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第6回 【授業テーマ】 コミュニケーションの相互交通について
【内容・方法等】 講義
【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第7回 【授業テーマ】 言葉の記号性
【内容・方法等】 講義
【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第8回 【授業テーマ】 言語の象徴性
【内容・方法等】 講義
【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第9回 【授業テーマ】 言語認識の諸相
【内容・方法等】 講義
【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第10回 【授業テーマ】 スキーマとスクリプト
【内容・方法等】 講義
【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第11回 【授業テーマ】 非言語と言語の相乗効果
【内容・方法等】 講義
【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第12回 【授業テーマ】 非言語の影響力
【内容・方法等】 講義
【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第13回 【授業テーマ】 非言語コミュニケーションと文化の関係
【内容・方法等】 講義
【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第14回 【授業テーマ】 メディア戦略を読み解く
【内容・方法等】 講義
【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第15回 【授業テーマ】 うわさの構造
【内容・方法等】 講義

【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
評価方法（基準）

平常点30%、定期試験70%で評価します。

教材等

教科書…橋本良明 『コミュニケーション学への招待』 大修館書店 (2,100円+税)
参考書…特になし。

学生へのメッセージ

積極的な参加を求めます。

関連科目

国語学、言語学、日本語学、社会学、コミュニケーション学など

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

心理学 Psychology				
小牧一裕 (コマキ カズヒロ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

患者、同僚、地域社会との信頼関係を確立できるようになるために、相手の心理、立場、環境を理解するための基本的知識、技能、態度を修得する。
心理学とは、われわれが周囲のさまざまな環境とのかかわりの中でとる行動やその背景にある心を客観的に理解しようとする学問である。授業では人間の心と行動に関して科学的に認められる傾向性や法則性について検討し、心理学における専門的基礎知識を学習することを目的とする。現代社会での実際的な問題、日常的な話題を多く取り上げ、個人・対人間・集団関係での行動と心理の理解を目指す。

授業方法と留意点

講義方式で教科書と資料を併用する。講義中には、心理学的知見を実際に体感するため、グループワークや調査も行う予定にしているため、積極的に参加すること。

科目学習の効果（資格）

講義を通して自己理解・他者理解を深め、自分と社会との関わりを考えるきっかけを得ることができる。分析力と対人関係力を身につけることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション 心理学概論
【内容・方法等】 心理学とはどのような学問なのかについて概説を行う。
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習
- 第2回 【授業テーマ】 パーソナリティの心理
【内容・方法等】 パーソナリティの諸説を解説した後、形成に影響を与える外的要因について、文化、家庭、学校、地域に分けて説明する。われわれがいかにして現在の自分になったのかについて考える。
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習
- 第3回 【授業テーマ】 発達と青年の心理
【内容・方法等】 人とうまく関わっていく能力は、主には小さい子どものころに培われる。この社会性の発達について、人の生涯をいくつかの時期（乳幼児期、児童期、青年期）に分けて学ぶ。
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習
- 第4回 【授業テーマ】 自己の心理
【内容・方法等】 自分のことは自分が一番良く知っていると考えた人は多いが、本当にそうだろうか？ 自分の気づかない自分について知り、また、自分の情報を他の人に言う自己開示や他の人に良い印象を与える過程についても考える。
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習
- 第5回 【授業テーマ】 対人認知
【内容・方法等】 われわれが人と良い関係を築いていくためには、まず自分を取り巻く環境や他者を知る（認知）することが必要となる。ここでは、他者を理解するプロセスに働く、心理的な規則やルールについて学ぶ。
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習
- 第6回 【授業テーマ】 対人魅力
【内容・方法等】 われわれは印象形成の次の行動として、相手の人に対する評価的な感情を抱く。ここでは、人に対する好意的や非好意的な態度である対人魅力の規定因について考えてみる。
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習
- 第7回 【授業テーマ】 コミュニケーションの心理
【内容・方法等】 人とうまくいかないときに、その原因はコミュニケーションにあることが多い。コミュニケーションの阻害や歪みについてその原因を理解し、より良い人間関

- 係を築くための対策を考えてみよう。
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 授業内容の復習
【授業テーマ】 説得的コミュニケーション
【内容・方法等】 われわれ一人ひとりの態度はさまざまに異なっている。自分と意見が違う人と接することはよくあることだが、そのときにどのような行動を取るだろうか。ここでは説得に関して、影響する要因とその応用について学ぶ。
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 授業内容の復習およびレポート作成
【授業テーマ】 対人関係の心理
【内容・方法等】 対人関係において、うまくいかなかったときの対応や注意点について学ぶ。トラブルがもてケンカになったときの対応、さらに苦情処理で気をつけることについて理解を深める。
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 授業内容の復習
【授業テーマ】 集団の心理
【内容・方法等】 集団の条件や集団規範、まとまり（凝集性）をよくするにはどうしたらいいかなどについて理解を深める。
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 授業内容の復習
【授業テーマ】 組織の心理
【内容・方法等】 リーダーシップや組織社会化、メンタリングについて学び、集団の中でどのようにリーダーシップを発揮したり、組織にどのように適応していくのかについて理解を深める。
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 授業内容の復習
【授業テーマ】 ITとコミュニケーション
【内容・方法等】 われわれが日常的に用いるコミュニケーションツールとして、ケータイやネットがある。それらを使うときにどのようなプラス面、マイナス面があるのかについて考えてみる。
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 授業内容の復習およびレポート作成
【授業テーマ】 ストレスと健康の心理
【内容・方法等】 人間関係は、ストレスの原因にもなるし、やる気の源にもなる。ここではストレスの原因とその結果に影響を及ぼす要因として人間関係や個人特性に注目し、どのようにしたらストレスに強くなれるのかについて学ぶ。
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 授業内容の復習
【授業テーマ】 ポジティブ心理学
【内容・方法等】 人が幸せになるためにはどのようなことが必要だろうか？ 幸福の心理を中心に、ポジティブ心理学から考える。
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 授業内容の復習
【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 これまでの授業に関して、伝えたいポイントを再確認し、言い足りなかったところについて補足説明を行う。さらに、われわれが心理学をどのように日常生活に活用できるのかについて考える。

評価方法（基準）
学期末試験60%、レポート40%で評価する。

教材等
教科書…西川一廉・小牧一裕 「コミュニケーションプロセス」二瓶社（¥2100）
参考書…講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
できるだけ身近な例を取り上げながら講義を進める予定ですので、自分や自分を取り巻く社会と心理的事象を結びつけながら、理解を深めてください。

関連科目
臨床心理学、カウンセリング論

担当者の研究室等
1号館2階 非常勤講師室

哲学 Philosophy				
柿本佳美 (カキモト ヨシミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
「哲学」という営みを「西洋という文化圏の特定の時代に成立した特殊な知の様式」としてとらえる反哲学の立場から、2500年に及ぶ哲学の歴史をそのはじまりから辿り直すとともに、現代社会において一市民として哲学的な思考を行うとはどういうことでありうるのかを受講者とともに考えていきます。哲学の本来の意味である「愛知」という意味に立ち帰ることで、改めて現代世界の諸問題を考える行くのに不可欠な視点を取り戻していきます。

授業方法と留意点

哲学は、言葉の概念と論理構造の分析を通じて、存在の根源的な意味、とりわけ「自己」と「世界」の意味を問いつづけてきました。これは、私たちの日常生活からかけ離れているように見えるかもしれませんが、日常生活を断ち切るような大きな出来事が生じたときに私たちが見出す、「生」とは何か、「人間」とはどのような存在なのかという問いに相通じるものでもあるのです。

この授業では、「人間の尊厳」と「共同体」を軸に哲学の歴史を講義形式でたどりながら、受講者が諸概念についてより理解を深め、俯瞰的に思考できるよう、ディスカッションとミニレポートを取り入れます。

科目学習の効果（資格）
・既成概念を論理的に検討することで哲学の思考形式に慣れ、物事について多角的に把握する視点を身につける。
・毎回のミニレポート提出により、与えられたテーマに対し、短時間で自分の考えをまとめることに慣れる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 はじめに：「生」とは何か
【内容・方法等】 私たちは、動物と同じように生理的欲求を満たすだけの存在ではない。私たちが求めるのは、できる限り「意義ある生」、「幸福な生」である。ところで、人は他者とともに、共同体のなかで生きる存在である。そこで、この回では、「幸福」という概念を通して、「私」と「他者」とのかかわりを考えてみよう。
【事前・事後学習課題】 「幸福」とは何か、そして「幸福」は「私」1人だけで成り立つのか、「他者」と「社会」の存在が必要ならば、その理由は何か、考えておくこと。
- 第2回** 【授業テーマ】 論理と言語（その1）
【内容・方法等】 哲学で用いられる思考形式に慣れるため、論理学の最初歩を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布プリントの練習問題を解く。
- 第3回** 【授業テーマ】 論理と言語（その2）
【内容・方法等】 否定と対偶を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布プリントの練習問題を解く。
- 第4回** 【授業テーマ】 「生きる」とは何か：ソクラテス
【内容・方法等】 ソクラテスが指した「生きる」とは、単に「生きている」という状態を指すのではなく、「よく生きること」であった。ここでは、『クリトン』を通して、「生きる」ことの多元的な意味を考えよう。
【事前・事後学習課題】 プラトン『クリトン』を読んでおくこと。
- 第5回** 【授業テーマ】 「社会的動物」としての人間：アリストテレス
【内容・方法等】 人間は、単独で生きることができず、必ず共同体を作る存在である。そうすると、「共同体」は何を目的に帰納するのだろうか。ここでは『政治学』を題材に、彼の共同体論を見てみよう。
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読んでおくこと。
- 第6回** 【授業テーマ】 「私」の発見と世界：デカルト
【内容・方法等】 「私は考える、ゆえに私は存在する」というデカルトの言葉はよく知られているが、デカルト哲学における「考える私」の発見の役割については、誤解されていることも多い。デカルトの思索をたどり、理性によって思考するという近代の人間のモデルがもたらす影響について、考えていこう。
【事前・事後学習課題】 デカルト『方法序説』を読んでおくこと。
- 第7回** 【授業テーマ】 人はなぜ社会をつくるのか：ルソー
【内容・方法等】 私たちが社会を形成するのはなぜなのだろうか。ルソーは、社会のはじまりに、人々が自分の全てを集団全体にゆだねる意志があったと考える。ここでは、社会を形成するにあたって、人間はどのような存在と見なされているのか、そして社会全体が目指すものは何か、ルソーの思想のなかに探ってみよう。
【事前・事後学習課題】 ルソー『社会契約論』のはじめの部分を読んでおくこと。
- 第8回** 【授業テーマ】 他者を尊重する理由：カント
【内容・方法等】 カントによる人間の人格の尊厳は、現代の生命倫理における「尊厳」概念のルーツである。ここでは、カントの道徳律と幸福論を見ていこう。
【事前・事後学習課題】 カント『道徳形而上学原論』のなかの指定した章を読んでおくこと。
- 第9回** 【授業テーマ】 労働と価値：マルクス
【内容・方法等】 ものの価値には絶対的な基準があるのではない、交換によって価値が発生するのだというマルクスの発見は、社会がさまざまな関係から成り立っていることを浮き彫りにした。ここでは、近代社会において労働が商品となるということはどのようなことであったのか、マルクスの見解をたどってみよう。
【事前・事後学習課題】 配布するプリントを読んでおくこと。
- 第10回** 【授業テーマ】 自らが作り出す秩序への意志：ニーチェ
【内容・方法等】 神の恩寵に人間の幸福のよりどころを求めていた近世までの哲学とは異なり、ニーチェは、人間の生きようとする意志に、人間の望ましい生のあり方を見よう

とする。ニーチェのこうした思想は、人間の生を肯定する思想として、庇護状態にある人がそこから抜け出す上での支えともなりうる。ニーチェの「超人」を検討し、生への意志とは何か、考えてみよう。

【事前・事後学習課題】 ニーチェ『ツァラトゥストラはこう言った』の冒頭部分を読んでおくこと。

第11回 【授業テーマ】 自己と他者を肯定し、他者を迎え入れる思想とは：実存主義からレヴィナスへ

【内容・方法等】 実存主義は、人間の存在がどのようなものであるのかという問いではなく、この世界のなかに人間が存在するという現実から出発し、個々人が自分の生の条件を進んで引き受ける哲学として発展した。しかし、この思想では、なぜ私たちが他者の呼ぶ声に応えなければならないか、説明がたい。ここでは、レヴィナスの思想も参照し、他者存在を肯定する思考の可能性を考えてみよう。

【事前・事後学習課題】 配布するプリントを読んでおくこと。

第12回 【授業テーマ】 ケア倫理とは：ギリガン

【内容・方法等】 ギリガンは、「誰も傷つけられてはならない」という原則のもと、さまざまな当事者の間の利害の対立を解決するよりよい方法を探る倫理的思考を「ケア」という倫理として確立した。人間関係のなかに働く「思いやり」を重視する倫理の可能性を考えてみよう。

【事前・事後学習課題】 配布するプリントを読んでおくこと。

第13回 【授業テーマ】 社会的排除とは：フーコーとゴッフマン

【内容・方法等】 近代以降の産業化は、生産活動に適さない人間を排除する過程でもあった。フーコーは、医療が人間の生に政治的な力となって影響を与えることを指摘した。また、ゴッフマンは、社会的排除が当事者を原因として生じるのではなく、社会関係において発生することを明らかにする。ここでは、フーコーとゴッフマンを手がかりに、「排除」について考えてみよう。

【事前・事後学習課題】 配布するプリントを読んでおくこと。

第14回 【授業テーマ】 科学技術の進歩と未来世代に：ヨナス

【内容・方法等】 私たちが資源や環境などを守らなければならないと考えるのは、現在世代で全てを使い果たすのではなく、次の世代に残さなければならないと考えるからである。しかし、医療を含む科学技術は、現在世代の利益を確保することに重点を置く傾向にある。ここでは、ヨナスの思想を手がかりに、未来世代への影響を考慮した技術のあり方について考えてみよう。

【事前・事後学習課題】 配布するプリントを読んでおくこと。

第15回 【授業テーマ】 歓待とは何か：レイン『自己と他者』と鷺田清一『聴くことの力』

【内容・方法等】 「聴く」という行為は、他者の存在を受け入れることでもある。他者の声を「聴く」ことによって得られる存在への肯定は、私達に「幸福」をもたらす。しかしながら、現代の慌ただしい日本社会では、時間をかけて相手に向き合うことが難しくなっている。ここでは、鷺田清一『聴くことの力』を通して、「聴く」という行為の意味と可能性を検討してみよう。

【事前・事後学習課題】 「聴く」という行為と、相手の存在を受け止めるということの間には、どのような関係があるのか、考えておくこと。

評価方法（基準）

ミニレポート（20%）、課題提出（20%）、定期試験（60%）により総合評価する。

教材等

教科書…木田元『反哲学史』講談社学術文庫（945円＋税）

参考書…読むべき文献については、授業のなかで随時挙げる。

学生へのメッセージ

はじめて「哲学」という学問領域に出会う人にとっては、言葉の意味がとりにくく、とっつきにくいように思われるかもしれませんが。

あなたが分からないと思ったら、他の人も分からない可能性が大きいと思われま。

授業中の説明がよく分からないと思ったら、そのときにいつでも質問してください。

関連科目

法学入門、倫理学

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

備考

授業開始後30分以降の入室はお断りすることがあります。

授業概要・目的・到達目標

中学校や高等学校の「古典」「古文」の授業では、文法に悩まされた人が多いと思いますが、この講義は文法を学ぶことが目的ではありません。「古典文学」を味わい、楽しむことがねらいです。具体的には百人一首をとりあげ、主要な和歌を中心に読んでいきます。和歌に表現された世界がどんなものか、考えてみましょう。

学科の学習・教育目標との対応：[Ⅱ]

授業方法と留意点

講義形式です。不定期に小テストを行い、平常点（出席点）とします。

科目学習の効果（資格）

大学生として必要最低限の「古典文学」の知識を身につけることができます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 「古典文学」を楽しむ

【内容・方法等】 百人一首がどんな作品なのか、大きく捉えます。

【事前・事後学習課題】 事典等で概要を把握すること。

第2回 【授業テーマ】 百人一首の成り立ちを知る

【内容・方法等】 百人一首がどのように作られているのか、考えてみます。

【事前・事後学習課題】 百人一首全体を概観。

第3回 【授業テーマ】 天皇の歌を読む

【内容・方法等】 冒頭と末尾にある天皇の歌を読み、百人一首の構成について考えます。

【事前・事後学習課題】 百人一首の該当部分を熟読。

第4回 【授業テーマ】 万葉集時代の歌を読む

【内容・方法等】 万葉集時代の歌人が詠んだ歌を読み、鑑賞します。

【事前・事後学習課題】 百人一首の該当部分を熟読。

第5回 【授業テーマ】 六歌仙の歌を読む

【内容・方法等】 平安初期の歌人が詠んだ歌を読み、鑑賞します。

【事前・事後学習課題】 百人一首の該当部分を熟読。

第6回 【授業テーマ】 古今集時代の歌を読む

【内容・方法等】 平安前期の歌人が詠んだ歌を読み、鑑賞します。

【事前・事後学習課題】 百人一首の該当部分を熟読。

第7回 【授業テーマ】 古今集撰者たちの歌を読む

【内容・方法等】 古今集の編集にかかわった歌人が詠んだ歌を読み、鑑賞します。

【事前・事後学習課題】 百人一首の該当部分を熟読。

第8回 【授業テーマ】 後撰集時代の歌を読む

【内容・方法等】 平安中期の歌人が詠んだ歌を読み、鑑賞します。

【事前・事後学習課題】 百人一首の該当部分を熟読。

第9回 【授業テーマ】 拾遺集時代の歌を読む

【内容・方法等】 平安中期の歌人が詠んだ歌を読み、鑑賞します。

【事前・事後学習課題】 百人一首の該当部分を熟読。

第10回 【授業テーマ】 女流歌人たちの歌を読む

【内容・方法等】 平安中期の女流歌人たちが詠んだ歌を読み、鑑賞します。

【事前・事後学習課題】 百人一首の該当部分を熟読。

第11回 【授業テーマ】 後拾遺集時代の歌を読む

【内容・方法等】 平安後期の歌人が詠んだ歌を読み、鑑賞します。

【事前・事後学習課題】 百人一首の該当部分を熟読。

第12回 【授業テーマ】 金葉・詞花集時代の歌を読む

【内容・方法等】 平安後期の歌人が詠んだ歌を読み、鑑賞します。

【事前・事後学習課題】 百人一首の該当部分を熟読。

第13回 【授業テーマ】 千載集時代の歌を読む

【内容・方法等】 平安後期の歌人が詠んだ歌を読み、鑑賞します。

【事前・事後学習課題】 百人一首の該当部分を熟読。

第14回 【授業テーマ】 新古今集時代の歌を読む

【内容・方法等】 平安後期～鎌倉初期の歌人が詠んだ歌を読み、鑑賞します。

【事前・事後学習課題】 百人一首の該当部分を熟読。

第15回 【授業テーマ】 百人一首とはどんな作品か

【内容・方法等】 百人一首全体を通して、どのような作品であるのか、改めて考えます。

【事前・事後学習課題】 百人一首全体を熟読。

評価方法（基準）

平常点（主に小テスト）と試験によって、総合的に評価します。（平常点30%、定期試験70%）

教材等

教科書…資料を配付します。

参考書…適宜、講義のなかで紹介いたします。

学生へのメッセージ

人間の住む世界について、感覚に訴えかけるように言葉で表現したものが、文学です。文学を勉強することよりも、文学をき

文学 Literature				
中 嶋 謙 昌 (ナカシマ ケンスケ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

っかけに、皆さん自身の人生や美意識について考えてもらえれば、うれしいです。

関連科目

なし

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

ボランティア活動論 Study of Volunteer Activity				
柿本佳美 (カキモト ヨシミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

ボランティア活動の現状と課題について、具体的事例に即して学びます。社会への参加と貢献の在り方の多様性や、ボランティア活動における役割について知ることを通じて、リーダーシップやマネジメントの仕方と重要性を学ぶとともに、ボランティアを行うことの意義をプラス・マイナスの両面について理解することを目的とします。受講生は、実際にボランティア活動を行えるよう、シミュレーションとして、グループごとに模擬ボランティア組織の計画立案までを行います。

授業方法と留意点

ボランティアは、この言葉の語源が意味するように、市民である私達が主体となり、自らの意志で他の人々とともに問題と向き合い、解決する糸口を探る活動と言えます。とはいえ、ボランティアと言っても、援助が必要な当事者の困難はさまざまですから、当事者のニーズに応じて異なる活動グループを立ち上げる必要があります。そこで、前半期では、ボランティアを支える理念と思想的基盤とともに、ボランティア組織の運営の方法を学びます。後半期では、グループごとに模擬ボランティア組織の計画を立ててみましょう。

科目学習の効果（資格）

当事者の多様なニーズを理解し、さまざまな視点から問題の解決を探る。組織マネジメントができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法 等】 近年、どのような人であっても社会の一部であり、排除されるはならないという視点から、福祉のなかに「社会的包摂」という考え方が浸透しつつある。なぜ私たちは、困っている人を見過すことができないのか、考えてみよう。
【事前・事後学習課題】 できれば阿部彩『弱者の居場所がない社会』（岩波新書、2011）を読んでおくこと。
- 第2回** 【授業テーマ】 ボランティアと公共性
【内容・方法 等】 ボランティアの歴史について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 教科書を読んでおくこと。ナイチンゲールについて調べておくこと。
- 第3回** 【授業テーマ】 人権と尊厳
【内容・方法 等】 ボランティア活動をはじめの理由として、「人権」と「尊厳」が守られなければならないにもかかわらず、守られていない状況がある、という認識がある。私達は、「人権」と「尊厳」という概念をどのようにして形成してきたのか、見てみよう。
【事前・事後学習課題】 湯浅誠『反貧困』（岩波新書）および『国連世界人権宣言』を読んでおくこと。できれば、『国連女性差別撤廃条約』、『国連子どもの権利条約（児童権利条約）』、『国連障害者権利条約』も読んでおくこと。
- 第4回** 【授業テーマ】 一市民として関わる：ボランティア活動のニーズの発見
【内容・方法 等】 身近なところで日常生活を送る上で困難を抱えている人がいることを知るには、「気づき」が必要である。そして、「気づき」が相手との関係のきっかけとなり、相互理解へと進む。「気づき」を生活支援に発展させるにはどのようにすればよいのか、考えてみよう。
【事前・事後学習課題】 プリント、あるいは参考文献の『福祉ボランティア論』の指定する箇所を読んでおくこと。
- 第5回** 【授業テーマ】 市民活動としてのボランティア
【内容・方法 等】 ボランティア活動は、利益を目的とする企業の有償サービスになじまないために行政が引き受けるさまざまなサービスにも関わる。とはいえ、ボランティアは行政の下請けではない。ボランティアは、行政にサービスに関する提言やアドヴァイスを行う存在として、行政のパートナーでもなければならない。ボランティアと行政との関わりについて考えてみよう。
【事前・事後学習課題】 ボランティア組織と行政の役割分担について考えておくこと。
- 第6回** 【授業テーマ】 災害とボランティア

【内容・方法 等】 ボランティアと言えば、大災害後の住民の支援を行う災害ボランティアを思い浮かべる人も多いだろう。とはいえ、個々人が被災地で効率的に活動するには、災害直後にボランティア組織を立ち上げる必要がある。ここでは、災害時のボランティア組織と行政との連携について見ていく。

【事前・事後学習課題】 震災や大水害などの被害を受けた地域では何が必要とされていたか、調べること。

第7回 【授業テーマ】 障がい学に見るノーマライゼーション

【内容・方法 等】 障がい学は、社会が健常者に適したシステムとなっているために、身体的・精神的障がいを持つ人々が生活のなかで困難な状態に陥っているという認識から出発する。そうすると、障がい者支援は、全ての人が生まれながら持つ権利を十分に行使できることを目的としていると言える。障がい者の権利はどのようにして守られるべきか、考えてみよう。

【事前・事後学習課題】 『国連障害者条約』を読んでおくこと。

第8回 【授業テーマ】 子ども福祉とボランティア

【内容・方法 等】 子どもは、特別な保護を必要とする存在である。しかし、少子化が進む現代の日本社会においては、子どもの生活の質は、手厚く守られているようでありながら、そうではない面もある。また、子どもの生活の質を守るには、母親への支援も必要である。そこで、母子を対象とする支援、そして子どもを対象とする支援について、活動計画を立ててみよう。

【事前・事後学習課題】 『国連子どもの権利条約』を読んでおくこと。できれば、阿部彩『子どもの貧困』（岩波新書）にも目を通しておくこと。

第9回 【授業テーマ】 生活支援としてのボランティア

【内容・方法 等】 ボランティア活動は、地域社会との連携が欠かせないだけでなく、地域社会そのものを対象とすることもある。地域社会の抱えるさまざまな問題を理解した上で、地域を再生する計画を立ててみよう。

【事前・事後学習課題】 地域の再生に関わる活動を調べておくこと。プリント、あるいは参考文献の『福祉ボランティア論』の指定する箇所を読んでおくこと。

第10回 【授業テーマ】 ボランティア組織のマネジメント

【内容・方法 等】 ボランティア活動の場合、個人々がそれぞれ活動するよりも集団で行うほうがさまざまなニーズに応える機動性と効率性に富む。しかしながら、各人が自らの意思で参加する以上、方針や運営の手法に関する見解の違いにより仲間割れしたり、1人または数人に責任がかかり、燃え尽きることも少なくない。ボランティア組織を運営する上で留意すべきことは何か、考えてみよう。

【事前・事後学習課題】 教科書第3章を読んでおくこと。

第11回 【授業テーマ】 ボランティア活動計画を立てよう

【内容・方法 等】 ボランティアにはさまざまなニーズに応じて決め細やかな各種の活動がある。ここではグループごとにどのような活動を行うのか、大まかな活動計画を立ててみよう。
【事前・事後学習課題】 関心のあるボランティア活動について調べておくこと。

第12回 【授業テーマ】 ボランティア組織のプランを立ててみよう：組織作り

【内容・方法 等】 ボランティア活動の場合、リーダーと言っても一人のボランティアであり、ボランティアは互いに対等な関係にあることが望ましい。互いに対等であるということ念頭に置きつつ、グループごとに選んだボランティア活動の内容を検討し、必要な役割を書き出し、分担を決めよう。
【事前・事後学習課題】 各自でボランティア計画を作成しておくこと。

第13回 【授業テーマ】 ボランティア組織のプランを立ててみよう：発表

【内容・方法 等】 グループごとに作成したボランティア計画を発表し、ディスカッションを行う。
【事前・事後学習課題】 グループごとに、模擬ボランティア組織の計画を完成させ、レジュメを作る。

第14回 【授業テーマ】 国際NGOとボランティア

【内容・方法 等】 国際NGOの活動マネジメントの実際を理解し、地域社会との連携という視点から、国際支援のあり方を考える。

【事前・事後学習課題】 カント『永遠平和のために』を読んでおくこと。

第15回 【授業テーマ】 まとめ：尊厳を守る社会を目指して

【内容・方法 等】 ボランティア活動が目指す社会とは、各人が尊厳を持って生きることのできる社会である。各人の幸福を可能にするシステムを構築するには、狭い意味でのボランティアだけでなく、社会のなかでボランティアの理念が認知されることも必要である。ソーシャルビジネスを分析し、社会において共有される理想とは何か、考えてみよう。
【事前・事後学習課題】 プリント、あるいは参考文献の『福祉ボランティア論』の指定する箇所を読んでおくこと。

評価方法（基準）

教養科目

授業中のミニレポート(20%)、課題提出(20%)、定期試験(60%)により総合評価する。

教材等

教科書…内海成治・入江幸男・水野義之 『ボランティア学を学ぶ人のために』 世界思想社 (2,310円+税)

参考書…三本松政之・朝倉美江 『福祉ボランティア論』 有斐閣アルマ (1,800円+税)

学生へのメッセージ

私達の身近なところにある問題は何か、そしてそれについてどのような行動が可能か、皆さん自身で発見し、考えてみましょう。

関連科目

コミュニケーション論、心理学

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

備考

授業開始後30分以降の入室はお断りすることがあります。

女性学

Women's Study

荒木 菜穂 (アラキ ナホ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	1	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

女性学とは、男女ともが、社会のしくみについて考える場である。社会の「主人公」が男性であることが自明であった時代、「見えない存在」とされていた女性のあり方に目を向けることが女性学のきっかけとなった。しかし、それは、性別によって個人が生き方を決められてしまう社会のしくみそのものを問う学問および活動を意味する。現在では、性をめぐる社会のしくみは、男女それぞれの個人としての「生きにくさ」と何かしら関係があるのかもしれないと捉えられる一方、「もはや性別による不都合など存在しない」という意見も多く見られる。本授業では、1970年代以降、女性学において語られてきた様々なトピックをヒントに、性をめぐるの、今日的な社会のしくみについて、家族、恋愛、仕事、セクシュアリティなど様々な角度から理解を深める。また、一般論としての「あたりまえ」ではなく、自分を主語としてそれらの問題について語るができるようになることを目標とする。

授業方法と留意点

各回、テーマに関して、女性学等においてこれまで語られてきたことの振り返りと並行させ、ニュースや図表や文献資料、映像など、今日的な問題に沿った資料を使用し授業を進める。授業終了後に、そのテーマについて、各人が自分の考えをまとめる時間を設ける。

科目学習の効果(資格)

様々な角度からの議論を紹介していきたいと思います。自分とは異なる価値観を持つ他者と柔軟に向き合うことができ、幅広い視野で社会を読み解くことができるようになればよいと考えます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション/女性学とは何か
【内容・方法 等】 女性学について、また、日本における女性学誕生からジェンダー概念の普及までの簡単な歴史的な振り返りを行う。
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第2回 【授業テーマ】 メディアの中の男女のイメージ(1)
【内容・方法 等】 様々なメディアの中で、男性、女性のイメージがどのように描き分けられているか、またなぜそうなっているのかについて考える。
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習・意識的にメディアを視聴し次回に備える。
- 第3回 【授業テーマ】 メディアの中の男女のイメージ(2)
【内容・方法 等】 メディアにおける表現の問題性、また、メディアと接する際のリテラシーについて考える。
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習・意識的にメディアを視聴する
- 第4回 【授業テーマ】 女性運動から学ぶこと
【内容・方法 等】 過去および現在のフェミニズム運動やその主張の多様性から平等とは何かを学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第5回 【授業テーマ】 恋愛・結婚・家族とジェンダー(1)
【内容・方法 等】 モテ非モテ、愛と暴力など、日常的な問題の背景にある社会のしくみを知る。
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第6回 【授業テーマ】 恋愛・結婚・家族とジェンダー(2)
【内容・方法 等】 恋愛意識、経済、家族のあり方など、様々な社会の問題と結びつく「結婚」という制度について、結婚が困難になりつつある近年の現状をデータなどで振り返り、その構造について考える。

- 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第7回 【授業テーマ】 恋愛・結婚・家族とジェンダー(3)
【内容・方法 等】 結婚・家族などをめぐる「あたりまえ」を疑ってみる。
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第8回 【授業テーマ】 個人の外見と身体と社会
【内容・方法 等】 個人の「見た目」がジェンダーや社会による制約を受ける問題について、単に批判するだけでなく、我々が積極的に表現する行為としての意味を考える。
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第9回 【授業テーマ】 身体と性
【内容・方法 等】 出産・健康・医療をめぐる、男女の身体や性が社会とどのような関係にあったのかを学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第10回 【授業テーマ】 セクシュアリティとジェンダー
【内容・方法 等】 快楽の性、性的なものをめぐる差別など、性と社会に関する様々なことを学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第11回 【授業テーマ】 労働と社会(1)
【内容・方法 等】 個人が生きる上での仕事、労働、生活について、現代の男女のライフコースとの関わりで考える。
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習・事例を探すレポート
- 第12回 【授業テーマ】 労働と社会(2)
【内容・方法 等】 格差社会と男女共同参画といった観点から、資本主義社会の中のジェンダーと労働について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第13回 【授業テーマ】 グローバリゼーションとジェンダー
【内容・方法 等】 様々な文化における男女を取り巻く社会状況に目を向け、「私」とは、どのような立ち位置の女性(男性)か、について考える。
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第14回 【授業テーマ】 教育とジェンダー
【内容・方法 等】 日本の教育に関するジェンダーの問題について考える。
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第15回 【授業テーマ】 今日的課題と向き合う
【内容・方法 等】 震災、貧困、ネット社会など、社会の変化をもたらした様々なキーワードを、女性学、ジェンダーの切り口から再考する。
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習

評価方法(基準)

授業内レポートおよび課題レポート(30%)、定期試験(70%)により総合評価する。

教材等

教科書…指定なし

参考書…授業中に適宜指示する。

学生へのメッセージ

難解な理論を把握することよりも、日常生活の中の問題を、「あたりまえ」だけではない様々な視点で考えることができるようになることが本授業の目的です。この問題はなぜ起っているのだろう、世の中ってどうなってるんだろう、と一緒に考えていけたらと思います。

関連科目

社会と個人について考える科目全てに関連性があるといえます。

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

女性学

Women's Study

荒木 菜穂 (アラキ ナホ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	2	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

女性学とは、男女ともが、社会のしくみについて考える場である。社会の「主人公」が男性であることが自明であった時代、「見えない存在」とされていた女性のあり方に目を向けることが女性学のきっかけとなった。しかし、それは、性別によって個人が生き方を決められてしまう社会のしくみそのものを問う学問および活動を意味する。現在では、性をめぐる社会のしくみは、男女それぞれの個人としての「生きにくさ」と何かしら関係があるのかもしれないと捉えられる一方、「もはや性別による不都合など存在しない」という意見も多く見られる。本授業では、1970年代以降、女性学において語られてきた様々なトピックをヒントに、性をめぐるの、今日的な社会のしくみについて、家族、恋愛、仕事、セクシュアリティなど様々な角度から理解を深める。また、一般論としての「あたりまえ」ではなく、自分を主語としてそれらの問題について語るができるようになることを目標とする。

授業方法と留意点

各回、テーマに関して、女性学等においてこれまで語られてきたことの振り返りと並行させ、ニュースや図表や文献資料、映像など、今日的な問題に沿った資料を使用し授業を進める。授業終了後に、そのテーマについて、各人が自分の考えをまとめる時間を設ける。

科目学習の効果（資格）

様々な角度からの議論を紹介していきたいと思います。自分とは異なる価値観を持つ他者と柔軟に向き合うことができ、幅広い視野で社会を読み解くことができるようになればよいと考えます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 イントロダクション／女性学とは何か
 【内容・方法 等】 女性学について、また、日本における女性学誕生からジェンダー概念の普及までの簡単な歴史的な振り返りを行う。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第2回** 【授業テーマ】 メディアの中の男女のイメージ（1）
 【内容・方法 等】 様々なメディアの中で、男性、女性のイメージがどのように描き分けられているか、またなぜそうなっているのかについて考える。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習・意識的にメディアを視聴し次回に備える。
- 第3回** 【授業テーマ】 メディアの中の男女のイメージ（2）
 【内容・方法 等】 メディアにおける表現の問題性、また、メディアと接する際のリテラシーについて考える。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習・意識的にメディアを視聴する
- 第4回** 【授業テーマ】 女性運動から学ぶこと
 【内容・方法 等】 過去および現在のフェミニズム運動やその主張の多様性から平等とは何かを学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第5回** 【授業テーマ】 恋愛・結婚・家族とジェンダー（1）
 【内容・方法 等】 モテ非モテ、愛と暴力など、日常的な問題の背景にある社会のしくみを知る。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第6回** 【授業テーマ】 恋愛・結婚・家族とジェンダー（2）
 【内容・方法 等】 恋愛意識、経済、家族のあり方など、様々な社会の問題と結びつく「結婚」という制度について、結婚が困難になりつつある近年の現状をデータなどで振り返り、その構造について考える。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第7回** 【授業テーマ】 恋愛・結婚・家族とジェンダー（3）
 【内容・方法 等】 結婚・家族などをめぐる「あたりまえ」を疑ってみる。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第8回** 【授業テーマ】 個人の外見と身体と社会
 【内容・方法 等】 個人の「見た目」がジェンダーや社会による制約を受ける問題について、単に批判するだけでなく、我々が積極的に表現する行為としての意味を考える。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第9回** 【授業テーマ】 身体と性
 【内容・方法 等】 出産・健康・医療をめぐる、男女の身体や性が社会とどのような関係にあったのかを学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第10回** 【授業テーマ】 セクシュアリティとジェンダー
 【内容・方法 等】 快楽の性、性的なものをめぐる差別など、性と社会に関する様々なことを学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第11回** 【授業テーマ】 労働と社会（1）
 【内容・方法 等】 個人が生きる上での仕事、労働、生活について、現代の男女のライフコースとの関わりで考える。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習・事例を採すレポート
- 第12回** 【授業テーマ】 労働と社会（2）
 【内容・方法 等】 格差社会と男女共同参画といった観点から、資本主義社会の中のジェンダーと労働について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第13回** 【授業テーマ】 グローバリゼーションとジェンダー
 【内容・方法 等】 様々な文化における男女を取り巻く社会状況に目を向け、「私」とは、どのような立ち位置の女性（男性）か、について考える。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第14回** 【授業テーマ】 教育とジェンダー
 【内容・方法 等】 日本の教育に関するジェンダーの問題について考える。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第15回** 【授業テーマ】 今日の課題と向き合う
 【内容・方法 等】 震災、貧困、ネット社会など、社会の変化をもたらした様々なキーワードを、女性学、ジェンダーの切り口から再考する。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習

評価方法（基準）

授業内レポートおよび課題レポート（30%）、定期試験（70%）

により総合評価する。

教材等

教科書…指定なし
 参考書…授業中に適宜指示する。

学生へのメッセージ

難解な理論を把握することよりも、日常生活の中の問題を、「あたりまえ」だけではない様々な視点で考えることができるようになることが本授業の目的です。この問題はなぜ起っているのだろう、世の中ってどうなってるんだろう、と一緒に考えていただけたらと思います。

関連科目

社会と個人について考える科目全てに関連性があるといえます。

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

日本国憲法
 Constitutional Law

小宮山 直子 (コミヤマ ナオコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本科目では、日本国憲法の基礎的知識を習得し、さらにその知識を活用して、社会における多様な問題について、自分の言葉で発言できるようになることを目標とする。憲法に関する学習を通して、様々な考え方にふれ、物事を多角的にみる能力を養い、そして見識のある人間としての基礎を築くために、自分自身についての洞察を深め、生涯にわたって自己研鑽に努める習慣を身につける。

授業方法と留意点

成績評価は、期末テストだけではなく、通常の授業のなかで提出してもらう小テストやミニ・レポートの筆記内容も重視します。授業での教員の説明をよく聞き、その内容をノートにしっかりとまとめましょう。日頃から、新聞・テレビ・雑誌などのさまざまなメディアを通して、政治・社会問題に関心をもちよう心がけてください。

科目学習の効果（資格）

専門基礎科目の保健医療行政論、専門科目の看護関係法規を学ぶ上での基礎となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 はじめに
 【内容・方法 等】 講義の進め方及び成績評価について
 現代日本の法制度の概要について
 【事前・事後学習課題】 日本法全体における憲法の位置づけを確認する。
- 第2回** 【授業テーマ】 憲法とは何か
 【内容・方法 等】 近代憲法の特徴について
 明治憲法および日本国憲法の歴史について
 【事前・事後学習課題】 明治憲法と日本国憲法の違いについて整理しておく
- 第3回** 【授業テーマ】 日本国憲法の基本原理
 【内容・方法 等】 日本国憲法の基本原理である国民主権・平和主義を中心に考察する。
 戦後からこれまでの憲法にかかわる重要判例を概観する。
 【事前・事後学習課題】 日本国憲法成立に関わった人物を各自で調べる。
- 第4回** 【授業テーマ】 自由権①信教の自由・政教分離の原則
 【内容・方法 等】 教育現場で問題になった信教の自由をめぐる判例を検討する。また政教分離にかかわる重要判例を取り上げる。
 【事前・事後学習課題】 政教分離にかかわる最近の判例を調べる。
- 第5回** 【授業テーマ】 自由権②：表現の自由
 【内容・方法 等】 表現の自由の重要性とその限外を、わいせつ物の規制とプライバシー権に関わる点から考える。
 【事前・事後学習課題】 わいせつ物が規制される理由について賛否両論の意見を整理しておく。
- 第6回** 【授業テーマ】 自由権③：人身の自由
 【内容・方法 等】 適正手続の保障について考察する。
 【事前・事後学習課題】 死刑制度をめぐる様々な意見についてまとめる。
- 第7回** 【授業テーマ】 自由権④：職業選択の自由・経済活動の自由
 【内容・方法 等】 職業選択の自由に関する重量判例を中心に考察する。
 【事前・事後学習課題】 職業選択の自由など経済的自由権が制限を受ける理由をまとめておく。
- 第8回** 【授業テーマ】 社会権①：生存権と生活保護
 【内容・方法 等】 生活保護をめぐる事例を検討するとともに、生活保護の諸問題を考える。
 【事前・事後学習課題】 講義の中で取り上げた「中嶋学資保険

- 訴訟」判決の重要点を各自で整理しておく。
- 第9回 【授業テーマ】 社会権②：教育を受ける権利
【内容・方法等】 教育権をめぐる重要判例を考察する。
【事前・事後学習課題】 社会権が登場する歴史的背景について整理しておく。
- 第10回 【授業テーマ】 法の下の平等
【内容・方法等】 平等権に関わる最重要判例を考察する。
【事前・事後学習課題】 戦前からこれまでの女性の社会的地位の変化についても整理しておく。
- 第11回 【授業テーマ】 人権の享有主体（外国人の人権）、その他
【内容・方法等】 外国人に関わる憲法問題を考察する。また、新しい人権について検討する。
【事前・事後学習課題】 憲法に関する新聞記事を調べる。
- 第12回 【授業テーマ】 統治のしくみ①：国会・内閣
【内容・方法等】 国会・内閣の基本的機能について考察する。
【事前・事後学習課題】 憲法に関する新聞記事を調べる。
- 第13回 【授業テーマ】 統治のしくみ②：裁判所
【内容・方法等】 裁判所の組織、司法権の独立などについて考察する。また、裁判員制度の問題点等を検討する。
【事前・事後学習課題】 裁判員制度の概要について整理しておく。
- 第14回 【授業テーマ】 憲法改正の問題
【内容・方法等】 戦後からこれまでの憲法改正の動向を概観する。また国民投票法について考察する。
【事前・事後学習課題】 人権規定に関わる改正案を考えてみる。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 これまでの講義のまとめと復習を行う。
【事前・事後学習課題】 授業で扱った憲法の条文をもう一度確認する。

評価方法（基準）

定期試験（90%）、課題提出（10%）により総合評価します。詳しくは初回の授業で説明します。

教材等

教科書…松井茂記『日本国憲法を考える（最新版）』（大阪大学出版会）

参考書…芦部信喜編『憲法』 岩波書店
『別冊ジュリスト 憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ』 有斐閣

学生へのメッセージ

日頃から、新聞・テレビ・雑誌などのさまざまなメディアを通して、政治・社会問題に関心をもつよう心がけましょう。

関連科目

法学入門、保健医療福祉行政論、看護関係法規

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

法学入門 Introduction to Jurisprudence				
菅原 絵美 (スガワラ エミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

法は堅く不動のイメージがつきまとう。しかし、実際に法を理解するためには、法が社会のなかでどんな機能を果たしているのかについて、憲法や民法・刑法といった法律の条文（「規範」）に加え、法律の定立・適用・執行などの「制度」、法的思考などの「技術」、さらにはどういふ人が法律を扱っているのかという「主体」など、動感的な視点が必要になる。この法がもつダイナミズムを重視し、具体的な事例（学生の関心事例や医療に関する事例など）を用い、今後の社会生活で活用できるような法学の基礎的知識を身につけることを目標とする。

授業方法と留意点

教科書は用いず、参考書は講義中に適宜紹介する。なお、講義レジュメ・資料を毎回配布する。
なお、授業では毎回アンケートを課し、講義テーマと関連する関心事例（事件・ニュース）を尋ねるので、新聞等で確認し、準備しておく。

科目学習の効果（資格）

法律の基本的知識やその活用について学ぶことは、今後の社会生活（私生活、卒業後の社会人生活ともに）に必須である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法等】 講義の目的、進め方や成績評価／私たちの生活と法・法律
【事前・事後学習課題】 予習として今後の講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第2回 【授業テーマ】 法および法律とは（1）
【内容・方法等】 法および法律の基礎知識／法的思考（リーガルマインド）とは
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する

- 関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第3回 【授業テーマ】 法および法律とは（2）
【内容・方法等】 日本社会と法・法律の歩み／日本の法制度
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第4回 【授業テーマ】 憲法（1）
【内容・方法等】 民主主義／平和主義／権力分立
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第5回 【授業テーマ】 憲法（2）
【内容・方法等】 基本的人権の保障
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第6回 【授業テーマ】 刑法
【内容・方法等】 罪刑法定主義／犯罪の成立要件／刑事手続
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第7回 【授業テーマ】 民法（1）
【内容・方法等】 契約の自由／財産関係と法
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第8回 【授業テーマ】 民法（2）
【内容・方法等】 家族関係（結婚、離婚、相続など）と法
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第9回 【授業テーマ】 損害賠償
【内容・方法等】 「もし交通事故をおこしてしまったら…」の場合をめぐる法律問題を考える
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第10回 【授業テーマ】 労働法
【内容・方法等】 労働法の理念／労働する権利の保障／労働基本権（団結権、団体交渉権、争議権）
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第11回 【授業テーマ】 国際法
【内容・方法等】 国際社会と法／領域と海洋法／国際貿易・投資体制
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第12回 【授業テーマ】 裁判員制度
【内容・方法等】 「裁判員に選ばれたら…」の場合めぐり、裁判員制度の概要および「法律を扱う立場」を考える
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第13回 【授業テーマ】 医療と法・法律
【内容・方法等】 医療活動に関わる法律問題（薬事法をめぐる事例・事件など）
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第14回 【授業テーマ】 その他の社会生活とかかわる法律
【内容・方法等】 環境やジェンダーなど社会生活とかかわる法律問題を考える
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 これまでの授業の復習
【事前・事後学習課題】 前回の復習

評価方法（基準）

成績は、毎回の授業アンケートの提出状況、不定期に課すレポートの成績および定期試験で、総合的に評価する。

教材等

教科書…特に指定しない。
参考書…適宜講義のなかで紹介する。

学生へのメッセージ

学生のみなさんの関心事項・事件に配慮した、生きた法・法律の講義にしたいと考えています。
法・法律は、私生活においても、今後の社会人生活においても、常に関わってくる問題です。この授業を通じて、そのことを実感するとともに、社会生活を問いなおす視点を身につけてください。

関連科目

日本国憲法

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

経済学
Economics

田中 鮎 夢 (タナカ アユム)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

経済分析の枠組みを理解することを目標とする。具体的には消費者がどのようにして財の購入量を決定するのか、企業は利潤最大化のために生産量をどのようにして決めるのか、また政府は経済厚生のためにどのような政策を用いるのかなどを学びます。

授業方法と留意点

基本的には講義形式で進めるが、時事問題や時の話題等について、経済学ではどのような考えでどのような分析が出来るのかを解説する。また、これらと並行して課題を課す。適宜、レジュメを配布する。

科目学習の効果 (資格)

すべての経済学の基礎となる考え方が身に付きます。公務員試験 (警察、消防、市役所、地方上級、国家II種) 教養経済。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 経済学の対象と考え方、学び方
【内容・方法等】 授業の進め方、成績評価方法、経済学説史
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第2回 【授業テーマ】 ミクロ経済学1
【内容・方法等】 最適消費
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第3回 【授業テーマ】 ミクロ経済学2
【内容・方法等】 最適生産
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第4回 【授業テーマ】 ミクロ経済学3
【内容・方法等】 需要と供給、厚生経済学の基本定理
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第5回 【授業テーマ】 ミクロ経済学4
【内容・方法等】 市場の失敗
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第6回 【授業テーマ】 マクロ経済学1
【内容・方法等】 マクロ経済変数、総需要・総供給分析
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第7回 【授業テーマ】 マクロ経済学2
【内容・方法等】 45度線分析、乗数理論
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第8回 【授業テーマ】 マクロ経済学3
【内容・方法等】 貨幣市場
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第9回 【授業テーマ】 マクロ経済学4
【内容・方法等】 景気
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第10回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 経済理論の総括
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第11回 【授業テーマ】 財政
【内容・方法等】 財政の3機能、税、公債、地方財政
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第12回 【授業テーマ】 財政政策・金融政策
【内容・方法等】 IS-LM分析と財政・金融
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第13回 【授業テーマ】 国際経済1
【内容・方法等】 国際経済体制
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第14回 【授業テーマ】 国際経済2
【内容・方法等】 国際通貨制度、為替相場の決定と影響
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 全体の総括
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習

評価方法 (基準)

定期試験または講義内試験(100%)を主として、平常点を含む総合評価による。

教材等

教科書…授業中に適宜指示する。
参考書…授業中に適宜指示する。

学生へのメッセージ

疑問点・わからない点があれば授業中でもかまいませんので聞いてください。

関連科目

特にありません。

担当者の研究室等

寝屋川キャンパス 1号館7階 田中講師室 (経済学部)

備考

受講生の理解度によって、講義の内容と進行に変更がありうる。

生命科学概論

Introduction to Life Science

大塚 正 人 (オオツカ マサト)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

近年、遺伝子診断や遺伝子組換え食品などのような、生物学に関連する様々な事項が日常的に取り上げられている。本科目では、「生物とは何か」という基本的な事から、メディアで取り上げられた生物学に関連する話題までを紹介する。そして、その話題の生物学的な意義や背景を解説し、関連する最新の学術研究にも言及する。さらに、日常生活に関連深い生物学的研究・技術について、その発展の歴史も交えて概説する。これによって、生命現象の基本について理解を深め、日常生活で遭遇する生物学的な諸問題を正確に理解し、適切に判断できる素養を養成する。

授業方法と留意点

教科書を用いた講義を中心とする。毎回、出席確認を行います。

科目学習の効果 (資格)

医療人の教養として必須である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 プロローグ
【内容・方法等】 講師紹介、この講義の学習の仕方・評価方法、生命科学とは何かについて説明する。
【事前・事後学習課題】 なし
- 第2回 【授業テーマ】 人類はどうやって生まれてきたか
【内容・方法等】 生命の起源から地球環境と生命の進化について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第3回 【授業テーマ】 細胞の成り立ちと遺伝の仕組み
【内容・方法等】 細胞を構成する物質から遺伝子の転写翻訳、エピジェネティクス等について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第4回 【授業テーマ】 進化の理論
【内容・方法等】 ダーウィンの進化論・分子進化学・環境適応と進化等について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第5回 【授業テーマ】 細胞が増える仕組み
【内容・方法等】 増殖シグナルの伝達様式や細胞周期・染色体の分離と細胞分裂について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第6回 【授業テーマ】 性と生殖の不思議
【内容・方法等】 生殖細胞と減数分裂及び幹細胞やES細胞・クローン、発生工学や遺伝子ノックアウト生物について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第7回 【授業テーマ】 老化と病
【内容・方法等】 なぜ老化するのか? 抗老化ホルモンやアルツハイマー病、狂牛病や夢のやせ薬について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第8回 【授業テーマ】 なぜ、がんになるのか?
【内容・方法等】 がんをとりまく遺伝子や浸潤と転移の仕組み、がんの分子標的治療について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第9回 【授業テーマ】 生体防御と感染
【内容・方法等】 免疫を担う細胞群や自然免疫・獲得免疫の仕組み、アレルギーやアトピー性皮膚炎について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第10回 【授業テーマ】 遺伝子医療と感染症
【内容・方法等】 遺伝子診断とオーダーメイド医療や遺伝子治療、再生医療と感染性疾患、インフルエンザ等について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第11回 【授業テーマ】 先端バイオ技術の応用
【内容・方法等】 個人識別と犯罪捜査、遺伝子組換え植物や不毛の地の緑地化、青いバラ等について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第12回 【授業テーマ】 ナノテクが拓くバイオの未来
【内容・方法等】 ナノテクノロジー、ナノ医療、RNA創薬などについて説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。

- 第13回 【授業テーマ】 植物の発生
【内容・方法 等】 植物の基本体制や種子形成、発芽、分枝、植物ホルモン等について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第14回 【授業テーマ】 人類はどこに行くのか
【内容・方法 等】 人類と科学技術、地球上の生命にとっての人類の役割、メタンハイドレート、核融合、バイオマス等について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第15回 【授業テーマ】 エピローグ
【内容・方法 等】 この講義の総括、補習講義、全員による討論を行う。
【事前・事後学習課題】 レポート課題を出す場合がある。

評価方法 (基準)

定期試験 (60%) レポート (20%) 小テスト (20%)
シャトルカードにより出席確認を行う。

教材等

教科書…『生命科学の基礎』 東京化学同人 (2,400円+税)
参考書…『理系総合のための生命科学』 羊土社 (3,800円+税)

学生へのメッセージ

シャトルカードにより授業に関する質問および要望を受け付けます。

関連科目

生化学、人体の構造と機能、化学と生物

担当者の研究室等

1号館5階 生化学研究室

生物・化学の基礎 Biology and Chemistry				
佐久間 信 至 (サクマ シンジ)				
安原 智 久 (ヤスハラ トモヒサ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

生物、化学は、看護師を目指す学生が専門科目を学ぶ上で基礎となる学問である。したがって、十分な生物、化学の基礎知識を有することが必須であるが、高校での履修科目のみでは不十分な点も多い。更には、高校時代に生物、化学を選択しなかった、あるいは生物I、化学Iのみを選択した学生もいる。従って、本科目では、以後の専門科目の履修に必要な生物、化学に関する基礎力を身につける。

(オムニバス方式/全15回)

(佐久間信至/7回)

生物では、細胞、組織、器官、個体における生命現象や誕生から死への過程、遺伝に関する事象などの基礎的な知識を修得する。(安原智久/8回)

化学では、原子の構成から分子の成り立ち、無機及び有機化合物の構造、物性、反応性などに関する基礎的な知識を修得する。

授業方法と留意点

講義 (講義室)

科目学習の効果 (資格)

生物、化学は、職業人の教養として必要であり、また、専門家を目指す上での基礎となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 場という考え方、物質の状態(純物質・混合物・元素・化合物)
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 安原)
【事前・事後学習課題】 教科書、配布資料の予習復習・配布演習問題の自習
- 第2回 【授業テーマ】 細胞の構造と生命誕生
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 佐久間)
【事前・事後学習課題】 教科書、参考書の予習復習
- 第3回 【授業テーマ】 原子と電子、電子の居場所
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 安原)
【事前・事後学習課題】 教科書、配布資料の予習復習・配布演習問題の自習
- 第4回 【授業テーマ】 生命体を構成する物質
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 佐久間)
【事前・事後学習課題】 教科書、参考書の予習復習
- 第5回 【授業テーマ】 化学結合、溶質の化学
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 安原)
【事前・事後学習課題】 教科書、配布資料の予習復習・配布演習問題の自習
- 第6回 【授業テーマ】 細胞の分裂・情報伝達・がん化
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 佐久間)
【事前・事後学習課題】 教科書、参考書の予習復習

- 第7回 【授業テーマ】 電磁波の科学、電磁波の使い方
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 安原)
【事前・事後学習課題】 教科書、配布資料の予習復習・配布演習問題の自習
- 第8回 【授業テーマ】 生命体の受精と成長
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 佐久間)
【事前・事後学習課題】 教科書、参考書の予習復習
- 第9回 【授業テーマ】 仕事をする能力、熱のエネルギー、自由エネルギー、生体内のエネルギー
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 安原)
【事前・事後学習課題】 教科書、配布資料の予習復習・配布演習問題の自習
- 第10回 【授業テーマ】 遺伝の仕組みと遺伝病
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 佐久間)
【事前・事後学習課題】 教科書、参考書の予習復習
- 第11回 【授業テーマ】 物質変化の速さ、溶液の化学
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 安原)
【事前・事後学習課題】 教科書、配布資料の予習復習・配布演習問題の自習
- 第12回 【授業テーマ】 遺伝の仕組みと遺伝病、遺伝子の構造と機能
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 佐久間)
【事前・事後学習課題】 教科書、参考書の予習復習
- 第13回 【授業テーマ】 化学式、構造式の読み方
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 安原)
【事前・事後学習課題】 教科書、配布資料の予習復習・配布演習問題の自習
- 第14回 【授業テーマ】 遺伝子の構造と機能
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 佐久間)
【事前・事後学習課題】 教科書、参考書の予習復習
- 第15回 【授業テーマ】 リメディアル演習・試験 (生物・化学)
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 安原)
【事前・事後学習課題】 リメディアル演習用冊子・プリント

評価方法 (基準)

リメディアル演習・試験時に実施する演習と試験、および授業修了後の定期試験で総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…生物: 南雲 保 ほか 『やさしい基礎生物学』 羊土社 (2,900円+税)

化学: 小池 透 『やさしい物理化学—自然を楽しむための12講』 共立出版 (2,300円+税)

参考書…生物: 木下勉ほか 『ZEROからの生命科学』 南山堂 (2,400円+税)

化学: 野島高彦 『はじめて学ぶ化学』 化学同人 (2,000円+税)

学生へのメッセージ

看護師を目指す上で、生物、化学の基礎は必要である。特に高等学校時代にこれらの科目を履修していない、あるいは3年間履修していない学生は、この機会に、高等学校の教科書や参考書も含めて、しっかりと学習することをすすめる。また、履修した学生でも、受験科目として勉強していない場合、自分が思うよりも力がついていないことが多いので、予習、復習を欠かさずに行うことをすすめる。

関連科目

人体の構造と機能 (1年次前後期)、代謝栄養学 (1年次後期)、感染と防御 (1年次後期)、薬理学総論 (2年次前期)、薬物治療学 (2年次後期)

担当者の研究室等

生物: 佐久間信至 1号館4階 薬剤学研究室

化学: 安原智久 1号館2階 薬学教育研究室・Academic Support Center(枚方キャンパス)

備考

看護に関係する範囲を中心に、高等学校で学ぶ内容の復習から専門性の高い内容まで幅広い講義になります。限られた回数での早足の講義になります。また、大学の学習は、講義だけではなく、学生各自の自学自習をもって完結するものです。特に高等学校で生物、化学を十分に学習していない学生は、予習 (教科書を読むだけでも構いません)、復習をしっかりと行うこと。高等学校の理科 (生物・化学) の内容に自信がない者は、高校で用いた教科書、参考書、資料集等を残しておくこと。また、別途、生物・化学を未履修および苦手な学生を対象にしたリメディアル演習プログラムが用意されるので、そちらにも積極的に参加して基礎知識を補うこと。

生命倫理 Bioethics				
遠 矢 和 希 (トオヤ ワキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

医療・ケアの専門職者としてその社会的な責務を果たすためには、ケアの実践において人々の人権を尊重することが求められる。また科学技術の急速な進歩に伴う、医療現場における多くの倫理的な課題についての理解が必要である。本科目では、生命倫理と患者主体の医療について、看護職の果たす役割について学習する。生殖補助医療、出生前診断、安楽死・尊厳死、臓器移植・脳死、ターミナルケア等について事例を交えてこれらの歴史的・社会的背景を学び、より良いケアを考える力を育てる。

授業方法と留意点

G supple編集委員会編『事例でまなぶ ケアの倫理』メディカ出版(2,200円+税)を教科書とし、レジュメを配布する。講義中心。

科目学習の効果(資格)

看護職に就くものとしての倫理観の醸成となり、看護の専門科目を学ぶ上での基礎となる

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 医療倫理・生命倫理の基本原則と課題
【内容・方法等】 講義：医療・生命科学研究が守るべき原則を理解し、患者主体の医療に必要な事を説明できる(4原則、インフォームドコンセント等)。薬剤師の倫理規定を理解する。
【事前・事後学習課題】 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第2回** 【授業テーマ】 生殖補助医療技術
【内容・方法等】 講義：生殖補助医療技術について説明できる(AIHとAID、体外受精、代理懐胎)。女性の身体の道具化、ビジネス化、児の出自を知る権利、保険適用と技術の拡大について考える。
【事前・事後学習課題】 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第3回** 【授業テーマ】 着床前診断と出生前診断
【内容・方法等】 講義：胚・胎児の異常の有無を調べる診断と、胚選択・選択の中絶について説明できる。優生思想、優生保護法の倫理的問題、胎児条項、中絶にかかわるリプロダクティブ・ライツ、胚と胎児の道徳的地位について考える。
【事前・事後学習課題】 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第4回** 【授業テーマ】 重症新生児治療の差し控え・中止
【内容・方法等】 講義：新生児医療、NICUにおける医療倫理、治療方針の決定(代理決定)ガイドライン
【事前・事後学習課題】 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第5回** 【授業テーマ】 安楽死と尊厳死
【内容・方法等】 講義：安楽死と尊厳死の違いについて説明できる。海外における主要な出来事と関連法、日本における横浜地裁判決による要件を理解する。患者と家族に対して医療者ができることを考える。
【事前・事後学習課題】 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第6回** 【授業テーマ】 脳死と臓器移植
【内容・方法等】 講義：生体・死体・脳死臓器移植の違いを理解する。脳死の定義と判定、臓器移植法改正について説明できる。脳死は人の死か、脳死患者と移植待機患者とそれぞれの家族の苦悩について考える。
【事前・事後学習課題】 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第7回** 【授業テーマ】 小児医療
【内容・方法等】 講義：子どもに対するインフォームドコンセント(アセント)・・・病気説明・告知、思春期の自己決定と親権、医療現場における児童虐待の発見と課題
【事前・事後学習課題】 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第8回** 【授業テーマ】 病気と差別
【内容・方法等】 講義：エイズ(HIV/AIDS)の発生と臨床的経過、薬害HIV事件、今後の問題点、強制HIV検査の是非、守秘義務と警告義務
【事前・事後学習課題】 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第9回** 【授業テーマ】 難病を生きる
【内容・方法等】 講義・映像資料鑑賞：ALS(筋萎縮性側索硬化症)患者の生活
難治性疾患の療養に関して医療者ができることについて考える。
【事前・事後学習課題】 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第10回** 【授業テーマ】 遺伝子診断
【内容・方法等】 講義：遺伝性疾患の発症前診断と遺伝カウンセリングの重要性、知らないでいる権利について理解する。個人情報取り扱い、DTC、遺伝子差別
【事前・事後学習課題】 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと

- 第11回** 【授業テーマ】 認知症を抱えて
【内容・方法等】 講義：認知症患者のQOL、抑制、在宅医療
【事前・事後学習課題】 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第12回** 【授業テーマ】 ターミナルケア
【内容・方法等】 講義：緩和ケア、苦痛の種類、死の受容と延命治療、鎮静(セデーション)、家族の悲嘆援助
【事前・事後学習課題】 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第13回** 【授業テーマ】 リスクマネジメント
【内容・方法等】 講義：インシデントと医療事故、医療関連訴訟、失敗に学ぶ医療安全体制構築
【事前・事後学習課題】 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第14回** 【授業テーマ】 患者のQOLとは何か
【内容・方法等】 講義、映像資料鑑賞：映像資料を通して、患者のQOLとは何か、自分が当事者であればどう考え行動するか、専門職医療者としては何が出来るかを考える。
【事前・事後学習課題】 レポート提出
- 第15回** 【授業テーマ】 医療倫理に関する事例の検討
【内容・方法等】 講義：症例(事例)検討を通して患者(また家族)の抱える倫理的問題を分析し、専門職種としての自分の考えを整理し、チームカンファレンス等に対応する姿勢を持つ。
【事前・事後学習課題】 本日の講義について、テキストで確認しておくこと

評価方法(基準)

授業中のレポート(30%)、定期試験(70%)により評価する。100点満点の60点以上で合格。

教材等

教科書…G supple編集委員会編『事例でまなぶ ケアの倫理』メディカ出版(2,200円+税)

参考書…なし

学生へのメッセージ

医療・ケアの現場で起きている、あるいはこれから起きる可能性がある諸問題について学びます。病気や障害を抱える人に接するうえで大事にしなければならない専門職としての考え方・視点とともに、様々な立場の当事者の視点や社会の関わりについても理解していく一助となればと思います。

関連科目

看護倫理をはじめとした看護専門科目すべて

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

**情報リテラシー I
Information Literacy I**

小堀 栄子(コポリ エイコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	2	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

今日、高等教育機関での勉学や社会人としての仕事において、パソコンを使えるスキルは必要不可欠である。本科目では、パソコン初心者者を想定し、パソコンでの文書作成ソフトや表計算ソフトの基本的な使い方、また発表の場で広く使用されるようになったプレゼンテーション資料作成ソフトの使い方を中心に学ぶ。実践力をつけるため課題を中心に行い、グループを作って互いにサポートし合いながら進める。

授業方法と留意点

講義と実習を組み合わせ、理解とスキルの習得を高める。

科目学習の効果(資格)

コンピューターを使って、レポートや発表資料の作成が適切に行えるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 PC、インターネットの基礎(1)
【内容・方法等】 しゅくみ、機能、著作権、基本操作(1)
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第2回** 【授業テーマ】 PC、インターネットの基礎(2)
【内容・方法等】 インターネット、電子メール、基本操作(2)
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第3回** 【授業テーマ】 ワードの使い方(1)
【内容・方法等】 Windowsの基礎、文書の作成(1)
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第4回** 【授業テーマ】 ワードの使い方(2)
【内容・方法等】 文書の作成(2)
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。

- ること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第5回 【授業テーマ】 ワードの使い方 (3)
【内容・方法等】 図表・グラフの作成、文書の作成 (3)
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第6回 【授業テーマ】 パワーポイントの使い方 (1)
【内容・方法等】 プレゼンテーション資料の作成 (文章)
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第7回 【授業テーマ】 パワーポイントの使い方 (2)
【内容・方法等】 プレゼンテーション資料の作成 (図表)
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第8回 【授業テーマ】 パワーポイントの使い方 (3)
【内容・方法等】 プレゼンテーション資料の構成と方法
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第9回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (1)
【内容・方法等】 データの入力・計算
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第10回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (2)
【内容・方法等】 表の作成
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第11回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (3)
【内容・方法等】 図の作成
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第12回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (4)
【内容・方法等】 グラフの作成
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第13回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (5)
【内容・方法等】 エクセル関数
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第14回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (6)
【内容・方法等】 データベースの利用、ワード文書への貼り付け
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 まとめの演習
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。

評価方法 (基準)

定期試験60%以上で合格。授業全15回出席が前提。出席の扱いは学生便覧のとおり(「出席状況が好ましくない場合は、単位を認めないことがあります」学生便覧より)。

教材等

教科書…30時間アカデミック 情報リテラシー Office 2010 Windows 7対応。実務教育出版。2012年4月10日。1300円。
参考書…随時紹介する

学生へのメッセージ

授業に出席してコンピューターに慣れるようにすること。授業中に疑問点を解決すること。個人的にしっかり学ぶことはもとより、グループメンバー間でサポートし、グループ全員で知識を共有しながら理解を深めていくこと。授業時間以外にも積極的にパソコンを使うこと。

関連科目

なし

担当者の研究室等
7号館3階24

情報リテラシー I Information Literacy I				
小堀 栄子 (コボリ エイコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	1	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

今日、高等教育機関での勉学や社会人としての仕事において、パソコンを使えるスキルは必要不可欠である。本科目では、パソコン初心者を対象とし、パソコンでの文書作成ソフトや表計算ソフトの基本的な使い方、また発表の場で広く使用されるようになったプレゼンテーション資料作成ソフトの使い方を中心に学ぶ。実践力をつけるため課題を中心に行い、グループを作って互いにサポートし合いながら進める。

授業方法と留意点

講義と実習を組み合わせ、理解とスキルの習得を高める。

科目学習の効果 (資格)

コンピューターを使って、レポートや発表資料の作成が適切に行えるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 PC、インターネットの基礎 (1)
【内容・方法等】 しくみ、機能、著作権、基本操作 (1)
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第2回 【授業テーマ】 PC、インターネットの基礎 (2)
【内容・方法等】 インターネット、電子メール、基本操作 (2)
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第3回 【授業テーマ】 ワードの使い方 (1)
【内容・方法等】 Windowsの基礎、文書の作成 (1)
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第4回 【授業テーマ】 ワードの使い方 (2)
【内容・方法等】 文書の作成 (2)
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第5回 【授業テーマ】 ワードの使い方 (3)
【内容・方法等】 図表・グラフの作成、文書の作成 (3)
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第6回 【授業テーマ】 パワーポイントの使い方 (1)
【内容・方法等】 プレゼンテーション資料の作成 (文章)
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第7回 【授業テーマ】 パワーポイントの使い方 (2)
【内容・方法等】 プレゼンテーション資料の作成 (図表)
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第8回 【授業テーマ】 パワーポイントの使い方 (3)
【内容・方法等】 プレゼンテーションの構成と方法
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第9回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (1)
【内容・方法等】 データの入力・計算
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第10回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (2)
【内容・方法等】 表の作成
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第11回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (3)
【内容・方法等】 図の作成
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第12回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (4)
【内容・方法等】 グラフの作成
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第13回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (5)
【内容・方法等】 エクセル関数
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第14回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (6)
【内容・方法等】 データベースの利用、ワード文書への貼り付け
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 まとめの演習
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。

評価方法 (基準)

定期試験60%以上で合格。授業全15回出席が前提。出席の扱いは学生便覧のとおり(「出席状況が好ましくない場合は、単位を認めないことがあります」学生便覧より)。

教材等

教科書…30時間アカデミック 情報リテラシー Office 2010 Windows 7対応。実務教育出版。2012年4月10日。1300円。
参考書…随時紹介する

学生へのメッセージ

授業に出席してコンピューターに慣れるようにすること。授業中に疑問点を解決すること。個人的にしっかり学ぶことはもとより、グループメンバー間でサポートし、グループ全員で知識を共有しながら理解を深めていくこと。授業時間以外にも積極的にパソコンを使うこと。

関連科目

なし

担当者の研究室等
7号館3階24

備考
なし

情報リテラシーII Information Literacy II				
小堀 栄子 (コボリ エイコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	I	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では統計理論の基本を学び、また実際にエクセルを使ったデータの基本的な統計解析が行えるようになることを目的とする。

授業方法と留意点

講義と実習を組み合わせ、理解を深める。

科目学習の効果 (資格)

統計の基本を理解し、エクセルを使って正しく統計解析を行えるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 統計とは
【内容・方法等】 統計の役割と種類、尺度
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第2回 【授業テーマ】 統計の基本 (1)
【内容・方法等】 度数分布、ヒストグラム
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第3回 【授業テーマ】 統計の基本 (2)
【内容・方法等】 代表値 (平均値、中央値、最頻値など)
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第4回 【授業テーマ】 統計の基本 (3)
【内容・方法等】 代表値と散布度 (分散、標準偏差など)
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第5回 【授業テーマ】 相関と回帰
【内容・方法等】 相関係数と回帰直線
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第6回 【授業テーマ】 確率分布 (1)
【内容・方法等】 正規分布、標準正規分布、確率、累積確率
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第7回 【授業テーマ】 確率分布 (2)
【内容・方法等】 二項分布、 χ^2 乗分布
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第8回 【授業テーマ】 確率分布 (3)
【内容・方法等】 F分布、t分布
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第9回 【授業テーマ】 母集団と標本 (1)
【内容・方法等】 標本抽出、母平均と標本平均、母分散と標本分散
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第10回 【授業テーマ】 母集団と標本 (2)
【内容・方法等】 母集団の平均値の推定、95%信頼区間
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第11回 【授業テーマ】 母集団と標本 (3)
【内容・方法等】 母分散と標本分散
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第12回 【授業テーマ】 推定 (1)
【内容・方法等】 母集団の平均値の推定、95%信頼区間
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第13回 【授業テーマ】 推定 (2)
【内容・方法等】 母集団の分散・比率の推定
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第14回 【授業テーマ】 検定 (1)
【内容・方法等】 Z検定、F検定
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第15回 【授業テーマ】 検定 (2)
【内容・方法等】 χ^2 乗検定、t検定
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。

評価方法 (基準)

定期試験60%以上で合格。授業全15回出席が前提。出席の扱いは学生便覧のとおり (「出席状況が好ましくない場合は、単位を認めないことがあります」学生便覧より)。

教材等

教科書…仕事に役立つExcel統計解析 第3版。日花弘子。ソフトバンククリエイティブ。2012年9月14日。2604円。

参考書…随時紹介する

学生へのメッセージ

エクセルに慣れるようにすること。授業中に疑問点を解決すること。個人的にしっかり学ぶことはもとより、グループメンバー間でサポートし、グループ全員で知識を共有しながら理解を深めていくこと。授業時間以外にも積極的にエクセルを使うこと。

関連科目

疫学・保健統計

担当者の研究室等

7号館3階24

備考

なし

教養科目

情報リテラシーII Information Literacy II				
小堀 栄子 (コボリ エイコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	ロ	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では統計理論の基本を学び、また実際にエクセルを使ったデータの基本的な統計解析が行えるようになることを目的とする。

授業方法と留意点

講義と実習を組み合わせ、理解を深める。

科目学習の効果 (資格)

統計の基本を理解し、エクセルを使って正しく統計解析を行えるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 統計とは
【内容・方法等】 統計の役割と種類、尺度
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第2回 【授業テーマ】 統計の基本 (1)
【内容・方法等】 度数分布、ヒストグラム
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第3回 【授業テーマ】 統計の基本 (2)
【内容・方法等】 代表値 (平均値、中央値、最頻値など)
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第4回 【授業テーマ】 統計の基本 (3)
【内容・方法等】 代表値と散布度 (分散、標準偏差など)
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第5回 【授業テーマ】 相関と回帰
【内容・方法等】 相関係数と回帰直線
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第6回 【授業テーマ】 確率分布 (1)
【内容・方法等】 正規分布、標準正規分布、確率、累積確率
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第7回 【授業テーマ】 確率分布 (2)
【内容・方法等】 二項分布、 χ^2 乗分布
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第8回 【授業テーマ】 確率分布 (3)
【内容・方法等】 F分布、t分布
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第9回 【授業テーマ】 母集団と標本 (1)
【内容・方法等】 標本抽出、母平均と標本平均、母分散と標本分散
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第10回 【授業テーマ】 母集団と標本 (2)
【内容・方法等】 母集団の平均値の推定、95%信頼区間
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第11回 【授業テーマ】 母集団と標本 (3)
【内容・方法等】 母分散と標本分散
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。

- 極的にエクセルを使うこと。
- 第12回 【授業テーマ】 推定 (1)
【内容・方法 等】 母集団の平均値の推定、95%信頼区間
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第13回 【授業テーマ】 推定 (2)
【内容・方法 等】 母集団の分散・比率の推定
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第14回 【授業テーマ】 検定 (1)
【内容・方法 等】 Z検定、F検定
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第15回 【授業テーマ】 検定 (2)
【内容・方法 等】 χ^2 乗検定、t検定
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。

評価方法 (基準)

定期試験60%以上で合格。授業全15回出席が前提。出席の扱いは学生便覧のとおり (「出席状況が好ましくない場合は、単位を認めないことがあります」学生便覧より)。

教材等

教科書…仕事に役立つExcel統計解析 第3版。日花弘子。ソフトバンククリエイティブ。2012年9月14日。2604円。
参考書…随時紹介する

学生へのメッセージ

エクセルに慣れるようにすること。授業中に疑問点を解決すること。個人的にしっかり学ぶことはもとより、グループメンバー間でサポートし、グループ全員で知識を共有しながら理解を深めていくこと。授業時間以外にも積極的にエクセルを使うこと。

関連科目

疫学・保健統計

担当者の研究室等

7号館3階24

備考

なし

キャリアデザイン
Career Design

西 鶴 智 香 (ニシツル チカ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

現在の世の中は、働く個人に「キャリア=人生」を自分でデザインすること、を要請していて、それは医療人である看護師も同じである。「自分のキャリアは自己責任の時代」であることを理解し、周りの価値観に惑わされず、自分自身はどんな人生を望みたいのか、を考え目標設定してみる。
キャリアは、職業だけではなく、職業と家庭を通じた自己実現の過程すべて、と捉えることができる。
・自分で自分のキャリアデザインを考えることができるようになる
・働くこと、の意義を考えることができる
・講師、学外の人たちに対して積極的にコミュニケーションとることができる
・グループディスカッションで他人の目を気にせず発言することができる
・自分がどんな人になりたいかを具体的に想像できる
・何事についても自分の意見を持つことができる を目標とする。

授業方法と留意点

毎回、講義のほか、少人数でのグループワークによる講義 (ワークショップ形式)、全体でのディスカッションを実施。配布したワークシートを記入しながらディスカッションもあります。毎回終了時に、A4サイズ・プリント1枚のレポート提出あります。

科目学習の効果 (資格)

看護師としての生涯キャリアを学生時代にデザインできていることで、職業人としてのスタート時に、迷うこと少なく、職業キャリアを積むことができます。自分の力で人生を切り拓いていくことができる力を養います。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 講義概要、講師自身のキャリア形成、社会の現状とキャリアデザインの重要性
【事前・事後学習課題】 「働く」ということはどういうことなのか、社会はどのようなふうに進んでいるのか、しっかりと理解しましょう。
- 第2回 【授業テーマ】 自分自身を知る①
【内容・方法 等】 自己分析、自己イメージを高める、価値観

や行動パターンについて考える

- 【事前・事後学習課題】 自分が気づいていなかった自分、をしっかり見つめてみましょう。
- 第3回 【授業テーマ】 他者理解とコミュニケーションスキル
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキルの理解、言語的・非言語的スキルの習得、カウンセリングスキルの習得
【事前・事後学習課題】 身につけたコミュニケーションスキルは日常に活かしましょう。
- 第4回 【授業テーマ】 自分自身を知る②
【内容・方法 等】 自分の成功パターン、成功体験の整理、自信のつけ方、についてグループディスカッション
【事前・事後学習課題】 率直に意見を言い合う面白さ、を実感しましょう。
- 第5回 【授業テーマ】 日本の医療業界の現状、今後のゆくえ
【内容・方法 等】 日本の世界に誇る国民皆保険制度を理解。看護師を取り巻く医療業界の現状、看護師職のビジョン、医療業界の問題点についてディスカッション。
【事前・事後学習課題】 ①新聞記事等にある内容から、現在の医療業界の現状を読んでおいて下さい。その中で看護師職がどのように職域を拡げようとしているか調べておいて下さい。②自分が総理大臣だったら、日本の医療制度をどのように変化させたいか、意見を考えておいて下さい。
- 第6回 【授業テーマ】 リーダーシップを考える
【内容・方法 等】 社会で求められるリーダーになるには何を身につければいいのか。
【事前・事後学習課題】 今まで自分が見てきたリーダーはどんなところが優れていたのか、まとめてみましょう。リーダーのタイプを観察し、まとめてみましょう。
- 第7回 【授業テーマ】 ゲストスピーカー
【内容・方法 等】 現役看護師を講師と全員で、インタビュー。どのようにキャリアデザインしてきたのか、意志決定のポイントをお聞きます。
【事前・事後学習課題】 「プロ職業人」は、今までどう意志決定してきたのか、皆なでインタビューしてみましょう。看護師として、女性として、一人の人間として、どうキャリアを考えているのか、どう迷っているのか、悩んでいるのか、自分と比較しながらインタビューして下さい。
- 第8回 【授業テーマ】 自分の生涯キャリアを考える
【内容・方法 等】 自分のキャリアデザインシート作成
【事前・事後学習課題】 友人、家族にも意見をもらい、参考にしながら作成してみましょう。
- 第9回 【授業テーマ】 事前オリエンテーション
【内容・方法 等】 講義形式
【事前・事後学習課題】 テーマにそって、考えをまとめましょう。
- 第10回 【授業テーマ】 看護学部と薬学部との共同ディスカッション
【内容・方法 等】 ディスカッション形式
【事前・事後学習課題】 事前に与えられたテーマについて、意見を考えておいて下さい。
- 第11回 【授業テーマ】 ディスカッション内容の発表①
【内容・方法 等】 ディスカッション形式
【事前・事後学習課題】 論理的に話せるよう、自分の意見をまとめておくようにして下さい。
- 第12回 【授業テーマ】 ディスカッション内容の発表②
【内容・方法 等】 ディスカッション形式
【事前・事後学習課題】 論理的に話せるよう、自分の意見をまとめておくようにして下さい。
- 第13回 【授業テーマ】 「自分はこんな人、こんな看護師になりたい」
①
【内容・方法 等】 発表
【事前・事後学習課題】 誰からの評価も気にせず、自分の意見を発表しましょう。今の自分の意見、で構わないのです。
- 第14回 【授業テーマ】 「自分はこんな人、こんな看護師になりたい」
②
【内容・方法 等】 発表
【事前・事後学習課題】 誰からの評価も気にせず、自分の意見を発表しましょう。今の自分の意見、で構わないのです。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ～「自分のキャリア」は何を目指しているのか
【内容・方法 等】 「自分のキャリアは自己責任」を理解し、セルフカウンセリング力をつける重要性について
【事前・事後学習課題】 常に、「なぜそうなのか？」を考えるクセをつけましょう。

評価方法 (基準)

- ・講義を通じて作成するワークシートを完成させ、提出することを必須要件とする。
- ・講義終了後レポート 60% ワークショップにおける発言、態度40%
- ・レポートには、正しい日本語で、自分の考えを論理的に記入する。
- ・ワークショップで自分の考えを積極的に発言し、また他人の意見に耳を傾け、コミュニケーションをとる。

教材等

教科書…「大学1年生からのコミュニケーション入門」 中野

美香 著 ナカニシヤ出版 1900円
 参考書…「一生折れない自信のつくり方」 青木仁志 著 ア
 チーブメント出版 1000円

学生へのメッセージ

自分の人生プランを一から描けるのは、若い時にだけできること。
 この講義を通して、自分自身のこと、人生で絶対やりたいこと、
 等を整理し、これからの人生を、自立できて、明るく進んでほ
 しいと思います。
 ・遅刻厳禁！ワークショップの進行に影響が出るので慎むこと。
 ・大人の常識として、誰かが発言している際には、私語を慎む
 こと。
 ・意見を言いたい時には、手を挙げて発言すること。

関連科目

特記なし

担当者の研究室等
 非常勤講師

英語 I English I				
沢田 美保子 (サワダ ミホコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

本科目では、英語の基本的な発音の仕方、表現方法、語彙につ
 いて学習し、リーディング・ライティング・リスニング・スピー
 キングの4技能を高め、看護の現場で使える英語の基礎を身
 につける。
 科学のニュースが簡単にまとめられているアメリカの科学雑誌
*Odyssey*から選んだ英語教材。丁寧に読むことで読解力を高め、
 内容確認の問題、リスニングの問題、ライティングの問題、ス
 ピーキングの問題をこなすことで、4技能の習得を図る。

授業方法と留意点

しっかり予習をして授業に臨んでください。辞書は必携。

科目学習の効果(資格)

TOEIC等

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション (授業の進め方、評価に
 ついて)
 Unit 1: Chocolate Power!
 【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピー
 キング
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第2回 【授業テーマ】 Unit 2: An End to Malaria?
 【内容・方法 等】 単語小テスト
 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第3回 【授業テーマ】 Unit 3: Spiders in Space?
 【内容・方法 等】 単語小テスト
 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 4: Feeling Stressed or Annoyed?
 【内容・方法 等】 単語小テスト
 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第5回 【授業テーマ】 Unit 5: Speeding Sharks
 【内容・方法 等】 単語小テスト
 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第6回 【授業テーマ】 Unit 6: Asteroid Special Delivery
 【内容・方法 等】 単語小テスト
 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第7回 【授業テーマ】 Unit 7: "Dung Beetle"
 【内容・方法 等】 単語小テスト
 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第8回 【授業テーマ】 Unit 1~7の復習
 【内容・方法 等】 まとめのテスト1
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第9回 【授業テーマ】 Unit 8: Robot Scientist
 【内容・方法 等】 単語小テスト
 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第10回 【授業テーマ】 Unit 9: Skyscraper Farms
 【内容・方法 等】 単語小テスト
 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第11回 【授業テーマ】 Unit 10: Thanks to Your Twin Brothe
 【内容・方法 等】 単語小テスト

- 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
 【授業テーマ】 Unit 11: Butterflies Find a Cure
 【内容・方法 等】 単語小テスト
 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
 【授業テーマ】 Unit 12: Warning: Sticky Dust!
 【内容・方法 等】 単語小テスト
 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
 【授業テーマ】 Unit 13: From the Jungles of Mount
 Samkos
 【内容・方法 等】 単語小テスト
 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
 【授業テーマ】 Unit 8~13の復習
 全体のまとめ
 【内容・方法 等】 まとめのテスト2
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 評価方法(基準)**
 平常点(授業参加度・小テスト・課題等) 40%
 単語小テスト 10%
 まとめのテスト2回 50%

教材等

教科書…『Science for Everyone (最新科学は面白い)』
 KINSEIDO
 『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC
 Test:Word Book』成美堂

参考書…なし

学生へのメッセージ

遅刻をせず、休まずに積極的な態度で臨んでください。
 辞書は必携。

関連科目

他の英語科目

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

英語 I English I				
神谷 佳郎 (カミタニ ヨシロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

本科目では、英語の基本的な発音の仕方、表現方法、語彙につ
 いて学習し、リーディング・ライティング・リスニング・スピー
 キングの4技能を高め、看護の現場で使える英語の基礎を身
 につける。
 テキストは健康と環境を取り上げたものです。丁寧に読むことで、
 読解力を高め、内容確認の問題やリスニングの問題、ライティ
 ングの問題、スピーキングの問題も含めた練習問題をこなすこ
 とで、4技能の習得を図る。

授業方法と留意点

毎回、テキストの予習をして授業にのぞむこと。
 辞書は各自持参すること。
 第1回目に予習の方法や授業の進め方など詳しく説明するので、
 必ず出席するように。

科目学習の効果(資格)

TOEIC等

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 導入
 【内容・方法 等】 テキストの予習の仕方、授業の進め方、評
 価の方法などについて説明する。
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第2回 【授業テーマ】 Unit 1: The Mystery of Dreams
 【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピー
 キング
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第3回 【授業テーマ】 Unit 2: Headaches
 【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピー
 キング
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 3: Studying Happiness
 【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピー
 キング
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第5回 【授業テーマ】 Unit 4: The Marathon Craze
 【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピー
 キング
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

教養科目

- 第6回 【授業テーマ】 Unit 5: Can Air Pollution Cause Heart Disease?
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第7回 【授業テーマ】 Unit 6: Heat
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第8回 【授業テーマ】 Unit 1-6の復習
【内容・方法等】 まとめのテスト1
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第9回 【授業テーマ】 Unit 7: Aspirin
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第10回 【授業テーマ】 Unit 8: Vitamins
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第11回 【授業テーマ】 Unit 9: Dieting
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第12回 【授業テーマ】 Unit 10: A Cervical
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第13回 【授業テーマ】 Unit 11: Growing Replacement Organs
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第14回 【授業テーマ】 Unit 14: A New Malaria Drug
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第15回 【授業テーマ】 Unit 7-12の復習
全体のまとめ
【内容・方法等】 まとめのテスト2
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

評価方法 (基準)

平常点 (授業参加度・小テスト・課題等) (30%)、まとめのテスト2回 (60%)、単語小テスト(10%)により総合的に評価する。

教材等

教科書…『Our Sacred Health and Environment』 成美堂(1,900円+税)

『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test:Word Book』成美堂(1,700円+税)

参考書…英和、和英辞典の両方を準備しておくこと。

学生へのメッセージ

指示に従って、しっかりと予習をし、休まずに積極的な態度で臨んでください。辞書は必携。

関連科目

他の英語科目

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

英語 I
English I

中道 英美子 (ナカミチ エミコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	C	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

災害看護や医療ツーリズムの進展により、看護に携わる者にとって英語学習の必要性はますます高まっている。

本科目では、英語の基本的な発音の仕方、表現方法、語彙について学習し、リーディング・ライティング・リスニング・スピーキングの4技能を高め、看護の現場で使える英語の基礎を身につける。また、日常的に使用される基礎的なコミュニケーション方法を修得する。

授業方法と留意点

これまでに学んだ基礎的な文法を総復習しつつ、英語のReading, Writing, Listening, Speaking をトータルに向上させるためのトレーニングを行います。文化や社会といった身近な話題を題材にした英語の土台作りをします。授業や予習への積極的な取り組みを期待します。

科目学習の効果 (資格)

英語の4技能 (Reading, Writing, Listening, Speaking) をしっかり学ぶことにより、基礎的なコミュニケーション能力や自己

表現能力も高めていきます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法等】 授業の目標、進め方、評価方法などについて説明
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第2回 【授業テーマ】 Unit 1: Greetings
【内容・方法等】 Grammar, Speaking, Listening
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第3回 【授業テーマ】 Unit 2: Giving Explanations
【内容・方法等】 Grammar, Speaking, Reading
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 3: Test(X-ray)
【内容・方法等】 Grammar, Speaking, Writing
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第5回 【授業テーマ】 Unit 4: Inviting the patient to Talk
【内容・方法等】 Listening, reading, grammar, vocabulary
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第6回 【授業テーマ】 Unit 5 Nursing care and asking permission
【内容・方法等】 Grammar, Speaking, Listening
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第7回 【授業テーマ】 Unit 6 Injection
【内容・方法等】 Grammar, Speaking, Reading
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第8回 【授業テーマ】 Unit 7 Vital signs
【内容・方法等】 Grammar, Speaking, Writing
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第9回 【授業テーマ】 Unit 8 Rehabilitation and asking questions
【内容・方法等】 Listening, reading, grammar, vocabulary
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第10回 【授業テーマ】 Unit 9 Operation
【内容・方法等】 Grammar, Speaking, Listening
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第11回 【授業テーマ】 Unit 10 Positioning the patient and giving instructions
【内容・方法等】 Grammar, Speaking, Reading
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第12回 【授業テーマ】 Unit11Medication 9
【内容・方法等】 Grammar, Speaking, Writing
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第13回 【授業テーマ】 Unit 12 discharge and goodbye
【内容・方法等】 Listening, reading, grammar, vocabulary
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第14回 【授業テーマ】 Unit 13 Negotiation Management
【内容・方法等】 Grammar, Speaking, Reading, Writing
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第15回 【授業テーマ】 Unit 14 Consultation
【内容・方法等】 Listening, reading, grammar, vocabulary
【事前・事後学習課題】 授業中に指示

評価方法 (基準)

出席および受講態度50%、定期試験50%

教材等

教科書…Everyday English for Nursing on DVD (Seibido)

『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Tset:Word Book』成美堂

参考書…初回講義で指示する。

学生へのメッセージ

映画、音楽、スポーツ中継などを原語のまま楽しむ習慣を身につけましょう。興味のあるものを通して語学力をアップさせることができます。

関連科目

詳細は第1回のイントロダクションで説明します。

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

備考

遅刻をせず、授業中の私語を慎むという最低限のマナーを守ること。

英語 I
English II

沢田 美保子 (サワダ ミホコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

本科目では、「英語 I」で培った能力を土台にして、英語による作文や会話による学習を行い、英語4技能を一層高めるとともに医療で用いられる語彙や表現についても学習し、専門通訳者がある場面において看護職者に必要とされる英語コミュニケーション能力を身につける

授業方法と留意点

しっかり予習をして授業に臨んでください。辞書は必携。
科目学習の効果 (資格)

TOEIC等

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション (授業の進め方、評価について)

Unit 1: What Worries Barbara?

【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第2回 【授業テーマ】 Unit 2: That's Mama's Hair!

【内容・方法等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第3回 【授業テーマ】 Unit 3: Menstrual Problems

【内容・方法等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第4回 【授業テーマ】 Unit 4: Right or Left?

【内容・方法等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第5回 【授業テーマ】 Unit 5: How to Give First Aid

【内容・方法等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第6回 【授業テーマ】 Unit 6: A Blind Pianist

【内容・方法等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第7回 【授業テーマ】 Unit 7: Are You Being Abused?

【内容・方法等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第8回 【授業テーマ】 Unit 1~7の復習

【内容・方法等】 まとめのテスト1

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第9回 【授業テーマ】 Unit 8: Giving Blood

【内容・方法等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第10回 【授業テーマ】 Unit 9: Living a Healthy Life

【内容・方法等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第11回 【授業テーマ】 Unit 10: Is the Treatment Different or Not?

【内容・方法等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第12回 【授業テーマ】 Unit 11: Oh, Poor Elderly People!

【内容・方法等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第13回 【授業テーマ】 Unit 12: What Is Homeopathy?

【内容・方法等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第14回 【授業テーマ】 Unit 13: You Need a Breast Self-

Examination

【内容・方法等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第15回 【授業テーマ】 Unit 14: AEDs Save Lives

全体のまとめ

【内容・方法等】 まとめのテスト2

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

評価方法 (基準)

平常点 (授業参加度・小テスト・課題等) 40%

単語小テスト 10%

まとめのテスト2回 50%

教材等

教科書…『Take Care (医療と看護の総合英語)』
SANSHUSHA

『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC
Test:Word Book』成美堂

参考書…なし

学生へのメッセージ

遅刻をせず、休まずに積極的な態度で臨んでください。

辞書は必携。

関連科目

他の英語科目

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

英語 I I
English II

神谷佳郎 (カミタニ ヨシロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

本科目では、「英語I」で培った能力を土台にして、英語による作文や会話による学習を行い、リーディング・ライティング・リスニング・スピーキングの4技能を一層高めるとともに、医療で用いられる語彙や表現についても学習し、看護職者に必要とされる基本的な英語コミュニケーション能力を身につける。

授業方法と留意点

毎回、テキストの予習をして授業にのぞむこと。

辞書は各自持参すること。

科目学習の効果 (資格)

TOEIC等

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 Unit 13: Tornadoes

【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第2回 【授業テーマ】 Unit 14: Hurricanes

【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第3回 【授業テーマ】 Unit 15: Volcanoes

【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第4回 【授業テーマ】 Unit 16: The story of Seedless Fruit

【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第5回 【授業テーマ】 Unit 17: The Unique Qualities of Cork

【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第6回 【授業テーマ】 医療で用いられる基本的な語彙や表現

(プリント教材を使用)

【内容・方法等】 読解・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第7回 【授業テーマ】 医療で用いられる基本的な語彙や表現

(プリント教材を使用)

【内容・方法等】 読解・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第8回 【授業テーマ】 前半授業のまとめと復習

【内容・方法等】 まとめのテスト1

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第9回 【授業テーマ】 Unit 18: Jojoba

【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第10回 【授業テーマ】 Unit 19: Biofuels

【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第11回 【授業テーマ】 Unit 20: Agritourism

【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第12回 【授業テーマ】 Unit 21: Building Healthier Houses

【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第13回 【授業テーマ】 医療で用いられる基本的な語彙や表現

(プリント教材を使用)

【内容・方法等】 読解・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第14回 【授業テーマ】 医療で用いられる基本的な語彙や表現

(プリント教材を使用)

【内容・方法等】 読解・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第15回 【授業テーマ】 後半授業のまとめと復習

【内容・方法等】 まとめのテスト2

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

評価方法 (基準)

平常点 (授業参加度・小テスト・課題等) (30%)、まとめのテスト2回 (60%)、単語小テスト(10%)により総合的に評価する。

教材等

教科書…『Our Sacred Health and Environment』 成美堂(1,900円+税)

教養科目

『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test:Word Book』成美堂(1,700円+税)
(前期のテキストを継続して使用)

参考書…英和、和英辞典の両方を準備しておくこと。

学生へのメッセージ

指示に従って、しっかりと予習をし、休まずに積極的な態度で臨んでください。辞書は必携。

関連科目

他の英語科目

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

英語Ⅰ EnglishⅠ				
村上 幸太郎(ムラカミ コウタロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	C	後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

病院を舞台に、看護士にとって必要な英語の語彙、表現などを実践的に習得することを目指します。国際化する医療現場にあって、日本語が話せない患者さんが病院を訪れた際、的確な対応ができるよう、体の部位や、病院の案内、診察科の種類から、痛みの表現にいたるまで、様々なシチュエーションで使われる英語について学んでいきます。スムーズに患者さんと英語でコミュニケーションが図れるよう、トータルに看護英語を学びます。

授業方法と留意点

毎回トピックごとに必須語彙・表現を学んだ後、リーディング、リスニング、スピーキングの練習を行い、効果的なコミュニケーション・ストラテジーを学びます。また、TOEICなどの検定試験にも対応できる英語力を養うため、単語の小テストを行います。必ず予習してください。

科目学習の効果(資格)

- ①病院で日本語が話さない患者さんと英語でコミュニケーションが図れるようになる。
- ②医療の現場やTOEICで必要となるような基礎的な語彙、英語表現について学ぶ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法 等】 授業の目標、進め方、評価方法などについて説明
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第2回 【授業テーマ】 Lesson 1: Visit to a Hospital
【内容・方法 等】 来院
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第3回 【授業テーマ】 Lesson 2: How to Fill in a Registration Form
【内容・方法 等】 初診受付
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第4回 【授業テーマ】 Lesson 3: Let's Ask about Mr. Brown's Daily Activities
【内容・方法 等】 生活習慣を尋ねる
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第5回 【授業テーマ】 Lesson 4: Mr. Brown's Symptoms
【内容・方法 等】 問診の際のコミュニケーション (1)
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第6回 【授業テーマ】 Lesson 5: Medical Check Up 1
【内容・方法 等】 脈拍・血圧・体重の測定
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第7回 【授業テーマ】 Lesson 6: Medical Check Up 2
【内容・方法 等】 採血・採尿
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第8回 【授業テーマ】 Lesson 7: Mr. Brown's Diagnosis
【内容・方法 等】 診断の際のコミュニケーション (1)
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第9回 【授業テーマ】 Lesson 8: Mr. Anderson's Symptoms
【内容・方法 等】 問診の際のコミュニケーション (2)
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第10回 【授業テーマ】 Lesson 9: Let's Ask More about Mr. Anderson's Symptoms
【内容・方法 等】 症状をより詳しく聞く
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第11回 【授業テーマ】 Lesson 10: Explaining Blood Test Results
【内容・方法 等】 診断の際のコミュニケーション (2)
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第12回 【授業テーマ】 Lesson 11: How to Take Medicine
【内容・方法 等】 薬の効用の説明
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第13回 【授業テーマ】 Lesson 12: Mrs. Johnson Feels Dizzy
【内容・方法 等】 問診の際のコミュニケーション (3)
【事前・事後学習課題】 授業で指示

第14回 【授業テーマ】 Lesson 13: An MRI Test

【内容・方法 等】 MRIを受ける
【事前・事後学習課題】 授業で指示

第15回 【授業テーマ】 後期のまとめ

【内容・方法 等】 今までの学習内容の総復習
【事前・事後学習課題】 期末試験の準備

評価方法(基準)

授業中の課題、小テスト、定期試験などにより総合評価します。詳細は第1回のイントロダクションで説明します。

教材等

教科書…『First Aid! English for Nursing』Akihiko Higuchi, John Tremarco 著 金星堂

『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test:Word Book』成美堂

参考書…授業で適宜、紹介します。

学生へのメッセージ

日本語が話せない患者さんが病院に行くときの不安や恐れを想像してください。完璧な英語は必要ありません。きちんと的確なコミュニケーションが英語でできるように頑張りましょう。

関連科目

詳細は第1回のイントロダクションで説明します。

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

備考

遅刻をせず、授業中の私語を慎むという最低限のマナーを守ること。

英語Ⅲ EnglishⅢ				
神谷 佳郎(カミタニ ヨシロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

本科目では、「英語Ⅱ」での学習をもとに、より高度なリーディング・ライティング・リスニング・スピーキングの4技能を修得し、専門通訳者のいない場面において看護職者に必要とされる英語コミュニケーション能力を身につける。

授業方法と留意点

毎回、テキストの予習をして授業にのぞむこと。
辞書は各自持参すること。
第1回目に予習の方法や授業の進め方など詳しく説明するので、必ず出席するように。

科目学習の効果(資格)

TOEIC等

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 導入
【内容・方法 等】 テキストの予習の仕方、授業の進め方、評価の方法などについて説明する。
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第2回 【授業テーマ】 Unit 1: 来院
【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第3回 【授業テーマ】 Unit 2: 初診受付
【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 3: 生活習慣を聞く
【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第5回 【授業テーマ】 Unit 4: 問診 (1)
【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第6回 【授業テーマ】 Unit 5: 脈拍、血圧、体重の測定
【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第7回 【授業テーマ】 Unit 6: 採血、採尿
【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第8回 【授業テーマ】 Unit 1'6の復習
【内容・方法 等】 まとめのテスト1
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第9回 【授業テーマ】 Unit 7: 診断 (1)
【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング

- 第10回 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
【授業テーマ】 Unit 8: 問診 (2)
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
- 第11回 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
【授業テーマ】 Unit 9: 症状をより詳しく聞く
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
- 第12回 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
【授業テーマ】 Unit 10: 診断 (2)
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
- 第13回 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
【授業テーマ】 Unit 11: 薬の説明
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
- 第14回 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
【授業テーマ】 Unit 12: 問診 (3)
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
- 第15回 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
【授業テーマ】 Unit 7-12の復習
全体のまとめ
【内容・方法等】 まとめのテスト2
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

評価方法 (基準)
平常点 (授業参加度・小テスト・課題等) (30%)、まとめのテスト2回 (60%)、単語小テスト(10%)により総合的に評価する。

教材等
教科書…『First Aid! English for Nursing』金星堂(1,900円+税)
『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test: Word Book』成美堂(1,700円+税)
(1年次使用の単語集を継続して使用するので購入の必要はありません。)
参考書…英和、和英辞典の両方を準備しておくこと。

学生へのメッセージ
指示に従って、しっかりと予習をし、休まずに積極的な態度で臨んでください。辞書は必携。

関連科目
他の英語科目
担当者の研究室等
1号館2階 非常勤講師室

英語Ⅲ English Ⅲ				
木村 理恵子 (キムラ リエコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	B	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標
災害看護や医療ツーリズムの進展により、看護に携わる者にとって英語学習の必要性はますます高まっている。本科目では、「英語Ⅱ」での学習をもとに、医療関連の英語の新聞・雑誌記事から関心のある内容を選びプレゼンテーションを行うなど、より高度なリーディング・ライティング・リスニング・スピーキングの4技能を修得し、専門通訳者のいない場面において看護職者に必要とされる英語コミュニケーション能力を身につける。

授業方法と留意点
ToEICに出題される単語を学びそして小テストを受けながら(1年生に引き続き)、さらに医療、そして看護という点からさまざまな場面の読解、そして英語活動を行う。積極的に参加することで評価を受けることができる。

科目学習の効果(資格)
ToEICの単語力を上げる。
医療英語を理解したり、話したりするなどのコミュニケーション能力を向上させることができる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 授業の概要の説明 1年生からのコミュニケーションの復習
Unit 1 Basic for Health Care Professionals
【内容・方法等】 テキストを実際に利用して (Unit 1)、授業の進め方を理解する。
尚、小テストの方法などもこの時に説明する。
【事前・事後学習課題】 次回の授業と小テストに向けて予習すること。
- 第2回 【授業テーマ】 Unit 2 The Digestive System: How It Works
ToEIC Quiz 1
【内容・方法等】 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。

- 本Unitからの小テスト、そしてToEIC単語の小テストも行う。
- 第3回 【授業テーマ】 Unit 3 The Cardiovascular System: The Heart, Pump for Life-giving Blood
ToEIC Quiz 2
【内容・方法等】 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。本Unitからの小テスト、そしてToEIC単語の小テストも行う。
【事前・事後学習課題】 次回の授業と小テストに向けて予習すること。
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 4 The Neurological System: Neuroscience
ToEIC Quiz 3
【内容・方法等】 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。本Unitからの小テスト、そしてToEIC単語の小テストも行う。
【事前・事後学習課題】 次回の授業と小テストに向けて予習すること。
- 第5回 【授業テーマ】 Unit 5 The Urinary System: Kidney Transplantation
ToEIC Quiz 4
【内容・方法等】 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。本Unitからの小テスト、そしてToEIC単語の小テストも行う。
【事前・事後学習課題】 次回の授業と小テストに向けて予習すること。
- 第6回 【授業テーマ】 Unit 6 The Reproductive System: Infertility Treatments
ToEIC Quiz 5
【内容・方法等】 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。本Unitからの小テスト、そしてToEIC単語の小テストも行う。
【事前・事後学習課題】 次回のまとめテストに向けて復習すること。その際にSpeakingもテストがあるので、必ず英文を見ないで発音できるようにしておくこと。
- 第7回 【授業テーマ】 まとめテスト (Unit 1-6)
【内容・方法等】 今までのテキストからの内容とコミュニケーション能力をテストする。
【事前・事後学習課題】 次回の授業と小テストに向けて予習すること。
- 第8回 【授業テーマ】 Unit 7 The Skeletal System: Bone Health
ToEIC Quiz 6
【内容・方法等】 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。本Unitからの小テスト、そしてToEIC単語の小テストも行う。
【事前・事後学習課題】 次回の授業と小テストに向けて予習すること。
- 第9回 【授業テーマ】 Unit 8 The Immune System: Allergies
ToEIC Quiz 7
【内容・方法等】 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。本Unitからの小テスト、そしてToEIC単語の小テストも行う。
【事前・事後学習課題】 次回の授業と小テストに向けて予習すること。
- 第10回 【授業テーマ】 Unit 9 The Endocrine System: Diabetes
ToEIC Quiz 8
【内容・方法等】 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。本Unitからの小テスト、そしてToEIC単語の小テストも行う。
【事前・事後学習課題】 次回の授業と小テストに向けて予習すること。
- 第11回 【授業テーマ】 Unit 10 Preventing the Spread of Infectious Disease
ToEIC Quiz 9
【内容・方法等】 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。本Unitからの小テスト、そしてToEIC単語の小テストも行う。
【事前・事後学習課題】 次回の授業と小テストに向けて予習すること。
- 第12回 【授業テーマ】 Unit 11 Cancer Detection
ToEIC Quiz 10
【内容・方法等】 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。本Unitからの小テスト、そしてToEIC単語の小テストも行う。
【事前・事後学習課題】 次回の授業と小テストに向けて予習すること。
- 第13回 【授業テーマ】 Unit 12 Robotic Surgery
【内容・方法等】 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。本Unitからの小テスト。
【事前・事後学習課題】 次回の授業と小テストに向けて予習すること。
- 第14回 【授業テーマ】 Unit 15 Health Care for the Aging: Geriatric

Nursing

【内容・方法 等】 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。本Unitからの小テスト。

【事前・事後学習課題】 次回のまとめテストに向けて復習すること。その際にSpeakingもテストがあるので、必ず英文を見ないで発音できるようにしておくこと。

第15回 【授業テーマ】 まとめテスト (Unit 7以降について)

【内容・方法 等】 Unit 7以降について、テキストからの内容とコミュニケーション能力をテストする。

【事前・事後学習課題】 特になし

評価方法 (基準)

まとめテスト40%小テスト30%TOEIC単語テスト20%提出10%

教材等

教科書…Understanding Health Care (朝日出版 1800円)

参考書…The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test (成美堂 1700円)

学生へのメッセージ

予習が必要になる部分が出てくるので、テキストに記入してもよいので

しっかり予習しておくこと。さらに、speakingの場面では自分なりに言える、またはメッセージを伝える言い回しを確実に獲得できるように努力すること。

関連科目

N/A

担当者の研究室等

非常勤講師室

備考

英語 I I I では TOEIC の単語は Level 3 を順次指定して小テストを行う。

英語 III

English III

中道 英美子 (ナカミチ エミコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	C	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

災害看護や医療ツーリズムの進展により、看護に携わる者にとって英語学習の必要性はますます高まっている。

本科目では、英語の基本的な発音の仕方、表現方法、語彙について学習し、リーディング・ライティング・リスニング・スピーキングの4技能を高め、看護の現場で使える英語の基礎を身につける。また、日常的に使用される基礎的なコミュニケーション方法を修得する。

授業方法と留意点

これまでに学んだ基礎的な文法を総復習しつつ、英語のReading, Writing, Listening, Speaking をトータルに向上させるためのトレーニングを行います。文化や社会といった身近な話題を題材にした英語の土台作りをします。授業や予習への積極的な取り組みを期待します。

科目学習の効果 (資格)

英語の4技能 (Reading, Writing, Listening, Speaking) をしっかり学ぶことにより、基礎的なコミュニケーション能力や自己表現能力も高めていきます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法 等】 授業の目標、進め方、評価方法などについて説明

【事前・事後学習課題】 授業中に指示

第2回 【授業テーマ】 Unit 1: Greetings
【内容・方法 等】 Grammar, Speaking, Listening

【事前・事後学習課題】 授業中に指示

第3回 【授業テーマ】 Unit 2: Giving Explanations
【内容・方法 等】 Grammar, Speaking, Reading

【事前・事後学習課題】 授業中に指示

第4回 【授業テーマ】 Unit 3: Test(X-ray)
【内容・方法 等】 Grammar, Speaking, Writing

【事前・事後学習課題】 授業中に指示

第5回 【授業テーマ】 Unit 4: Inviting the patient to Talk
【内容・方法 等】 Listening, reading, grammar, vocabulary

【事前・事後学習課題】 授業中に指示

第6回 【授業テーマ】 Unit 5 Nursing care and asking permission
【内容・方法 等】 Grammar, Speaking, Listening

【事前・事後学習課題】 授業中に指示

第7回 【授業テーマ】 Unit 6 Injection
【内容・方法 等】 Grammar, Speaking, Reading

【事前・事後学習課題】 授業中に指示

第8回 【授業テーマ】 Unit 7 Vital signs

【内容・方法 等】 Grammar, Speaking, Writing

第9回 【事前・事後学習課題】 授業中に指示

【授業テーマ】 Unit 8 Rehabilitation and asking questions

【内容・方法 等】 Listening, reading, grammar, vocabulary

第10回 【事前・事後学習課題】 授業中に指示

【授業テーマ】 Unit 9 Operation

【内容・方法 等】 Grammar, Speaking, Listening

第11回 【事前・事後学習課題】 授業中に指示

【授業テーマ】 Unit 10 Positioning the patient and giving instructions

【内容・方法 等】 Grammar, Speaking, Reading

第12回 【事前・事後学習課題】 授業中に指示

【授業テーマ】 Unit 11 Medication 9

【内容・方法 等】 Grammar, Speaking, Writing

第13回 【事前・事後学習課題】 授業中に指示

【授業テーマ】 Unit 12 discharge and goodbye

【内容・方法 等】 Listening, reading, grammar, vocabulary

第14回 【事前・事後学習課題】 授業中に指示

【授業テーマ】 Unit 13 Negotiation Management

【内容・方法 等】 Grammar, Speaking, Reading, Writing

第15回 【事前・事後学習課題】 授業中に指示

【授業テーマ】 Unit 14 Consultation

【内容・方法 等】 Listening, reading, grammar, vocabulary

【事前・事後学習課題】 授業中に指示

評価方法 (基準)

出席および受講態度50%、定期試験50%

教材等

教科書…Everyday English for Nursing on DVD (Seibido)

『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Tset:Word Book』成美堂

参考書…初回講義で指示する。

学生へのメッセージ

映画、音楽、スポーツ中継などを原語のまま楽しむ習慣を身につけましょう。興味のあるものを通して語学力をアップさせることができます。

関連科目

詳細は第1回のイントロダクションで説明します。

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

備考

遅刻をせず、授業中の私語を慎むという最低限のマナーを守ること。

中国語 I Chinese I

今中 崇文 (イマナカ タカフミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	1	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

中国語を初めて学ぶ者にとって、中国語の基本的な発音や文法を理解することや一定の語彙数を早期に修得することが重要である。

この授業では、中国語の発音や文法について学習するとともに、日常における中国語の表現方法の学習を通して、読む・書く・聴く・話すための基礎的な能力を修得する。

授業方法と留意点

授業中集中して聴くこと、間違いを気にせず大きな声を出すことが授業の中心となる。

科目学習の効果 (資格)

1年終了時には中国語検定試験準4級の受験が可能。2年目以降の継続学習のための基礎力がつく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 第1課発音(1)
【内容・方法 等】 1.簡体字と普通話 2.発音の表記 3.声調 4.単母音 5.つづりの規則

【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

第2回 【授業テーマ】 第2課発音(2)
【内容・方法 等】 1.子音 2.無気音と有気音 3.捲舌音の要領 4.つづりの規則

【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

第3回 【授業テーマ】 第3課発音(3)
【内容・方法 等】 1.複母音 2.r化音 3.声調記号のつけ方 4.つづりの規則

【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

第4回 【授業テーマ】 第4課発音(4)
【内容・方法 等】 l.nとngの違い 2.nとngをとまなう母音

- 3.声調の変化 4.隔音記号 5.つづりの規則
- 【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第5回** **【授業テーマ】** 第5課発音の復習チェックシート
【内容・方法等】 1課～4課の復習
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第6回** **【授業テーマ】** 第6課こんにちは!(1)
【内容・方法等】 発音.不の声調変化1.人称代名詞 2.「shi」の文 3.「ma」を用いた疑問文 4.名前の言い方 5.副詞「也」の用法
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第7回** **【授業テーマ】** 第6課こんにちは!(2)
【内容・方法等】 発音.不の声調変化1.人称代名詞 2.「shi」の文 3.「ma」を用いた疑問文 4.名前の言い方 5.副詞「也」の用法
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第8回** **【授業テーマ】** 第6課こんにちは!(3)
【内容・方法等】 発音.不の声調変化1.人称代名詞 2.「shi」の文 3.「ma」を用いた疑問文 4.名前の言い方 5.副詞「也」の用法
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第9回** **【授業テーマ】** 第7課これは何ですか?(1)
【内容・方法等】 1.指示代名詞 2.疑問詞疑問文 3.助詞「的」の用法 4.副詞「都」の用法
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第10回** **【授業テーマ】** 第7課これは何ですか?(2)
【内容・方法等】 1.指示代名詞 2.疑問詞疑問文 3.助詞「的」の用法 4.副詞「都」の用法
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第11回** **【授業テーマ】** 第7課これは何ですか?(3)
【内容・方法等】 1.指示代名詞 2.疑問詞疑問文 3.助詞「的」の用法 4.副詞「都」の用法
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第12回** **【授業テーマ】** 第8課今日は何日ですか?(1)
【内容・方法等】 1.年, 月, 日, 曜日の言い方 2.数の数え方 3.「是」の省略
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第13回** **【授業テーマ】** 第8課今日は何日ですか?(2)
【内容・方法等】 1.年, 月, 日, 曜日の言い方 2.数の数え方 3.「是」の省略
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第14回** **【授業テーマ】** 第8課今日は何日ですか?(3)
【内容・方法等】 1.年, 月, 日, 曜日の言い方 2.数の数え方 3.「是」の省略
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第15回** **【授業テーマ】** 第9課復習チェックシート
【内容・方法等】 第6課～第8課の復習
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

評価方法(基準)
 定期試験(80%)、出席、授業態度(20%)により総合評価する。

教材等
 教科書…本学外国語学中国語教室編『摂南大学初級中国語』
 参考書…とくになし

学生へのメッセージ
 「聴く」「話す」に力を入れてほしい。これがある程度できるようになってから「読む」「書く」に取り組んでも遅くはない。

関連科目
 中国語
担当者の研究室等
 1号館2階 非常勤講師室

中国語 I Chinese I				
今 中 崇 文 (イマナカ タカフミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	2	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
 中国語を初めて学ぶ者にとって、中国語の基本的な発音や文法

を理解することや一定の語彙数を早期に修得することが重要である。
 この授業では、中国語の発音や文法について学習するとともに、日常における中国語の表現方法の学習を通して、読む・書く・聴く・話すための基礎的な能力を修得する。

授業方法と留意点
 授業中集中して聴くこと、間違いを気にせず大きな声を出すことが授業の中心となる。

科目学習の効果(資格)
 1年終了時には中国語検定試験準4級の受験が可能。2年日以降の継続学習のための基礎力がつく。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** **【授業テーマ】** 第1課発音(1)
【内容・方法等】 1.簡体字と普通話 2.発音の表記 3.声調 4.単母音 5.つづりの規則
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第2回** **【授業テーマ】** 第2課発音(2)
【内容・方法等】 1.子音 2.無気音と有気音 3.捲舌音の要領 4.つづりの規則
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第3回** **【授業テーマ】** 第3課発音(3)
【内容・方法等】 1.複母音 2.r化音 3.声調記号のつけ方 4.つづりの規則
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第4回** **【授業テーマ】** 第4課発音(4)
【内容・方法等】 1.nとngの違い 2.nとngをともなう母音 3.声調の変化 4.隔音記号 5.つづりの規則
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第5回** **【授業テーマ】** 第5課発音の復習チェックシート
【内容・方法等】 1課～4課の復習
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第6回** **【授業テーマ】** 第6課こんにちは!(1)
【内容・方法等】 発音.不の声調変化1.人称代名詞 2.「shi」の文 3.「ma」を用いた疑問文 4.名前の言い方 5.副詞「也」の用法
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第7回** **【授業テーマ】** 第6課こんにちは!(2)
【内容・方法等】 発音.不の声調変化1.人称代名詞 2.「shi」の文 3.「ma」を用いた疑問文 4.名前の言い方 5.副詞「也」の用法
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第8回** **【授業テーマ】** 第6課こんにちは!(3)
【内容・方法等】 発音.不の声調変化1.人称代名詞 2.「shi」の文 3.「ma」を用いた疑問文 4.名前の言い方 5.副詞「也」の用法
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第9回** **【授業テーマ】** 第7課これは何ですか?(1)
【内容・方法等】 1.指示代名詞 2.疑問詞疑問文 3.助詞「的」の用法 4.副詞「都」の用法
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第10回** **【授業テーマ】** 第7課これは何ですか?(2)
【内容・方法等】 1.指示代名詞 2.疑問詞疑問文 3.助詞「的」の用法 4.副詞「都」の用法
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第11回** **【授業テーマ】** 第7課これは何ですか?(3)
【内容・方法等】 1.指示代名詞 2.疑問詞疑問文 3.助詞「的」の用法 4.副詞「都」の用法
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第12回** **【授業テーマ】** 第8課今日は何日ですか?(1)
【内容・方法等】 1.年, 月, 日, 曜日の言い方 2.数の数え方 3.「是」の省略
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第13回** **【授業テーマ】** 第8課今日は何日ですか?(2)
【内容・方法等】 1.年, 月, 日, 曜日の言い方 2.数の数え方 3.「是」の省略
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第14回** **【授業テーマ】** 第8課今日は何日ですか?(3)
【内容・方法等】 1.年, 月, 日, 曜日の言い方 2.数の数え方 3.「是」の省略
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

第15回 【授業テーマ】 第9課復習チェックシート
 【内容・方法 等】 第6課～第8課の復習
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
評価方法（基準）
 定期試験（80%）、出席、授業態度（20%）により総合評価する。
教材等
 教科書…本学外国語学中国語教室編『摂南大学初級中国語』
 参考書…とくになし
学生へのメッセージ
 「聴く」「話す」に力を入れてほしい。これがある程度できるようになってから「読む」「書く」に取り組んでも遅くはない。
関連科目
 中国語
担当者の研究室等
 1号館2階 非常勤講師室

中国語ⅠⅠ Chinese II				
今 中 崇 文 (イマナカ タカフミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	1	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
 中国語を初めて学ぶ者にとって、中国語の基本的な発音や文法を理解することや一定の語彙数を早期に修得することが重要である。
 この授業では、中国語の発音や文法について学習するとともに、日常における中国語の表現方法の学習を通して、読む・書く・聴く・話すための基礎的な能力を修得する。

授業方法と留意点
 授業中集中して聴くこと、間違いを気にせず大きな声を出すことが授業の中心となる。

科目学習の効果（資格）
 1年終了時には中国語検定試験準4級の受験が可能。2年目以降の継続学習のための基礎力がつく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 第10課四人家族です(1)
 【内容・方法 等】 「一」の声調変化1.所有を表「有」の用法 2.助数詞 3.「ne」を用いた疑問文 4.家族の呼び方
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第2回** 【授業テーマ】 第10課四人家族です(2)
 【内容・方法 等】 「一」の声調変化1.所有を表「有」の用法 2.助数詞 3.「ne」を用いた疑問文 4.家族の呼び方
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第3回** 【授業テーマ】 第11課コーヒーを飲みます(1)
 【内容・方法 等】 1.動詞が述語になる文 2.時間の言い方 3.時間詞の用法 4.「在」の用法
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第4回** 【授業テーマ】 第11課コーヒーを飲みます(2)
 【内容・方法 等】 1.動詞が述語になる文 2.時間の言い方 3.時間詞の用法 4.「在」の用法
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第5回** 【授業テーマ】 第12課うれしいです(1)
 【内容・方法 等】 1.形容詞が述語になる文 2.反復疑問文 3.助詞「ba」の用法 4.「有点兒」の用法
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第6回** 【授業テーマ】 第12課うれしいです(2)
 【内容・方法 等】 1.形容詞が述語になる文 2.反復疑問文 3.助詞「ba」の用法 4.「有点兒」の用法
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第7回** 【授業テーマ】 第13課復習チェックシート
 【内容・方法 等】 第10課～第12課の復習
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第8回** 【授業テーマ】 第14課どこで勉強していますか？(1)
 【内容・方法 等】 1.連動文 2.前置詞「離」の用法 3.前置詞「在」の用法 4.存在を表す「有」の用法
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第9回** 【授業テーマ】 第14課どこで勉強していますか？(2)
 【内容・方法 等】 1.連動文 2.前置詞「離」の用法 3.前置詞「在」の用法 4.存在を表す「有」の用法
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

- 習すること
第10回 【授業テーマ】 第15課何をしていたの？(1)
 【内容・方法 等】 1.完了を表す「了」2.前置詞「給」の用法 3.疑問詞+「也」4.疑問詞「多少」と「幾」
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第11回** 【授業テーマ】 第15課何をしていたの？(2)
 【内容・方法 等】 1.完了を表す「了」2.前置詞「給」の用法 3.疑問詞+「也」4.疑問詞「多少」と「幾」
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第12回** 【授業テーマ】 第16課中国に行ったことは？(1)
 【内容・方法 等】 1.過去の経験を表す「過」2.「快～了」の用法 3.前置詞「從～到～」の用法 4.時間の長さの表現
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第13回** 【授業テーマ】 第16課中国に行ったことは？(2)
 【内容・方法 等】 1.過去の経験を表す「過」2.「快～了」の用法 3.前置詞「從～到～」の用法 4.時間の長さの表現
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第14回** 【授業テーマ】 第17課復習チェックシート
 【内容・方法 等】 第14課～第16課の復習
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第15回** 【授業テーマ】 第14課～第16課の復習
 【内容・方法 等】 期末試験に備えた学習項目の確認
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 評価方法（基準）**
 定期試験（80%）、出席、授業態度（20%）により総合評価する。
教材等
 教科書…本学外国語学中国語教室編『摂南大学初級中国語』
 参考書…とくになし
学生へのメッセージ
 「聴く」「話す」に力を入れてほしい。これがある程度できるようになってから「読む」「書く」に取り組んでも遅くはない。
関連科目
 中国語
担当者の研究室等
 1号館2階 非常勤講師室

中国語ⅠⅠ Chinese II				
今 中 崇 文 (イマナカ タカフミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	2	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
 中国語を初めて学ぶ者にとって、中国語の基本的な発音や文法を理解することや一定の語彙数を早期に修得することが重要である。
 この授業では、中国語の発音や文法について学習するとともに、日常における中国語の表現方法の学習を通して、読む・書く・聴く・話すための基礎的な能力を修得する。

授業方法と留意点
 授業中集中して聴くこと、間違いを気にせず大きな声を出すことが授業の中心となる。

科目学習の効果（資格）
 1年終了時には中国語検定試験準4級の受験が可能。2年目以降の継続学習のための基礎力がつく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 第10課四人家族です(1)
 【内容・方法 等】 「一」の声調変化1.所有を表「有」の用法 2.助数詞 3.「ne」を用いた疑問文 4.家族の呼び方
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第2回** 【授業テーマ】 第10課四人家族です(2)
 【内容・方法 等】 「一」の声調変化1.所有を表「有」の用法 2.助数詞 3.「ne」を用いた疑問文 4.家族の呼び方
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第3回** 【授業テーマ】 第11課コーヒーを飲みます(1)
 【内容・方法 等】 1.動詞が述語になる文 2.時間の言い方 3.時間詞の用法 4.「在」の用法
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第4回** 【授業テーマ】 第11課コーヒーを飲みます(2)
 【内容・方法 等】 1.動詞が述語になる文 2.時間の言い方 3.時間詞の用法 4.「在」の用法

- 【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第5回 **【授業テーマ】** 第12課うれしいです(1)
【内容・方法 等】 1.形容詞が述語になる文 2.反復疑問文 3.助詞「ba」の用法 4.「有点兒」の用法
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第6回 **【授業テーマ】** 第12課うれしいです(2)
【内容・方法 等】 1.形容詞が述語になる文 2.反復疑問文 3.助詞「ba」の用法 4.「有点兒」の用法
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第7回 **【授業テーマ】** 第13課復習チェックシート
【内容・方法 等】 第10課～第12課の復習
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第8回 **【授業テーマ】** 第14課どこで勉強していますか？(1)
【内容・方法 等】 1.連動文 2.前置詞「離」の用法 3.前置詞「在」の用法 4.存在を表す「有」の用法
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第9回 **【授業テーマ】** 第14課どこで勉強していますか？(2)
【内容・方法 等】 1.連動文 2.前置詞「離」の用法 3.前置詞「在」の用法 4.存在を表す「有」の用法
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第10回 **【授業テーマ】** 第15課何をしていたの？(1)
【内容・方法 等】 1.完了を表す「了」2.前置詞「給」の用法 3.疑問詞+「也」4.疑問詞「多少」と「幾」
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第11回 **【授業テーマ】** 第15課何をしていたの？(2)
【内容・方法 等】 1.完了を表す「了」2.前置詞「給」の用法 3.疑問詞+「也」4.疑問詞「多少」と「幾」
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第12回 **【授業テーマ】** 第16課中国に行ったことは？(1)
【内容・方法 等】 1.過去の経験を表す「過」2.「快～了」の用法 3.前置詞「從～到～」の用法 4.時間の長さの表現
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第13回 **【授業テーマ】** 第16課中国に行ったことは？(2)
【内容・方法 等】 1.過去の経験を表す「過」2.「快～了」の用法 3.前置詞「從～到～」の用法 4.時間の長さの表現
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第14回 **【授業テーマ】** 第17課復習チェックシート
【内容・方法 等】 第14課～第16課の復習
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第15回 **【授業テーマ】** 第14課～第16課の復習
【内容・方法 等】 期末試験に備えた学習項目の確認
【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

評価方法 (基準)
 定期試験 (80%)、出席、授業態度 (20%) により総合評価する。

教材等
教科書…本学外国語学中国語教室編 『撰南大学初級中国語』
参考書…とくになし

学生へのメッセージ
 「聴く」「話す」に力を入れてほしい。これがある程度できるようになってから「読む」「書く」に取り組んでも遅くはない。

関連科目
 中国語
担当者の研究室等
 1号館2階 非常勤講師室

韓国語Ⅰ Korean I				
北 島 由 紀 子 (キタジマ ユキコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	2	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
 本授業では、初めて韓国語を学ぶ上で不可欠な文字と発音、基本的な文法事項を学ぶ。授業スケジュールは目安であり、学習進度、習熟度に合わせて調整する。

授業方法と留意点
 教科書に基づいて文法説明を加えつつ、講読、作文練習等を行う。欠席すると次回の受講に困難をきたすので、欠席しないことが

望ましい。
科目学習の効果 (資格)
 韓国語の基礎的知識を習得すると共に、語学を通して韓国への理解を深めることができる

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 **【授業テーマ】** 韓国語について
【内容・方法 等】 ハングル文字の仕組み
【事前・事後学習課題】 教科書 基礎 1課
- 第2回 **【授業テーマ】** 母音
【内容・方法 等】 基本母音
【事前・事後学習課題】 教科書 基礎 2課
- 第3回 **【授業テーマ】** 子音
【内容・方法 等】 子音 (激音・濃音を含む)
【事前・事後学習課題】 教科書 基礎 3課
- 第4回 **【授業テーマ】** 母音
【内容・方法 等】 複合母音
【事前・事後学習課題】 教科書 基礎 4課
- 第5回 **【授業テーマ】** 終声
【内容・方法 等】 終声と発音の変化
【事前・事後学習課題】 教科書 基礎 5課 - 6課
- 第6回 **【授業テーマ】** 「～です」
【内容・方法 等】 体言文 (平叙)
【事前・事後学習課題】 教科書 1課
- 第7回 **【授業テーマ】** 「～ですか？」
【内容・方法 等】 体言文 (疑問)
【事前・事後学習課題】 教科書 2課
- 第8回 **【授業テーマ】** 「～ではありません」
【内容・方法 等】 体言文 (否定)
【事前・事後学習課題】 教科書 3課
- 第9回 **【授業テーマ】** 「います (あります)」・「いません (ありません)」
【内容・方法 等】 存在詞
【事前・事後学習課題】 教科書 4課
- 第10回 **【授業テーマ】** 文の確認
【内容・方法 等】 体言文の復習と確認
【事前・事後学習課題】 体言文の復習・確認 テスト
- 第11回 **【授業テーマ】** 「～します」・「～しますか？」
【内容・方法 等】 動詞「する」(平叙・疑問)
【事前・事後学習課題】 教科書 5課
- 第12回 **【授業テーマ】** 「～ます」・「～ますか？」
【内容・方法 等】 用言文 (平叙・疑問)
【事前・事後学習課題】 教科書 7課
- 第13回 **【授業テーマ】** 「～します」・「～しますか？」
【内容・方法 等】 動詞「する」(平叙・疑問)
【事前・事後学習課題】 教科書 6課
- 第14回 **【授業テーマ】** 「～ます」・「～ますか？」
【内容・方法 等】 用言文 (平叙・疑問)
【事前・事後学習課題】 様々な用言文・用言文の復習・確認 テスト
- 第15回 **【授業テーマ】** 韓国語の実際
【内容・方法 等】 韓国のドラマを見る
【事前・事後学習課題】 なし

評価方法 (基準)
 平常点、授業時の各種テスト等、総合的に判断して評価

教材等
教科書…木内明 『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』 国書刊行会 (2,100円+税)
参考書…韓日辞典

学生へのメッセージ
 韓流で韓国に興味を持った人、興味はあったけど習う機会がなかった人、これを機に一緒に学びましょう。本授業では、語学の勉強を淡々と進めるだけでなく、時には、最新の韓国事情、歌などの紹介を織り交ぜ、幅広い韓国への知識を養っていきたいと思います。

関連科目
 韓国語関連科目
担当者の研究室等
 1号館2階 非常勤講師室

韓国語Ⅰ Korean I				
北 島 由 紀 子 (キタジマ ユキコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	1	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
 本授業では、初めて韓国語を学ぶ上で不可欠な文字と発音、基本的な文法事項を学ぶ。授業スケジュールは目安であり、学習進度、習熟度に合わせて調整する。

授業方法と留意点

教科書に基づいて文法説明を加えつつ、講読、作文練習等を行う。欠席すると次回の受講に困難をきたすので、欠席しないことが望ましい。

科目学習の効果（資格）

韓国語の基礎的知識を習得すると共に、語学を通して韓国への理解を深めることができる

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 韓国語について
【内容・方法 等】 ハングル文字の仕組み
【事前・事後学習課題】 教科書 基礎 1課
- 第2回 【授業テーマ】 母音
【内容・方法 等】 基本母音
【事前・事後学習課題】 教科書 基礎 2課
- 第3回 【授業テーマ】 子音
【内容・方法 等】 子音（激音・濃音を含む）
【事前・事後学習課題】 教科書 基礎 3課
- 第4回 【授業テーマ】 母音
【内容・方法 等】 複合母音
【事前・事後学習課題】 教科書 基礎 4課
- 第5回 【授業テーマ】 終声
【内容・方法 等】 終声と発音の変化
【事前・事後学習課題】 教科書 基礎 5課－6課
- 第6回 【授業テーマ】 「～です」
【内容・方法 等】 体言文（平叙）
【事前・事後学習課題】 教科書 1課
- 第7回 【授業テーマ】 「～ですか？」
【内容・方法 等】 体言文（疑問）
【事前・事後学習課題】 教科書 2課
- 第8回 【授業テーマ】 「～ではありません」
【内容・方法 等】 体言文（否定）
【事前・事後学習課題】 教科書 3課
- 第9回 【授業テーマ】 「～います（あります）」・「～いません（ありません）」
【内容・方法 等】 存在詞
【事前・事後学習課題】 教科書 4課
- 第10回 【授業テーマ】 文の確認
【内容・方法 等】 体言文の復習と確認
【事前・事後学習課題】 体言文の復習・確認 テスト
- 第11回 【授業テーマ】 「～します」・「～しますか？」
【内容・方法 等】 動詞「する」（平叙・疑問）
【事前・事後学習課題】 教科書 5課
- 第12回 【授業テーマ】 「～ます」・「～ますか？」
【内容・方法 等】 用言文（平叙・疑問）
【事前・事後学習課題】 教科書 7課
- 第13回 【授業テーマ】 「～します」・「～しますか？」
【内容・方法 等】 動詞「する」（平叙・疑問）
【事前・事後学習課題】 教科書 6課
- 第14回 【授業テーマ】 「～ます」・「～ますか？」
【内容・方法 等】 用言文（平叙・疑問）
【事前・事後学習課題】 様々な用言文・用言文の復習・確認 テスト
- 第15回 【授業テーマ】 韓国語の実際
【内容・方法 等】 韓国のドラマを見る
【事前・事後学習課題】 なし

評価方法（基準）

平常点、授業時の各種テスト等、総合的に判断して評価

教材等

教科書…木内明 『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』 国書刊行会 (2,100円+税)
参考書…韓日辞典

学生へのメッセージ

韓流で韓国に興味を持った人、興味はあったけど習う機会が無かった人、これを機に一緒に学びましょう。本授業では、語学の勉強を淡々と進めるだけでなく、時には、最近の韓国事情、歌などの紹介を織り交ぜ、幅広い韓国への知識を養っていきたいと思います。

関連科目

韓国語関連科目

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

韓国語ⅠⅡ Korean II				
北 島 由 紀 子 (キタジマ ユキコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	2	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

前期に引き続き、韓国語の構造、文法と表現の特色を学習しながら、日常韓国語の運用（特に読む、書く）能力を養うことを

目指す。授業スケジュールは目安であり、学習進度、習熟度に合わせて調整する。

授業方法と留意点

教科書に基づいて文法説明を加えつつ、講読、作文練習等を行う。欠席すると次回の受講に困難をきたすので、欠席しないことが望ましい。辞書を持参すること。

科目学習の効果（資格）

韓国語の基礎的知識を習得すると共に、語学を通して韓国への理解を深めることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 復習
【内容・方法 等】 前期の復習
【事前・事後学習課題】 教科書 1課－4課
- 第2回 【授業テーマ】 復習
【内容・方法 等】 前期の復習
【事前・事後学習課題】 教科書 5課－7課
- 第3回 【授業テーマ】 「～ます」・「～ますか？」
【内容・方法 等】 用言文（平叙・疑問）
【事前・事後学習課題】 教科書 8課
- 第4回 【授業テーマ】 「～ます」・「～ますか？」
【内容・方法 等】 用言文（平叙・疑問）
【事前・事後学習課題】 様々な用言文
- 第5回 【授業テーマ】 「～ました」
【内容・方法 等】 用言文（過去）
【事前・事後学習課題】 教科書 13課
- 第6回 【授業テーマ】 「～ません」
【内容・方法 等】 用言文（否定）
【事前・事後学習課題】 教科書 12課
- 第7回 【授業テーマ】 文の確認
【内容・方法 等】 用言文の確認と復習
【事前・事後学習課題】 用言文の復習・確認 テスト
- 第8回 【授業テーマ】 数詞
【内容・方法 等】 漢数詞
【事前・事後学習課題】 教科書 9課
- 第9回 【授業テーマ】 数詞
【内容・方法 等】 固有数詞
【事前・事後学習課題】 教科書 10課
- 第10回 【授業テーマ】 敬語の表現
【内容・方法 等】 敬語
【事前・事後学習課題】 教科書 11課
- 第11回 【授業テーマ】 「～しましょう」
【内容・方法 等】 勧誘
【事前・事後学習課題】 教科書 14課
- 第12回 【授業テーマ】 「～しています」
【内容・方法 等】 現在進行形
【事前・事後学習課題】 教科書 15課
- 第13回 【授業テーマ】 「～できます」・「～できません」
【内容・方法 等】 可能・不可能
【事前・事後学習課題】 教科書 16課
- 第14回 【授業テーマ】 総合復習
【内容・方法 等】 様々な文・表現の確認と復習
【事前・事後学習課題】 様々な文・表現の復習・確認 テスト
- 第15回 【授業テーマ】 韓国語の実際
【内容・方法 等】 韓国のドラマを見る
【事前・事後学習課題】 なし

評価方法（基準）

平常点、授業時の各種テスト等、総合的に判断して評価

教材等

教科書…木内明 『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』 国書刊行会 (2,100円+税)
参考書…韓日辞典

学生へのメッセージ

韓流で韓国に興味を持った人、興味はあったけど習う機会が無かった人、これを機に一緒に学びましょう。本授業では、語学の勉強を淡々と進めるだけでなく、時には、最近の韓国事情、歌などの紹介を織り交ぜ、幅広い韓国への知識を養っていきたいと思います。

関連科目

韓国語関連科目

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

韓国語ⅠⅡ Korean II				
北 島 由 紀 子 (キタジマ ユキコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	1	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

前期に引き続き、韓国語の構造、文法と表現の特色を学習しな

がら、日常韓国語の運用（特に読む、書く）能力を養うことを目指す。授業スケジュールは目安であり、学習進度、習熟度に合わせて調整する。

授業方法と留意点

教科書に基づいて文法説明を加えつつ、購読、作文練習等を行う。欠席すると次回の受講に困難をきたすので、欠席しないことが望ましい。辞書を持参すること。

科目学習の効果（資格）

韓国語の基礎的知識を習得すると共に、語学を通して韓国への理解を深めることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 復習
【内容・方法 等】 前期の復習
【事前・事後学習課題】 教科書 1課 - 4課
- 第2回 【授業テーマ】 復習
【内容・方法 等】 前期の復習
【事前・事後学習課題】 教科書 5課 - 7課
- 第3回 【授業テーマ】 「～ます」「～ますか？」
【内容・方法 等】 用言文（平叙・疑問）
【事前・事後学習課題】 教科書 8課
- 第4回 【授業テーマ】 「～ます」「～ますか？」
【内容・方法 等】 用言文（平叙・疑問）
【事前・事後学習課題】 様々な用言文
- 第5回 【授業テーマ】 「～ました」
【内容・方法 等】 用言文（過去）
【事前・事後学習課題】 教科書 13課
- 第6回 【授業テーマ】 「～ません」
【内容・方法 等】 用言文（否定）
【事前・事後学習課題】 教科書 12課
- 第7回 【授業テーマ】 文の確認
【内容・方法 等】 用言文の確認と復習
【事前・事後学習課題】 用言文の復習・確認 テスト
- 第8回 【授業テーマ】 数詞
【内容・方法 等】 漢数詞
【事前・事後学習課題】 教科書 9課
- 第9回 【授業テーマ】 数詞
【内容・方法 等】 固有数詞
【事前・事後学習課題】 教科書 10課
- 第10回 【授業テーマ】 敬語の表現
【内容・方法 等】 敬語
【事前・事後学習課題】 教科書 11課
- 第11回 【授業テーマ】 「～しましょう」
【内容・方法 等】 勧誘
【事前・事後学習課題】 教科書 14課
- 第12回 【授業テーマ】 「～しています」
【内容・方法 等】 現在進行形
【事前・事後学習課題】 教科書 15課
- 第13回 【授業テーマ】 「～できます」「～できません」
【内容・方法 等】 可能・不可能
【事前・事後学習課題】 教科書 16課
- 第14回 【授業テーマ】 総合復習
【内容・方法 等】 様々な文・表現の確認と復習
【事前・事後学習課題】 様々な文・表現の復習・確認 テスト
- 第15回 【授業テーマ】 韓国語の実際
【内容・方法 等】 韓国のドラマを見る
【事前・事後学習課題】 なし

評価方法（基準）

平常点、授業時の各種テスト等、総合的に判断して評価

教材等

教科書…木内明 『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』 国書刊行会 (2,100円+税)

参考書…韓日辞典

学生へのメッセージ

韓流で韓国に興味を持った人、興味はあったけど習う機会が無かった人、これを機に一緒に学びましょう。本授業では、語学の勉強を淡々と進めるだけでなく、時には、最近の韓国事情、歌などの紹介を織り交ぜ、幅広い韓国への知識を養っていきたいと思います。

関連科目

韓国語関連科目

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

スポーツ科学 Sports Science				
藤 林 真 美 (フジバヤシ マミ) 横 山 喬 之 (ヨコヤマ タカユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	2	後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

生活習慣にとって大切なスポーツが、健康の維持・増進や体力向上に効果があることは多くの研究で明らかにされている。本科目は、慢性的な運動不足によっておこる身体機能の低下が、生活習慣病に繋がることを踏まえ、健康づくりのために運動習慣を持つことの大切さと、運動療法を安全かつ効果的に進めることの重要性を学ぶ。さらに外見の健康だけでなく、身体の内面についての理解を深め、生涯にわたり、運動習慣が継続できるように、健康の維持・増進をスポーツ科学の知識を生かした身体活動の側面から学ぶ。

授業方法と留意点

スポーツ科学は、実技形式で行う。(雨天の場合、講義形式を行う場合がある。)

科目学習の効果（資格）

生活していくうえでの基礎体力の養成、運動技術の獲得、健康の保持・増進ができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 各履修コースの決定
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第2回 【授業テーマ】 体力測定①
【内容・方法 等】 50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ
【事前・事後学習課題】 体力測定評価
- 第3回 【授業テーマ】 体力測定②
【内容・方法 等】 20mシャトルラン、上体起こし、長座体前屈、反復横跳
【事前・事後学習課題】 体力測定評価
- 第4回 【授業テーマ】 フットサル
【内容・方法 等】 基礎技術（パス・ドリブル・シュート）、ゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回 【授業テーマ】 フットサル
【内容・方法 等】 基礎技術（パス・ドリブル・シュート）、ゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 フットサル
【内容・方法 等】 基礎技術（パス・ドリブル・シュート）、ゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法 等】 基礎技術（パス・レシーブ・サーブ）、ゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第8回 【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法 等】 基礎技術（パス・レシーブ・サーブ）、ゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第9回 【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法 等】 基礎技術（パス・レシーブ・サーブ）、ゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回 【授業テーマ】 コンディショニング1
【内容・方法 等】 ヨガやピラティスを体験する。(大阪工業大情報学部体育館にて行う)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回 【授業テーマ】 コンディショニング2
【内容・方法 等】 ヨガやスポーツマッサージを行う。(大阪工業大情報学部体育館にて行う)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第12回 【授業テーマ】 レジスタンス運動
【内容・方法 等】 レジスタンス運動の有用性を修得し、自重を用いたレジスタンス運動を行う。(大阪工業大情報学部体育館にて行う)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第13回 【授業テーマ】 ウォーキング
【内容・方法 等】 ウォーキングの運動効果など基礎知識を学ぶ。歩数計をつけてウォークラリーなどを行い、効果的な強度を修得する。
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第14回 【授業テーマ】 レクリエーション1
【内容・方法 等】 対人・グループによるゲーム系運動を行い、広義の「体力」のうち、柔軟性、平衡感覚、敏捷性を養うことを目的とする。(大阪工業大情報学部体育館にて行う)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第15回 【授業テーマ】 レクリエーション2
【内容・方法 等】 対人・グループによるゲーム系運動を行い、広義の「体力」のうち、柔軟性、平衡感覚、敏捷性を養うことを目的とする。(大阪工業大情報学部体育館にて行う)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法（基準）

単位取得条件は技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ

トレーニングウェアの着用およびトレーニングシューズを用意してください。

関連科目

人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ

担当者の研究室等

枚方学舎グリーンハウス(体育準備室)。ただし授業開講曜日のみ、他の曜日は、寝屋川学舎総合体育館1階 藤林研究室・横山研究室。

スポーツ科学 Sports Science

藤林真美(フジバヤシ マミ)

横山喬之(ヨコヤマ タカユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	1	後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

生活習慣にとって大切なスポーツが、健康の維持・増進や体力向上に効果があることは多くの研究で明らかにされている。本科目は、慢性的な運動不足によっておこる身体機能の低下が、生活習慣病に繋がることを踏まえ、健康づくりのために運動習慣を持つことの大切さと、運動療法を安全かつ効果的に進めることの重要性を学ぶ。さらに外見の健康だけでなく、身体の内面についての理解を深め、生涯にわたり、運動習慣が継続できるように、健康の維持・増進をスポーツ科学の知識を生かした身体活動の側面から学ぶ。

授業方法と留意点

スポーツ科学は、実技形式で行う。(雨天の場合、講義形式を行う場合がある。)

科目学習の効果(資格)

生活していくうえでの基礎体力の養成、運動技術の獲得、健康の保持・増進ができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 各履修コースの決定
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第2回 【授業テーマ】 体力測定①
【内容・方法等】 50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ
【事前・事後学習課題】 体力測定評価
- 第3回 【授業テーマ】 体力測定②
【内容・方法等】 20mシャトルラン、上体起こし、長座体前屈、反復横跳
【事前・事後学習課題】 体力測定評価
- 第4回 【授業テーマ】 コンディショニング1
【内容・方法等】 ヨガやピラティスを体験する。(大阪工大情報科学部体育館にて行う)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回 【授業テーマ】 コンディショニング2
【内容・方法等】 ヨガやスポーツマッサージを行う。(大阪工大情報科学部体育館にて行う)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 レジスタンス運動
【内容・方法等】 レジスタンス運動の有用性を修得し、自重を用いたレジスタンス運動を行う。(大阪工大情報科学部体育館にて行う)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 ウォーキング
【内容・方法等】 ウォーキングの運動効果など基本知識を学ぶ。歩数計をつけてウォークラリーなどを行い、効果的な強度を修得する。
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第8回 【授業テーマ】 レクリエーション1
【内容・方法等】 対人・グループによるゲーム系運動を行い、広義の「体力」のうち、柔軟性、平衡感覚、敏捷性を養うことを目的とする。(大阪工大情報科学部体育館にて行う)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第9回 【授業テーマ】 レクリエーション2
【内容・方法等】 対人・グループによるゲーム系運動を行い、広義の「体力」のうち、柔軟性、平衡感覚、敏捷性を養うことを目的とする。(大阪工大情報科学部体育館にて行う)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回 【授業テーマ】 フットサル
【内容・方法等】 基礎技術(パス・ドリブル・シュート)、ゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回 【授業テーマ】 フットサル

【内容・方法等】 基礎技術(パス・ドリブル・シュート)、ゲーム

第12回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

【授業テーマ】 フットサル

【内容・方法等】 基礎技術(パス・ドリブル・シュート)、ゲーム

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第13回 【授業テーマ】 バレーボール

【内容・方法等】 基礎技術(パス・レシーブ・サーブ)、ゲーム

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第14回 【授業テーマ】 バレーボール

【内容・方法等】 基礎技術(パス・レシーブ・サーブ)、ゲーム

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第15回 【授業テーマ】 バレーボール

【内容・方法等】 基礎技術(パス・レシーブ・サーブ)、ゲーム

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法(基準)

単位取得条件は技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。
100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…使用しない

参考書…使用しない

学生へのメッセージ

トレーニングウェアの着用およびトレーニングシューズを用意してください。

関連科目

人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ

担当者の研究室等

枚方学舎グリーンハウス(体育準備室)。ただし授業開講曜日のみ、他の曜日は、寝屋川学舎総合体育館1階、藤林研究室・横山研究室